

**令和5年度
転出入に関するアンケート調査分析
報告書**

墨 田 区

目次

第1章 はじめに	1
1. 調査実施概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の実施方法	1
(3) 調査項目	1
(4) 回収状況	2
(5) 調査結果の集計と分析について	2
(6) 分析の視点	3
第2章 調査の結果 墨田区への転入者	5
1. 回答者の基本属性	5
(1) 調査結果	5
2. 引越しのきっかけや引越し先を選んだ理由、居住地の評価について	10
(1) 調査結果概要	10
(2) 調査結果	11
3. 区からの情報提供について	41
(1) 調査結果概要	41
(2) 調査結果	42
4. 住みやすさと定住意向について	45
(1) 調査結果概要	45
(2) 調査結果	45
5. 現在のイメージと今後の期待するイメージについて	52
(1) 調査結果概要	52
(2) 調査結果	53
6. 自由意見	64
(1) 調査結果	64
第3章 調査の結果 墨田区からの転出者	84
1. 回答者の基本属性	84
(1) 調査結果	84
2. 引越しのきっかけや引越し先を選んだ理由、居住地の評価について	90
(1) 調査結果概要	90
(2) 調査結果	91
3. 住みやすさと定住意向について	121
(1) 調査結果概要	121
(2) 調査結果	121
4. 現在のイメージと今後の区に期待するイメージについて	130
(1) 調査結果概要	130

(2) 調查結果.....	130
5. 自由意見.....	134
(1) 調查結果.....	134

第1章はじめに

1. 調査実施概要

(1) 調査の目的

本調査は、次期基本構想の策定に活用することを目的に、まちづくりの方向性や区の様々な取り組み等について広く区民の意見や意向を把握するため、墨田区への転入者と墨田区からの転出者の、それぞれ2,000人を対象として実施した。

(2) 調査の実施方法

調査対象：

(転入者)：満18歳以上の令和4年6月から令和5年5月までの期間¹における墨田区への転入者
2,000人

(転出者)：満18歳以上の令和4年6月から令和5年5月までの期間における墨田区からの転出者
2,000人

抽出方法：無作為抽出

調査方法：郵送配布、郵送・インターネット回答を併用して回収

調査期間：令和5年8月～令和5年9月

(3) 調査項目

調査項目は以下の通りである。

自身について	F1	満年齢
	F2	性別
	F3	引越し時期
	F4	住所(引越し前後)
	F5	墨田区での居住地域
	F6	引越し前の住所での居住期間
	F7	居住形態(引越し前後)
	F8	引越し後の世帯構成(引越し前後)
	F9	配偶者の有無
	F10	家族形態(子ども、高齢者の居住の有無)
	F11	職業
引越しのきっかけや引越し先を選んだ理由など	問1	引越しのきっかけについて
	問2	引越し先を選んだ理由
	問3_1	引越し前の自治体に満足している点のキーワード
	問3_2	引越し前の自治体への不満点であるキーワード
	問3_3	引越し後の自治体に満足している点のキーワード
	問3_4	引越し後の自治体への不満点であるキーワード

¹ 転入者及び転出者は住民票の移動手続きが行われた時期で把握している。そのため、調査対象者の手続き遅延等を理由として、実際の引越し時期が令和4年6月から令和5年5月ではない回答者も調査対象に含まれている。

区からの情報提供	問4	引越しに際して墨田区からの支援や情報提供等で不満に感じたもの（転入者のみ）
住みやすさと定住意向（転入者）	問5_1	墨田区の住みやすさ（転入者のみ）
	問5_2	墨田区への今後の定住意向（転入者のみ）
住みやすさと定住意向（転出者）	問6_1	転出前の墨田区の住みやすさ（転出者のみ）
	問6_2	墨田区への今後の定住意向意向（転出者のみ）
その他	問7_1	現在の墨田区のイメージ
	問7_2	墨田区に今後期待するイメージ
自由意見	問8	墨田区が「暮らし続けたいまち」づくりを進めていくうえでの、ご意見やご要望

（４）回収状況

有効回収数：1177 人

<内訳>

	転入者	転出者
合計	579 件	598 件
郵送回答	184 件	211 件
インターネット回答	395 件	387 件

回収率

転入者：29.0%

転出者：29.9%

（５）調査結果の集計と分析について

① 留意事項

- ・ 図表中のnとは、各設問の回答者総数のことである。
- ・ 百分率はnを100%として算出し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示した。このため、百分率の合計が100%にならない場合や合計と一致しない場合がある。
- ・ 読みやすさの観点から、回答割合が1%未満のものはデータラベルを削除している場合がある。
- ・ 報告書中のSAは単一回答の、MAは複数回答のことである。
- ・ 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化や補足している場合がある。特にクロス集計については、選択肢の簡略表記を使用しているほか、選択肢が多い場合には、無回答を除く上位5位までの記載としている場合がある。

② 標本誤差

本調査のように全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査に比べて調査結果に差が生じることがある。抽出による結果の誤差は、以下の計算式によって算出される。なお、信頼度は95%として算出する。

差は以下の式によって算出される。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N=母集団数（満18歳以上の墨田への転入者または墨田区からの転出者）

n=回答者数 P=回答比率（0 ≤ P ≤ 1）

標本数と回答の比率ごとに誤差を整理したものは以下の表のとおりである。例えば、ある設問の回答者数（n）が579人であり、その設問中の選択肢の回答比率（P）が30%であった場合、その回答比率の誤差は±3.8%となり、26.2%～33.8%の範囲にあると考えられる。

《転入者》（N=28,724人）

回収数	回答率					
	50%	40%又は 60%	30%又は 70%	20%又は 80%	10%又は 90%	5%又は 95%
579	4.1%	4.0%	3.8%	3.3%	2.5%	1.8%
500	4.4%	4.3%	4.1%	3.5%	2.7%	1.9%
250	6.3%	6.2%	5.8%	5.0%	3.8%	2.7%
100	10.0%	9.8%	9.2%	8.0%	6.0%	4.4%
50	14.1%	13.9%	13.0%	11.3%	8.5%	6.2%

《転出者》（N=22,901人）

回収数	回答率					
	50%	40%又は 60%	30%又は 70%	20%又は 80%	10%又は 90%	5%又は 95%
598	4.0%	4.0%	3.7%	3.2%	2.4%	1.8%
500	4.4%	4.3%	4.1%	3.5%	2.7%	1.9%
250	6.3%	6.2%	5.8%	5.0%	3.8%	2.7%
100	10.0%	9.8%	9.1%	8.0%	6.0%	4.3%
50	14.1%	13.8%	13.0%	11.3%	8.5%	6.2%

（6）分析の視点

- ・ アンケート調査は、転入者、転出者それぞれ別に分析を実施した。
- ・ 回収したアンケート調査は、必要に応じて基本属性ごと（年齢、居住地域、居住年数、世帯構成、性別など）にクロス集計を行った。
- ・ 各クロス項目で「無回答」とした回答は、回答者が少なく標本誤差が大きいことから、クロス集計では「無回答」の集計軸は表示しないこととする。同様に、n値が50以下の軸は標本誤差が大きいことから、他の選択肢と合わせた軸で集計を行うか、他の選択肢を合わせる適さない場合には、この軸でのクロス集計結果は表示しないか参考値として

表示する。

- ・ 年齢について、「10代」、「60代」、「70代」の回答者数が少ないことから、それぞれ「20代」、「50代」と合わせて、「10代、20代」、「50代以上」として集計している。ただし、転入者には「10代」の回答者が含まれなかったため、「20代」としている。
- ・ 性別について、「その他・答えたくない」の回答者数が少なく標本誤差が大きいこと、ほかの選択肢に合わせることに適さないことから、この軸でのクロス集計は表示しないこととする。
- ・ 居住形態について、「一戸建て借家」、「公営住宅」、「社宅・公務員宿舎・寮」、「同居・間借り・住み込みなど」、「その他」の回答数が少ないことから、「一戸建て借家」は「一戸建て持家」と合わせて「一戸建て」として、他は「その他」として集計している。
- ・ 世帯構成について、「三世代世帯」の回答者数が少ないことから、「その他」と合わせて、「その他」として集計している。

地区名	該当する町丁目
1. 堤通・墨田・八広地域	堤通2丁目、墨田1～5丁目、八広1～6丁目、東向島4～6丁目
2. 向島・京島・押上地域	堤通1丁目、京島1～3丁目、押上1～3丁目、東向島1～3丁目、向島1～5丁目
3. 東墨田・立花・文花地域	東墨田1～3丁目、立花1～6丁目、文花1～3丁目
4. 吾妻橋・本所・両国地域	吾妻橋1～3丁目、東駒形1～4丁目、本所1～4丁目、石原1～4丁目、横網1・2丁目、亀沢1～4丁目、両国1～4丁目
5. 業平・錦糸・江東橋地域	業平1～5丁目、横川1～5丁目、太平1～4丁目、錦糸1～4丁目、江東橋1～4丁目
6. 緑・立川・菊川地域	菊川1～3丁目、立川1～4丁目、緑1～4丁目、千歳1～3丁目、江東橋5丁目

第2章 調査の結果 墨田区への転入者

1. 回答者の基本属性

(1) 調査結果

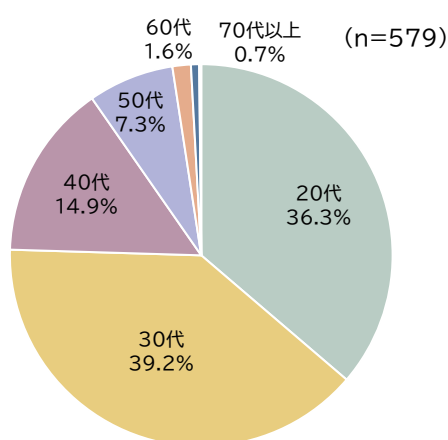
① 満年齢

年齢は、「30代」の割合が最も高く 39.2% である。次いで、「20代 (36.3%)」、「40代 (14.9%)」である。

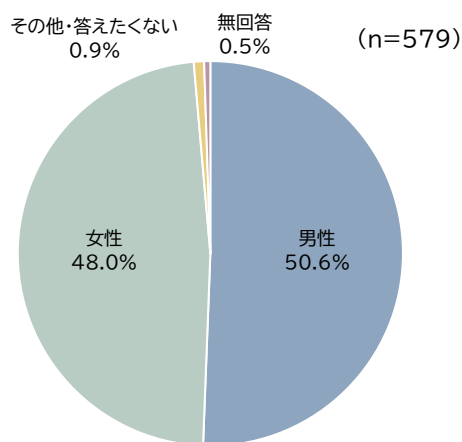
② 性別

性別は、「男性 (50.6%)」、「女性 (48.0%)」である。

図表 1 満年齢 (SA)



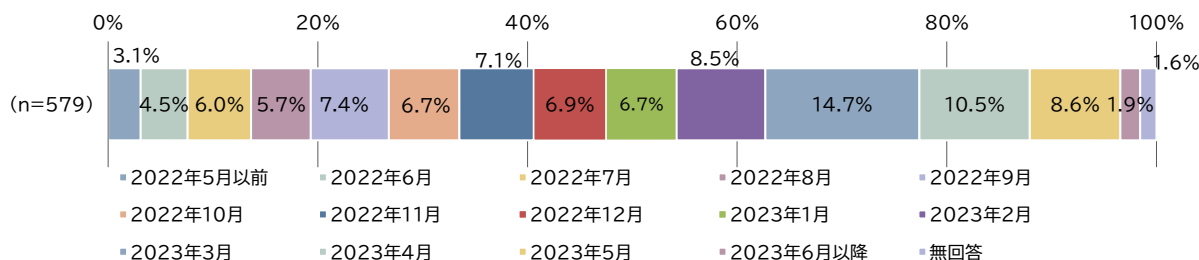
図表 2 性別 (SA)



③ 引越し (転入) 時期

引越し時期は、「2023年3月」の割合が最も高く 14.7%である。次いで、「2023年4月 (10.5%)」、「2023年5月 (8.6%)」である。

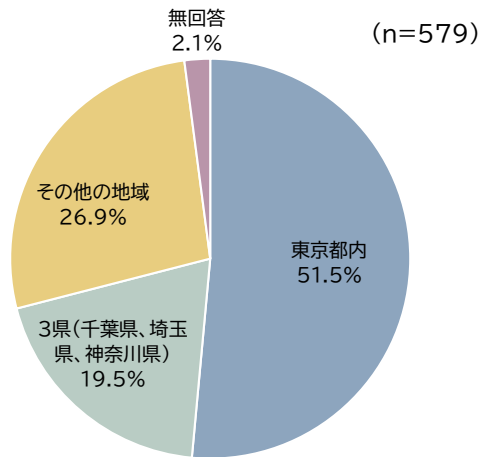
図表 3 引越し(転入)時期 (SA)



④ 引越し前の居住地域

引越し前の居住地域は、「東京都内」の割合が最も高く 51.5%である。次いで、「その他の地域 (26.9%)」、「近隣3県 (千葉県、埼玉県、神奈川県) (19.5%)」である。

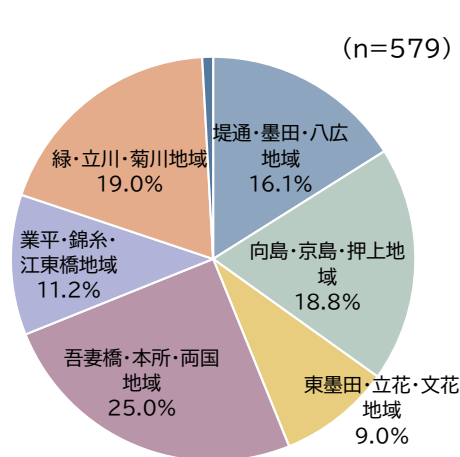
図表 4 引越し前の居住地域 (SA)



⑤ 現在の居住地域

現在の居住地域は、「吾妻橋・本所・両国地域」の割合が最も高く 25.0%である。次いで、「緑・立川・菊川地域 (19.0%)」、「向島・京島・押上地域 (18.8%)」である。

図表 5 現在の居住地域 (SA)

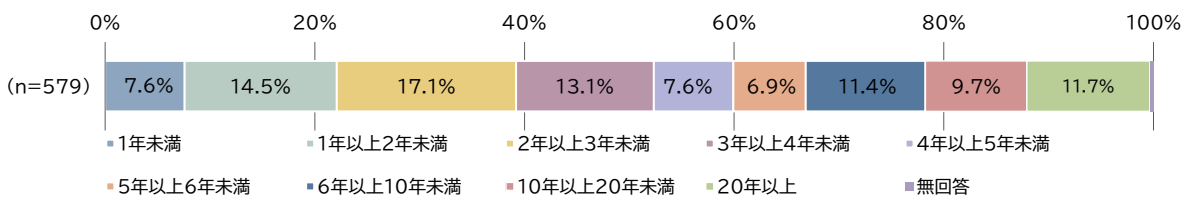


⑥ 引越し前の住所での居住期間

1) 全体

引越し前の住所での居住期間は、「2年以上3年未満」の割合が最も高く 17.1%である。次いで、「1年以上2年未満 (14.5%)」、「3年以上4年未満 (13.1%)」である。引越し前の住所での居住期間が6年未満である割合は 66.8%である。

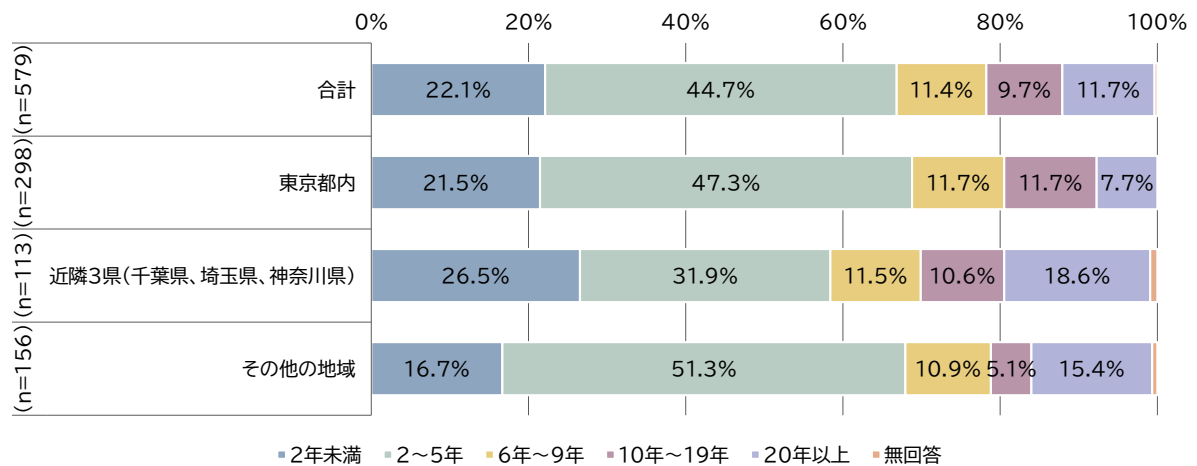
図表 6 引越し前の住所での居住期間 (SA)



2) 引越し前の居住地域別

居住地域別でみると、いずれの地域でも「2～5年」の割合が最も高い。「近隣3県（千葉県、埼玉県、神奈川県）」で「2～5年」で引越ししている割合が全体よりも低い。

図表 7 引越し前の住所への居住期間（引越し前の居住地域別・SA）



⑦ 引越し前の居住形態

引越し前の居住形態は、「賃貸アパート・マンション」の割合が最も高く 62.9%である。次いで、「一戸建て持家 (12.6%)」、「分譲マンション (9.5%)」である。

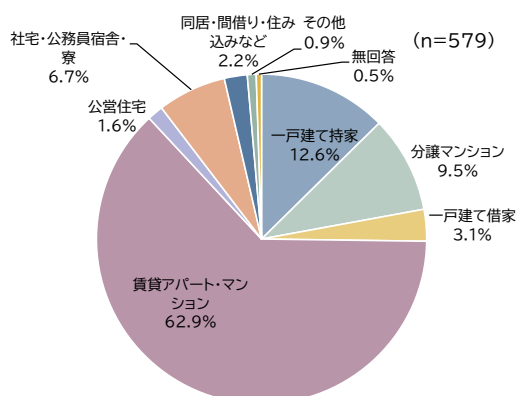
「その他」の回答として、「ソーシャルアパートメント」、「Row house(長屋タイプ、賃貸)」、「学生寮」などが挙げられた。

⑧ 引越し後（現在）の居住形態

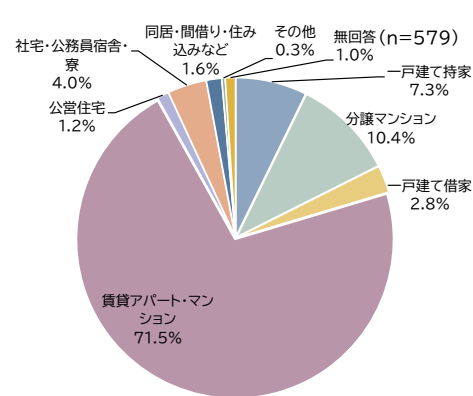
引越し後（現在）の居住形態は、「賃貸アパート・マンション」の割合が最も高く 71.5%である。次いで、「分譲マンション (10.4%)」、「一戸建て持家 (7.3%)」である。

「その他」の回答として、「借上社宅」「シェアハウス」などが挙げられた。

図表 8 引越し前の居住形態 (SA)



図表 9 引越し後の居住形態 (SA)

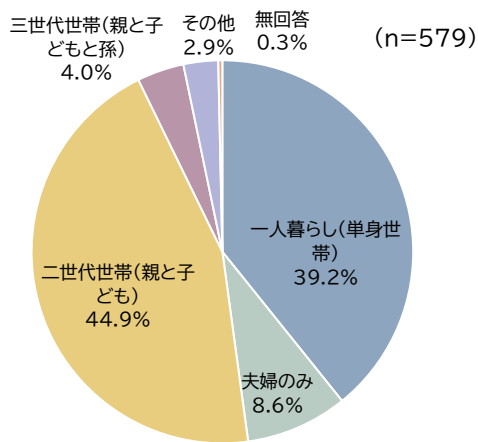


⑨ 引越し前の世帯構成

引越し前の世帯構成は、「二世世代世帯（親と子ども）」の割合が最も高く 44.9%である。次いで、「一人暮らし（単身世帯）（39.2%）」、「夫婦のみ（8.6%）」である。

「その他」の回答として、「同棲」、「祖父母と孫」、「友人とシェア」、「単身赴任」などが挙げられた。

図表 10 引越し前の世帯構成（SA）

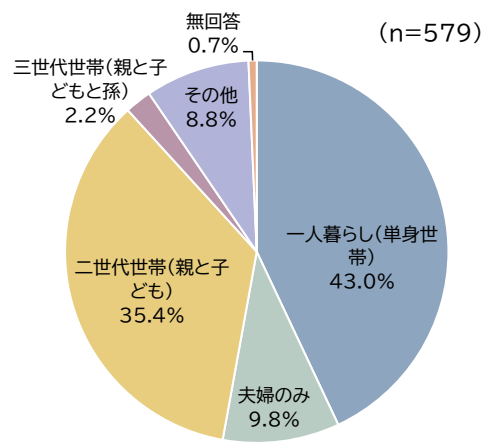


⑩ 引越し後（現在）の世帯構成

引越し後（現在）の世帯構成は、「一人暮らし（単身世帯）」の割合が最も高く 43.0%である。次いで、「二世世代世帯（親と子ども）（35.4%）」、「夫婦のみ（9.8%）」である。

「その他」の回答として、「同棲」、「姉妹」、「友人とシェア」などが挙げられた。

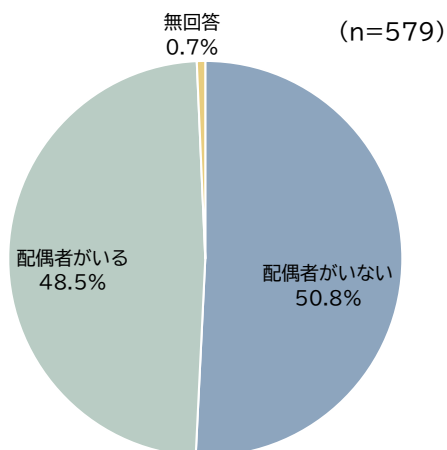
図表 11 引越し後の世帯構成（SA）



⑪ 配偶者の有無

「配偶者がいる」の割合は 48.5%である。

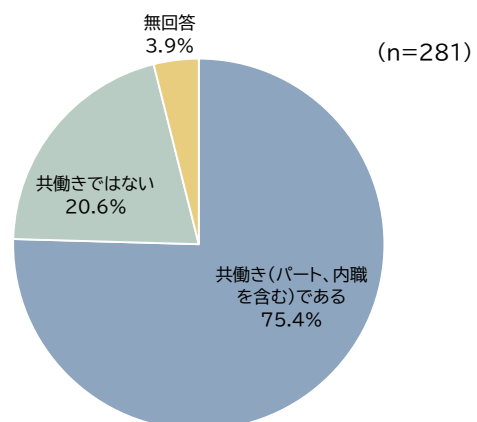
図表 12 配偶者の有無（SA）



⑫ 共働きかどうか

配偶者がいる場合の共働きか否かの回答は、「共働き（パート、内職を含む）である」の割合が 75.4%である。

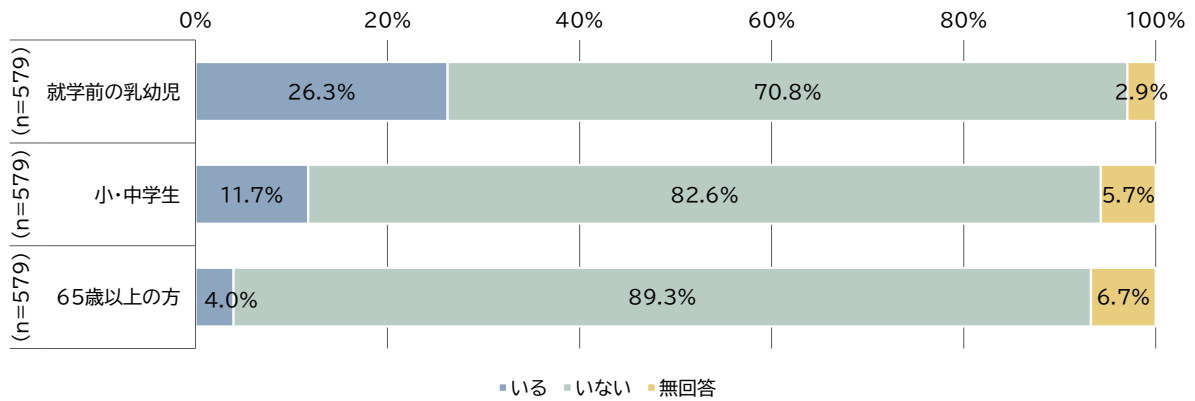
図表 13 共働きかどうか（SA）



⑬ 家族形態

家族形態は、「就学前の乳幼児」がいる世帯が 26.3%、「小・中学生」がいる世帯が 11.7%、「65 歳以上の方」がいる世帯が 4.0%である。

図表 14 家族形態（就学前の乳幼児、小・中学生、65 歳以上の方の有無・SA）

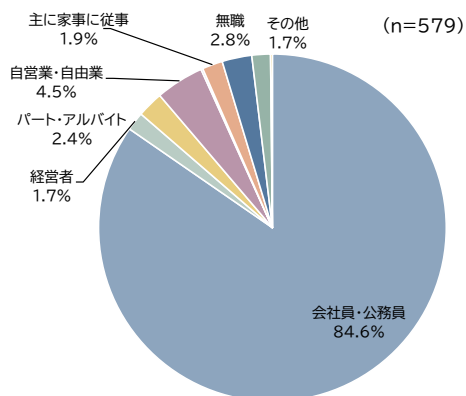


⑭ 職業

職業は、「会社員・公務員」の割合が最も高く 84.6%である。次いで、「自営業・自由業 (4.5%)」、「無職 (2.8%)」である。

「その他」の回答として、「派遣社員」、「医療従事者」等が挙げられた。

図表 15 職業 (SA)



2. 引越しのきっかけや引越し先を選んだ理由、居住地の評価について

(1) 調査結果概要

- ◆ 引越しのきっかけとなった理由では、「転勤」、「住まいの広さや設備内容」、「子育て」、「生活環境上の理由（買い物の利便性など）」の選択率が高い。30代、40代で「子育て」の選択率が高く、また、二世帯世帯だけでなく夫婦のみの世帯でも、さらに、東京都内から墨田区へ引っ越した方は他の地域から引っ越した方に比べ「子育て」の選択率が高い。なお、最も重要と考えるきっかけは「転勤」が突出して高い。(p.11 図表 16、p.12 図表 17、18、p.13 図表 20、p.14 図表 21)
- ◆ 引越し先に墨田区を選んだ理由では、「積極的な理由はない」を除いて、「通勤・通学に利便性のある立地」、「住宅価格・家賃が手ごろ」、「公共交通機関の利便性」の選択率が高い。特に「通勤・通学に利便性のある立地」については、年齢、世帯構成、家族形態、居住地域に関わらず上位となっている。なお、65歳以上のいる世帯では「友人・親族が近くにいる」の割合が、「堤通・墨田・八広地域」及び「東墨田・立花・文花地域」の居住者は「住宅価格・家賃が手頃」の割合が、「通勤・通学に利便性のある立地」の割合を上回る。(p.17 図表 26、p.18 図表 27、p.18 図表 28、p.19 図表 29、p.20 図表 30)
- ◆ 引越し後の満足点では「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通」、「住環境（住宅・道路・公園等）」、「商業・商店街」、「まちなみ」、「観光」の順に高く、不満足な点では「特になし（ほかになし）」を除いて、「商業・商店街」、「住環境（住宅・道路・公園等）」、「防犯」、「子ども・若者支援」、「防災」の選択率が高い。(p.31 図表 41、p.36 図表 47)
- ◆ 引越し前後での満足点を比較すると、「交通」については、引越し前の自治体の満足点に比べ現在の満足点が高い。また、「子ども・若者支援」については、引越し前の自治体に比べ、現在の不満足な点が高い。(p.23 図表 32、p.31 図表 41、p.27 図表 36、p.36 図表 47)

(2) 調査結果

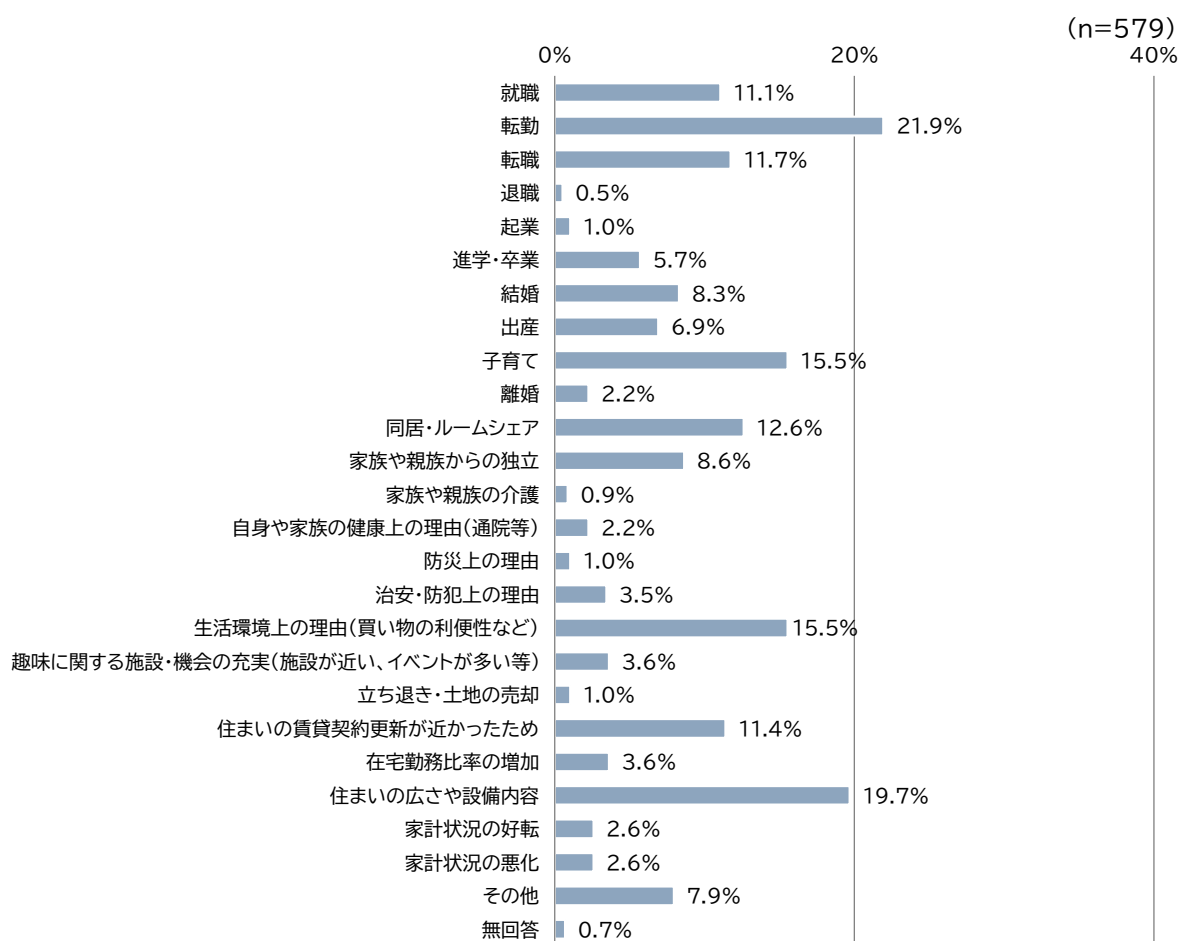
引越しのきっかけとなった理由

1) 全体

引越しのきっかけとなった理由として、「転勤(21.9%)」、「住まいの広さや設備内容(19.7%)」、「子育て(15.5%)」、「生活環境上の理由(買い物の利便性など)(15.5%)」の順に高い。

その他の回答として、「会社や会社の寮の移転」、「通勤に便利だから」、「ペット飼育のため」等の回答が挙げられた。

図表 16 引越しのきっかけとなった理由 (MA)



2) 年齢別

年齢別でみると、「転勤」が「30代」、「50代以上」で1位、「40代」で2位、「10代、20代」で4位であり、「住まいの広さや設備内容」が「40代」、「50代以上」で1位、「30代」で3位、「10代、20代」で5位、「子育て」が「30代」で2位、「40代」で3位である。

図表 17 引越しのきっかけとなった理由（年齢別・MA）

合計		
第1位	転勤	21.9%
第2位	住まいの広さや設備内容	19.7%
第3位	子育て	15.5%
第3位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	15.5%
第5位	同居・ルームシェア	12.6%

10代、20代			30代		
第1位	就職	24.8%	第1位	転勤	28.6%
第2位	同居・ルームシェア	17.1%	第2位	子育て	24.7%
第3位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	16.7%	第3位	住まいの広さや設備内容	22.0%
第4位	転勤	15.2%	第4位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	16.7%
第5位	住まいの広さや設備内容	14.8%	第5位	出産	13.2%

40代			50代以上		
第1位	住まいの広さや設備内容	25.6%	第1位	転勤	20.0%
第2位	転勤	22.1%	第1位	住まいの広さや設備内容	20.0%
第3位	子育て	20.9%	第1位	その他	20.0%
第4位	進学・卒業	16.3%	第4位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	14.5%
第5位	転職	15.1%	第5位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	12.7%

※回答者数は、全体=579、20代=210、30代=227、40代=86、50代以上=55である。

3) 引越し前の世帯構成別

世帯構成別でみると、「住まいの広さや設備内容」が「一人暮らし（単身世帯）」で1位、「二世世代世帯」で3位であり、他の世帯構成でも4位以内に選択されている。「同居・ルームシェア」が「その他」で1位、「一人暮らし（単身世帯）」で2位である。また、「転勤」が、「二世世代世帯」で1位、「夫婦のみ」で3位であり、他の世帯構成でも4位以内に選択されている。「子育て」が「二世世代世帯」で1位、「夫婦のみ」で2位である。

図表 18 引越しのきっかけとなった理由（引越し前の世帯構成別・MA）

合計		
第1位	転勤	21.9%
第2位	住まいの広さや設備内容	19.7%
第3位	子育て	15.5%
第3位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	15.5%
第5位	同居・ルームシェア	12.6%

一人暮らし(単身世帯)			夫婦のみ		
第1位	住まいの広さや設備内容	22.0%	第1位	出産	34.0%
第2位	同居・ルームシェア	20.7%	第2位	子育て	30.0%
第3位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	18.9%	第3位	転勤	28.0%
第4位	転勤	18.5%	第4位	住まいの広さや設備内容	26.0%
第5位	転職	17.2%	第5位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	20.0%

二世世代世帯			その他		
第1位	転勤	25.0%	第1位	同居・ルームシェア	27.5%
第1位	子育て	25.0%	第2位	就職	22.5%
第3位	住まいの広さや設備内容	17.3%	第3位	家族や親族からの独立	20.0%
第4位	家族や親族からの独立	15.4%	第4位	転勤	15.0%
第5位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	14.6%	第4位	住まいの広さや設備内容	15.0%

※回答者数は、全体=579、一人暮らし(単身世帯)=227、夫婦のみ=50、二世世代世帯=260、その他=40である。

4) 家族形態別

家族形態別でみると、「子育て」が「就学前の乳幼児がいる世帯」、「65歳以上の方がいる世帯」で1位、「小・中学生がいる世帯」で3位であり、「進学・卒業」が「小・中学生がいる世帯」で1位、「65歳以上の方がいる世帯」で3位である。また、「転勤」が、「就学前の乳幼児がいる世帯」、「小・中学生がいる世帯」で2位に選択されている。

図表 19 引越しのきっかけとなった理由（家族形態別・MA）

(参考)全体		
第1位	転勤	21.9%
第2位	住まいの広さや設備内容	19.7%
第3位	子育て	15.5%
第3位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	15.5%
第5位	同居・ルームシェア	12.6%

就学前の乳幼児がいる世帯		
第1位	子育て	50.0%
第2位	転勤	36.0%
第3位	住まいの広さや設備内容	25.3%
第4位	出産	24.0%
第5位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	10.0%

小・中学生がいる世帯		
第1位	進学・卒業	35.3%
第2位	転勤	30.9%
第3位	子育て	26.5%
第4位	住まいの広さや設備内容	20.6%
第5位	その他	14.7%

65歳以上の方がいる世帯		
第1位	子育て	26.1%
第1位	同居・ルームシェア	26.1%
第3位	進学・卒業	21.7%
第4位	離婚	17.4%
第4位	住まいの広さや設備内容	17.4%

※回答者数は、(参考)全体=579、就学前の乳幼児がいる世帯=150、小・中学生がいる世帯=68、65歳以上の方がいる世帯=23である。

5) 引越し前の居住地域別

引越し前の居住地域別でみると、「生活環境上の理由(買い物の利便性など)」が「近隣3県(千葉県、埼玉県、神奈川県)」で1位、「東京都内」、「その他の地域」でも4位に選択されている。また、「転勤」が「その他の地域」、「近隣3県(千葉県、埼玉県、神奈川県)」で、「住まいの広さや設備内容」が「東京都内」、「近隣3県(千葉県、埼玉県、神奈川県)」でそれぞれ5位以内に選択されている。

図表 20 引越しのきっかけとなった理由（引越し前の居住地域別・MA）

合計		
第1位	転勤	21.9%
第2位	住まいの広さや設備内容	19.7%
第3位	子育て	15.5%
第3位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	15.5%
第5位	同居・ルームシェア	12.6%

東京都内		
第1位	住まいの広さや設備内容	27.9%
第2位	子育て	22.1%
第3位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	20.1%
第4位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	17.1%
第5位	同居・ルームシェア	15.4%

近隣3県(千葉県、埼玉県、神奈川県)		
第1位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	21.2%
第2位	家族や親族からの独立	20.4%
第3位	同居・ルームシェア	18.6%
第4位	転勤	17.7%
第5位	住まいの広さや設備内容	15.9%

その他の地域		
第1位	転勤	58.3%
第2位	転職	21.8%
第3位	就職	16.7%
第4位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	9.0%
第5位	子育て	7.1%

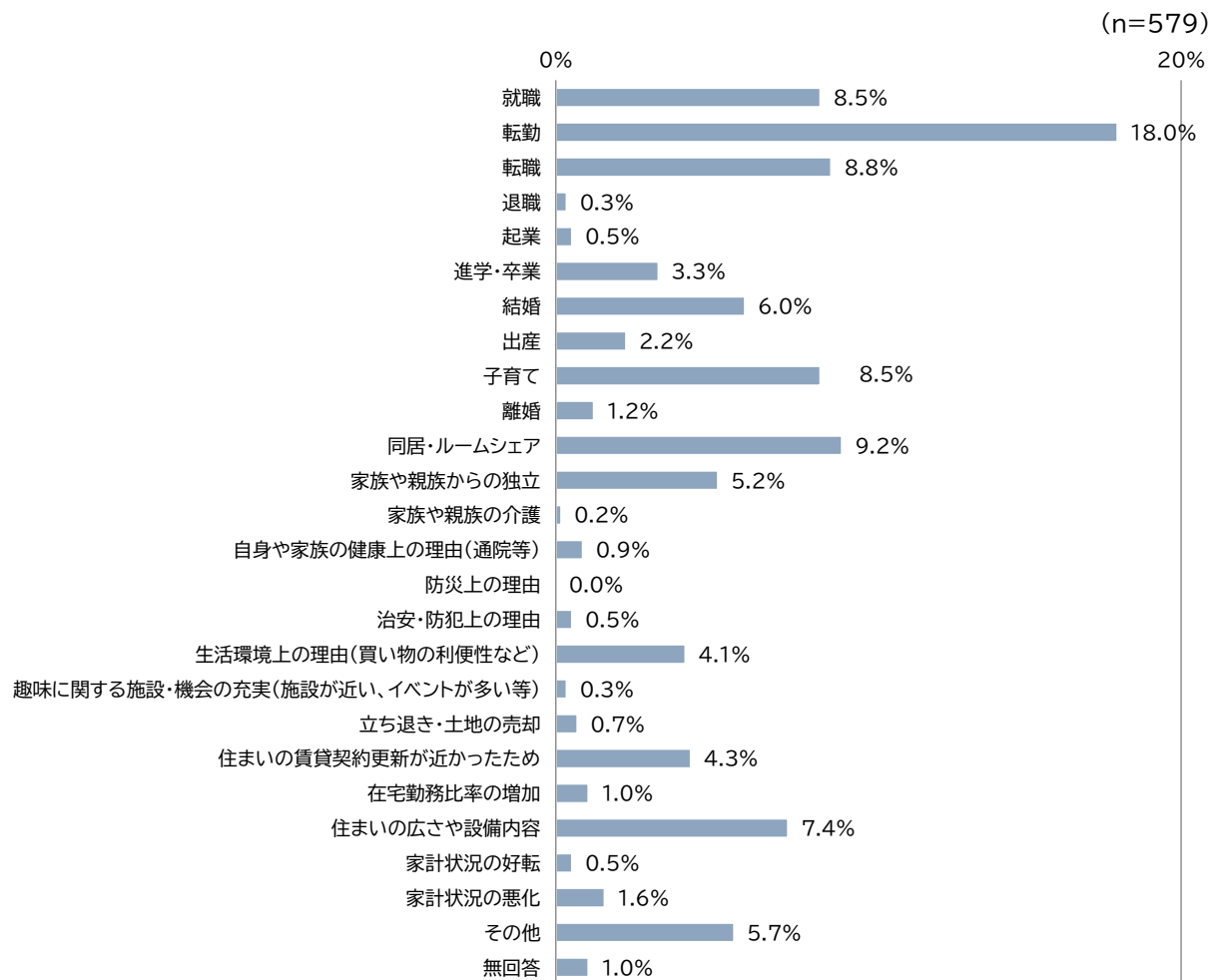
※回答者数は、全体=579、東京都内=298、近隣3県(千葉県、埼玉県、神奈川県)=113、その他の地域=156である。

② 最も重要と考える引越しのきっかけ

1) 全体

最も重要と考える引越しのきっかけとして、選択されている割合は、「転勤（18.0%）」、「同居・ルームシェア（9.2%）」、「転職（8.8%）」の順に高い。

図表 21 最も重要と考える引越しのきっかけ（SA）



2) 年齢別

年齢別でみると、「転勤」が「10代、20代」を除いて1位、「10代、20代」で3位であり、「子育て」が「30代」、「40代」で2位である。また、「同居・ルームシェア」が「10代、20代」で2位、「30代」で3位である。

図表 22 最も重要と考える引越しのきっかけ（年齢別・SA）

合計		
第1位	転勤	18.0%
第2位	同居・ルームシェア	9.2%
第3位	転職	8.8%
第4位	就職	8.5%
第4位	子育て	8.5%

10代、20代		
第1位	就職	21.4%
第2位	同居・ルームシェア	12.9%
第3位	転勤	12.4%
第4位	転職	11.0%
第5位	家族や親族からの独立	7.1%

30代		
第1位	転勤	23.3%
第2位	子育て	13.7%
第3位	同居・ルームシェア	9.7%
第4位	住まいの広さや設備内容	7.5%
第5位	転職	7.0%
第5位	結婚	7.0%

40代		
第1位	転勤	17.4%
第2位	子育て	12.8%
第3位	転職	11.6%
第4位	住まいの広さや設備内容	10.5%
第4位	その他	10.5%

50代以上		
第1位	転勤	18.2%
第1位	その他	18.2%
第3位	住まいの広さや設備内容	12.7%
第4位	結婚	7.3%
第5位	進学・卒業	5.5%
第5位	家族や親族からの独立	5.5%
第5位	生活環境上の理由(買い物利便性など)	5.5%
第5位	家計状況の悪化	5.5%

※回答者数は、全体=579、20代=210、30代=227、40代=86、50代以上=55である。

3) 引越し前の世帯構成別

引越し前の世帯構成別でみると、「転勤」が「夫婦のみ」、「二世帯世帯」で1位、「一人暮らし（単身世帯）」、「その他」で2位であり、「同居・ルームシェア」が「一人暮らし（単身世帯）」、「その他」で1位である。また、「子育て」が「夫婦のみ」、「二世帯世帯」で2位、「就職」が「その他」で2位、「二世帯世帯」で3位である。

図表 23 最も重要と考える引越しのきっかけ（引越し前の世帯構成別・SA）

合計		
第1位	転勤	18.0%
第2位	同居・ルームシェア	9.2%
第3位	転職	8.8%
第4位	就職	8.5%
第4位	子育て	8.5%

一人暮らし(単身世帯)		
第1位	同居・ルームシェア	16.3%
第2位	転勤	14.5%
第3位	転職	13.7%
第4位	結婚	8.8%
第5位	就職	7.9%
第5位	住まいの広さや設備内容	7.9%

夫婦のみ		
第1位	転勤	24.0%
第2位	子育て	20.0%
第3位	出産	12.0%
第4位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	10.0%
第5位	離婚	6.0%
第5位	その他	6.0%

二世帯世帯		
第1位	転勤	20.4%
第2位	子育て	14.2%
第3位	就職	9.6%
第3位	家族や親族からの独立	9.6%
第5位	その他	7.3%

その他		
第1位	同居・ルームシェア	17.5%
第2位	就職	15.0%
第2位	転勤	15.0%
第4位	住まいの広さや設備内容	12.5%
第5位	家族や親族からの独立	10.0%

※回答者数は、全体=579、一人暮らし(単身世帯)=227、夫婦のみ=50、二世帯世帯=260、その他=40である。

4) 家族形態別

家族形態別でみると、「転勤」が「65歳以上の方がいる世帯」を除いて1位であり、「進学・卒業」が「65歳以上の方がいる世帯」で1位、「小・中学生がいる世帯」で2位である。

図表 24 最も重要と考える引越しのきっかけ（家族形態別・SA）

(参考)全体		
第1位	転勤	18.0%
第2位	同居・ルームシェア	9.2%
第3位	転職	8.8%
第4位	就職	8.5%
第4位	子育て	8.5%

就学前の乳幼児がいる世帯		
第1位	転勤	30.7%
第2位	子育て	26.7%
第3位	住まいの広さや設備内容	10.0%
第4位	出産	8.0%
第5位	その他	4.7%

小・中学生がいる世帯		
第1位	転勤	25.0%
第2位	進学・卒業	19.1%
第3位	その他	13.2%
第4位	子育て	11.8%
第4位	住まいの広さや設備内容	11.8%

65歳以上の方がいる世帯		
第1位	進学・卒業	13.0%
第1位	同居・ルームシェア	13.0%
第1位	その他	13.0%
第4位	子育て	8.7%
第4位	離婚	8.7%
第4位	住まいの広さや設備内容	8.7%

※回答者数は、(参考)全体=579、就学前の乳幼児がいる世帯=150、小・中学生がいる世帯=68、65歳以上の方がいる世帯=23である。

5) 引越し前の居住地域別

引越し前の居住地域別でみると、「転勤」が「東京都内」を除いて1位であり、「同居・ルームシェア」が「近隣3県(千葉県、埼玉県、神奈川県)」で1位、「東京都内」で2位である。「子育て」が「東京都内」で1位であるが、他の地域では5位以内には挙げられていない。

図表 25 最も重要と考える引越しのきっかけ（引越し前の居住地域別・SA）

合計		
第1位	転勤	18.0%
第2位	同居・ルームシェア	9.2%
第3位	転職	8.8%
第4位	就職	8.5%
第4位	子育て	8.5%

東京都内		
第1位	子育て	13.4%
第2位	同居・ルームシェア	11.4%
第2位	住まいの広さや設備内容	11.4%
第4位	その他	8.7%
第5位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	8.1%

近隣3県(千葉県、埼玉県、神奈川県)		
第1位	転勤	14.2%
第1位	同居・ルームシェア	14.2%
第1位	家族や親族からの独立	14.2%
第4位	就職	12.4%
第5位	転職	10.6%

その他の地域		
第1位	転勤	51.3%
第2位	転職	17.9%
第3位	就職	12.8%
第4位	結婚	3.2%
第5位	進学・卒業	2.6%
第5位	生活環境上の理由(買い物利便性など)	2.6%

※回答者数は、全体=579、東京都内=298、近隣3県(千葉県、埼玉県、神奈川県)=113、その他の地域=156である。

③ 引越し先を選んだ理由（回答の選択割合）

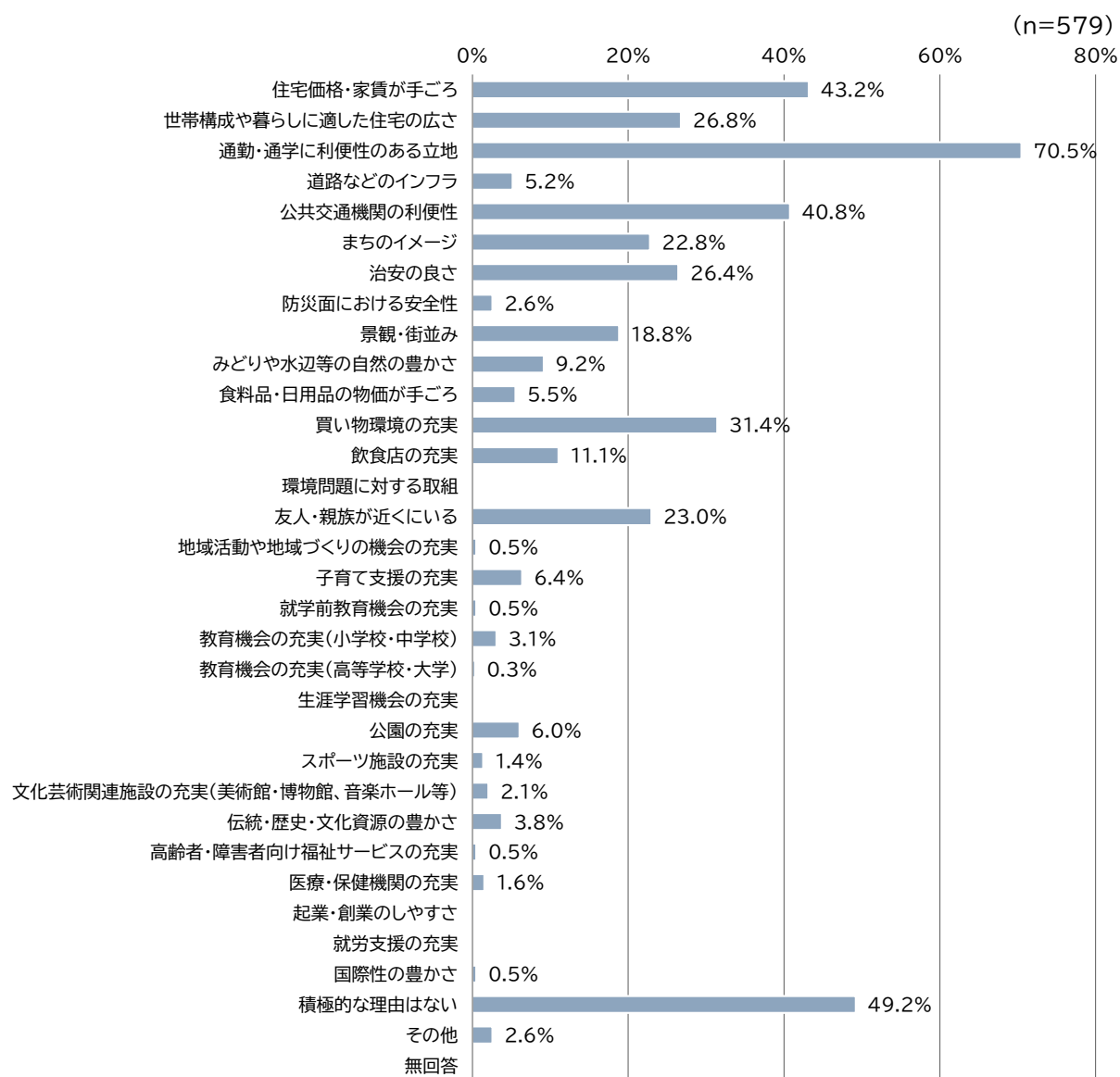
引越し先を選んだ理由について、1～5位に挙げられているものすべてを合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

引越し先を選んだ理由として選択されている割合は、「積極的な理由はない」を除いて、「通勤・通学に利便性のある立地（70.5%）」、「住宅価格・家賃が手ごろ（43.2%）」、「公共交通機関の利便性（40.8%）」の順に高い。

その他の回答として、「仕事の都合」、「墨田区や近隣区で育ったから」等が挙げられた。

図表 26 引越し先を選んだ理由（回答の選択割合・MA）



2) 年齢別

年齢別でみると、「積極的な理由はない」を除いて、すべての年齢において「通勤・通学に利便性のある立地」が1位であり、「公共交通機関の利便性」が3位である。また、「住宅価格・家賃が手ごろ」が「40代」を除いて2位、「40代」で4位に選択されている。

図表 27 引越し先を選んだ理由（年齢別・MA）

合計		
第1位	通勤・通学に利便性のある立地	70.5%
第2位	積極的な理由はない	49.2%
第3位	住宅価格・家賃が手ごろ	43.2%
第4位	公共交通機関の利便性	40.8%
第5位	買い物環境の充実	31.4%

10代、20代			30代		
第1位	通勤・通学に利便性のある立地	77.6%	第1位	通勤・通学に利便性のある立地	68.3%
第2位	積極的な理由はない	48.1%	第2位	積極的な理由はない	47.1%
第3位	住宅価格・家賃が手ごろ	46.7%	第3位	住宅価格・家賃が手ごろ	42.3%
第4位	公共交通機関の利便性	43.3%	第4位	公共交通機関の利便性	41.4%
第5位	買い物環境の充実	35.7%	第5位	買い物環境の充実	33.0%

40代			50代以上		
第1位	通勤・通学に利便性のある立地	62.8%	第1位	通勤・通学に利便性のある立地	63.6%
第2位	積極的な理由はない	55.8%	第2位	積極的な理由はない	50.9%
第3位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	37.2%	第3位	住宅価格・家賃が手ごろ	47.3%
第4位	公共交通機関の利便性	36.0%	第4位	公共交通機関の利便性	36.4%
第5位	住宅価格・家賃が手ごろ	33.7%	第5位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	34.5%

※回答者数は、全体=579、20代=210、30代=227、40代=86、50代以上=55である。

3) 引越し後の世帯構成別

引越し後の世帯構成別でみると、「積極的な理由はない」を除いて、「通勤・通学に利便性のある立地」がすべての世帯構成別において1位、「住宅価格・家賃が手ごろ」が「一人暮らし（単身世帯）」、「夫婦のみ」で2位、「二世帯世帯」で3位、「その他」で4位である。また、「公共交通機関の利便性」が「その他」で2位、「一人暮らし（単身世帯）」、「夫婦のみ」で3位である。

図表 28 引越し先を選んだ理由（引越し後の世帯構成別・MA）

合計		
第1位	通勤・通学に利便性のある立地	70.5%
第2位	積極的な理由はない	49.2%
第3位	住宅価格・家賃が手ごろ	43.2%
第4位	公共交通機関の利便性	40.8%
第5位	買い物環境の充実	31.4%

一人暮らし(単身世帯)			夫婦のみ		
第1位	通勤・通学に利便性のある立地	72.3%	第1位	通勤・通学に利便性のある立地	75.4%
第2位	住宅価格・家賃が手ごろ	49.0%	第2位	住宅価格・家賃が手ごろ	50.9%
第3位	積極的な理由はない	48.6%	第3位	公共交通機関の利便性	43.9%
第4位	公共交通機関の利便性	45.0%	第4位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	40.4%
第5位	買い物環境の充実	36.1%	第5位	治安の良さ	38.6%

二世帯世帯			その他		
第1位	通勤・通学に利便性のある立地	67.3%	第1位	通勤・通学に利便性のある立地	68.8%
第2位	積極的な理由はない	55.1%	第2位	公共交通機関の利便性	53.1%
第3位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	38.0%	第3位	買い物環境の充実	43.8%
第4位	住宅価格・家賃が手ごろ	36.1%	第4位	積極的な理由はない	42.2%
第5位	友人・親族が近くにいる	32.2%	第5位	住宅価格・家賃が手ごろ	37.5%

※回答者数は、全体=579、一人暮らし(単身世帯)=249、夫婦のみ=57、二世帯世帯=205、その他=64である。

4) 家族形態別

家族形態別でみると、「積極的な理由はない」を除いて、「通勤・通学に利便性のある立地」が「就学前の乳幼児がいる世帯」、「小・中学生がいる世帯」で1位、「65歳以上の方がいる世帯」で2位であり、「友人・親族が近くにいる」が「65歳以上の方がいる世帯」で1位、「就学前の乳幼児がいる世帯」で2位、「小・中学生がいる世帯」で4位である。また、「世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ」が「小・中学生がいる世帯」で2位、「就学前の乳幼児がいる世帯」、「65歳以上の方がいる世帯」で3位に選択されている。

図表 29 引越し先を選んだ理由（家族形態別・MA）

(参考)全体

第1位	通勤・通学に利便性のある立地	70.5%
第2位	積極的な理由はない	49.2%
第3位	住宅価格・家賃が手ごろ	43.2%
第4位	公共交通機関の利便性	40.8%
第5位	買い物環境の充実	31.4%

就学前の乳幼児がいる世帯

第1位	通勤・通学に利便性のある立地	64.0%
第2位	積極的な理由はない	54.7%
第3位	友人・親族が近くにいる	36.7%
第4位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	36.0%
第5位	住宅価格・家賃が手ごろ	32.0%
第5位	公共交通機関の利便性	32.0%

小・中学生がいる世帯

第1位	通勤・通学に利便性のある立地	70.6%
第2位	積極的な理由はない	61.8%
第3位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	36.8%
第4位	公共交通機関の利便性	33.8%
第5位	友人・親族が近くにいる	30.9%

65歳以上の方がいる世帯

第1位	積極的な理由はない	65.2%
第2位	友人・親族が近くにいる	56.5%
第3位	通勤・通学に利便性のある立地	34.8%
第4位	住宅価格・家賃が手ごろ	30.4%
第4位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	30.4%

※回答者数は、(参考)全体=579、就学前の乳幼児がいる世帯=150、小・中学生がいる世帯=68、65歳以上の方がいる世帯=23である。

5) 墨田区での居住地域別

墨田区での居住地域別でみると、「積極的な理由はない」を除いて、「通勤・通学に利便性のある立地」が「堤通・墨田・八広地域」、「東墨田・立花・文花地域」を除いて1位、「堤通・墨田・八広地域」、「東墨田・立花・文花地域」で2位であり、「住宅価格・家賃が手ごろ」が「堤通・墨田・八広地域」、「東墨田・立花・文花地域」で1位、「吾妻橋・本所・両国地域」で3位である。また、「公共交通機関の利便性」が「吾妻橋・本所・両国地域」、「緑・立川・菊川地域」、「向島・京島・押上地域」で2位、「業平・錦糸・江東橋地域」で3位に選択されている。

図表 30 引越し先を選んだ理由（墨田区での居住地域別・MA）

合計		
第1位	通勤・通学に利便性のある立地	70.5%
第2位	積極的な理由はない	49.2%
第3位	住宅価格・家賃が手ごろ	43.2%
第4位	公共交通機関の利便性	40.8%
第5位	買い物環境の充実	31.4%

堤通・墨田・八広地域		
第1位	住宅価格・家賃が手ごろ	63.4%
第2位	通勤・通学に利便性のある立地	60.2%
第3位	積極的な理由はない	54.8%
第4位	買い物環境の充実	35.5%
第5位	公共交通機関の利便性	33.3%

東墨田・立花・文花地域		
第1位	積極的な理由はない	65.4%
第2位	住宅価格・家賃が手ごろ	53.8%
第3位	通勤・通学に利便性のある立地	51.9%
第4位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	44.2%
第5位	公共交通機関の利便性	25.0%

業平・錦糸・江東橋地域		
第1位	通勤・通学に利便性のある立地	80.0%
第2位	積極的な理由はない	52.3%
第3位	買い物環境の充実	50.8%
第4位	公共交通機関の利便性	49.2%
第5位	住宅価格・家賃が手ごろ	40.0%

向島・京島・押上地域		
第1位	通勤・通学に利便性のある立地	68.8%
第2位	積極的な理由はない	45.9%
第3位	公共交通機関の利便性	40.4%
第4位	買い物環境の充実	33.9%
第5位	まちのイメージ	33.0%

吾妻橋・本所・両国地域		
第1位	通勤・通学に利便性のある立地	74.5%
第2位	公共交通機関の利便性	45.5%
第3位	積極的な理由はない	42.8%
第4位	住宅価格・家賃が手ごろ	38.6%
第5位	治安の良さ	35.9%

緑・立川・菊川地域		
第1位	通勤・通学に利便性のある立地	79.1%
第2位	公共交通機関の利便性	45.5%
第2位	積極的な理由はない	45.5%
第4位	買い物環境の充実	40.0%
第5位	住宅価格・家賃が手ごろ	39.1%

※回答者数は、全体=579、堤通・墨田・八広地域=93、向島・京島・押上地域=109、東墨田・立花・文花地域=52、吾妻橋・本所・両国地域=145、業平・錦糸・江東橋地域=65、緑・立川・菊川地域=110である。

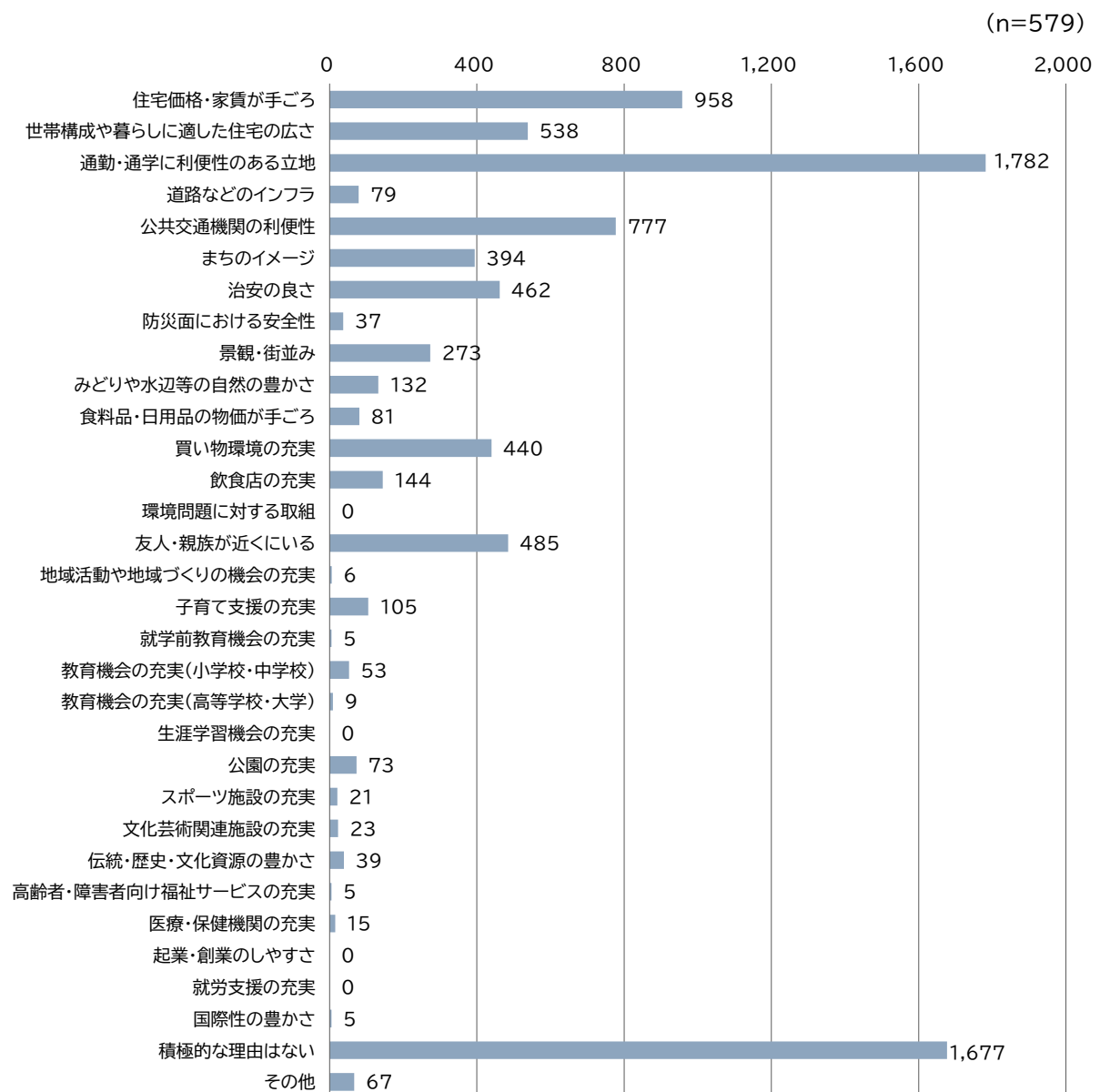
④ 引越し先を選んだ理由（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

引越し先を選んだ理由を点数化した結果は、「積極的な理由はない」を除いて、「通勤・通学に利便性のある立地(1,782)」、「住宅価格・家賃が手ごろ(958)」、「公共交通機関の利便性(777)」の順に高い。

図表 31 引越し先を選んだ理由（回答の点数化）



<引越し前の自治体の満足点・不満足点と墨田区の満足点・不満足点 小まとめ>

- ◆ 引越し前の自治体の満足点は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（44.9%）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（43.5%）」、「商業・商店街（35.2%）」、「まちなみ（29.5%）」、「水とみどり（23.8%）」の順に高い。（p.23 図表 32）
- ◆ 一方で、墨田区の満足点は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（57.9%）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（46.1%）」、「商業・商店街（34.7%）」、「まちなみ（28.5%）」、「観光（25.9%）」の順に高く、特に「交通」については、引越し前の自治体の満足点に比べ 13.0 ポイント高い。また、居住地域別にみると業平・錦糸・江東橋地域では「交通」の割合が特に高い。（p.31 図表 41、p.34 図表 45）
- ◆ 引越し前の自治体の不満足点は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（23.7%）」、「商業・商店街（14.5%）」、「防犯（13.3%）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（10.2%）」、「まちなみ（8.3%）」の順に高い。（p.27 図表 36）
- ◆ 一方で、墨田区への不満足点は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「商業・商店街（16.4%）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（11.7%）」、「防犯（11.1%）」、「子ども・若者支援（10.7%）」、「防災（10.2%）」の順に高く、「子ども・若者支援」については、引越し前の自治体の不満足点では 4.3%であり、墨田区の不満足点は 6.4%高い。（p.36 図表 47）

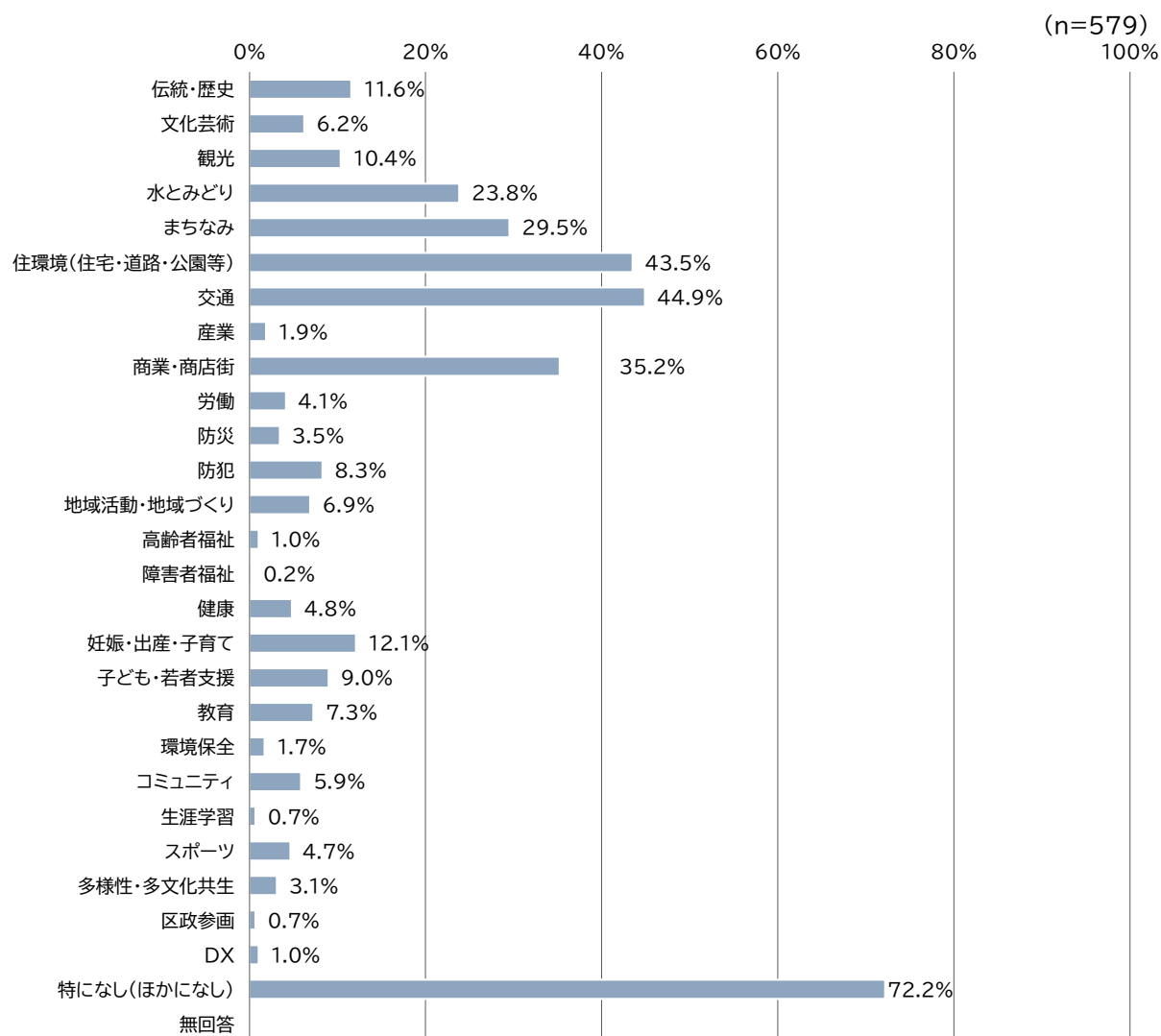
⑤ 引越し前の自治体の満足点（回答の選択割合）

引越し先を選んだ理由について、1～5位に挙げられているものすべてを合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

引越し前の自治体の満足点として、選択されている割合は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（44.9%）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（43.5%）」、「商業・商店街（35.2%）」、「まちなみ（29.5%）」、「水とみどり（23.8%）」の順に高い。

図表 32 引越し前の自治体の満足点（回答の選択割合・MA）



2) 年齢別

年齢別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通」が「10代、20代」、「40代」で1位、「30代」、「50代以上」で2位であり、「住環境（住宅・道路・公園等）」が「30代」、「50代以上」で1位、「10代、20代」、「40代」で2位である。また、「商業・商店街」が「50代以上」で2位、「50代以上」を除く全ての年齢で3位である。

合計		
第1位	特になし(ほかになし)	72.2%
第2位	交通	44.9%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	43.5%
第4位	商業・商店街	35.2%
第5位	まちなみ	29.5%

10代、20代		
第1位	特になし(ほかになし)	75.7%
第2位	交通	42.4%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	40.0%
第4位	商業・商店街	34.3%
第5位	まちなみ	31.0%

30代		
第1位	特になし(ほかになし)	73.1%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	44.5%
第3位	交通	43.2%
第4位	商業・商店街	33.0%
第5位	まちなみ	28.6%

40代		
第1位	特になし(ほかになし)	66.3%
第2位	交通	53.5%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	41.9%
第4位	商業・商店街	34.9%
第5位	まちなみ	30.2%

50代以上		
第1位	特になし(ほかになし)	63.6%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	56.4%
第3位	交通	49.1%
第4位	商業・商店街	49.1%
第5位	水とみどり	38.2%

※回答者数は、全体=579、20代=210、30代=227、40代=86、50代以上=55である。

3) 引越し前の世帯構成別

引越し前の世帯構成別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通」が「二世帯世帯」を除いて1位、「二世帯世帯」で2位であり、「住環境（住宅・道路・公園等）」が「二世帯世帯」、「夫婦のみ」で1位、「その他」で2位、「一人暮らし（単身世帯）」で3位である。また、「商業・商店街」が「一人暮らし（単身世帯）」で2位、「夫婦のみ」、「その他」で3位であり、「まちなみ」が「二世帯世帯」、「その他」で3位である。

図表 33 引越し前の自治体の満足点（引越し前の世帯構成別・MA）

合計		
第1位	特になし(ほかになし)	72.2%
第2位	交通	44.9%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	43.5%
第4位	商業・商店街	35.2%
第5位	まちなみ	29.5%

一人暮らし(単身世帯)		
第1位	特になし(ほかになし)	77.1%
第2位	交通	51.5%
第3位	商業・商店街	44.9%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	41.0%
第5位	まちなみ	30.4%

夫婦のみ		
第1位	特になし(ほかになし)	76.0%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	46.0%
第3位	交通	46.0%
第4位	商業・商店街	34.0%
第5位	水とみどり	26.0%

二世帯世帯		
第1位	特になし(ほかになし)	68.1%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	45.8%
第3位	交通	39.2%
第4位	まちなみ	29.6%
第5位	水とみどり	27.7%
第5位	商業・商店街	27.7%

その他		
第1位	特になし(ほかになし)	65.0%
第2位	交通	40.0%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	37.5%
第4位	まちなみ	30.0%
第4位	商業・商店街	30.0%

※回答者数は、全体=579、一人暮らし(単身世帯)=227、夫婦のみ=50、二世帯世帯=260、その他=40である。

4) 家族形態別

家族形態別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「住環境(住宅・道路・公園等)」が「小・中学生がいる世帯」を除いて1位、「小・中学生がいる世帯」で2位であり、「交通」が「小・中学生がいる世帯」で1位、「就学前の乳幼児がいる世帯」、「65歳以上の方がいる世帯」で2位である。

図表 34 引越し前の自治体の満足点(家族形態別・MA)

(参考)全体

第1位	特になし(ほかになし)	72.2%
第2位	交通	44.9%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	43.5%
第4位	商業・商店街	35.2%
第5位	まちなみ	29.5%

就学前の乳幼児がいる世帯

第1位	特になし(ほかになし)	69.3%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	50.0%
第3位	交通	38.7%
第4位	妊娠・出産・子育て	32.7%
第5位	商業・商店街	29.3%

小・中学生がいる世帯

第1位	特になし(ほかになし)	57.4%
第2位	交通	48.5%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	47.1%
第4位	教育	30.9%
第5位	まちなみ	29.4%
第5位	商業・商店街	29.4%

65歳以上の方がいる世帯

第1位	特になし(ほかになし)	60.9%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	43.5%
第3位	交通	34.8%
第3位	商業・商店街	34.8%
第5位	水とみどり	26.1%
第5位	妊娠・出産・子育て	26.1%

※回答者数は、(参考)全体=579、就学前の乳幼児がいる世帯=150、小・中学生がいる世帯=68、65歳以上の方がいる世帯=23である。

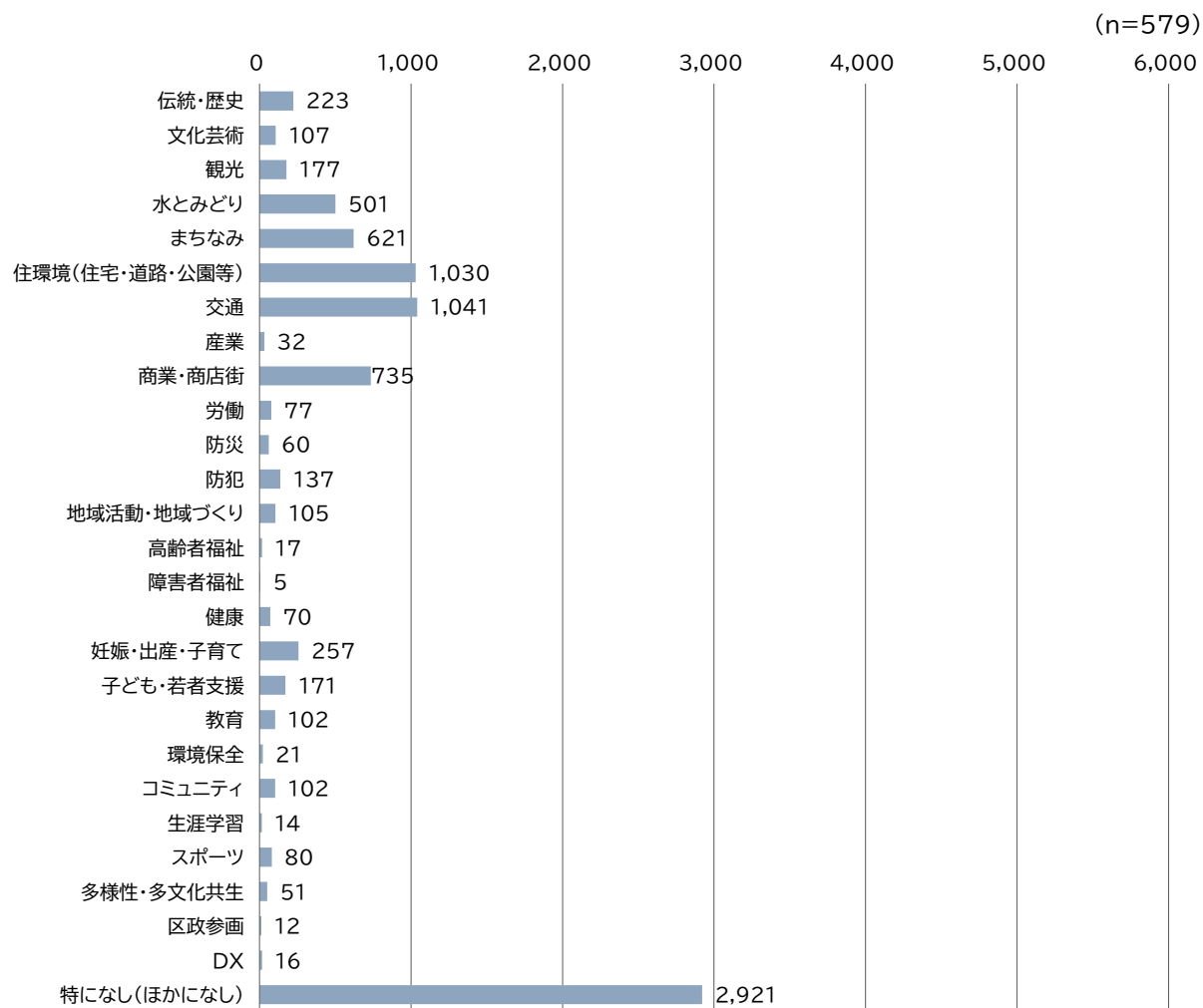
⑥ 引越し前の自治体の満足点（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

引越し前の自治体の満足点を点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（1,041）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（1,030）」、「商業・商店街（735）」、「まちなみ（621）」、「水とみどり（501）」の順に高い。

図表 35 引越し前の自治体の満足点（回答の点数化）



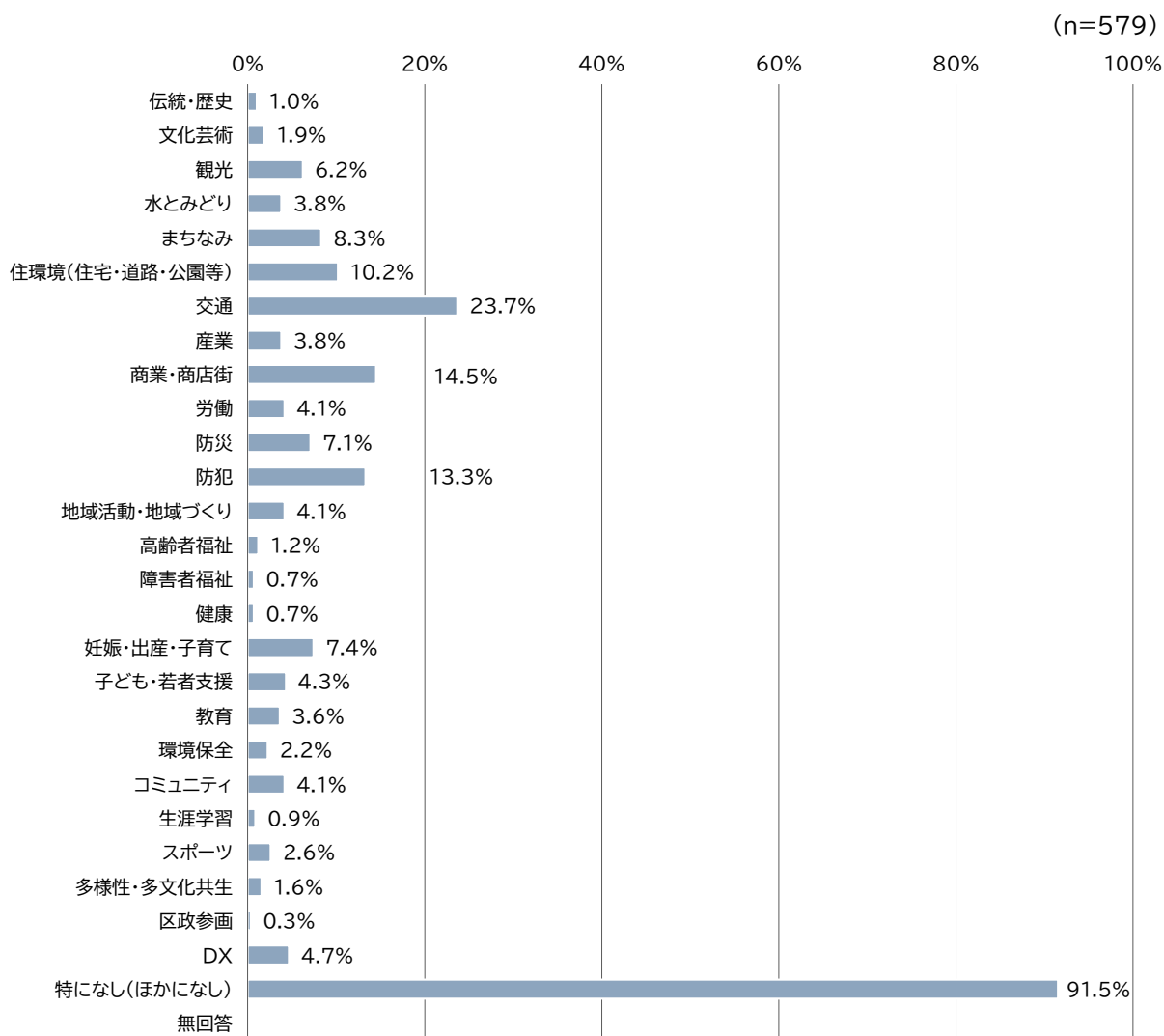
⑦ 引越し前の自治体の不満足点（回答の選択割合）

引越し先を選んだ理由について、1～5位に挙げられているものすべてを合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

引越し前の自治体の不満足点として、選択されている割合は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（23.7%）」、「商業・商店街（14.5%）」、「防犯（13.3%）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（10.2%）」、「まちなみ（8.3%）」の順に高い。

図表 36 引越し前の自治体の不満足点（回答の選択割合・MA）



2) 年齢別

年齢別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通」が「50代以上」を除いて1位、「50代以上」が3位であり、「商業・商店街」が「40代」、「50代以上」で1位、「10代、20代」で2位、「30代」で3位である。また、「防犯」が「50代以上」で1位、「30代」で2位、「10代、20代」で3位である。

図表 37 引越し前の自治体の不満足点（年齢別・MA）

合計		
第1位	特になし(ほかになし)	91.5%
第2位	交通	23.7%
第3位	商業・商店街	14.5%
第4位	防犯	13.3%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	10.2%

10代、20代			30代		
第1位	特になし(ほかになし)	90.5%	第1位	特になし(ほかになし)	91.6%
第2位	交通	31.0%	第2位	交通	22.9%
第3位	商業・商店街	16.7%	第3位	防犯	15.0%
第4位	防犯	12.4%	第4位	商業・商店街	12.3%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	10.5%	第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	11.0%
			第5位	妊娠・出産・子育て	11.0%

40代			50代以上		
第1位	特になし(ほかになし)	93.0%	第1位	特になし(ほかになし)	92.7%
第2位	交通	12.8%	第2位	商業・商店街	18.2%
第2位	商業・商店街	12.8%	第2位	防犯	18.2%
第4位	まちなみ	9.3%	第4位	交通	16.4%
第5位	防犯	8.1%	第5位	防災	12.7%

※回答者数は、全体=579、20代=210、30代=227、40代=86、50代以上=55である。

3) 引越し前の世帯構成別

引越し前の世帯構成別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通」が「夫婦のみ」を除いて1位、「夫婦のみ」で3位であり、「商業・商店街」が「夫婦のみ」で1位、「二世帯世帯」、「その他」で2位である。また、「防犯」が「一人暮らし（単身世帯）」で2位、「二世帯世帯」で3位であり、また、「妊娠・出産・子育て」が「夫婦のみ」で2位、「二世帯世帯」で3位である。

図表 38 引越し前の自治体の不満足点（引越し前の世帯構成別・MA）

合計		
第1位	特になし(ほかになし)	91.5%
第2位	交通	23.7%
第3位	商業・商店街	14.5%
第4位	防犯	13.3%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	10.2%

一人暮らし(単身世帯)			夫婦のみ		
第1位	特になし(ほかになし)	94.3%	第1位	特になし(ほかになし)	86.0%
第2位	交通	20.7%	第2位	商業・商店街	20.0%
第3位	防犯	18.5%	第3位	妊娠・出産・子育て	18.0%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	11.5%	第4位	交通	16.0%
第5位	商業・商店街	11.0%	第5位	まちなみ	14.0%
			第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	14.0%

二世帯世帯			その他		
第1位	特になし(ほかになし)	91.9%	第1位	特になし(ほかになし)	80.0%
第2位	交通	25.8%	第2位	交通	37.5%
第3位	商業・商店街	14.6%	第3位	商業・商店街	27.5%
第4位	防犯	10.4%	第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	15.0%
第4位	妊娠・出産・子育て	10.4%	第4位	労働	15.0%

※回答者数は、全体=579、一人暮らし(単身世帯)=227、夫婦のみ=50、二世帯世帯=260、その他=40である。

4) 家族形態別

家族形態別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「交通」がすべての家族形態において1位であり、「商業・商店街」が「就学前の乳幼児がいる世帯」を除いて2位、「就学前の乳幼児がいる世帯」で3位である。

図表 39 引越し前の自治体の不満足点 (家族形態別・MA)

(参考)全体

第1位	特になし(ほかになし)	91.5%
第2位	交通	23.7%
第3位	商業・商店街	14.5%
第4位	防犯	13.3%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	10.2%

就学前の乳幼児がいる世帯

第1位	特になし(ほかになし)	90.0%
第2位	交通	21.3%
第3位	妊娠・出産・子育て	18.0%
第4位	商業・商店街	16.0%
第5位	防犯	11.3%

小・中学生がいる世帯

第1位	特になし(ほかになし)	94.1%
第2位	交通	13.2%
第3位	商業・商店街	11.8%
第4位	教育	10.3%
第5位	まちなみ	7.4%
	妊娠・出産・子育て	7.4%

65歳以上の方がいる世帯

第1位	特になし(ほかになし)	87.0%
第2位	交通	26.1%
第3位	産業	13.0%
第3位	商業・商店街	13.0%
第3位	防災	13.0%
第3位	防犯	13.0%

※回答者数は、(参考)全体=579、就学前の乳幼児がいる世帯=150、小・中学生がいる世帯=68、65歳以上の方がいる世帯=23である。

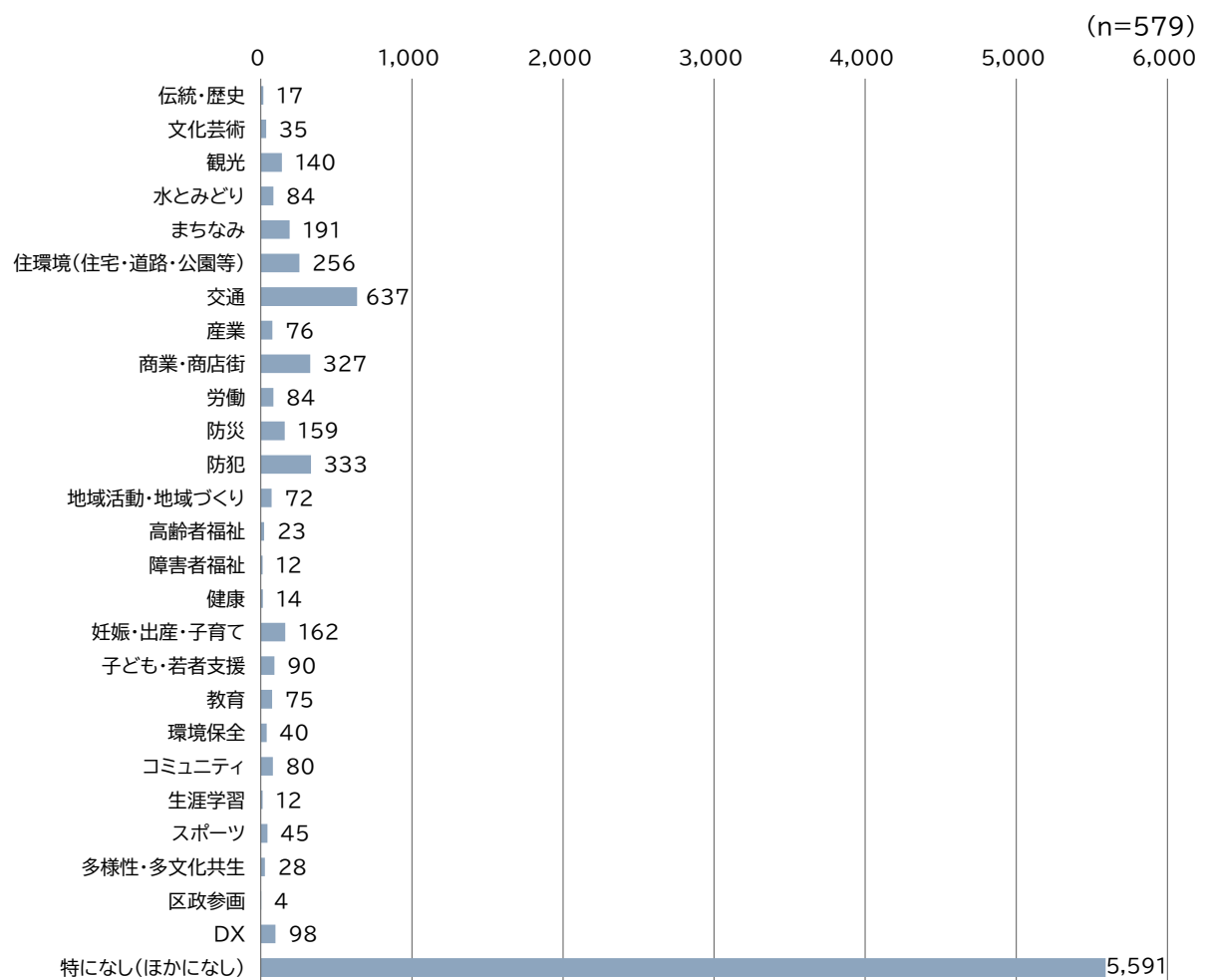
⑧ 引越し前の自治体の不満足点（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

引越し前の自治体の不満足点を点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（637）」、「防犯（333）」、「商業・商店街（327）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（256）」、「まちなみ（191）」の順に高い。

図表 40 引越し前の自治体の不満足点（回答の点数化）



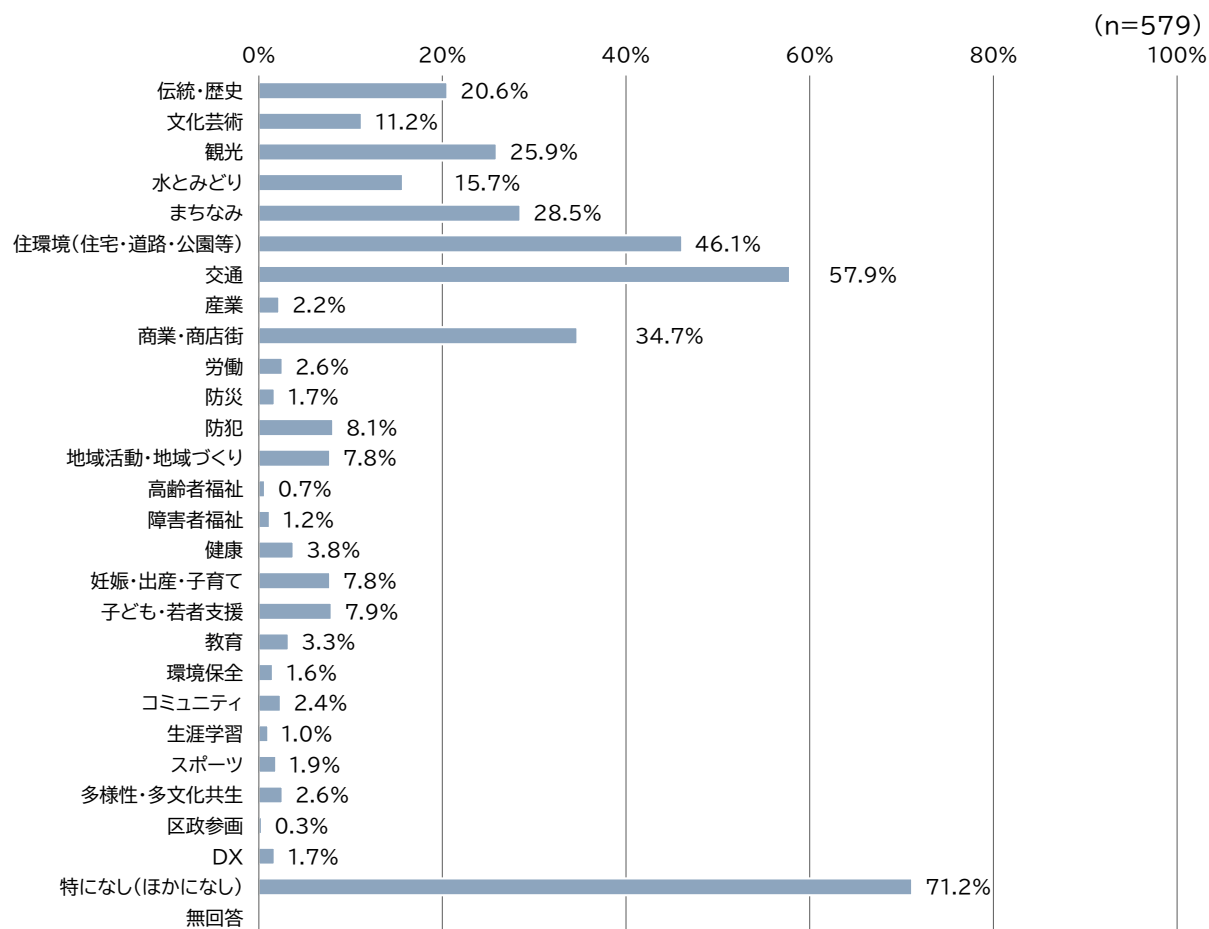
⑨ 引越し後の自治体（墨田区）の満足点（回答の選択割合）

引越し先を選んだ理由について、1～5位に挙げられているものすべてを合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

引越し後の自治体の満足点として、選択される割合は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（57.9%）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（46.1%）」、「商業・商店街（34.7%）」、「まちなみ（28.5%）」、「観光（25.9%）」の順に高い。

図表 41 引越し後の自治体(墨田区)の満足点（回答の選択割合・MA）



2) 年齢別

年齢別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、すべての年齢において「交通」が1位、「住環境(住宅・道路・公園等)」が2位である。また、「商業・商店街」が「50代以上」を除いて3位に選択されている。

図表 42 引越し後の自治体(墨田区)の満足点(年齢別・MA)

合計		
第1位	特になし(ほかになし)	71.2%
第2位	交通	57.9%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	46.1%
第4位	商業・商店街	34.7%
第5位	まちなみ	28.5%

10代、20代			30代		
第1位	特になし(ほかになし)	72.9%	第1位	特になし(ほかになし)	70.9%
第2位	交通	64.3%	第2位	交通	52.4%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	45.7%	第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	44.5%
第4位	商業・商店街	38.1%	第4位	商業・商店街	34.8%
第5位	まちなみ	33.3%	第5位	まちなみ	28.2%

40代			50代以上		
第1位	特になし(ほかになし)	68.6%	第1位	特になし(ほかになし)	69.1%
第2位	交通	58.1%	第2位	交通	56.4%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	48.8%	第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	50.9%
第4位	伝統・歴史	26.7%	第4位	伝統・歴史	38.2%
第5位	商業・商店街	26.7%	第5位	商業・商店街	34.5%

※回答者数は、全体=579、20代=210、30代=227、40代=86、50代以上=55である。

3) 引越し後の世帯構成別

引越し後の世帯構成別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「交通」がすべての世帯構成において1位、「住環境(住宅・道路・公園等)」が2位、「商業・商店街」が3位である。

図表 43 引越し後の自治体(墨田区)の満足点(引越し後の世帯構成別・MA)

合計		
第1位	特になし(ほかになし)	71.2%
第2位	交通	57.9%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	46.1%
第4位	商業・商店街	34.7%
第5位	まちなみ	28.5%

一人暮らし(単身世帯)			夫婦のみ		
第1位	特になし(ほかになし)	76.7%	第1位	特になし(ほかになし)	66.7%
第2位	交通	59.0%	第2位	交通	63.2%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	46.2%	第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	47.4%
第4位	商業・商店街	34.1%	第4位	商業・商店街	43.9%
第5位	まちなみ	32.1%	第5位	まちなみ	31.6%

二世帯世帯			その他		
第1位	特になし(ほかになし)	67.3%	第1位	交通	71.9%
第2位	交通	50.7%	第2位	特になし(ほかになし)	67.2%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	45.4%	第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	46.9%
第4位	商業・商店街	31.7%	第4位	商業・商店街	39.1%
第5位	観光	26.8%	第5位	観光	32.8%

※回答者数は、全体=579、一人暮らし(単身世帯)=249、夫婦のみ=57、二世帯世帯=205、その他=64である。

4) 家族形態別

家族形態別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「交通」がすべての家族形態において1位、「住環境(住宅・道路・公園等)」が2位、「商業・商店街」が3位である。

図表 44 引越し後の自治体(墨田区)の満足点(家族形態別・MA)

(参考)全体

第1位	特になし(ほかになし)	71.2%
第2位	交通	57.9%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	46.1%
第4位	商業・商店街	34.7%
第5位	まちなみ	28.5%

就学前の乳幼児がいる世帯

第1位	特になし(ほかになし)	69.3%
第2位	交通	50.7%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	44.0%
第4位	商業・商店街	32.0%
第5位	観光	26.0%

小・中学生がいる世帯

第1位	特になし(ほかになし)	67.6%
第2位	交通	50.0%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	45.6%
第4位	伝統・歴史	26.5%
第4位	商業・商店街	26.5%

65歳以上の方がいる世帯

第1位	特になし(ほかになし)	65.2%
第2位	交通	52.2%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	34.8%
第4位	商業・商店街	30.4%
第5位	伝統・歴史	17.4%
第5位	観光	17.4%
第5位	地域活動・地域づくり	17.4%
第5位	子ども・若者支援	17.4%

※回答者数は、(参考)全体=579、就学前の乳幼児がいる世帯=150、小・中学生がいる世帯=68、65歳以上の方がいる世帯=23である。

5) 墨田区での居住地域別

墨田区での居住地域別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通」が「東墨田・立花・文花地域」を除いて1位、「東墨田・立花・文花地域」で2位であり、「住環境（住宅・道路・公園等）」が「東墨田・立花・文花地域」で1位、「堤通・墨田・八広地域」、「向島・京島・押上地域」、「吾妻橋・本所・両国地域」、「緑・立川・菊川地域」で2位、「業平・錦糸・江東橋地域」で3位である。また、「商業・商店街」が「業平・錦糸・江東橋地域」で2位、「堤通・墨田・八広地域」、「向島・京島・押上地域」、「東墨田・立花・文花地域」、「緑・立川・菊川地域」で3位である。

図表 45 引越し後の自治体(墨田区)の満足点（墨田区での居住地域別・MA）

合計

第1位	特になし(ほかになし)	71.2%
第2位	交通	57.9%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	46.1%
第4位	商業・商店街	34.7%
第5位	まちなみ	28.5%

堤通・墨田・八広地域

第1位	特になし(ほかになし)	74.2%
第2位	交通	45.2%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	39.8%
第4位	商業・商店街	30.1%
第5位	観光	25.8%

向島・京島・押上地域

第1位	特になし(ほかになし)	71.6%
第2位	交通	60.6%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	49.5%
第4位	商業・商店街	40.4%
第5位	まちなみ	38.5%

東墨田・立花・文花地域

第1位	特になし(ほかになし)	71.2%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	46.2%
第3位	交通	36.5%
第4位	観光	30.8%
第4位	商業・商店街	30.8%

吾妻橋・本所・両国地域

第1位	特になし(ほかになし)	62.1%
第2位	交通	59.3%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	44.8%
第4位	まちなみ	35.9%
第5位	観光	33.8%

業平・錦糸・江東橋地域

第1位	交通	76.9%
第2位	特になし(ほかになし)	73.8%
第3位	商業・商店街	58.5%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	49.2%
第5位	まちなみ	23.1%

緑・立川・菊川地域

第1位	特になし(ほかになし)	77.3%
第2位	交通	62.7%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	50.0%
第4位	商業・商店街	38.2%
第5位	まちなみ	22.7%

※回答者数は、全体=579、堤通・墨田・八広地域=93、向島・京島・押上地域=109、東墨田・立花・文花地域=52、吾妻橋・本所・両国地域=145、業平・錦糸・江東橋地域=65、緑・立川・菊川地域=110である。

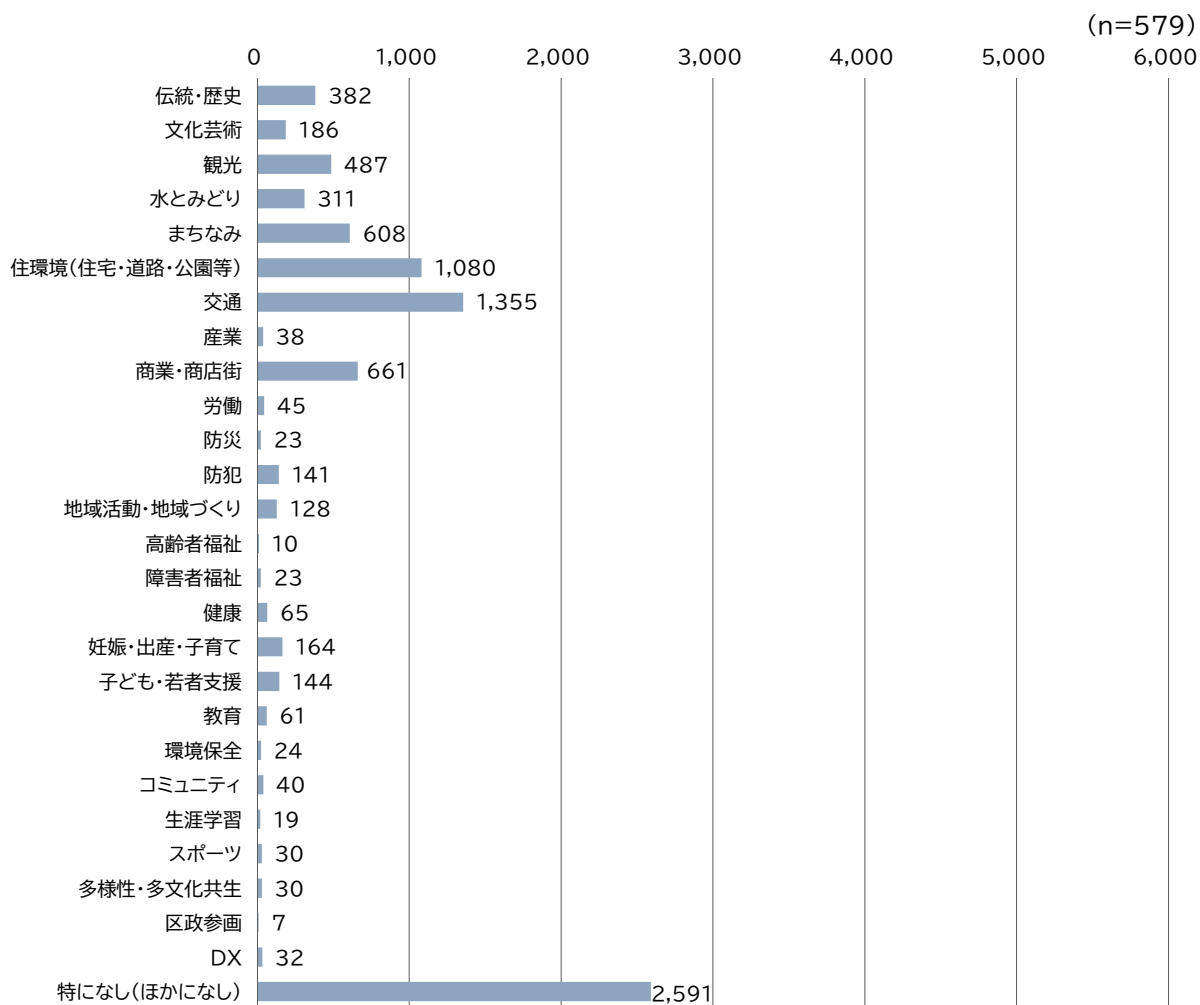
⑩ 引越し後の自治体（墨田区）の満足点（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

引越し後の自治体の満足点を点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（1,355）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（1,080）」、「商業・商店街（661）」、「まちなみ（608）」、「観光（487）」の順に高い。

図表 46 引越し後の自治体(墨田区)の満足点（回答の点数化）



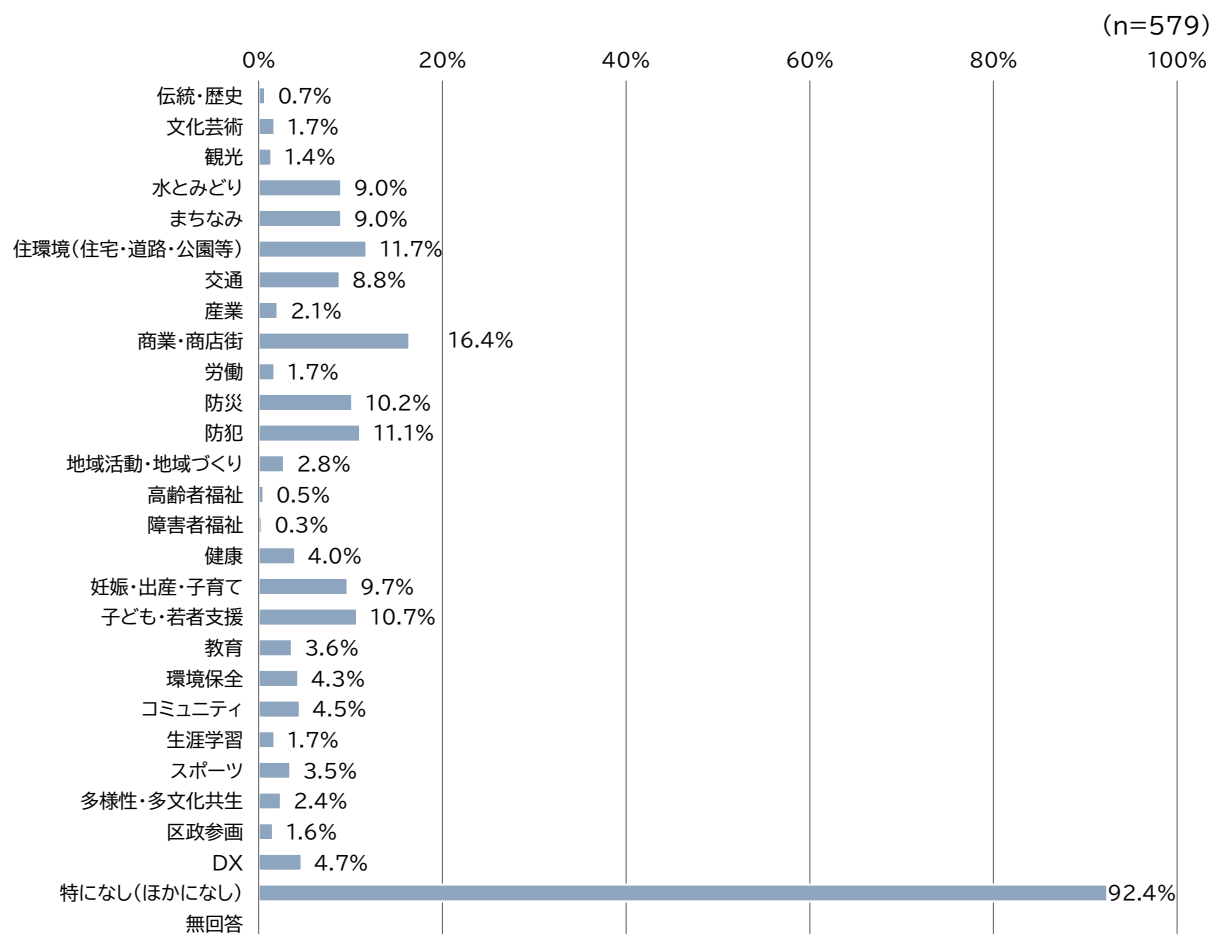
⑪ 引越し後の自治体（墨田区）の不満足点（回答の選択割合）

引越し先を選んだ理由について、1～5位に挙げられているものすべてを合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

引越し後の自治体の不満足点として、選択されている割合は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「商業・商店街（16.4%）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（11.7%）」、「防犯（11.1%）」、「子ども・若者支援（10.7%）」、「防災（10.2%）」の順に高い。

図表 47 引越し後の自治体(墨田区)の不満足点（回答の選択割合・MA）



2) 年齢別

年齢別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「商業・商店街」が「30代」を除いて1位であり、「住環境（住宅・道路・公園等）」が「10代、20代」、「30代」で2位である。また、「妊娠・出産・子育て」が「30代」で1位である。

図表 48 引越し後の自治体(墨田区)の不満足点（年齢別・MA）

合計		
第1位	特になし(ほかになし)	92.4%
第2位	商業・商店街	16.4%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	11.7%
第4位	防犯	11.1%
第5位	子ども・若者支援	10.7%

10代、20代			30代		
第1位	特になし(ほかになし)	92.4%	第1位	特になし(ほかになし)	92.5%
第2位	商業・商店街	16.7%	第2位	妊娠・出産・子育て	15.0%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	11.0%	第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	14.5%
第3位	防災	11.0%	第3位	子ども・若者支援	14.5%
第3位	防犯	11.0%	第5位	防犯	11.0%

40代			50代以上		
第1位	特になし(ほかになし)	90.7%	第1位	特になし(ほかになし)	94.5%
第2位	商業・商店街	20.9%	第2位	商業・商店街	32.7%
第3位	水とみどり	11.6%	第3位	まちなみ	23.6%
第4位	子ども・若者支援	10.5%	第4位	防犯	16.4%
第5位	まちなみ	9.3%	第5位	水とみどり	12.7%
第5位	防災	9.3%			

※回答者数は、全体=579、20代=210、30代=227、40代=86、50代以上=55である。

3) 引越し後の世帯構成別

引越し後の世帯構成別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「商業・商店街」が「二世帯世帯」を除いて1位であり、「子ども・若者支援」が「二世帯世帯」で1位、「その他」で2位である。また、「防犯」が「一人暮らし（単身世帯）」で2位、「二世帯世帯」で3位であり、「住環境（住宅・道路・公園等）」が「夫婦のみ」で2位、「一人暮らし（単身世帯）」で3位である。

図表 49 引越し後の自治体(墨田区)の不満足点（引越し後の世帯構成別・MA）

合計		
第1位	特になし(ほかになし)	92.4%
第2位	商業・商店街	16.4%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	11.7%
第4位	防犯	11.1%
第5位	子ども・若者支援	10.7%

一人暮らし(単身世帯)			夫婦のみ		
第1位	特になし(ほかになし)	94.4%	第1位	特になし(ほかになし)	89.5%
第2位	商業・商店街	18.1%	第2位	商業・商店街	21.1%
第3位	防犯	9.6%	第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	15.8%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	9.2%	第4位	まちなみ	14.0%
第4位	防災	9.2%	第5位	防災	12.3%
			第5位	防犯	12.3%

二世帯世帯			その他		
第1位	特になし(ほかになし)	89.3%	第1位	特になし(ほかになし)	96.9%
第2位	子ども・若者支援	19.0%	第2位	商業・商店街	18.8%
第3位	妊娠・出産・子育て	17.6%	第3位	子ども・若者支援	15.6%
第4位	防犯	13.7%	第4位	妊娠・出産・子育て	14.1%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	13.2%	第5位	水とみどり	12.5%
			第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	12.5%

※回答者数は、全体=579、一人暮らし(単身世帯)=249、夫婦のみ=57、二世帯世帯=205、その他=64である。

4) 家族形態別

家族形態別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「子ども・若者支援」が「小・中学生がいる世帯」で1位、「就学前の乳幼児がいる世帯」で2位であり、「商業・商店街」が「65歳以上の方がいる世帯」で1位、「妊娠・出産・子育て」が「就学前の乳幼児がいる世帯」で1位である。また、「住環境(住宅・道路・公園等)」が「65歳以上の方がいる世帯」で2位、「就学前の乳幼児がいる世帯」3位である。

図表 50 引越し後の自治体(墨田区)の不満足点(家族形態別・MA)

(参考)全体

第1位	特になし(ほかになし)	92.4%
第2位	商業・商店街	16.4%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	11.7%
第4位	防犯	11.1%
第5位	子ども・若者支援	10.7%

就学前の乳幼児がいる世帯

第1位	特になし(ほかになし)	90.0%
第2位	妊娠・出産・子育て	25.3%
第3位	子ども・若者支援	22.7%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	16.7%
第5位	防犯	11.3%

小・中学生がいる世帯

第1位	特になし(ほかになし)	89.7%
第2位	子ども・若者支援	17.6%
第3位	まちなみ	16.2%
第3位	防犯	16.2%
第5位	水とみどり	14.7%

65歳以上の方がいる世帯

第1位	特になし(ほかになし)	82.6%
第2位	商業・商店街	21.7%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	17.4%
第3位	防犯	17.4%
第5位	観光	13.0%
第5位	水とみどり	13.0%
第5位	まちなみ	13.0%
第5位	交通	13.0%
第5位	妊娠・出産・子育て	13.0%

※回答者数は、(参考)全体=579、就学前の乳幼児がいる世帯=150、小・中学生がいる世帯=68、65歳以上の方がいる世帯=23である。

5) 墨田区での居住地域別

墨田区での居住地域別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「商業・商店街」が「業平・錦糸・江東橋地域」、「緑・立川・菊川地域」を除いて1位、「緑・立川・菊川地域」で2位であり、「防犯」が「業平・錦糸・江東橋地域」で1位であり、「堤通・墨田・八広地域」が2位である。また、「子ども・若者支援」が「緑・立川・菊川地域」で1位、「吾妻橋・本所・両国地域」で2位、「向島・京島・押上地域」で3位であり、「住環境（住宅・道路・公園等）」が「堤通・墨田・八広地域」、「緑・立川・菊川地域」で2位、「防災」が「向島・京島・押上地域」、「吾妻橋・本所・両国地域」で2位、「業平・錦糸・江東橋地域」で3位である。

図表 51 引越し後の自治体(墨田区)の不満足点（墨田区での居住地域別・MA）

合計		
第1位	特になし(ほかになし)	92.4%
第2位	商業・商店街	16.4%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	11.7%
第4位	防犯	11.1%
第5位	子ども・若者支援	10.7%

堤通・墨田・八広地域		
第1位	特になし(ほかになし)	91.4%
第2位	商業・商店街	18.3%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	14.0%
第3位	防犯	14.0%
第5位	交通	10.8%

向島・京島・押上地域		
第1位	特になし(ほかになし)	91.7%
第2位	商業・商店街	16.5%
第3位	防災	15.6%
第4位	子ども・若者支援	14.7%
第5位	妊娠・出産・子育て	11.9%

東墨田・立花・文花地域		
第1位	特になし(ほかになし)	92.3%
第2位	交通	17.3%
第2位	商業・商店街	17.3%
第4位	妊娠・出産・子育て	15.4%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	13.5%

吾妻橋・本所・両国地域		
第1位	特になし(ほかになし)	93.8%
第2位	商業・商店街	22.8%
第3位	防災	9.7%
第3位	妊娠・出産・子育て	9.7%
第3位	子ども・若者支援	9.7%

業平・錦糸・江東橋地域		
第1位	特になし(ほかになし)	89.2%
第2位	防犯	26.2%
第3位	まちなみ	16.9%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	13.8%
第4位	防災	13.8%

緑・立川・菊川地域		
第1位	特になし(ほかになし)	93.6%
第2位	子ども・若者支援	13.6%
第3位	水とみどり	12.7%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	12.7%
第3位	商業・商店街	12.7%

※回答者数は、全体=579、堤通・墨田・八広地域=93、向島・京島・押上地域=109、東墨田・立花・文花地域=52、吾妻橋・本所・両国地域=145、業平・錦糸・江東橋地域=65、緑・立川・菊川地域=110である。

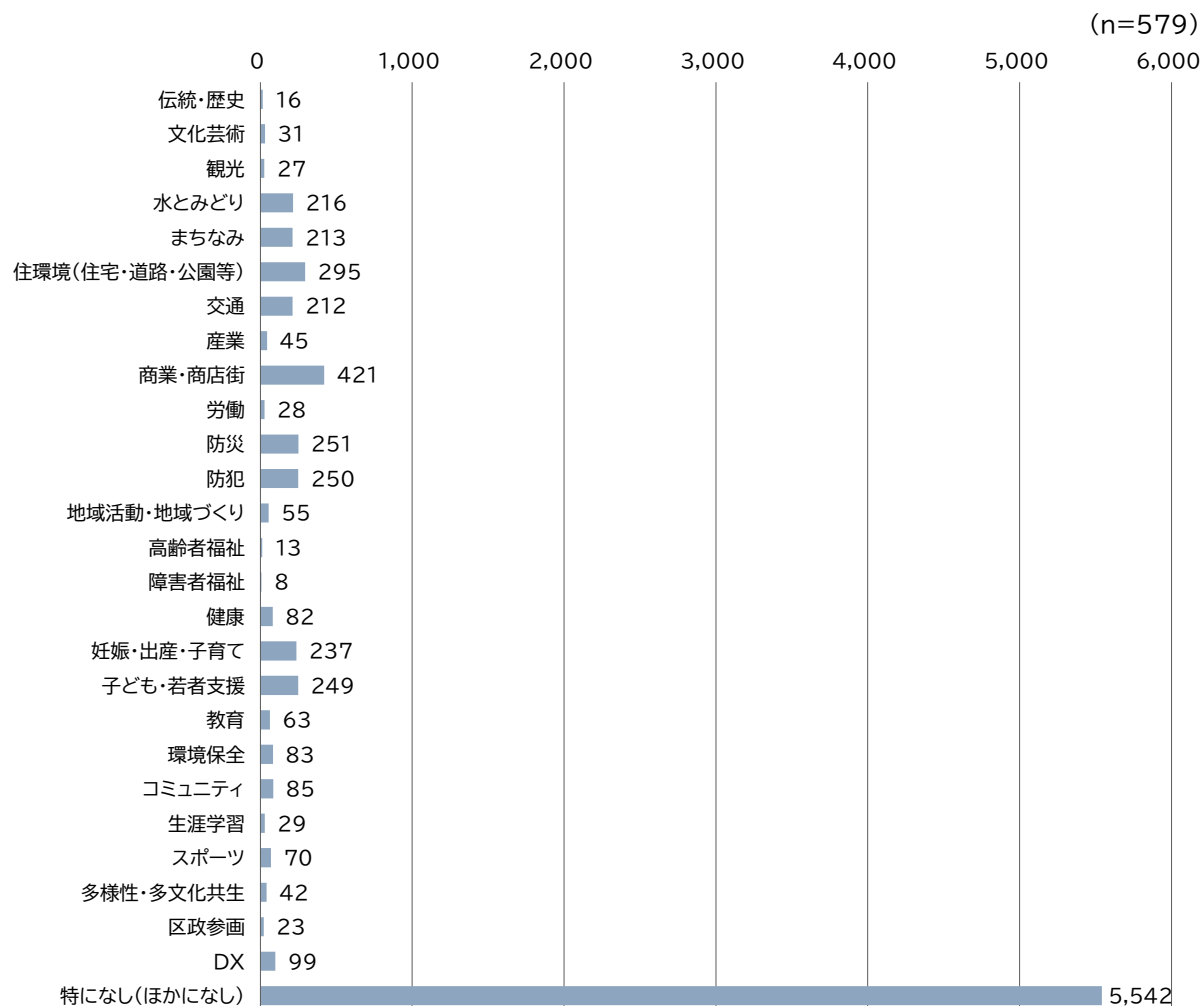
⑫ 引越し後の自治体（墨田区）の不満足点（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

引越し後の自治体（墨田区）の不満足点を点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「商業・商店街（421）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（295）」、「防災（251）」、「防犯（250）」、「子ども・若者支援（249）」の順に高い。

図表 52 引越し後の自治体(墨田区)の不満足点（回答の点数化）



3. 区からの情報提供について

(1) 調査結果概要

- ◆ 引越しに際して、区から追加支援や情報提供を望むものとして、「特になし」を除いて、「転居に関する手続きのオンライン化」、「公共施設やその利用に関する情報提供」、「住民登録に関わる手続きや書類発行の対応時間の延長（夜間対応時間・休日対応の増加等）」の選択率が高い。（p.42 図表 53）
- ◆ 年齢別にみても、「転居に関する手続きのオンライン化」を希望する割合が高く、これは年齢が低いほどその割合が高くなっている。転居に関する手続きとして特にオンライン化を希望するものとしては、「転入届の提出」、「マイナンバーカードに係る手続き」、「児童手当に係る手続き」等が挙げられた。（p.43 図表 54）

(2) 調査結果

① 引越しに際して墨田区から追加支援や情報提供を望むもの

1) 全体

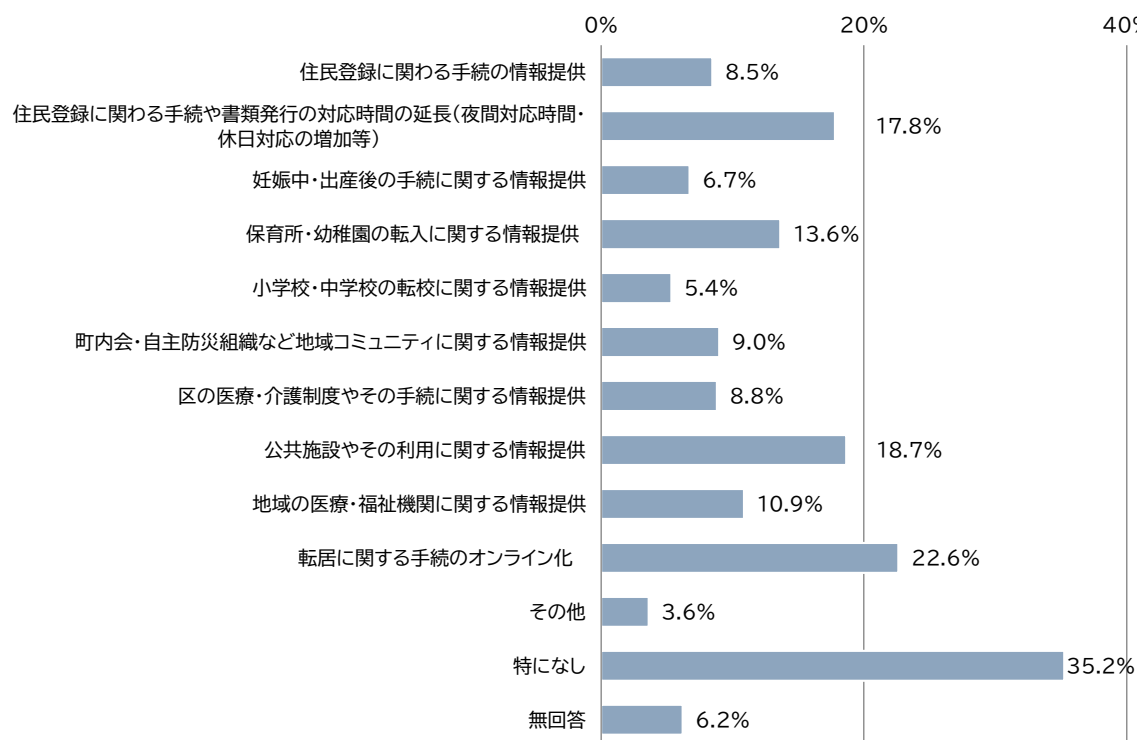
引越しに際して墨田区からの支援や情報提供を望むものとして、選択されている割合は、「特になし」を除いて、「転居に関する手続きのオンライン化（22.6%）」、「公共施設やその利用に関する情報提供（18.7%）」、「住民登録に関わる手続きや書類発行の対応時間の延長（夜間対応時間・休日対応の増加等）（17.8%）」の順に高い。

また、「転居に関する手続きのオンライン化」と回答した方に対し、特にオンライン化を希望するものを尋ねたところ、「転入届の提出」、「マイナンバーカードに係る手続き」、「児童手当、保育所転入の手続き」等が挙げられた。

その他の回答として、「ごみの分別方法」、「各種健診やワクチン接種についての案内」等が挙げられた。

図表 53 引越しに際して墨田区からの支援や情報提供を望むもの（MA）

(n=579)



2) 年齢別

年齢別でみると、「特になし」を除いて、「転居に関する手続きのオンライン化」が「10代、20代」で1位、「30代」、「40代」で2位、「50代以上」で3位であり、「公共施設やその利用に関する情報提供」が「50代以上」で1位、「10代、20代」、「30代」で3位である。また、「住民登録に関わる手続きや書類発行の対応時間の延長」が「40代」で1位、「10代、20代」で2位である。

図表 54 引越しに際して墨田区からの支援や情報提供を望むもの（年齢別・MA）

合計		
第1位	特になし	35.2%
第2位	転居に関する手続きのオンライン化	22.6%
第3位	公共施設やその利用に関する情報提供	18.7%
第4位	住民登録に関わる手続きや書類発行の対応時間の延長	17.8%
第5位	保育所・幼稚園の転入に関する情報提供	13.6%

10代、20代		
第1位	特になし	41.9%
第2位	転居に関する手続きのオンライン化	24.3%
第3位	住民登録に関わる手続きや書類発行の対応時間の延長	23.3%
第4位	公共施設やその利用に関する情報提供	18.6%
第5位	地域の医療・福祉機関に関する情報提供	8.1%

30代		
第1位	特になし	30.0%
第2位	保育所・幼稚園の転入に関する情報提供	25.1%
第3位	転居に関する手続きのオンライン化	22.9%
第4位	公共施設やその利用に関する情報提供	18.9%
第5位	住民登録に関わる手続きや書類発行の対応時間の延長	13.2%

40代		
第1位	特になし	32.6%
第2位	住民登録に関わる手続きや書類発行の対応時間の延長	23.3%
第3位	転居に関する手続きのオンライン化	20.9%
第4位	区の医療・介護制度やその手続きに関する情報提供	15.1%
第5位	町内会・自主防災組織など地域コミュニティに関する情報提供	12.8%
第5位	公共施設やその利用に関する情報提供	12.8%

50代以上		
第1位	特になし	36.4%
第2位	公共施設やその利用に関する情報提供	27.3%
第3位	地域の医療・福祉機関に関する情報提供	21.8%
第4位	転居に関する手続きのオンライン化	18.2%
第5位	町内会・自主防災組織など地域コミュニティに関する情報提供	16.4%

※回答者数は、全体=579、20代=210、30代=227、40代=86、50代以上=55である。

3) 家族形態別

家族形態別にみると「特になし」を除いて、「保育所・幼稚園の転入に関する情報提供」が「就学前の乳幼児がいる世帯」で1位、「小学校・中学校の転校に関する情報提供」が「小・中学生がいる世帯」で1位、「地域の医療・福祉機関に関する情報提供」が「65歳以上の方がいる世帯」で1位である。「公共施設やその利用に関する情報提供」が「小・中学生がいる世帯」、「65歳以上の方がいる世帯」で3位であり、「住民登録に関わる手続や書類発行の対応時間の延長」がすべての世帯で4位以内に選択されている。

図表 55 引越しに際して墨田区からの支援や情報提供を望むもの（家族形態別・MA）

(参考)全体

第1位	特になし	35.2%
第2位	転居に関する手続のオンライン化	22.6%
第3位	公共施設やその利用に関する情報提供	18.7%
第4位	住民登録に関わる手続や書類発行の対応時間の延長	17.8%
第5位	保育所・幼稚園の転入に関する情報提供	13.6%

就学前の乳幼児がいる世帯

第1位	保育所・幼稚園の転入に関する情報提供	45.3%
第2位	特になし	24.7%
第3位	転居に関する手続のオンライン化	18.7%
第4位	妊娠中・出産後の手続に関する情報提供	17.3%
第5位	住民登録に関わる手続や書類発行の対応時間の延長	16.0%

小・中学生がいる世帯

第1位	小学校・中学校の転校に関する情報提供	25.0%
第2位	町内会・自主防災組織など地域コミュニティに関する情報提供	23.5%
第2位	特になし	23.5%
第4位	公共施設やその利用に関する情報提供	16.2%
第5位	住民登録に関わる手続や書類発行の対応時間の延長	14.7%
第5位	転居に関する手続のオンライン化	14.7%

65歳以上の方がいる世帯

第1位	特になし	39.1%
第2位	地域の医療・福祉機関に関する情報提供	26.1%
第3位	住民登録に関わる手続や書類発行の対応時間の延長	21.7%
第4位	公共施設やその利用に関する情報提供	17.4%
第5位	区の医療・介護制度やその手続に関する情報提供	13.0%

※回答者数は、(参考)全体＝579、就学前の乳幼児がいる世帯＝150、小・中学生がいる世帯＝68、65歳以上の方がいる世帯＝23である。

4. 住みやすさと定住意向について

(1) 調査結果概要

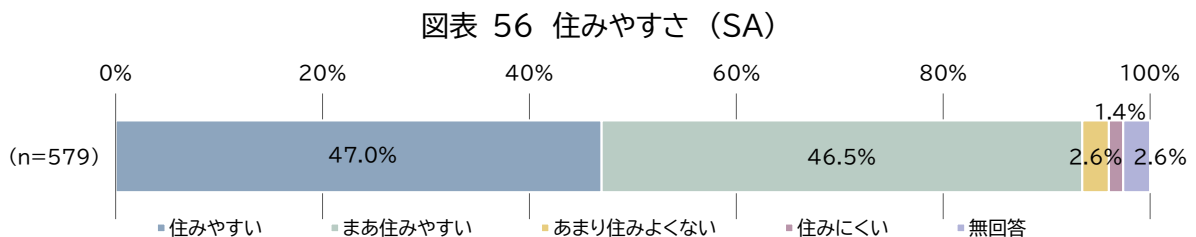
- ◆ 墨田区を住みよいとする割合（「住みやすい」、「まあ住みやすい」とした回答の合計割合）は9割を超える。ただし、年齢が上がるにつれ、「住みやすい」の回答割合は低下する傾向にある。また、居住地域別にみると、「住みやすい」の割合が最も高い「業平・錦糸・江東橋地域」と最も低い「東墨田・立花・文花」には18.9ポイントの差がある。（p.45 図表56、p.47 図表58）
- ◆ 墨田区への定住意向について、今後も住み続けたいとする割合（「ずっと住み続けたい」、「当分の間は住み続けたい」とした回答の合計割合）は約80%であり、特に40代や小・中学生がいる方は住み続けたいとする割合が高い。（p.49 図表61、62、p.51 図表65）

(2) 調査結果

① 住みやすさ

1) 全体

住みよいとする割合（「住みやすい」、「まあ住みやすい」とした回答の合計割合）は93.5%である。

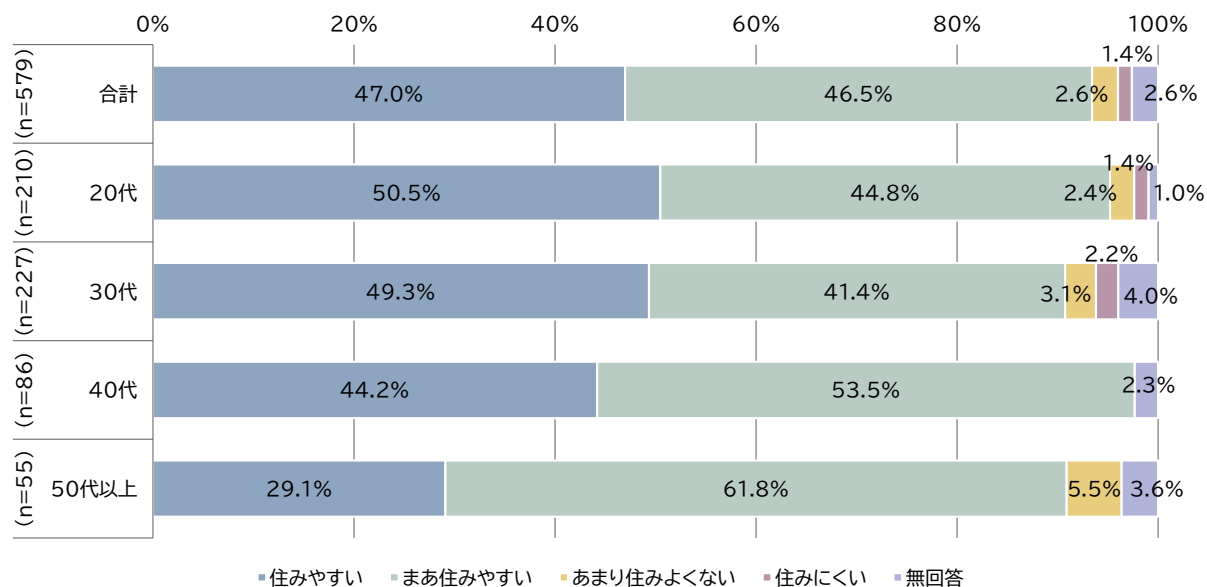


2) 年齢別

年齢別でみると、いずれの年齢でも住みよいとする割合は9割以上である。

「50代以上」は「住みやすい」の割合が全体よりも低く、「まあ住みやすい」の割合が全体よりも高い。「住みやすい」の割合は年齢が上がるにつれて低下している。

図表 57 住みやすさ (年齢別・SA)

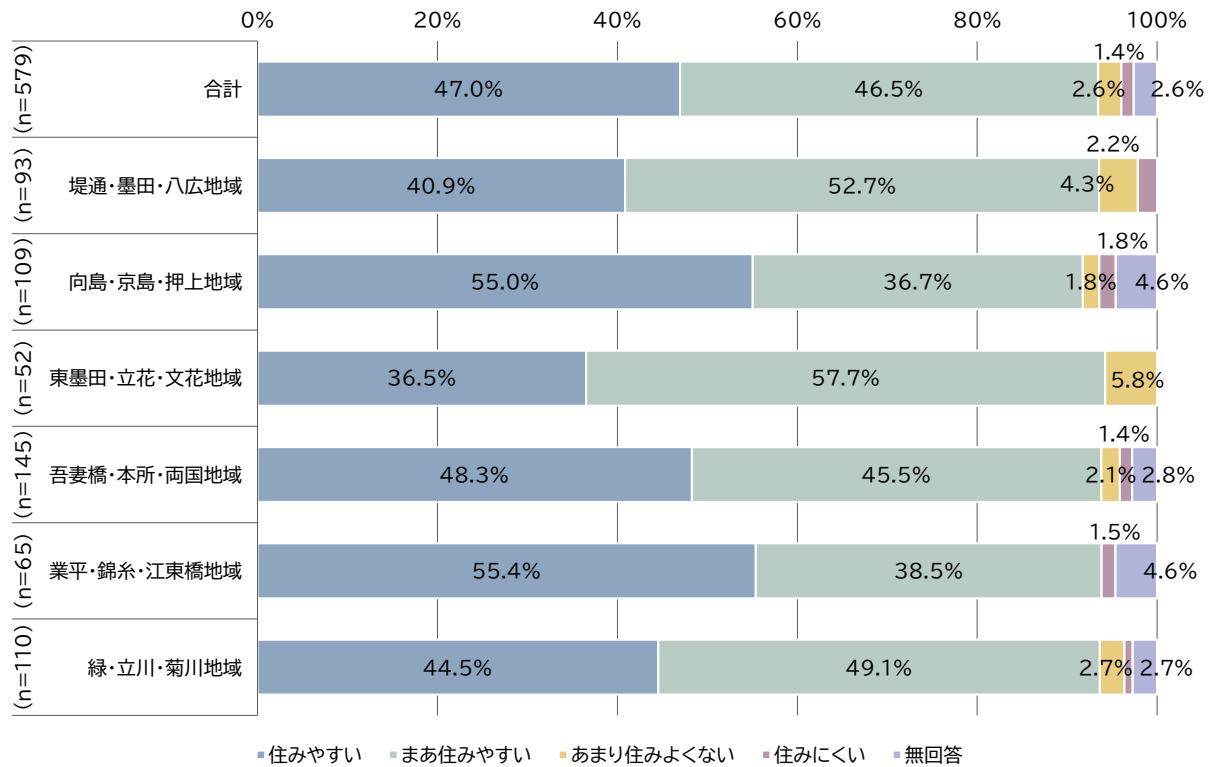


3) 墨田区での居住地域別

墨田区での居住地域別でみると、いずれの居住地域でも住みよいとする割合は9割以上である。

また、「東墨田・立花・文花地域」で「住みやすい」の割合が全体よりも低く、「まあ住みやすい」の割合が全体よりも高い。

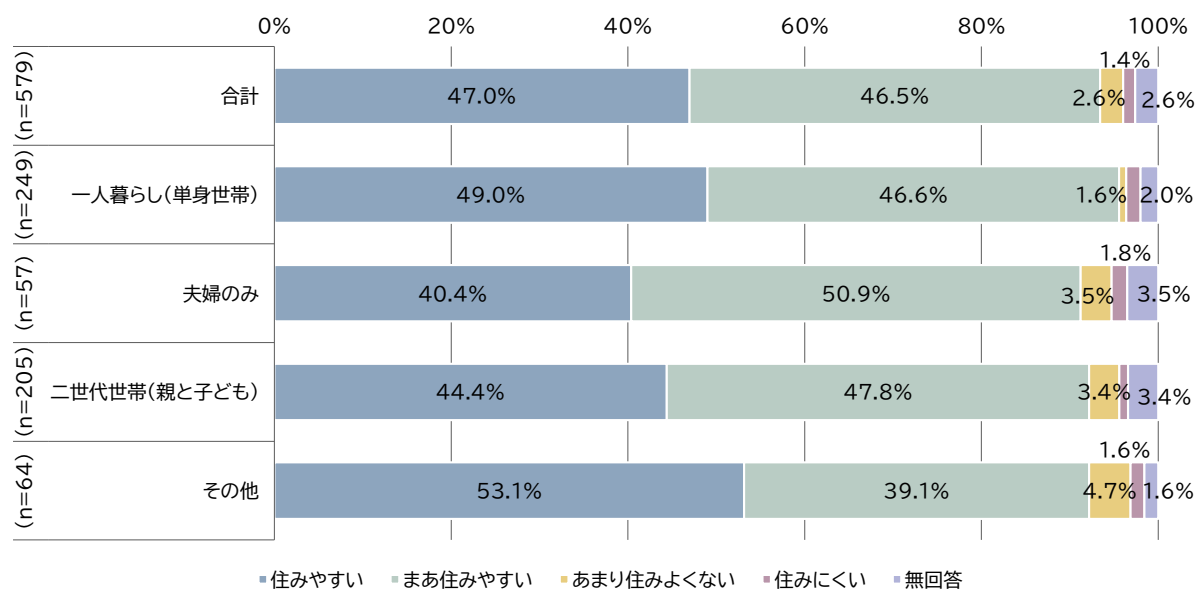
図表 58 住みやすさ（墨田区での居住地域別・SA）



4) 引越し後の世帯構成別

引越し後の世帯構成別でみると、いずれの世帯構成でも住みよいとする割合は9割以上である。「夫婦のみ」で「住みやすい」の割合が「その他」よりも低い。

図表 59 住みやすさ（引越し後の世帯構成別・SA）

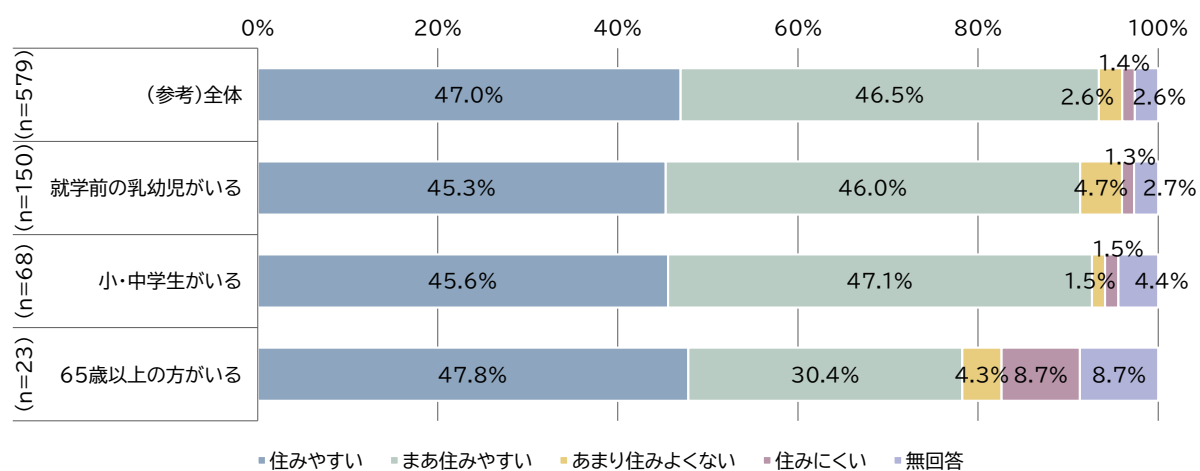


5) 家族形態別

家族形態別でみると、住みよいとする回答割合が最も高いのは「小・中学生がいる」世帯で、最も低いのは「65歳以上の方がいる」世帯である。

「65歳以上の方がいる」世帯で「まあ住みやすい」の割合が全体よりも低い。

図表 60 住みやすさ（家族形態別・SA）

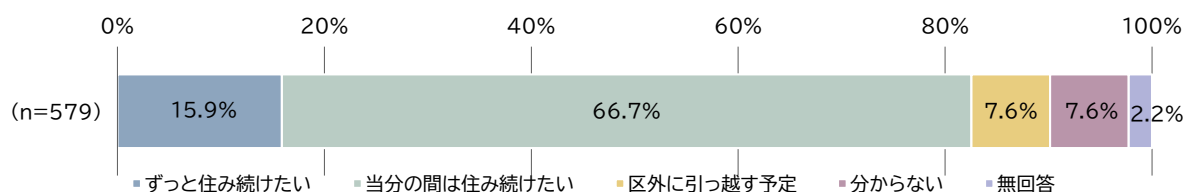


② 今後の定住意向

1) 全体

今後の定住意向は「当分の間は住み続けたい」の割合が最も高く 66.7%である。次いで「ずっと住み続けたい (15.9%)」、「区外に引っ越す予定 (7.6%)」、「分からない (7.6%)」であり、今後も住み続けたいとする割合（「ずっと住み続けたい」、「当分の間は住み続けたい」とした回答の合計割合）は約8割である。

図表 61 今後の定住意向 (SA)

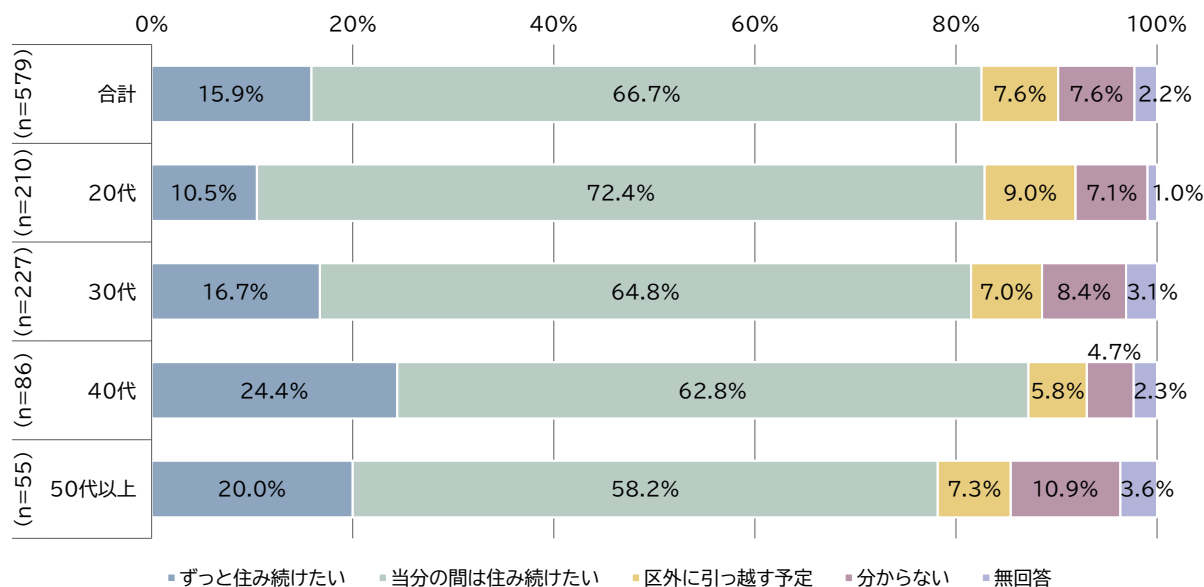


2) 年齢別

年齢別でみると、今後も住み続けたいとする割合は8割前後である。

「40代」、「50代以上」で「ずっと住み続けたい」の割合が「20代」よりも高い。

図表 62 定住意向 (年齢別・SA)

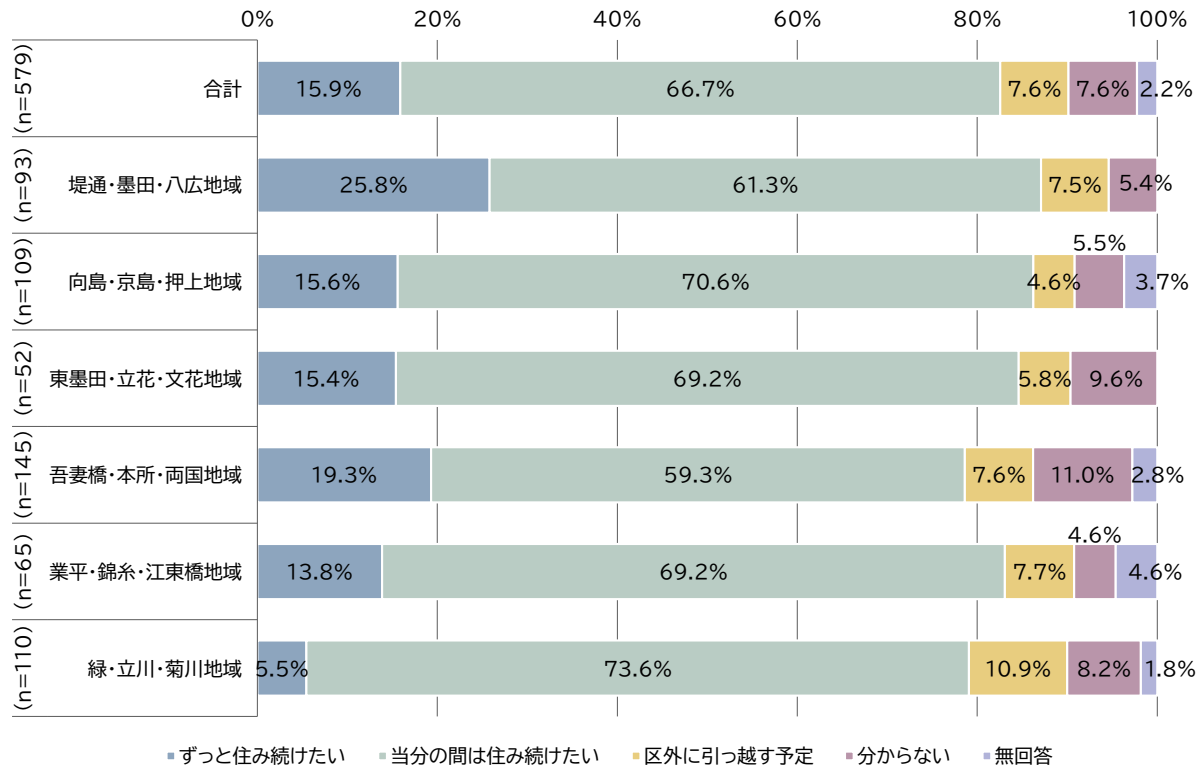


3) 墨田区での居住地域別

墨田区での居住地域別でみると、今後も住み続けたいとする割合は8割前後である。

「堤通・墨田・八広地域」で「ずっと住み続けたい」の割合が全体よりも高く、「緑・立川・菊川地域」で「ずっと住み続けたい」の割合が全体よりも低い。

図表 63 定住意向（居住地域別・SA）

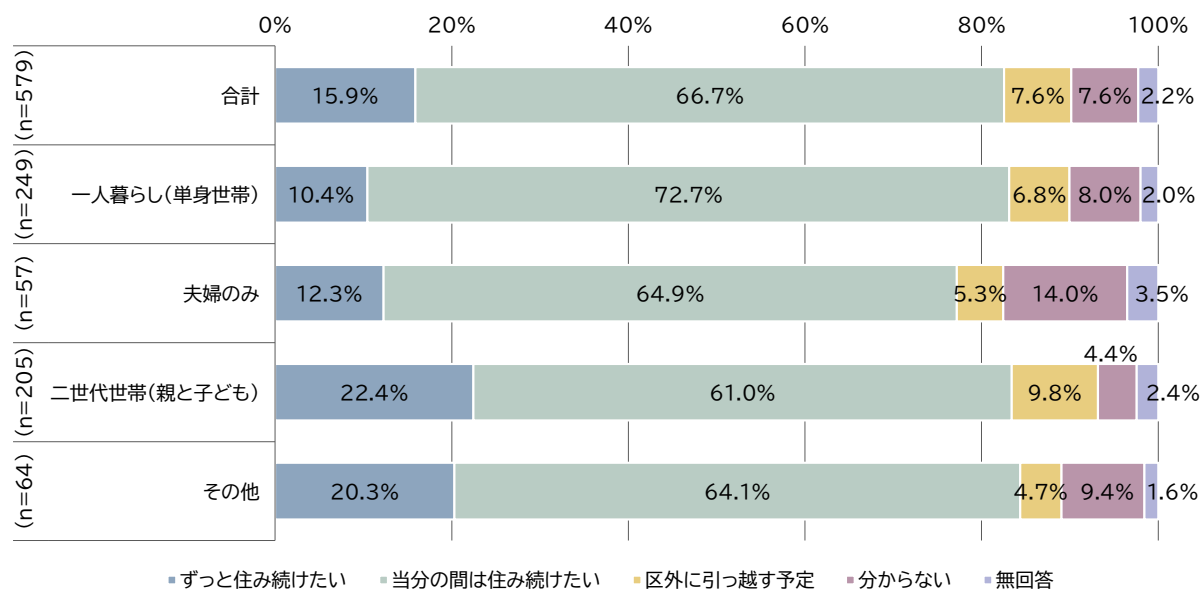


4) 引越し後の世帯構成別

引越し後の世帯構成別でみると、今後も住み続けたいとする割合は8割前後である。

「一人暮らし(単身世帯)」、「夫婦のみ」で「ずっと住み続けたい」の割合が「二世帯世帯(親と子ども)」に比べ低い。

図表 64 今後の定住意向 (世帯構成別・SA)

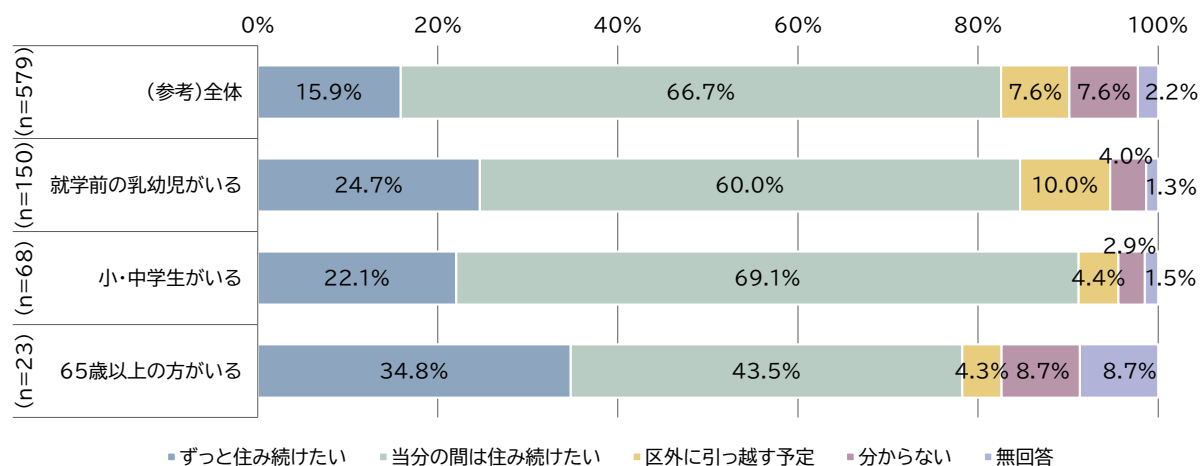


5) 家族形態別

家族形態別でみると、今後も住み続けたいとする回答割合は「小・中学生がいる」世帯で約9割、「就学前の乳幼児がいる」世帯で約8.5割、「65歳以上の方がいる」世帯で約8割である。

「65歳以上の方がいる」世帯で「ずっと住み続けたい」の割合が全体よりも高い。

図表 65 今後の定住意向 (家族形態別・SA)



5. 現在のイメージと今後の期待するイメージについて

(1) 調査結果概要

- ◆ 現在の区のイメージは、「便利で住みやすいまち」、「伝統、文化、芸術が感じられるまち」、「多くの人を訪れるにぎわいのあるまち」の選択率が高く、50代を除き「便利で住みやすいまち」の選択率が最も高い。なお、50代は「伝統、文化、芸術が感じられるまち」の選択率が最も高い。また、居住地域別には、「堤通・墨田・八広地域」「向島・京島・押上地域」「業平・錦糸・江東橋地域」で「便利で住みやすいまち」の選択率が最も高く、「吾妻橋・本所・両国地域」、「緑・立川・菊川地域」で「伝統、文化、芸術が感じられるまち」の選択率が最も高い。(p.53 図表 66、p.54 図表 67、p.55 図表 68)
- ◆ 墨田区に今後期待するイメージは、「治安が良いまち」、「便利で住みやすいまち」、「災害に強いまち」の選択率が高い。なお、居住地域別には、「向島・京島・押上地域」、「東墨田・立花・文花地域」では「災害に強いまち」の選択率が最も高く、「吾妻橋・本所・両国地域」、「業平・錦糸・江東橋地域」では「治安が良いまち」の選択率が最も高い。(p.59 図表 72、p.61 図表 74)

(2) 調査結果

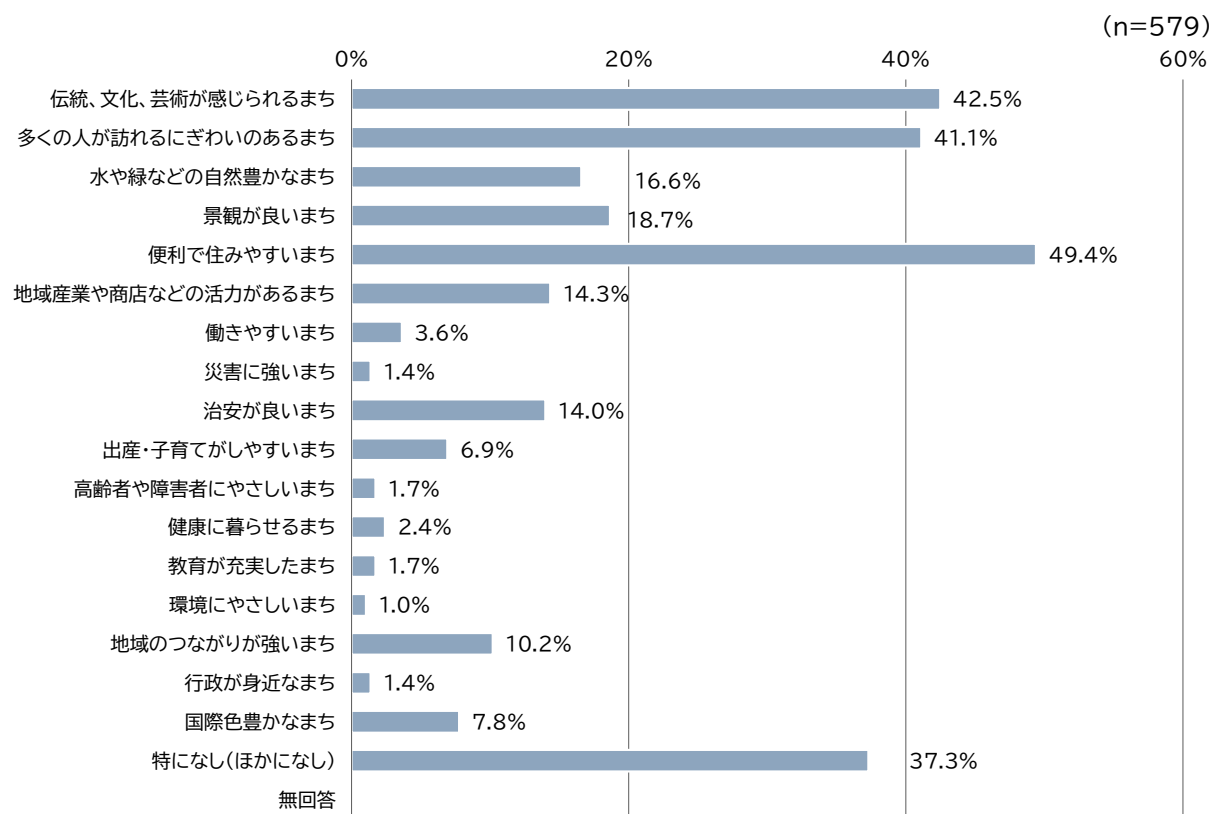
① 現在の墨田区のイメージ（回答の選択割合）

現在の墨田区へのイメージについて、1位～3位に挙げられているものをすべて合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

現在の墨田区のイメージとして、選択されている割合は、「便利で住みやすいまち（49.4%）」、「伝統、文化、芸術が感じられるまち（42.5%）」、「多くの人が訪れるにぎわいのあるまち（41.1%）」の順に高い。

図表 66 現在の墨田区のイメージ（回答の選択割合・MA）



2) 年齢別

年齢別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「便利で住みやすいまち」が「50代以上」を除いて1位、「50代以上」で3位であり、「多くの人が訪れるにぎわいのあるまち」が「10代、20代」で2位、「30代」、「40代」で3位である。また「伝統、文化、芸術が感じられるまち」が「50代以上」で1位であり、「30代」、「40代」で2位、「10代、20代」で3位である。

図表 67 現在の墨田区のイメージ（年齢別・MA）

合計

第1位	便利で住みやすいまち	49.4%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	42.5%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	41.1%
第4位	特になし(ほかになし)	37.3%
第5位	景観が良いまち	18.7%

10代、20代

第1位	便利で住みやすいまち	51.4%
第2位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	42.9%
第3位	特になし(ほかになし)	37.6%
第4位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	35.2%
第5位	景観が良いまち	27.6%

30代

第1位	便利で住みやすいまち	49.8%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	44.1%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	42.3%
第4位	特になし(ほかになし)	34.8%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	16.7%

40代

第1位	便利で住みやすいまち	52.3%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	48.8%
第3位	特になし(ほかになし)	38.4%
第4位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	36.0%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	19.8%

50代以上

第1位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	54.5%
第2位	特になし(ほかになし)	43.6%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	38.2%
第4位	便利で住みやすいまち	36.4%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	18.2%

※回答者数は、全体=579、20代=210、30代=227、40代=86、50代以上=55である。

3) 墨田区での居住地域別

墨田区での居住地域別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「便利で住みやすいまち」が「東墨田・立花・文花地域」、「吾妻橋・本所・両国地域」を除いて1位、「東墨田・立花・文花地域」、「吾妻橋・本所・両国地域」で2位であり、「伝統、文化、芸術が感じられるまち」が「東墨田・立花・文花地域」、「吾妻橋・本所・両国地域」、「緑・立川・菊川地域」で1位、「堤通・墨田・八広地域」で2位、「向島・京島・押上地域」で3位である。また、「多くの人が訪れるにぎわいのあるまち」が「向島・京島・押上地域」、「吾妻橋・本所・両国地域」、「業平・錦糸・江東橋地域」で2位、「堤通・墨田・八広地域」、「緑・立川・菊川地域」で3位である。

図表 68 現在の墨田区のイメージ（墨田区での居住地域別・MA）

合計		
第1位	便利で住みやすいまち	49.4%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	42.5%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	41.1%
第4位	特になし(ほかになし)	37.3%
第5位	景観が良いまち	18.7%

堤通・墨田・八広地域		
第1位	便利で住みやすいまち	47.3%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	46.2%
第3位	特になし(ほかになし)	44.1%
第4位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	35.5%
第5位	治安が良いまち	17.2%

東墨田・立花・文花地域		
第1位	特になし(ほかになし)	40.4%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	34.6%
第3位	景観が良いまち	28.8%
第3位	便利で住みやすいまち	28.8%
第5位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	26.9%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	26.9%

業平・錦糸・江東橋地域		
第1位	便利で住みやすいまち	66.2%
第2位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	64.6%
第3位	特になし(ほかになし)	38.5%
第4位	地域産業や商店などの活力があるまち	27.7%
第5位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	21.5%

向島・京島・押上地域		
第1位	便利で住みやすいまち	50.5%
第2位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	45.0%
第3位	特になし(ほかになし)	33.9%
第4位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	33.0%
第5位	景観が良いまち	29.4%

吾妻橋・本所・両国地域		
第1位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	51.7%
第2位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	46.9%
第2位	便利で住みやすいまち	46.9%
第4位	特になし(ほかになし)	31.0%
第5位	治安が良いまち	17.9%

緑・立川・菊川地域		
第1位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	53.6%
第1位	便利で住みやすいまち	53.6%
第3位	特になし(ほかになし)	40.0%
第4位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	27.3%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	25.5%

※回答者数は、全体=579、堤通・墨田・八広地域=93、向島・京島・押上地域=109、東墨田・立花・文花地域=52、吾妻橋・本所・両国地域=145、業平・錦糸・江東橋地域=65、緑・立川・菊川地域=110である。

4) 引越し後の世帯構成別

引越し後の世帯構成別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「便利で住みやすいまち」が「一人暮らし(単身世帯)」、「夫婦のみ」で1位、「二世代会世帯」、「その他」で2位であり、「多くの人が訪れるにぎわいのあるまち」が「その他」で1位、「一人暮らし(単身世帯)」、「夫婦のみ」で2位、「二世代会世帯」で3位である。また「伝統、文化、芸術が感じられるまち」が「二世代会世帯」で1位であり、「一人暮らし(単身世帯)」、「夫婦のみ」、「その他」で3位である。

図表 69 現在の墨田区のイメージ (引越し後の世帯構成別・MA)

合計

第1位	便利で住みやすいまち	49.4%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	42.5%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	41.1%
第4位	特になし(ほかになし)	37.3%
第5位	景観が良いまち	18.7%

一人暮らし(単身世帯)

第1位	便利で住みやすいまち	51.0%
第2位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	40.6%
第3位	特になし(ほかになし)	40.2%
第4位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	39.4%
第5位	景観が良いまち	24.9%

二世代会世帯

第1位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	47.8%
第2位	便利で住みやすいまち	46.8%
第3位	特になし(ほかになし)	38.0%
第4位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	35.6%
第5位	地域のつながりが強いまち	17.6%

夫婦のみ

第1位	便利で住みやすいまち	54.4%
第2位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	52.6%
第3位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	40.4%
第4位	特になし(ほかになし)	29.8%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	19.3%
第5位	地域産業や商店などの活力があるまち	19.3%

その他

第1位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	46.9%
第2位	便利で住みやすいまち	45.3%
第3位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	42.2%
第4位	特になし(ほかになし)	31.3%
第5位	治安が良いまち	21.9%

※回答者数は、全体=579、一人暮らし(単身世帯)=249、夫婦のみ=57、二世代会世帯=205、その他=64 である。

5) 家族形態別

家族形態別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「便利で住みやすいまち」が「小・中学生がいる世帯」を除いて1位、「小・中学生がいる世帯」が2位であり、「伝統、文化、芸術が感じられるまち」が「小・中学生がいる世帯」で1位、「就学前の乳幼児がいる世帯」、「65歳以上の方がいる世帯」で2位である。また、すべての家族形態において「多くの人が訪れるにぎわいのあるまち」が3位である。

図表 70 現在の墨田区のイメージ（家族形態別・MA）

(参考)全体

第1位	便利で住みやすいまち	49.4%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	42.5%
第3位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	41.1%
第4位	特になし(ほかになし)	37.3%
第5位	景観が良いまち	18.7%

就学前の乳幼児がいる世帯

第1位	便利で住みやすいまち	47.3%
第2位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	41.3%
第3位	特になし(ほかになし)	40.7%
第4位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	38.7%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	18.7%
第5位	地域のつながりが強いまち	18.7%

小・中学生がいる世帯

第1位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	60.3%
第2位	便利で住みやすいまち	42.6%
第3位	特になし(ほかになし)	41.2%
第4位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	29.4%
第5位	地域のつながりが強いまち	20.6%

65歳以上の方がいる世帯

第1位	便利で住みやすいまち	56.5%
第1位	特になし(ほかになし)	56.5%
第3位	伝統、文化、芸術が感じられるまち	39.1%
第4位	多くの人が訪れるにぎわいのあるまち	26.1%
第5位	地域産業や商店などの活力があるまち	17.4%
第5位	高齢者や障害者にやさしいまち	17.4%
第5位	地域のつながりが強いまち	17.4%

※回答者数は、(参考)全体=579、就学前の乳幼児がいる世帯=150、小・中学生がいる世帯=68、65歳以上の方がいる世帯=23である。

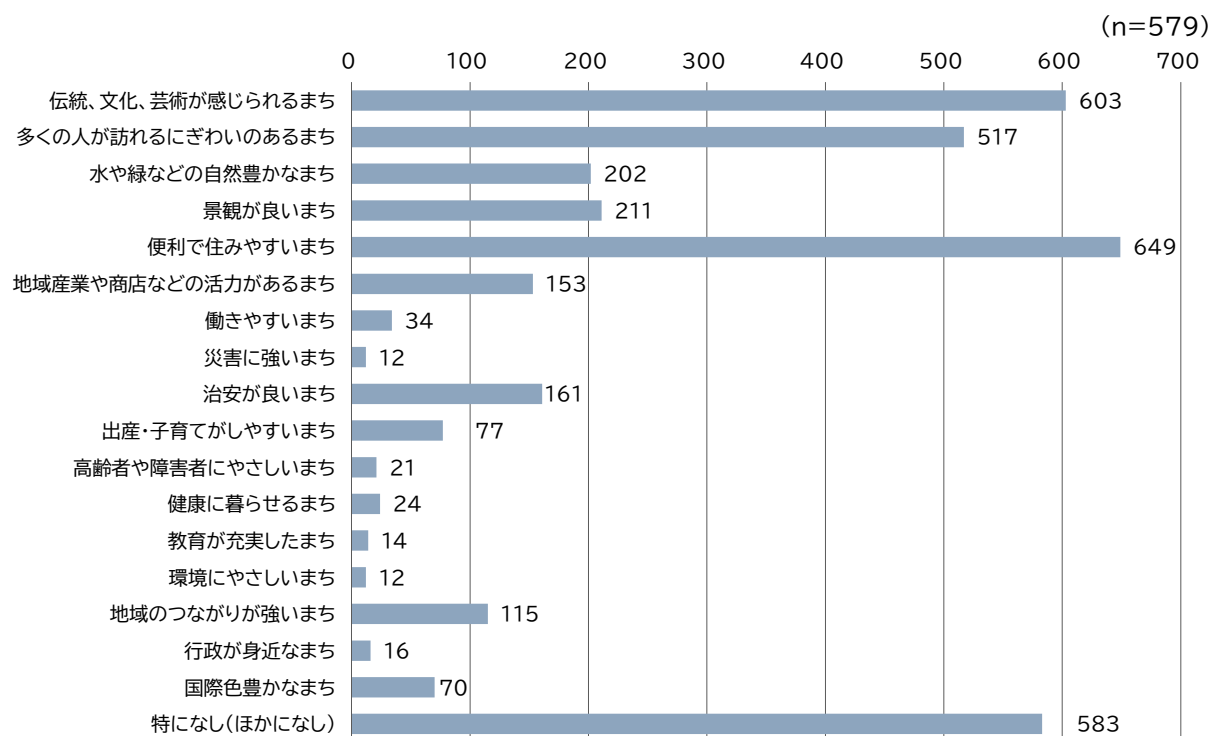
② 現在の墨田区のイメージ（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを3点、2番目に選択されたものを2点、3番目に選択されたものを1点として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

現在の区のイメージを点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「便利で住みやすいまち（649）」「伝統、文化、芸術が感じられるまち（603）」、「多くの人が訪れるにぎわいのあるまち（517）」の順に高い。

図表 71 現在の墨田区のイメージ（回答の点数化）



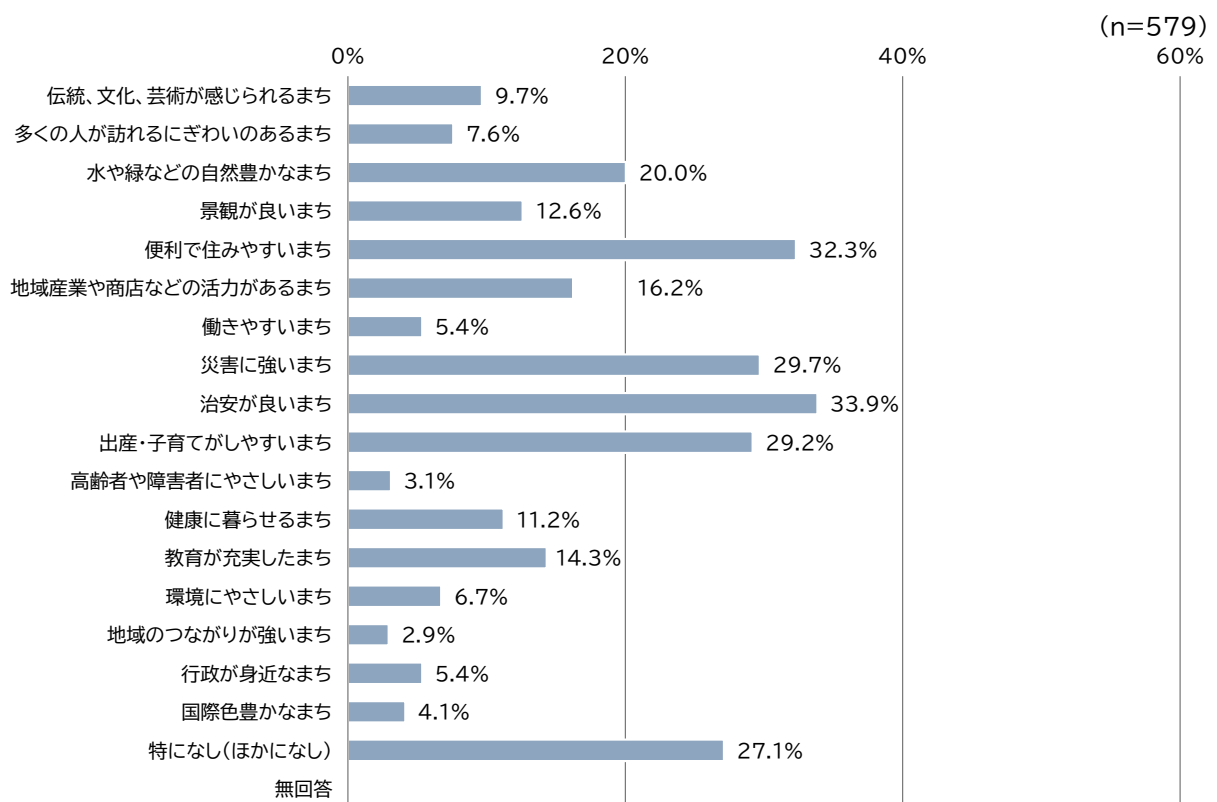
③ 墨田区に今後期待するイメージ（回答の選択割合）

現在の墨田区へのイメージについて、1位～3位に挙げられているものをすべて合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

墨田区に今後期待するイメージとして、選択されている割合は、「治安が良いまち（33.9%）」、「便利で住みやすいまち（32.3%）」、「災害に強いまち（29.7%）」の順に高い。

図表 72 墨田区に今後期待するイメージ（回答の選択割合・MA）



2) 年齢別

年齢別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「便利で住みやすいまち」が「10代、20代」、「50代以上」で1位、「30代」、「40代」で3位であり、「治安が良いまち」が「40代」で1位、「10代、20代」、「30代」で2位である。また、「災害に強いまち」が「40代」、「50代以上」で2位、「10代、20代」で3位である。

図表 73 墨田区に今後期待するイメージ（年齢別・MA）

合計		
第1位	治安が良いまち	33.9%
第2位	便利で住みやすいまち	32.3%
第3位	災害に強いまち	29.7%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	29.2%
第5位	特になし(ほかになし)	27.1%

10代、20代			30代		
第1位	便利で住みやすいまち	34.3%	第1位	出産・子育てがしやすいまち	44.9%
第2位	治安が良いまち	32.9%	第2位	治安が良いまち	35.7%
第3位	災害に強いまち	29.5%	第3位	便利で住みやすいまち	28.2%
第4位	特になし(ほかになし)	29.0%	第4位	災害に強いまち	26.4%
第5位	出産・子育てがしやすいまち	25.2%	第5位	特になし(ほかになし)	22.9%

40代			50代以上		
第1位	治安が良いまち	38.4%	第1位	便利で住みやすいまち	38.2%
第2位	災害に強いまち	37.2%	第2位	災害に強いまち	32.7%
第3位	便利で住みやすいまち	33.7%	第2位	特になし(ほかになし)	32.7%
第4位	特になし(ほかになし)	29.1%	第4位	水や緑などの自然豊かなまち	30.9%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	16.3%	第5位	地域産業や商店などの活力があるまち	27.3%
第5位	教育が充実したまち	16.3%			

※回答者数は、全体=579、20代=210、30代=227、40代=86、50代以上=55である。

3) 墨田区での居住地域別

墨田区での居住地域別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「便利で住みやすいまち」が「堤通・墨田・八広地域」が1位、「東墨田・立花・文花地域」、「吾妻橋・本所・両国地域」、「緑・立川・菊川地域」で2位、「業平・錦糸・江東橋地域」で3位であり、「災害に強いまち」が「向島・京島・押上地域」、「東墨田・立花・文花地域」で1位、「業平・錦糸・江東橋地域」で2位、「堤通・墨田・八広地域」で3位である。また、「治安が良いまち」が「吾妻橋・本所・両国地域」、「業平・錦糸・江東橋地域」で1位、「堤通・墨田・八広地域」、「東墨田・立花・文花地域」で2位、「向島・京島・押上地域」、「緑・立川・菊川地域」で3位であり、「出産・子育てがしやすいまち」が「緑・立川・菊川地域」で1位、「向島・京島・押上地域」で2位である。

図表 74 墨田区に今後期待するイメージ (墨田区での居住地域別・MA)

合計

第1位	治安が良いまち	33.9%
第2位	便利で住みやすいまち	32.3%
第3位	災害に強いまち	29.7%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	29.2%
第5位	特になし(ほかになし)	27.1%

堤通・墨田・八広地域

第1位	便利で住みやすいまち	41.9%
第2位	治安が良いまち	33.3%
第3位	災害に強いまち	31.2%
第4位	特になし(ほかになし)	29.0%
第5位	出産・子育てがしやすいまち	21.5%

東墨田・立花・文花地域

第1位	災害に強いまち	40.4%
第2位	便利で住みやすいまち	34.6%
第2位	治安が良いまち	34.6%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	26.9%
第5位	地域産業や商店などの活力があるまち	23.1%

業平・錦糸・江東橋地域

第1位	治安が良いまち	53.8%
第2位	特になし(ほかになし)	33.8%
第3位	災害に強いまち	32.3%
第4位	便利で住みやすいまち	27.7%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	27.7%

向島・京島・押上地域

第1位	災害に強いまち	33.9%
第2位	出産・子育てがしやすいまち	30.3%
第3位	治安が良いまち	29.4%
第4位	便利で住みやすいまち	27.5%
第5位	特になし(ほかになし)	23.9%

吾妻橋・本所・両国地域

第1位	治安が良いまち	31.0%
第2位	便利で住みやすいまち	30.3%
第3位	特になし(ほかになし)	29.7%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	29.0%
第5位	災害に強いまち	22.8%

緑・立川・菊川地域

第1位	出産・子育てがしやすいまち	37.3%
第2位	便利で住みやすいまち	33.6%
第3位	治安が良いまち	31.8%
第4位	災害に強いまち	28.2%
第5位	特になし(ほかになし)	23.6%

※回答者数は、全体=579、堤通・墨田・八広地域=93、向島・京島・押上地域=109、東墨田・立花・文花地域=52、吾妻橋・本所・両国地域=145、業平・錦糸・江東橋地域=65、緑・立川・菊川地域=110である。

4) 引っ越し後の世帯構成別

引っ越し後の世帯構成別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「便利で住みやすいまち」が「夫婦のみ」で1位、「一人暮らし(単身世帯)」で2位、「二世帯世帯」、「その他」で3位であり、「出産・子育てがしやすいまち」が「二世帯世帯」、「その他」で1位、「夫婦のみ」で3位である。また、「治安が良いまち」が「一人暮らし(単身世帯)」で1位、「夫婦のみ」、「二世帯世帯」で2位である。「災害に強いまち」が「その他」で2位、「一人暮らし(単身世帯)」で3位である。

図表 75 墨田区に今後期待するイメージ(引っ越し後の世帯構成別・MA)

合計		
第1位	治安が良いまち	33.9%
第2位	便利で住みやすいまち	32.3%
第3位	災害に強いまち	29.7%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	29.2%
第5位	特になし(ほかになし)	27.1%

一人暮らし(単身世帯)			夫婦のみ		
第1位	特になし(ほかになし)	35.3%	第1位	便利で住みやすいまち	38.6%
第2位	治安が良いまち	33.7%	第2位	治安が良いまち	36.8%
第3位	便利で住みやすいまち	31.3%	第3位	出産・子育てがしやすいまち	33.3%
第4位	災害に強いまち	30.5%	第4位	地域産業や商店などの活力があるまち	29.8%
第5位	水や緑などの自然豊かなまち	22.5%	第4位	災害に強いまち	29.8%

二世帯世帯			その他		
第1位	出産・子育てがしやすいまち	47.3%	第1位	出産・子育てがしやすいまち	34.4%
第2位	治安が良いまち	35.6%	第2位	災害に強いまち	32.8%
第3位	便利で住みやすいまち	31.7%	第3位	便利で住みやすいまち	31.3%
第4位	災害に強いまち	28.3%	第4位	特になし(ほかになし)	28.1%
第5位	教育が充実したまち	27.3%	第5位	治安が良いまち	25.0%

※回答者数は、全体=579、一人暮らし(単身世帯)=249、夫婦のみ=57、二世帯世帯=205、その他=64である。

5) 家族形態別

家族形態別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「治安が良いまち」が「小・中学生がいる世帯」で1位、「65歳以上の方がいる世帯」で2位、「就学前の乳幼児がいる世帯」で3位であり、「便利で住みやすいまち」が「65歳以上の方がいる世帯」で1位、「小・中学生がいる世帯」で3位である。また、「教育が充実したまち」がすべての家族形態において2位である。

図表 76 墨田区に今後期待するイメージ(家族形態別・MA)

(参考)全体		
第1位	治安が良いまち	33.9%
第2位	便利で住みやすいまち	32.3%
第3位	災害に強いまち	29.7%
第4位	出産・子育てがしやすいまち	29.2%
第5位	特になし(ほかになし)	27.1%

就学前の乳幼児がいる世帯			小・中学生がいる世帯		
第1位	出産・子育てがしやすいまち	64.0%	第1位	治安が良いまち	42.6%
第2位	教育が充実したまち	33.3%	第2位	教育が充実したまち	32.4%
第3位	治安が良いまち	30.7%	第3位	便利で住みやすいまち	30.9%
第4位	便利で住みやすいまち	28.0%	第4位	災害に強いまち	29.4%
第5位	災害に強いまち	22.7%	第5位	水や緑などの自然豊かなまち	27.9%

65歳以上の方がいる世帯		
第1位	便利で住みやすいまち	39.1%
第2位	水や緑などの自然豊かなまち	26.1%
第2位	治安が良いまち	26.1%
第2位	教育が充実したまち	26.1%
第2位	特になし(ほかになし)	26.1%

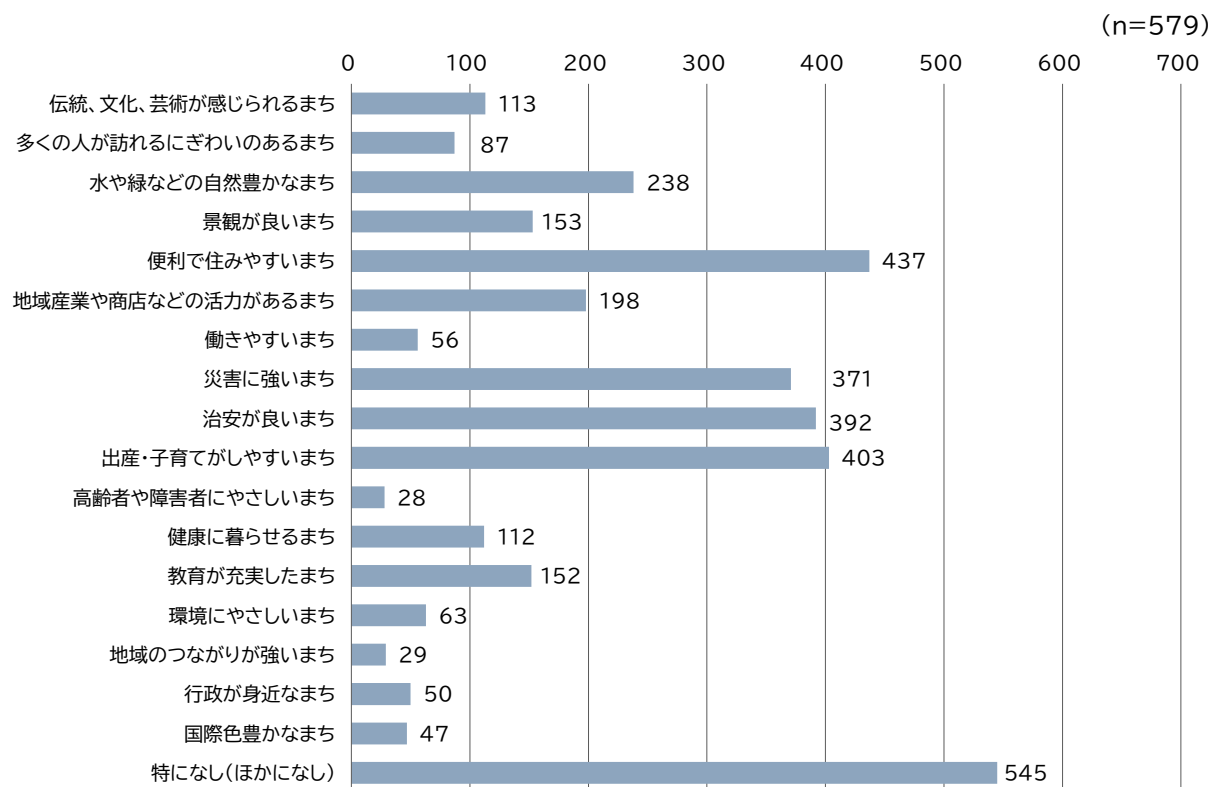
※回答者数は、(参考)全体=579、就学前の乳幼児がいる世帯=150、小・中学生がいる世帯=68、65歳以上の方がいる世帯=23である。

④ 墨田区に今後期待するイメージ（回答の点数化）

1番目に選択されたものを3点、2番目に選択されたものを2点、3番目に選択されたものを1点として、回答内容を点数化して集計を実施した。

墨田区の今後に期待するイメージを点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「便利で住みやすいまち(437)」、「出産・子育てがしやすいまち(403)」、「治安が良いまち(392)」の順に高い。

図表 77 墨田区に今後期待するイメージ（回答の点数化）



6. 自由意見

(1) 調査結果

墨田区が「暮らし続けたいまち」づくりを進めていく上での意見や要望について、回答者に自由に記述していただいたところ、243名（回答者全体の42.7%）から意見が寄せられた。

本項目では、明らかな誤字・脱字は修正した上で、原文のまま自由記述の意見を掲載した。

ただし、外国語で記載されたものは邦訳して掲載したほか、回答者個人に関わる内容や文章量が著しく多い意見、本自由記述の趣旨と異なる意見はその内容を一部削除した。複数の回答者から同様の意見が寄せられたものは、意見の趣旨をまとめた上で合わせて掲載している。

なお、1人の回答者が2つ以上のテーマについて記載している場合は、読みやすさの観点から可能な範囲で意見を分割した上でテーマごとに掲載した。

1) 区政について (47件)

ア 区政全般について (26件)

- ・ 利便性や環境などの区の環境全般での住みやすさには満足しているが、家賃が高いところが住みづらい。【3件】
- ・ ずっと墨田区に住んでいたから、ずっと住み続けて行きたいと思っている。
- ・ 税金が高いので下げてほしい。
- ・ 若者が豊かで生活しやすい街とは何か良く考えてほしい。
- ・ 今の調子でがんばって下さい。
- ・ 東京スカイツリーや両国国技館がある墨田区は、全国でも有名でその地に住んでいることに誇りを持っています。日本を象徴する自治体として時代のニーズをいち早く捉えて、区民に還元し、全国の手本となってください。
- ・ 気取らず自然体でフレンドリーな人々が多い印象で、すぐに溶け込むことができました。環境や条件よりも、そのことの方が私たち家族にとっては最大の魅力として感じております。
- ・ 東京の東側エリアのイメージ向上にも力を入れていただけるとうれしいです。
- ・ 大きな不満はありません。これからもよろしく願います。
- ・ 世帯構成の形に関わらず、住みやすい印象です。幅の狭い歩道で道を譲り合うことが出来る方が多いのは、当り前の行動ですが、思いやりのある方が多く住んでいることに安心して転入することが出来ました。治安が良い町ですが、夜間は人通りが少ないので警察官がパトロールしているとホッとする時もあります。引き続き巡回を続けていただけると幸いです。
- ・ 個人への手当てではなく区民全体でメリットの感じられる環境づくりを希望します。
- ・ 広い公園もあり、自然豊かで非常に暮らしやすいまちと感じています。これからも人々の暮らしや想いに寄り添った区政に期待します。
- ・ 住民の方達は、フレンドリーな方が多いと感じる。
- ・ 子をもつ親という観点では、他の区と比べて、特別悪いと思いませんが、逆もしかりです。長年すんでいてなじみがあり、実家もあるので戻って来ましたが、そうでなく、フラットに考えた場合わざわざ選びたい町かどうかははっきり Yes と言えず残念です。しかし、悪くは

ないです。

- ・ 墨田区に転入してきて感じたことは①隅田川の近くはのどかで自然もあって心地よい、②坂が少なく自転車が利用しやすい、③家族やカップルなど複数で居住される方が比較的目につく、でした。他方で墨田区の魅力はあまり知られていない印象で、特にスカイツリー以外にはほとんど思い当たるものがないというイメージです。より魅力的なまち（駅）に人が集まるようになれば、都心からも近いので居住者も増加するかなと思います。
- ・ 墨田区に限らずですが、やはり暮らし続ける為には、生活に必要な支援が多岐にわたってあると暮らしやすいかなと その為の資金やお時間などを費やして頂けると大変、有り難いです今後ともご尽力頂けると幸いです 宜しくお願い致します。
- ・ 住むのには便利なところなので、当分はここにいたいと思います。
- ・ サラリーマンの感覚として自分の住民税の用途について関心があり、どうせ払うのならば自分の好きな領域（私の場合、図書館や子育て・防災防犯です）に使われて欲しいと思ってます。何に住民税を使用するか決められるようなアンケートを取る・集まった税金よっての成果の公開などを実施するとふるさと納税への流出を抑えられるのではないかと思います。
- ・ 都心から近からず遠からず、ちょうど良い街だと思います。電車も2線利用できる地域も多く、案外便利だなと住み始めて思っています。その強みを活かして、企業や教育機関が区内にもっと増え、財政が潤い、子育てに優しい街にしていだけたらなと思ってます。
- ・ 墨田区の施策評価シート、事務事業評価シートを見る限り、無駄な事業が多すぎる。票田団体に税金を流しているようにしか見えない。徴税に対する納得感が全くない。減税し住民が自由に暮らせるようになれば墨田区に暮らし続けたい。
- ・ 墨田区に対するイメージで選択肢がポジティブなものしかなく、その他も選べないのはなぜか。アンケートとしてバイアスがかかりすぎている。
- ・ 下町の雰囲気が残る墨田区が好きです。賑やかすぎない部分も魅力だと思います。人口減少が進む中で区に在住させる施策をどう打つのか、区の魅力を伝え続けるのも必要だと思いますが、緑豊かな公園など充実している部分もありますし、記載した賑やかすぎない部分に惹かれている人もいますので、そこも魅力の一つとして今後も区の発展を望んでおります。
- ・ 住環境は全て満足で、とても暮らしやすく、両国の街に住んでいる方が両国を好きでいらっしやると思います。地域の行事も多く、子ども達も楽しく参加しています！住んで半年で「住めば都」を体感しています！スタバやタリーズ、おしゃれなお店はほとんど無いのが残念ですが、日本橋に出れば事足ります。昔ながらの商店や小さな会社が多く、親しみが持てますが、もう少し「今どきっぽい」ものも混ざり合うとより快適で、さらに新しい流れ人口も見込めると思います。
- ・ 議員が何をしているのか分からない。

イ 区役所について（11件）

- ・ 転入にあたり、区役所の各窓口で、担当の方が丁寧にご対応いただき、とても助かりました。不安なく新生活をスタートでき、たいへん感謝しています。引っ越しの際一番初めにお世話

になるのが区役所だと思うのでそのスタートが気持ちの良いスタートになる手助けをこれからも続けて頂ければ幸いです。【4件】

- ・ 区役所が明るくなると良い。
- ・ 区役所での対応が親切、丁寧と感じない。行政の横のつながりを感じない 話、相談がつながらない。
- ・ 墨田区役所の1階は開けた雰囲気涼しく、待ち時間も比較的短くて良かった。
- ・ 区の窓口の対応が今まで暮らした街のどこよりも事務的なので、もう少し親切な対応をマニュアルに組み込んでもらいたい。特に他の街であれば手続きの際、他に必要な手続きがあれば他の窓口にも行った方が良いと案内があるが、墨田区はそういったことが全くないので、自分で調べて完璧にしないと手続きが漏れる。私の場合、子供の医療券をもらいに行った際に窓口ではその対応しかしてもらえず、併せて必要な予防接種の窓口への案内などがなかった。他の自治体の場合、次に必要な窓口の案内がしっかりある。
- ・ 墨田区役所に訪れた際どの職員さんも親切丁寧でいつもお世話になっております。区役所が明るく綺麗な所も魅力的です。
- ・ 緑出張所の方の対応がいつも丁寧で素敵です。
- ・ 区役所の対応について 以前の自治体がとても手厚かったので 墨田区もそのようになると嬉しいです。

ウ 区役所の情報発信について（10件）

- ・ 高齢者保護や介護に関する情報を随時、区報に掲載いただければと思います。
- ・ 区が関連する情報のみではなく、一般の業社情報などもあれば良いのではと思います。
- ・ 本所地区のマンションに住んでいますが、区報が届かないため、婦人科検診含む区の情報を、ホームページ等から自分で確認しないと分からなかったです。以前、住んでいた地域では、対象者には、通知がきていました。ただ、地域に、掲示板が多くあり、そちらで、情報を得ることはできます。
- ・ 公共施設の予約方法、登録方法がよく分からないので、もう少し詳しく、冊子（転入の際にもらえるもの）に記載してほしいです。
- ・ 区のことや困った時の相談先、情報について公式 LINE などがある事を、このアンケートのこの質問を受けて調べるまで知りませんでした。引っ越しの転入手続き時に頂いたのは紙のパンフレットのみだったので LINE やメールのことをそのタイミングで知れたら良かったと思いました。
- ・ 2月に転入したが、4月に行われた区の選挙の投票用紙が届かなかった。今後国政選挙等もあると思うので、投票用紙が届くのか不安。
- ・ 引越し前に墨田区のHPで引越しに必要な情報収集をしていたが、自分の知りたい情報がピックアップしづらい仕様だった。
- ・ 外部に墨田区の魅力をもっと発信してほしい。
- ・ 江東区では自治体発行の新聞がよく届いており、地域のコミュニティ活動やイベント、区政の状況を積極的に伝えており、地域へ愛着が持てる一因となっていました。墨田区でも取り

入れてはいかがでしょうか。

- ・ それぞれの家庭の家族構成に則した行政の発信を行ってほしい。

2) 歴史・伝統について (4件)

- ・ 文化財めぐりなどで墨田区民にもっと墨田区の歴史をアピールする企画があれば墨田区民の理解も深まると思います。
- ・ 墨田区を上げて相撲・葛飾北斎・芥川などのPRやイベントがもっとあると面白いと思います!
- ・ すもう好きで墨田区に住むのが夢だった 夢が叶った 墨田区大好きになりました。
- ・ 文化伝統、まちなみを活かした国際誘致。

3) 文化芸術について (2件)

- ・ 花火大会の充実。
- ・ 墨田川の花火大会は有料制にしても良いと考える。お金を払う人のみの参加により今よりもゴミ等(混雑も)のマナーは良くなる、可能性も…。

4) 観光について (4件)

- ・ 外国人旅行客のマナー向上などの施策もあるとよいと思います。民度の向上(歩きタバコをなくすなど)。
- ・ 私は過去に住んだ神奈川県湘南エリアで生活したいのでいずれ転居するつもりですが、墨田区は誇れるものがある街だと思います。たくさん海外からも国内からも人が来てにぎわってほしいですが、昔からあるもの、歴史をきちんと残しつつ、変にこびない観光・街作りを目指してほしいと思います。新しいものの中では、やはり“東京スカイツリー”は大好きです。財産だと思います!隅田川や、神社・お寺なども。今ある良さを生かして心いやされる街…というのもいいと思います。
- ・ 海外からの観光客の方が多いので、どこの国籍の方でもわかりやすい交通ルールや掲示をしてもらうことで墨田区内に住んでいる者の街での暮らしやすさにつながると感じた。(道路の中心で写真を撮らないなど)
- ・ 近所に民泊提供のマンションがありますが、宿泊者主に外国籍の方のマナーが悪いです。改善を求めます。

5) 水とみどりについて (8件)

- ・ 緑(自然)が足りない。公園や街路樹を増やしてほしい。全体的にグレーなイメージがする。(ビルが多いからだと思う)【2件】
- ・ 公園の緑化をもっと積極的にやってほしい。(荒川区の汐入公園、瑞光橋公園は良い例)
- ・ ニオイが臭いところが多いと思います。川からの臭いか、下水の臭いかわかりませんが、友人を呼ぶ際に恥ずかしい気持ちになります。
- ・ 緑豊かな街づくり。

- ・ 文化や商業など、とても素敵なところがたくさんあると思うので、今後は空気や水の綺麗さをアピールできるような街にしてほしいです。
- ・ 墨田区は水のイメージ持っている。もっと隅田川、他の川の周辺を整備して、普段の生活としての憩いの場、観光でのくつろぎ場所に利用できるとよい。たまのイベントにも活用できたら。
- ・ 川沿いをランニングするのが日課です。支川沿いも階段を登って道路を横断することなく、墨田川沿いまで繋がってくると、ランナーが増えると思います。(以前の居住地は川沿いでランニングコースが気に入っており、長く住んでいました)

6) まちなみについて (21 件)

- ・ 錦糸町付近に居住していることを知人にいうと治安について心配される。錦糸町駅周辺の環境を整えてほしい。【2件】
- ・ 京成曳舟駅の周辺の街づくりに力を入れてほしい。ロータリーはできたが、道も細く、商業施設も少ない。もっと住みやすい街になるよう、様々な企業や店舗を誘致してほしいです。
- ・ きれいなまちづくりを希望します。
- ・ 古びた物、建物が景観を損ねており、それに見あった人が集まっているため、理想の街並みにすることで来る人たちも変化すると思う。
- ・ 下町の感じが気に入っているので、いつまでも下町の良さを残してほしい。
- ・ もっと区画が整備されることを期待しています。
- ・ 現在住む私のところは、日本の下町が残る高層マンションが少ない地域で治安の良さや、下町ならではの風情を感じることができます。近年は街の開発とともに、夏の花火を道路で見ることや、ベランダから見るといったことができなくなっていると感じています。墨田区も人口が増えない限り財源がなくなりますので仕方ないかもしれませんが、近年は総武線沿線上でタワーマンションの開発が多く見受けられる気がしますが、この街には建てて欲しくないと思っております。
- ・ 高層マンション建設断固反対 (ライオン跡地) 絶対反対!!
- ・ 転入前から区のご担当が頑張っていることはニュース等で知っていました。期待しておりますので引き続き宜しくお願いします。下町の雰囲気、街歩き、隅田川が好きです。でも墨田区側は寂しいのもったいないと思います。人が集まる仕組みを考えていただけると良いなと思います。
- ・ スカイツリー周辺は盛り上がっているように見えるが、かなり狭い範囲のイメージ。特に浅草とは反対側、特に向島辺りは急に下町感が出てくる。それはそれで良いとするのであれば、浅草に伸びる道をもう少し盛り上げて欲しい。
- ・ 毎日スカイツリーが見れて幸せです。
- ・ 錦糸町付近に住んでいるのですが、駅に行くまでの道が汚すぎます。街が汚いとますます治安の悪化が進みます。景観改善いただけると幸いです。
- ・ 墨田区はどう頑張っても六本木にはなれないのに全てが中途半端でダサいし垢抜けない。スカイツリーの電飾も悪趣味な色が多いのがまた垢抜けない。やるなら徹底的に下町文化を排

除してでも垢抜けた街にすべき。下町文化は台東区にでも任せとけ。

- ・ 両国駅の国技館側の大きな電光掲示板の音が大きいのと、夜間の光量が（以前より改善された気もしますが）やや強いかと思いました。 どうせなら、天気などの実用性のあるニュースやお知らせを流してはいかがでしょうか。
- ・ まだまだ錦糸町といえば、風俗や暴力団のイメージがありますが、最近は駅の北側は治安がよいといわれ、実際そう感じています。北斎通りは提灯のような街並みが、初めて訪れた友人たちにもかなり好評です。
- ・ 墨田区は基本的には色々と充実していると思っているのですが、私が住んでいる八広地域は、だいぶ廃れていると思います。（活気がない） せっかく新しいマンションなどが多くあるので、街づくりをもっとがんばることで発展の余地はあるかと思っています。
- ・ 錦糸町駅が副都心区域に設定されているが、いまいち副都心と言える街並みになっていない。北口のアルカキット周辺やオリナスしか開発された感がない。また、南口は、便利ではあるがこちらも副都心と言うには程遠い感がある。個人的にはマルイの街区を再編して高層化による開発を期待したい。スカイツリーという観光施設もあり、浅草などに近いのにホテルが少ない。特に高級ホテルといえる5つ星のホテルがない。なぜ、スカイツリーを建設したさいに誘致しなかったのか。考えたのかもしれないが、やはり高級ホテルがあった方が街のブランド力も上がる。今からでは土地もないのかもしれないが、前記したマルイ周辺の開発検討をして頂き、高級ホテルもそこへ誘致できるようお願いしたい。これから墨田区に永く住み続けたいと思っているので、他区に負けない街づくりを期待したい。
- ・ タワービュー通りがせっかく良い通りなのにお店が少なく寂しい。
- ・ スカイツリー周辺は綺麗だが、それ以外、亀戸駅周辺が清潔感に欠ける。長時間滞在できるような屋外空間があると良い。たとえばスカイツリー周辺や、リバーサイド隅田のような屋外空間が旧中川沿いや荒川沿いに出来て欲しい。
- ・ 京島エリアでの大規模住宅開発、供給。

7) 住環境（住宅・道路・公園等）について（43件）

ア 住宅について（9件）

- ・ これは「墨田区」にお願いする事ではないのですが、渋谷区に比べて、マンションのグレードが低い為、隣人の生活音がとても気になります。また100㎡を超える物件がほとんどなく、困りました。もう少し大規模で、広い部屋のあるマンションがあったら…。
- ・ 家賃が高いので下げてほしい。
- ・ 墨田区や街は好きですが、建物（現マンション）の住民に夜ずっと起きていて部屋から騒音を毎日出し続けている男性がいて眠れません。民事なので警察の手をわずらわすこともできず引越を決めました。区で相談に乗って頂ける機関があったならもっと長く墨田区へ住み続けたかったです。
- ・ 若い世代に住めるように中古物件の家など低価格で住みやすくして欲しい。
- ・ ワンルームマンションが多くファミリー向けマンションが錦糸町界限に少ないので増やしていただけたらと思います。

- ・ ネウボーノ菊川という子育て支援マンションの素晴らしさをもっと広めて欲しいです。墨田区に住みたくてきたわけではなく、このマンションに住みたくてきました。是非一度視察に来てもらい素晴らしさ知って欲しいと思います。また税制優遇などを導入することでこういったマンションが増えて欲しいと思います。
- ・ 区民住宅を充実させてほしい。そして、墨田区民に周知してほしい。
- ・ 公園等子育てがしやすい街並みではありますが、ファミリー向けの賃貸が少なく狭い賃貸が多い。
- ・ 倒れそうな家が多いので不安。

イ 道路について（10件）

- ・ 電線地中化をぜひ進めていただきたい。特に、住宅密集地は、必須だと思います。【2件】
- ・ 動線がスムーズになると良い。（東向島地域に居住しているが、曳舟駅や京成曳舟駅に向かうにあたって遠まわりさせられている感じになる）
- ・ 隅田川でよくランニングをしますが、道路舗装や夜のライトが台東区側の方が安全なので、台東区側を走っています。墨田区側がもう少し走りやすい・歩きやすい道になれば嬉しいです。
- ・ 自転車用の道路が幅広くとられているのがとても良いと思います！
- ・ 道路のぼこぼこを直してほしい。
- ・ 蔵前橋通りの歩道で、植木の根が飛び出ているところが転倒のリスクとなるかと思います。整備をお願いします。
- ・ 鐘ヶ淵通りの道路整備が遅れている。
- ・ 言問交番の近くに住んでいるが、交番や白バイがうるさい。救急車や大型トラックがうるさい。ベランダがすぐ汚れる。スーパーが近くにない。
- ・ 押上を境に道が煩雑で行き止まりも、狭い道も多く夜は怖いし、火事などが心配。整備されると嬉しい。

ウ 公園について（9件）

- ・ 公園など子供も通る場所が男性の性的な場所になっている。（隅田公園）公園内のmaking Loveは迷惑なので、取り締まりしてほしい。
- ・ 自宅から歩いて桜橋まで行き、川をこえて、足ツボが設置されている公園に行くことがあります。墨田区にも公園などに、健康器具装置？が設置されると、とても良いなと思いました。たまにそこでおばあちゃんやおじいちゃんと話す機会があり、知らない人ですがなんだか健康のことで会話が生まれるだけで嬉しいなと思うこともありました。
- ・ 墨田区の公園は、夏は、草ぼーぼーで遊べないし、薄暗いので、タバコの人が多い。ゴムチップの地面も良いが、台東区や、荒川区は、公園の緑化がほど良く、草ぼーぼーだったこともなく、良かった。ゴムチップだと、物足りない。草ぼーぼーは、本当に、蚊も発生するし…見た目も悪い。
- ・ 公園のハトをどうにかしてほしい。

- ・ バasketゴールのある公園が欲しいです。未就学児対応の公園が多い気がする。
- ・ 隅田公園や横網町公園などのいい公園の維持をお願いします。
- ・ 公園は多いですが、古い公園の整備や安全な遊具の設置があると、子どもがいる私たちのような家庭は嬉しいです。
- ・ 公共の公園等は高齢者の喫煙所になっていたり、歩きたばこもよく目にしたりします。世代ギャップがあるのも承知しているので目をつぶっていますが、強いて言うならなんとかならないものかここで書かせて頂きました。
- ・ 夏 親子で公園内で花火をしている光影を見るが…芝の中でやっている方達も…近隣はけむりかも…。

エ その他（15件）

- ・ 道路で歩きながらタバコをすっている方をよく見ます。子どもの顔の高さにタバコを持っているので、すれちがう時にはとてもヒヤヒヤします。「歩きタバコ禁止」などのポスター、看板があっても平気でタバコに火をつけて歩いている方が本当に多いので、「禁止」をうたうのであればしっかりとりしまって頂きたいと思います。【3件】
- ・ 駐車場、駐輪場が少ない。もっと増やしてほしい。【2件】
- ・ 住宅周辺がとっても臭う。せんたく物が乾燥機にかけると、その臭いがうつるようになってしまった…下水道の臭に近い。
- ・ 利便性が高く、区内で充分満足の行く生活ができますが、それを上回る住環境の悪さを感じ、日々引越しを考えてしまっております。綿糸町駅周辺で「喫煙者の取締り強化」と、「害虫、悪臭対策」をお願いしたく存じます。「そこに住むな」と言われればそれまでですが、あまりに汚い。夜間に出た飲食店のゴミや汚物と、駅前の喫煙ブースの臭いで、健康被害が出るほど困っております。綿糸町駅前の喫煙ブース、もう少し閉鎖的になりませんか？ゴミの処理厳しくできませんか？毎日墨田区が嫌になっていく日々、区役所何しているんだろうと考えていました。
- ・ 錦糸町エリアは路上喫煙者が多く、私のような嫌煙者にはとても不愉快な街です。駅前の喫煙スペースもタバコの臭いが外にまで漏出し、駅までの道のりを遠回りする必要があるなど、永く住み続けたいとは思えません。錦糸町は、それさえなければ便利で良い街なのですが、引越しを考えている私の知り合いにも、タバコの話をする、錦糸町には住めないと言うほどです。何か対策を講じていただけたら幸いです。
- ・ まちが治安良く、ゴミなどないきれいなまちであれば、何もない限り住み続けたいと考えております。
- ・ 文花2丁目、3丁目のあたりを夏、歩いていたら、すごく暑いのに、クーラーを付けていない、老人たくさんいました。涼める場所の案内をしてほしいと思います。
- ・ ポイ捨てが多いようで居住マンションの前によくゴミが捨てられています。区民のマナーの向上に力を入れてほしいです。
- ・ 元々墨田区が地元で、昔から墨田の町を知っているのですが、引越しして来る方も増えてる印象があるのと比例して道路や道にゴミが多く落ちていたり、曜日や分別が出来ていないゴ

ミ出しがあるのが、気になります。足立区にいたころは、ゴミはあまり無くて、墨田区に戻った時汚くて気持ちの良いものではありませんでした。墨田区の町は、地元の人と新しい人たちが協力してキレイであってほしいです。

- ・ 産業廃棄物の匂いがひどいため、対処して欲しい。
- ・ ゴキブリ、治安の悪さ、環境の悪さ、街の汚さ人の悪さまじで墨田区いい加減にしろ。スカイツリーが綺麗だけじゃ街は綺麗にならないんだよ。もっとより良く気持ちのいい環境づくり作ってほしい。子供にも悪影響じゃ将来の子ども達が汚い大人達に染まってくから本当に改善して街づくり欲しい。
- ・ 駐輪場を両国駅東口側に作って欲しい。

8) 交通について (35 件)

ア 道路交通について (21 件)

- ・ すみまるくんを一方向ルートだけでなく、反対周りルートも運行して欲しい。【2件】
- ・ 路上駐車が、自転車で道路脇を走っていると道路の真ん中を通らざる得なくなる事があり、危険を感じています。路上駐車を減らす対策を立てていただけると嬉しいです。【2件】
- ・ 自転車通行しやすい。
- ・ コミュニティバス、すみまるくんのルートが、もう少し、短く、駅、直結になると便利かと思えます。綿糸町から、自宅に帰ってくるとき40分ほど、かかりました。観光用のバスなのでしょうか、なかなか、普段使いができませんでした。
- ・ 6号線にバスを走らせてほしい。
- ・ 京成曳舟駅周辺で“すみまる君”バスを毎朝お見掛けしますが、歩行者の動きをよく見て丁寧な運転をされています。ぜひ利用したいと思いました。
- ・ コミュニティバス100円は安くして便利なので良いが、ほぼ時間通りには来ないのが、気になった。(そういうものだったら良いですが…) 亀有行き等の土日バスもほぼ時間より10分以上遅れてくる？
- ・ レンタル自転車の数(拠点)を増していただければ嬉しいです。1丁目→4丁目方面や両国→本所吾妻橋など移動が少し面倒で区内探索が億劫に思えてしまいます。レンタル自転車運営会社も複数の会社がエリアを別けて混在しており、少しわかりやすくマップがあると嬉しいです。
- ・ 信号機の増設・カーブミラー等の増設。以前住んでいた街もそうだったが、上記設備が少なく、交通安全に少し欠けていると感じる。
- ・ ベビーカーでの移動が多い為、曳舟駅前のロータリーにもっとバスが増えたら助かります
- ・ 初めて墨田区に住んで、他の都内の住宅地よりも圧倒的に自転車が、危険です。ぶつかられたこともあります。海外のように車道、歩道とは別に自転車専用レーンを、ブロックで分けて混ざらないようにしてほしいです。観光で来ている外国人が、自転車をよけるために歩道のはじによけて立って、自転車が通るのを待つ様子をよく見かけます。それくらい、この自転車が歩道を速いスピードで走るのは異常です。常に自転車を気にして歩道を歩かないといけないので怖いです。車道の自転車専用レーン(はじっこ)は、路上駐車がなくて自転車

が車道に大きくはみ出すことが多くて怖いから、誰も使ってないです。車道と自転車専用レーンは、白線だけでなく、ブロックのような高さのあるもので分けないと、使えません。ぜひ改善をお願いします。

- ・ 目の前が道路だが、交通量が1日中多く走行音が思ったより気になっている。走行音を低減できるような舗装をしていただけるとありがたい。
- ・ 道幅が狭く、車での移動が難しいです。電車があるので外出しやすいですが、マイカーをと考えているとなかなか暮らし続けるのは難しいかなとも思っています。
- ・ 大通りは車が多くスピードも出ているので、子どもだけで動くのが心配です。歩道を広くしたり、安全に歩行者が移動できるようにしてほしいです。
- ・ 自転車専用レーンを道路にもっと増やしてほしい。
- ・ 自転車で走行されている方がとても多い印象ですが、自転車専用道路があっても基本的には歩道を早い速度で走行されており、たびたび危険を感じます。歩道がないところや、あっても狭いところが多いので、改善されるとなおありがたいです。
- ・ ガードレール等で区切られていない歩道が多く、車との接触の危険性がある（地蔵坂通りなど）。一方通行にする等して、歩道の幅を広げたり、ガードレールを設置してほしい。
- ・ 区内循環バスの経路を増やしてもっと利用しやすいようになるとうれしいです。
- ・ 自転車のルールを条例で定めて欲しい。逆走、無灯火等が多く危険です。

イ 鉄道及び駅について（11件）

- ・ （両国駅の）総武線とJRの乗り継ぎが少し不便。
- ・ 押上駅から、地下にもぐらずとも南北間を移動できるようにしてほしい。
- ・ 錦糸町駅の南北の導線（駅の地下）や、パルコ、テルミナ、丸井アルカキットが地下でつながるととても便利なのですが…。
- ・ 半蔵門線の押上駅ホームの夏場エアコンが効きが弱い。浅草線は涼しい。冬場は逆に暖かいが、単にエアコンの問題？なぜだろう。観光客も多いので、是非検討をお願いしたい。
- ・ 曳舟駅南側にロータリーができ、景観が良くなった。
- ・ 区とは別管轄かもしれませんが、都営浅草線押上駅のホームの狭さ、ホームから改札口へと向かう階段の少なさはどうかしてほしいです。あんなにたくさんの人が訪れる駅なのに狭くてすれ違うのも怖いくらいです。
- ・ 両国駅について、大江戸線とJR線を繋げてほしい。
- ・ 鐘ヶ淵駅の踏切が全然開かなくて困ることが多々あるので、もし改善されたら便利なまちのひとつになるかなと感じています。
- ・ 東京スカイツリーラインの東向島駅、鐘ヶ淵駅、堀切駅、牛田駅の発展が課題であると考えられる。特に鐘ヶ淵駅は駅が曲線状なのでベビーカー、お年寄りが乗りにくいと圧倒的不評を受けている。各駅の整備、発展が住み良い街の第一歩につながると考える。
- ・ 押上駅とライフを地下直通にしてほしい。
- ・ 駅から地上に出るエレベーターが少ない。エレベーターに健常者が乗りすぎていて、ベビーカーが乗れない。

ウ その他（3件）

- ・ 錦糸町から両国間で線路の下を歩けるようにしてほしいです。例えば、319号線に歩道橋や信号を新設したり、緑道を通れるようにしてほしいです。
- ・ 車のナンバーがご当地ナンバーになると良いなと思います。スカイツリーや北斎などのプレートがあれば希望します。
- ・ 電車の交通が発達していて、利便性は高いですが、鉄橋が多く、騒音が強すぎるため改善していただきたいです。

9) 産業について（2件）

- ・ みずほ銀行が近くにほしい。
- ・ 下町のまち工場を保護する支援をいただけると助かります。後継者がなく、やめてしまうことが多いのではないのでしょうか。

10) 商業・商店街について（41件）

- ・ ミニスーパーやコンビニ以外の、大きなスーパーが近くにない、スーパーの数が少ない。【6件】
- ・ 両国駅に大型スーパーがない【3件】
- ・ 墨田区民が墨田区内の商業施設の割引を受けられるサービスあったらいいと思いました。既にあるなら、ガイドブックやHPに記載して頂けると分かりやすいです。各商業施設などで使えたら嬉しいです。【2件】
- ・ 商店街・スーパー等の買物環境を充実させて欲しい。【2件】
- ・ 駅前の店を充実させてほしい。駅前に店がないので不便。【2件】
- ・ 本所吾妻橋、向島近辺は大き目のスーパーや、商店街等が無いので買物が不便に感じる。【2件】
- ・ 地方と比べて何でも物価が高すぎる。
- ・ 本屋さんがない。
- ・ 居酒屋を増してほしい
- ・ キラキラ商店街が住宅化して残念である。
- ・ 八広駅前に飲食店が欲しい。
- ・ 今回の PayPay と協業した地域活性化を取り入れていただけるのは暮らし続けたいまちづくりに貢献すると思う。
- ・ 両国駅前に、商業施設を作って欲しい。特にスターバックスとすき家を作ってください。
- ・ 東あずま、小村井周辺に住んでいますが、周辺にお店が少なく、亀戸かロピア（小岩）まで出ています。東あずまの商店街も目ぼしいお店もなく、ほとんど高齢者が集う場所と化しているため、もっとお店の新陳代謝を活性化してほしいです。
- ・ 森下近辺は大型スーパーがなく、菊川や浜町まで足を伸ばさなければいけないので不便である。両国を相撲だけの街にしないで、駅ビルをもっと使いやすくしてほしい。せめて亀戸レ

ベルくらいの利便性があると大変満足である。

- ・ 近辺にスーパーがいくつもあり、困った時にはすぐ利用出来て助かっています。
- ・ もっとたくさんの商業施設ができると、より墨田区にもたくさんの人が訪れるのかなと思います。
- ・ 八広駅周辺の商業施設の発展を期待しております。
- ・ 京成曳舟駅付近はチェーン店が多く、非常に便利なのですが個人営業の店が活気の無い所が多い気がします。ひきふね図書館の周辺などが特に顕著で少し物悲しい雰囲気があると思いました。
- ・ 手軽なスーパーが各駅前にあると住み良い。
- ・ 24時間営業のスーパーもしくは、ドラッグストアがあると、大変すみやすいと感じる。または、24時ごろまで営業する量販店など、現状21時を過ぎると閉まる店が多く、急用に必要なものを買えない場合が多い。 ※オムツや粉ミルクなど
- ・ 繁華街の飲食店周辺の匂いがきついので、なんとかしてほしい。
- ・ 車がなくても日常生活には全く不自由しないこと、ソラマチに代表される商業施設ににぎわいがあること等、メリットが多く助かっています。
- ・ 大きな総合ビルのみならず、小さな地元に基づく商店街の発展。昔と比べてみな衰退してなくなってしまったのが残念。町おこしです。
- ・ 立花3丁目にコンビニが少ないと思う。
- ・ 観光客向けだけでなく、地元の人向けの店を増やした方が良いと思います。特に駅周辺の飲食店。夜までやっているファミレスや定食屋などを増やした方がよいと思います。とても住みやすく、景観も綺麗な街なので飲食店が増えればもっと住みやすくなると思います。
- ・ 魅力的な飲食店の誘致（チェーン店ではない）、魅力的な生鮮食品店の誘致。
- ・ 墨田区に住んで数ヶ月ですが、墨田区のことをとても好きです！特に近くにある商店街や昔ながらの飲食店が好きで、なくならないように今後もたくさん支援をしてほしいです。
- ・ 駐車場（無料）のある施設が増えてほしい。（遊び場・食事・買いもの）
- ・ 墨田区の区民税が使われているのであれば、PayPayの30%還元キャンペーンはやめてください。

11) 防災について (23件)

- ・ 災害に強いまちになってほしい。【5件】
- ・ 墨田区墨田周辺における、災害時の水害対策について、もっと情報が欲しい。区としてどのように対策を行なっていくか立案・周知してもらい、ハザードマップの危険区域を少しでも少なくするような活動など定期的に知ることができれば、安心感につながるかと思います。【5件】
- ・ 防災面で地震対策が気になる。地震災害に弱いエリアの強化をお願いします。【2件】
- ・ 地方から転居してくると、人の多さによる人災の恐怖を強く感じるようになりました。区で備えている防災の情報などを、区報やHPなど調べないと手に入れられない媒体のみならず街中や電車内掲示、放送等でも伝えてほしいです。

- ・ 以前から思っていました、一部地域の災害対策がまだなのかなと感じています。大田区では高台に住んでいたこともあり、安全かつ、災害が発生した際に水がすぐに取りに行け、土のうも徒歩5分程で取りに行ける距離でした。もう少しそういう場所や地所を強化してほしいと思います。
- ・ 火災のニュースが出ると、近所の道路が狭く、家と家が近いので心配になる。
- ・ 先日区報で災害時の避難支援があると知りました。対象を妊婦と子育て世帯まで広げてほしいです。今、我が家は必要ありませんが、妊婦のときは少しの移動もしんどいことがありましたし、双子等乳幼児が複数いるご家庭は大変そうだなと思います。隅田川が氾濫の可能性がでてきたとき、情報を早めに伝える、タクシー代1万までは補助しますヘルパーが援助しますなどのサービスがあったら、安心して暮らせると思います。
- ・ 八広地区に住んでいます。子供の通学路に、工場や、駐車場などありますが、そのブロック塀が、老朽化のため、すでに、ななめになっている場所が多くあります。以前大阪で、小学生が、ブロック塀の下敷きになって亡くなった事故がありましたが、今後の地震などで、崩れたらと思うとすごく怖いです。八広6丁目の工場や駐車場のブロック塀です。1度、見に来ていただけたら、嬉しいです。
- ・ 土地柄、地震などの自然災害にとっても弱い地域だと思いますので、定住するかと言われれば？ですが、今の所気に入って住んでいます。とはいえ、自然災害はいつくるか分かりませんので、何かあったときの備えを十分におこなえば、と思います。
- ・ 区でも特に意識されていると思いますが、今後さらに防災面での対策に力を入れていただきたいと思います。江東区に住んでいる人から、防災グッズを区民に無料で配付（決まった金額の中で好きなものを選んで申し込める）してくれるという話を聞きました。墨田区もそういう事を是非やって下さい。安心そして信頼できる行政を目指してほしいです。
- ・ 今分譲マンションに住んでいます。当マンションは旧耐震タイプなので、新耐震の工事が必要のため、補充金制度があればありがたいです。
- ・ 防災無線がどうでもいい情報なのにうるさいし、子供のお昼寝の時間にかぶって大変迷惑だった。放送する時間を再考してほしい。
- ・ 若い人から年配の人まで幅広い人が暮らしている印象があり、環境も良くとても住みやすいまちであると思います。今後も安心して住めるよう、災害に強いまちづくりを進めていただければと思います。
- ・ 精神病患者の抱える家庭にやさしい制度の充実や、災害時の避難所での保護を充実していただきたいです。こういった家庭はどうしても声が小さいと思うので、ここで拾っていただけることを切に願っています。

12) 防犯について (18件)

- ・ 錦糸町駅南側（飲食店街、WINS 近辺）の治安を改善してほしい。錦糸町駅南口に溜まっている高齢者の路上喫煙と迷惑行為 錦糸町駅南口の喫煙所の廃止希望、錦糸町駅南口の客引きの取り締まり強化希望。【4件】
- ・ 街灯が少ない場所がある。

- ・ 前居住地に比べて治安が良い方。
- ・ 治安が悪い。公園に昼間からお酒を飲み集まる高齢者が多いです。又、ハトのえさやりをやめない方も居ます。ちらかった公園で子供を遊ばせるのは不安なので改善してほしいです。
- ・ 自転車ルールの制定や指導、自転車の人が多いわりにルールを守らない人が多い。自転車を盗まれて移動されて保管場所に持っていかれた被害届を出しても時間によっては金を払えと言われて利不尽だと感じた。
- ・ 民度の向上。(歩きタバコをなくすなど)
- ・ パトロールを見たことがないので、そういう活動が見られると治安が良くなるのかなと思います。
- ・ 今も取りしまってくれてますが、夜の店(飲食店含む)キャッチが多いのがうっとうしいです。前に比べれば大分減ってはいるので、ありがたいですけど…。
- ・ 治安が良い町ですが、夜間は人通りが少ないので警察官がパトロールしているとホッとする時もあります。引き続き巡回を続けていただけると幸いです。
- ・ 治安を良くして下さい。
- ・ 空き家が多い気がするので、防犯上気になる。道や建物内にネズミが出て衛生面が心配。
- ・ 私用地へのごみの不法投棄が起きています。急な改善は難しいと思いますが治安の改善よろしくお願い申し上げます。
- ・ 高齢者層の治安の悪さを改善してほしい。
- ・ 治安の維持。
- ・ まずは治安改善が急務と思います。駅前の喫煙所撤去や、歩きタバコの罰則等。また、繁華街のエリア縮小など、治安を悪くしている要因を徹底的に排除してください。JRAは早期に撤退いただきたいです。言わずもがなですが、こういった娯楽施設等に治安を悪くする人間が集まります。縮小したエリアには幼稚園や保健所など、住民にとって本当に必要な施設を更新・新設してください。住み良い街にしないと区外の転出者が増え、納税が減りますよ。区を運営する資金が減ったら元も子もないです。このようなアンケートを実施するからには結果を出してください。

1 3) 地域活動・地域づくりについて (3件)

- ・ 街の人との交流イベントを多く行ってほしい。若者たちもたのしめる交流イベントを行ってほしい。
- ・ 墨田区に住んでいるからこそ体験できることを充実してほしい。よろしく願いいたします。
- ・ 勤労世代が参加しやすい地域貢献活動、子なし夫婦世帯が参加しやすいイベントの充実。

1 4) 高齢者福祉について (2件)

- ・ 今後独り暮らしの高齢者が増加していくと考えられますので、行政・地域を通しての見守りなどの取り組みを行っていただきたいです。
- ・ 空き家対策・高齢者の1人暮らしのフォロー。(孤独死など)

15) 健康について (13件)

- ・ 健康診断を無料でやってくれる。(歯科・胃ガン)
- ・ 子どもや高齢者にインフルエンザなどの予防接種の助成金を希望。
- ・ 体調をくずした時かかれるクリニックの数が少なく感じます。救急車に乗り病院を探してもらった時区内の病院ではなく区外の病院に搬送となりました。区内の病院では断られたとの事だったので体調をくずした時とても不安です。
- ・ 病院の情報がもう少し便利になると良い。
- ・ 医療施設が充実してくれたら嬉しい。
- ・ ワクチン接種の4回目の案内が昨年から来ない。前に住んでいた葛飾区は昨年の9月には案内があった。墨田区はそれよりもかなり遅い。5類になったとしてもコロナ感染・発症して被るリスクや害は計り知れない。国が5類にしたからと言ってコロナのリスクを甘く見ずに迅速にワクチン接種対応を進めて欲しい。
- ・ 墨田区は病院の口コミがあまり良くないことが引っ越し後に一番気になったことです。墨田区に転入後、初めて発熱した際、かかりつけ病院を決めていなかったことで意識が朦朧とする中ネット検索したものの、口コミで良い病院がなかなか見つからず、とりあえず近くの病院に行くもしっかり診てもらえた感覚はなく、医療費も高く、結果病院を転々とする事になり大変残念でした。今後妊娠・出産を望む中、病院の質という点でこの地区で本当に大丈夫なのかという不安、また費用補助はどうなっているのかあまり詳しくわかっていないことが不安要素としてあるため、ここがクリアできればさらに暮らし続けたいと思えます。
- ・ 新宿区に住んでいた際はがん検診の検診票が該当年齢者全員に郵送されており1年間受診可能でしたが、墨田区は自分で問い合わせをして検診票を取り寄せないと受診できず、検診票の使用可能期間も限られているため、がん検診を受診するまでのハードルが高く感じました。
- ・ 妻より、乳がん検診の年齢の対象を若くしてほしいとのことです。
- ・ 障害者福祉系手続きを行うことのできる保健センターの利便性が少々気になりました。行政機関のため、ある程度は仕方は無いと思いつつも、交通の便があまりよくない土地にあるため、平日の営業時間内にお伺いするのがかなり難しいです。
- ・ 本所保健センターの老朽化。
- ・ 無料検診の充実。
- ・ 国民健康保険が千代田区に比べてかなり高い。

16) 妊娠・出産・子育てについて (62件)

ア 妊娠・出産・子育て全般について (11件)

- ・ 子どもの出産費、子育て費や教育費の補助・支援を感じるようなまちへなってほしい。【4件】
- ・ 実際に住み始めて、子育て、教育環境が充実していることを感じています。
- ・ 子育て世代が多く住んでいる印象があるからこそ、出産や結婚をひかえた年齢層向けの医療サービスをより充実していただけるよう期待いたします。(結婚前検診など、自費では負担が大きいものが多い…)
- ・ 新生児訪問などの制度を利用させていただき、大変助かりました。

- ・ 妊婦健診の助成額を上げて欲しい。千葉県船橋市と福島県郡山市で妊婦健診に通ったがどちらも助成額は通常 5500 円で前期と後期検査では 1 万 5 千円ほどの助成があったため墨田区に転入してきて助成額が少なくて驚いた。また産後 2 週間健診と 1 か月健診も助成が無いと聞いて驚いた。
- ・ 今後の支援内容によって第三子考えてます。生まれ育った土地なので、どうぞお願い致します。
- ・ これからのことを考え、結婚や子育てに力を入れていただけると嬉しいです。子供が住みやすいまちを作っていってほしいと思っております。
- ・ ひとり親などに対する制度が少なすぎる。家賃補助や区営住宅などの優先入居ができれば嬉しい。

イ 特に子育てについて (51 件)

- ・ 子育て支援をもっと充実してほしい。【9 件】
- ・ 以前、住んでいた自治体の方が子育て支援が、充実していました。(自治体名の記載がある回答は、千代田区、江戸川区、江東区、台東区、福岡市)【6 件】
- ・ 保育園料が高いので低いとたすかります。23 区で最も高いです。【5 件】
- ・ 子どもと一緒に出かけられる屋内施設が増えてほしい。フードコートや、遊べる室内スペース、体育館での体操教室など。【3 件】
- ・ 希望の保育園に通えるように定員を増やしてほしい。(保育者を拡充してほしい)【3 件】
- ・ 病児保育の充実やベビーシッターの民間サービスを利用する際の補助をしてほしいです。墨田区が提供している病児保育(墨東病院、はぐ)のみだと、利用したいが利用できない。(定員・予約でいっぱい)機会が多すぎると感じています。【2 件】
- ・ 産後のあづかり保育などのサービスを充実させてほしい。【2 件】
- ・ 子育て世帯で転入者は区役所に保育のことを聞きに行くのも大変なため、転入者対象としたオンライン相談や訪問指導などがあれば便利だし他の地域ではあまり行っていない取り組みのためよいと思う。
- ・ 子育て世代が住むには物価(家賃含む)、環境面でまだ選びづらいと感じました。親戚が近くに住んでいなければ、区外に住む予定でした。
- ・ 子の発熱等、病気による急な保育園の迎えは、ファミサポでも民間のベビーシッター等でも対応できない状況である。共働き家庭も増加していることから、発熱での送迎も対応可能なサービスがあると大変有難い。
- ・ 他の区に隣接している地域に住んでいると保育園選択が難しいので改善してもらえると有難い。※近くの保育園が別の区の場合に入園が難しい
- ・ 来年 4 月から保育園に入れたいのですが、求職中(もしくは内定)の点数がかなり低いので、認可はあきらめています。が、認証保育園は、どこも遠く、保活を考えると気が重いです…。自宅保育で 3 才 0 才を育ててますが、友人達は皆育休中でも上の子は保育園。私も週 2 ~ 3 回でよいから上の子あずけたい…。それがあたり前にできるまちになってほしいです。
- ・ とりあえず児童館が古くてせまくて、くらしいのをどうにかしてほしい…。

- ・ 先日の「子どもの学び応援事業」の図書カード、大変驚きました。未就学児がいて、暑い中コロナも増えていて自宅保育に大変さを感じていましたが、図書カードとギフトカードに助けられました。ありがとうございます。ぜひこのまちで子育て世帯として暮らし続けたいと思っています。
- ・ 認証保育園が近くにないので困っている。曳舟や押上付近にも認可だけでなく認証保育園が欲しい。ポイントが少なく、認可に入れないため。
- ・ 2人の子供がいます。妻は専業主婦です。江東区では、共働きでない家庭でも年間500円で、学童に行けるキッズがある。子育て世帯にとっても優しい区だと思し、子育てに力を入れているのがとても分かる。墨田区から江東区に小学校の入学を機に引っ越すという話を良く聞きます。墨田区は、子育て支援にもっと力を入れるべきです。もう1人子供を作るか悩んでいたが、江東区のような学童支援が墨田区にはないので、3人目はとても考えられない。図書券や商品券ではなく、もっと違うサービスにお金を使って欲しいと感じる。
- ・ 認可保育園の地域毎のバランスを見直して欲しい。空いている所は区内にはあるが居住地からは行きづらいなどあり、区外から転居して来た人間には活用しづらい面が多い。
- ・ 子育て支援とその情報発信にもっと力を入れてほしいです。
- ・ 墨田区の全ての保育園でオムツ持ち帰りをなくすように働きかけてほしい。
- ・ 港区の学童のお弁当配送事業はとても良い取り組みだと思った。商品券の配布なども良いが、ばら撒きだけではなく自分達のニーズが満たされていると実感できるような制作を実行してほしい。今のところ墨田区に子育て関係の政策を重視しているイメージはない。
- ・ 子育てにおいて子供の保育園に入れない期間や兄弟で別で入らざるを得ない状況を変えて欲しい。
- ・ 子育てに寛容な町であってほしいので、ベビーカーなどが利用しやすいようにエレベーターなど移動経路を整備してもらったり、日用品に使える補助金交付があれば安心できると思います。
- ・ 隣の江東区とは子育て支援において、劣っていると感じる。子どもの学び応援事業についても1万円の図書券はすごくありがたいが、江東区は3万円分。私が住んでいる所は数メートル先は江東区である所なので、江東区に引っ越せばよかったかなと思ってしまう。
- ・ 保育園への入りやすさは江東区に劣っている。江東区は5~6年前まではかなり待機が多く、入りにくかったが数年で改善し、最近は兄弟同園、途中入園等もしやすくなっていた。墨田区もそうなるとよい。また、他区で実施され始めている給食費の無償化等、所得制限のない子育て支援をもっと充実させて欲しい。公園や緑のある環境など遊ぶ場を充実させてほしい。
- ・ 子育てにおいて、子育て広場や児童館が充実していてとてもありがたく思っています。公園がもっと綺麗で遊具が小さい子も楽しめるものがあると嬉しいです。
- ・ 小さい子どもを育てています。子育て支援センターで預かり保育などを受け入れていただけたところが現在より増えてくれるといいな、と思います。また、他の区で受け入れているところもあるベビーシッターの支援助成が墨田区でも適応されるとありがたいと思います。
- ・ これは区の問題ではないのですが、児童扶養手当の上限額が全国一律なのも不思議でなりません。東京都に来てから圧倒的に食費や日用品費がかかります。選ばれた人達しか住めない

街なんだなと思います。ただ、図書券プレゼントや育成手当、018 サポートなど東京都ならではのサポートに助けていただいているのも事実なので、このようなサポートは増えたら有り難いです。

- ・ 子ども支援のために、他の自治体と同じ金額の支援をして欲しいです。物価上昇により生活は、苦しいです。

17) 子ども・若者支援について (2件)

- ・ 墨田区については、「若者」が、住みたい町になるイメージがあり、西東京の様な、「若者」に対する支援があると良いと思います。例えば、大学生への補助金(学費)とか、アルバイト斡旋とか、充実すると良いのではと思います。
- ・ 結婚祝い金や若者向けの支援も増やしてほしい。

18) 教育について (8件)

- ・ 区の学童保育の充実を求めます！渋谷は希望者全員、費用は無料でした。遅い時間の対応もあり便利でした！
- ・ 以前住んでいた江東区では学校給食が無償化されたそうですが、墨田区は有料で、内容的にも、肉がほとんど入っていない(江東区と比べて)と子供から聞いています。給食は子どもの体をつくる大切な要素なので、手厚くしてほしい。有料のままでも良いが、内容、栄養は充実させてほしいです。
- ・ 他の区は給食費が無料になったりしている中、墨田区だけが、値上がりしていると聞きました。そこだけが残念です。それ以外は墨田区大好きです。どうか、給食費、宜しく願い致します。
- ・ まだ越してきたばかりでわからない事だらけですが、学校の転入生に対する態度に少し不安・不満が残ります。
- ・ 公立小学校・中学校への支援。子育て世帯への長期休み中の支援や習い事・学習の支援など
- ・ 教育格差への支援。
- ・ 働く親(共働き)でなくても又は育休中などの期間であっても小学校の学童クラブを利用できる制度を希望。夏休みや冬休みなどの長期の休みの時は、学童があれば友だちと関われる場が自然とできるが、利用していない家庭は、親との関わりのみになってしまう。コロナもあり、親の交流も無くなってしまったことや、他家庭との連絡先交換などが無い為、子どもが関わり合っすぎてる場を区で整えてほしい。
- ・ ひとり親家庭です。小学生の子どもを一人で育てています 学童保育に入れず慣れない土地で昼から夜まで子供がお留守番している事が不安です。福岡では学童保育に入れないなんて事はなかったですし、夏休みや春休みもイベントや教育をしっかりとってくれて安心して働けました。また、希望者は小学6年生まで利用できました。正直、驚きです。住みやすさはありませんが、その点は残念でした。

19) 環境保全について (8件)

- ・ 個人的ではありますが、江戸川区は粗大ゴミが持ち込みできたのですが、墨田区は回収のみになっているのが、引越の際に不便でした。転入時は、優先して回収していただけるなどがあると良いと思います。
- ・ 墨田公園の芝生はきれいに良く手入れされているが、多勢の犬の散歩の方が芝でふん尿をさせているので、ビニールを敷いて、ころがろうと思っても気持ちが悪い。
- ・ カモメの糞をどうにかして欲しい。また、カモメの鳴き声でストレスが溜まる。
- ・ ウミネコが繁殖しているようで怖いです。早めの対策をお願いします。
- ・ 古着回収などを各所の公園などで行っているようだが、自分の処分したいタイミングで出せるようにしたいので、常設のポストなどを設けてほしい。
- ・ スカイツリー前の川が非常に汚く、結構ゴキブリが出てるので美化を頑張ってもらいたい。
- ・ 工業地帯の臭いがひどいです。引っ越してから工場が多いということを知ったので、臭いの影響がありそうな住居は事前に通知してほしいです。住居説明については区でどうにかできる問題ではないとは思いますが、不動産会社に伝えておく等してほしいと思いました。墨田区はとてもいい町ですが、その臭いだけで嫌になってしまいました。
- ・ 工場の匂いを抑制してほしい。ゴミ回収日にカラスがゴミを漁って散乱していることが多いので、カラス対策。

20) コミュニティについて (4件)

- ・ 墨田区は他と比べて若者と高齢者が混存しているため、町内会など昔からある取り組みを若者にも受け入れられるように変えるべきだと感じる。
- ・ 住民のゴミ出しのルール徹底。
- ・ 下町に住むのは初めてなので、みこしや祭などに参加してみたいがすでに出来あがっているコミュニティにどう参加したらよいかわからない
- ・ よく日中に外出しますが、老人のマナーの悪さ、モラルのなさが目につくことがあります。また、球技禁止の公園でボール遊びをしている小学生もよく見かけます。もっと皆が気持ちよく暮らせる街になればと思います。

21) 生涯学習について (4件)

- ・ 図書館もキレイで嬉しい。
- ・ すみだ水族館等で墨田区民優待入場料とか作ってほしい。
- ・ 菊川駅の近くに図書館（本の返却ボックス、勉強ができる場所）があるとうれしいです。
- ・ 読売カルチャー等の多彩な講座、イベントを増やしてほしい。

22) スポーツについて (3件)

- ・ 区の体育館を墨田区民なら安く入場、利用できるようにしてほしい。
- ・ プールですが、水泳帽をなくしていただきたいのと、区民限定プールがあってもいいのではと思っています。つねに八広、錦糸町は混雑しているので…。
- ・ スポーツジムを充実させて欲しい。

23) 多様性・多文化共生について(4件)

- ・ 墨田区内を歩いていると外国人の多さを実感します。都内でも比較的住みやすいことから選ばれているのだと思いますが、国際色豊かで外国人でも暮らしやすいことを期待していただけない、墨田区役所の方から馬鹿にされ、子供扱いするような対応をされた事に心底落胆しました。日々対応に苦慮されていることもあるかと思いますが、首都東京の見本となるようなダイバーシティの実践を率先して行っていただきたいです。よくある困り事としては…数ある申請書や申込フォーム類をオンライン申請しようとする、文字数制限で住民票や在留カードと同じ名前を登録できない。また、アルファベット表記とカナ表記の混在など…。防災・ダイバーシティの視点からエスカレーターやエレベーターの数、音声案内など人が多い危険な場所を中心により支援が充実していくことを期待しています。
- ・ 英語の案内の拡大。(ツーリスト向け)
- ・ 若者から高齢者まで、幅広い世代が快適に暮らせるようなまちづくりを望んでおります。
- ・ 東京の下町なので、公共施設に英語、中国語、ハングル表記は必要なのか疑問。日本人にも読みづらく、海外の方に日本語表記の方が受けることもあるのでは無いでしょうか。迎合してもあまり良い結果にはならないと思う。

24) 区政参画について(1件)

- ・ 選挙地区が、ちょうど、地域の堺のようで、目の前の中学校の選挙場所ではなく、かなり遠くの場所でした。期日前の会場も区役所でやりましたが、10階以上の階で行くのにとっても時間がかかりました。エレベーターが、全く、こなくて、かなり、まったので、できれば、もう少し、低層階で会場を設置してくれると良いと思いました。仕事終わりに行くと、とても大変でした。

25) DX(デジタルトランスフォーメーション)について(3件)

- ・ DX化を進めて下さい。
- ・ 前の区の方が夜間対応やオンライン対応が多く、手続きがし易かった。自分を含め周りの友人なども引越しの際、意外と行政手続きの柔軟性を見ている人が多い印象がある。マイナンバー、一つでなんでもオンライン申請出来るようになって欲しい。
- ・ 行政手続きの完全デジタル化。

以上

第3章 調査の結果 墨田区からの転出者

1. 回答者の基本属性

(1) 調査結果

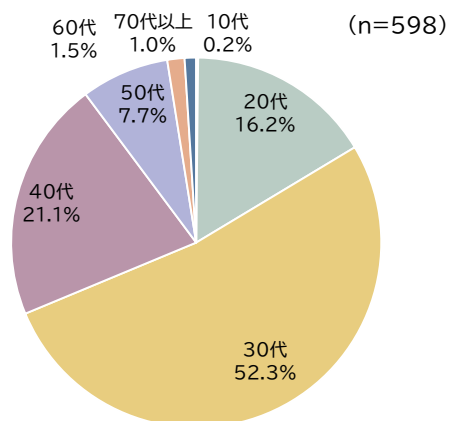
① 満年齢

年齢は、「30代」の割合が最も高く 52.3% である。次いで、「40代 (21.1%)」、「20代 (16.2%)」である。

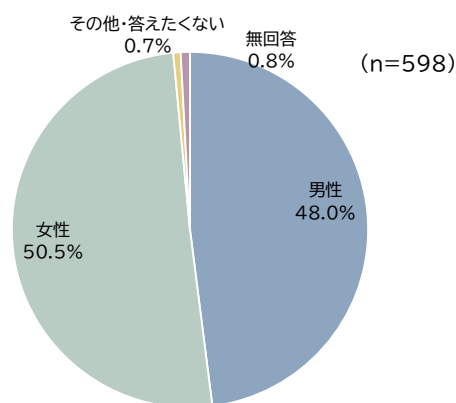
② 性別

性別は、「女性 (50.5%)」、「男性 (48.0%)」である。

図表 78 満年齢 (SA)



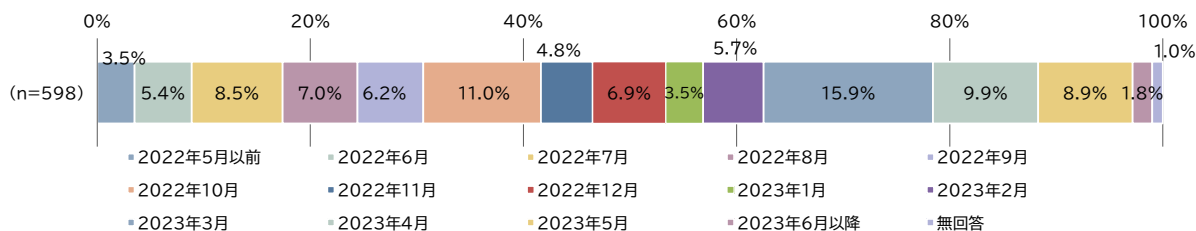
図表 79 性別 (SA)



③ 引越し (転出) 時期

引越し時期は、「2023年3月」の割合が最も高く 15.9%である。次いで、「2022年10月 (11.0%)」、「2023年4月 (9.9%)」である。

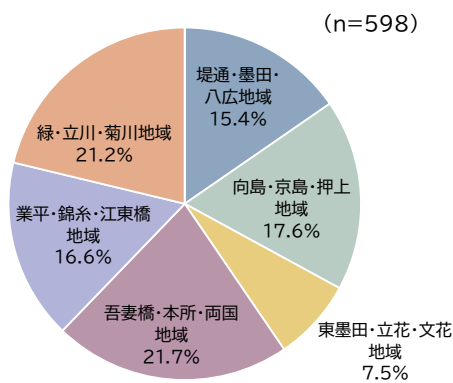
図表 80 引越し(転出)時期 (SA)



④ 引越し前の居住地域

引越し前における墨田区での居住地域は、「吾妻橋・本所・両国地域」の割合が最も高く21.7%である。次いで、「緑・立川・菊川地域（21.2%）」、「向島・京島・押上地域（17.6%）」である。

図表 81 墨田区での居住地域（SA）

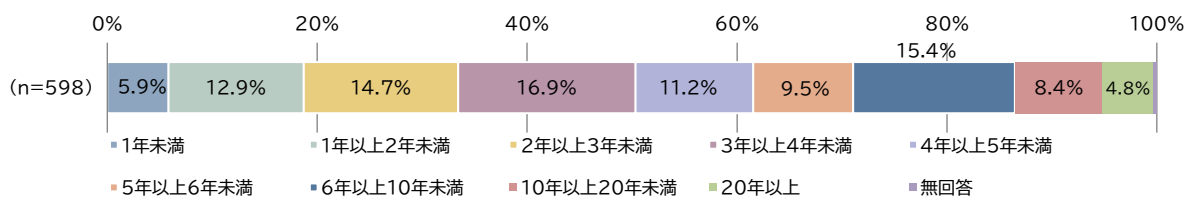


⑤ 引越し前の住所での居住期間

1) 全体

引越し前の住所での居住期間は、「3年以上4年未満」の割合が最も高く16.9%である。次いで、「6年以上10年未満（15.4%）」、「2年以上3年未満（14.7%）」である。引越し前の住所での居住期間が6年未満である割合は約7割である。

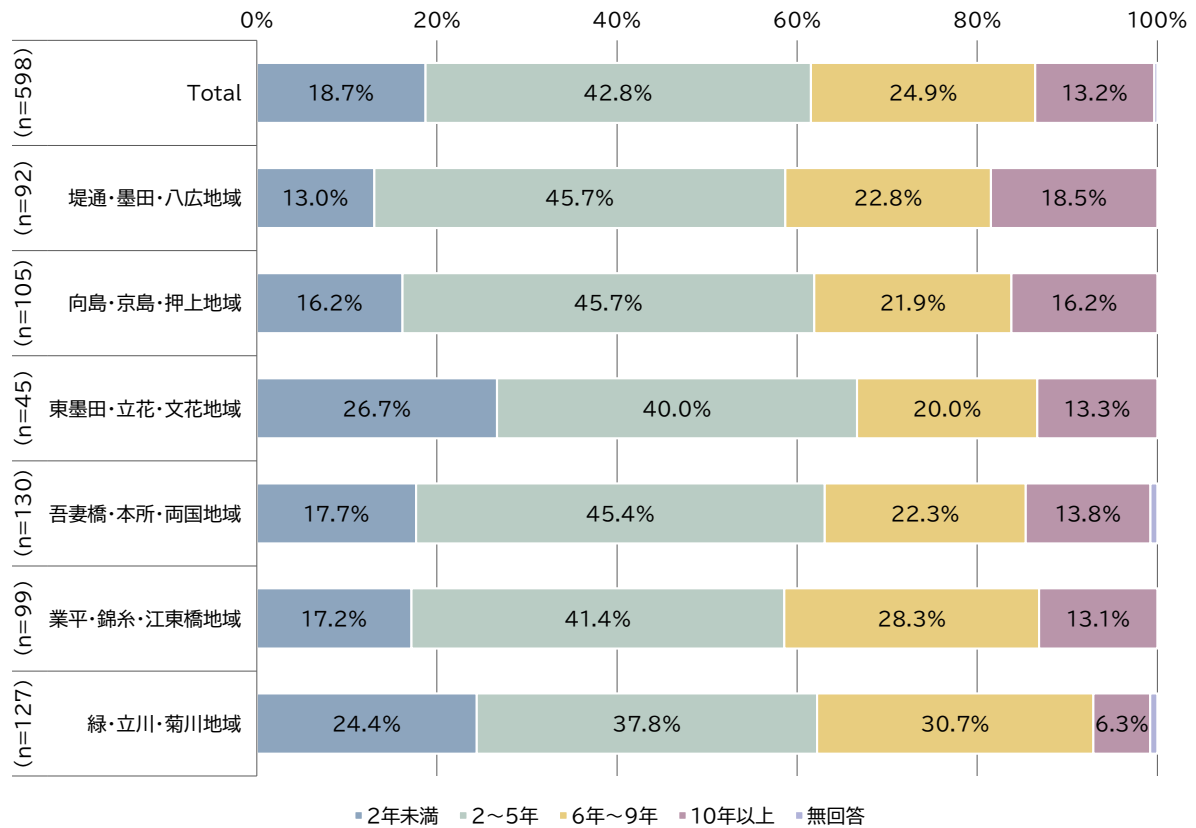
図表 82 引越し前の住所への居住期間（SA）



2) 引越し前の居住地域別

居住地域別でみると、いずれの地域でも引越し前の住所への居住期間が「2～5年」の割合が約4～5割で最も高く、「東墨田、立花・文花地域」で「2年未満」の割合が全体よりもやや高い。

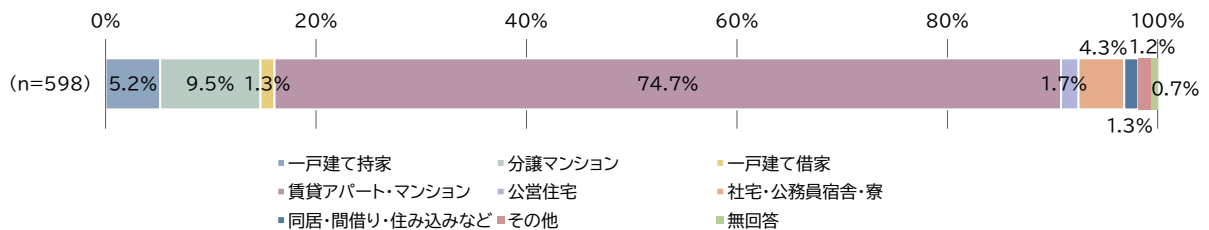
図表 83 引越し前の住所への居住期間（居住地域別・SA）



⑥ 引越し前の居住形態

引越し前の居住形態では、「賃貸アパート・マンション」の割合が最も高く 74.7%である。次いで「分譲マンション(9.5%)」、「一戸建て持家 (5.2%)」である。その他の回答として「家族所有の不動産」などが挙げられた。

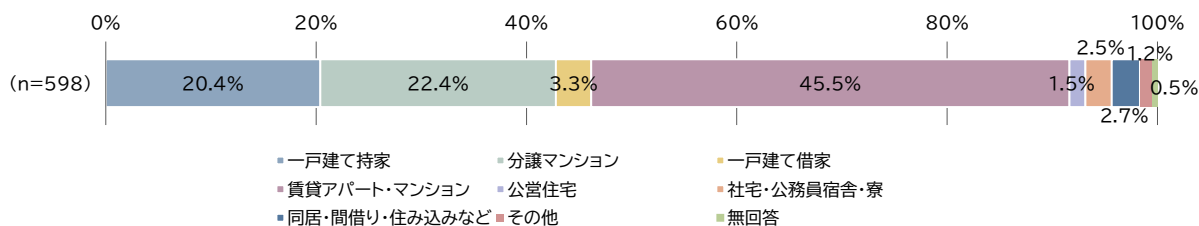
図表 84 引越し前の居住形態（SA）



⑦ 引越し後の居住形態

引越し後の居住形態では、「賃貸アパート・マンション」の割合が最も高く 45.5%である。次いで「分譲マンション(22.4%)」、「一戸建て持家 (20.4%)」である。その他の回答として「シェアハウス」、「UR 賃貸住宅」、「親族所有の一戸建て持家」などが挙げられた。

図表 85 引越し後の居住形態 (SA)



⑧ 引越し前の世帯構成

引越し前の世帯構成は、「二世帯世帯 (親と子ども)」の割合が最も高く 58.7%である。次いで、「一人暮らし (単身世帯) (20.1%)」、「夫婦のみ (17.6%)」である。

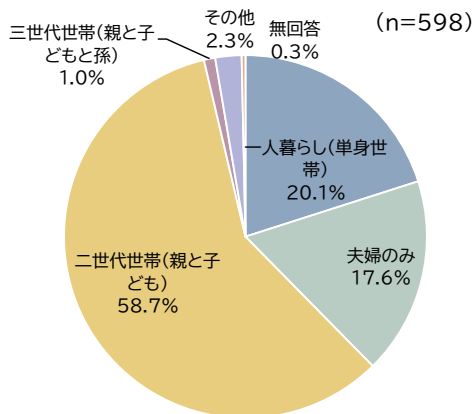
その他の回答として、「同棲」、「兄弟・姉妹とその子ども」等の回答が挙げられた。

⑨ 引越し後の世帯構成

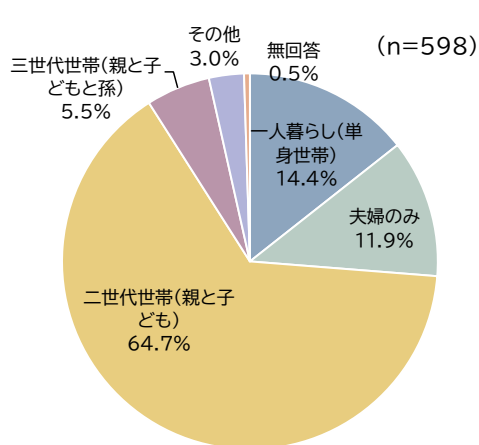
引越し後の世帯構成は、「二世帯世帯 (親と子ども)」の割合が最も高く 64.7%である。次いで、「一人暮らし (単身世帯) (14.4%)」、「夫婦のみ (11.9%)」である。

その他の回答として、「同棲」、「友人とルームシェア」等の回答が挙げられた。

図表 86 引越し前の世帯構成 (SA)



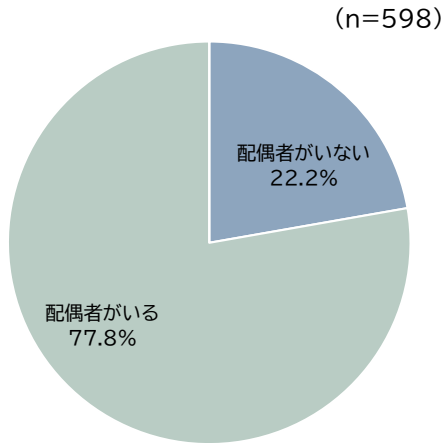
図表 87 引越し後の世帯構成 (SA)



⑩ 配偶者の有無

「配偶者がいる」の割合は 77.8%である。

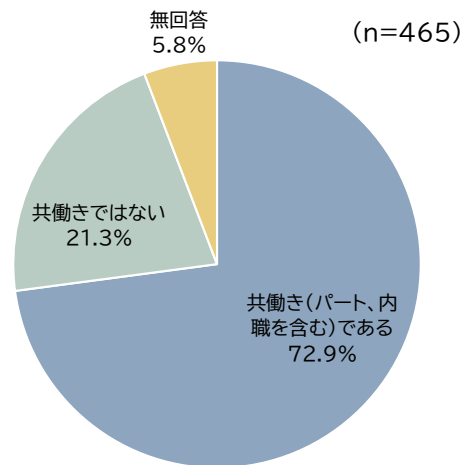
図表 88 配偶者の有無 (SA)



⑪ 共働きかどうか

配偶者がいる場合の共働きか否かの回答は、「共働き (パート、内職を含む) である」の割合は 72.9%である。

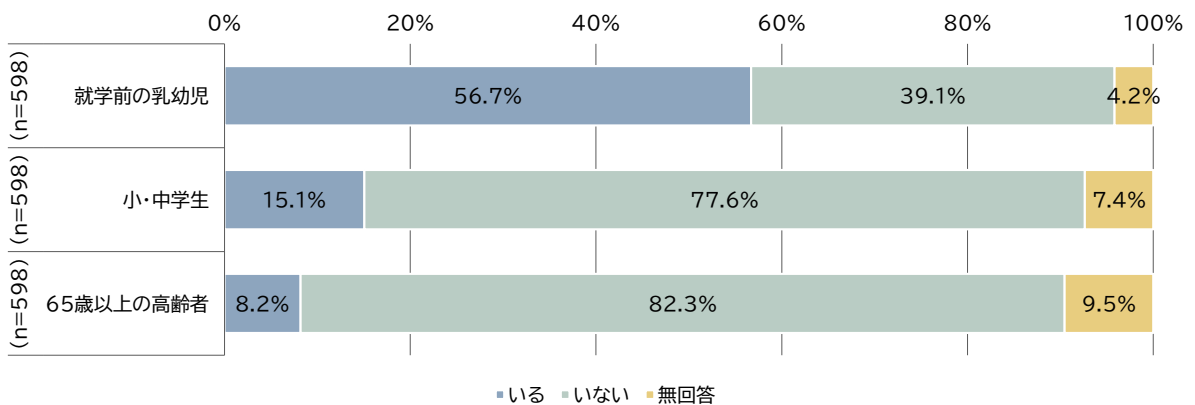
図表 89 共働きかどうか (SA)



⑫ 家族形態

家族形態は、「就学前の乳幼児」がいる世帯は 56.7%、「小・中学生」がいる世帯は 15.1%、「65 歳以上の方」がいる世帯は 8.2%である。

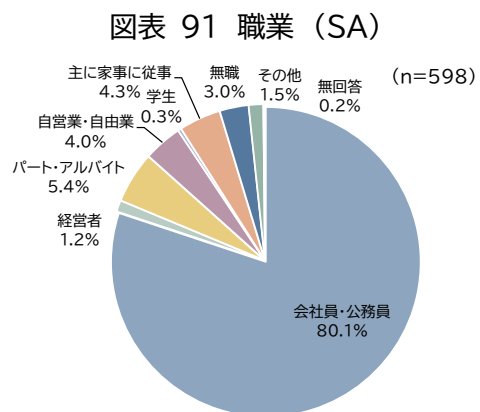
図表 90 家族形態 (就学前の乳幼児、小・中学生、65 歳以上の高齢者の有無・SA)



⑬ 職業

職業は、「会社員・公務員」の割合が最も高く80.1%である。次いで、「パート・アルバイト(5.4%)」、「主に家事に従事(4.3%)」である。

その他の回答として、「医師」、「看護師」等が挙げられた。



2. 引越しのきっかけや引越し先を選んだ理由、居住地の評価について

(1) 調査結果概要

- ◆ 墨田区からの引越しのきっかけとなった理由では、「子育て」、「住まいの広さや設備内容」、「出産」の選択率が高く、「子育て」の割合は「30代」、「就学前の乳幼児がいる世帯」で、「住まいの広さや設備内容」の割合は「緑・立川・菊川地域」で特に高い。最も重要と考えるきっかけは、「子育て」、「住まいの広さや設備内容」、「転勤」の選択率が高く、「30代」や「就学前の乳幼児がいる世帯」ほど「子育て」の割合が高い。(p.91 図表 92、p.92 図表 93、p.93 図表 95、p.94 図表 96、p.95 図表 97、p.96 図表 98、p.97 図表 100)
- ◆ 引越し先を選んだ理由では、「積極的な理由はない」を除いて、「住宅価格・家賃が手ごろ」、「通勤・通学に利便性のある立地」、「世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ」の選択率が高く、「住宅価格・家賃が手ごろ」は「10代」、「20代」で、「通勤・通学に利便性のある立地」は「一人暮らし(単身世帯)」で特に高い。(p.99 図表 102、p.100 図表 103、104)
- ◆ 引越し前の自治体(墨田区)の満足点では、「特になし(ほかになし)」を除いて、「交通」、「住環境(住宅・道路・公園等)」、「商業・商店街」、「観光」、「まちなみ」の選択率が高く、不満足な点では、「特になし(ほかになし)」を除いて、「住環境(住宅・道路・公園等)」、「防犯」、「防災」、「妊娠・出産・子育て」、「子ども・若者支援」の選択率が高い。また、「東墨田・立花・文花地域」で「防災」、「業平・錦糸・江東橋地域」で「防犯」を不満足点と回答する割合が特に高い。(p.104 図表 107、p.110 図表 114、p.114 図表 118)
- ◆ 引越し後の自治体の満足点と比較して、引越し前の自治体(墨田区)は「住環境(住宅・道路・公園等)」、「交通」、「商業・商店街」の選択率が高い点は共通しているものの、「水とみどり」、「妊娠・出産・子育て」の選択率が高い点が異なる。(p.104 図表 107、p.117 図表 121)

(2) 調査結果

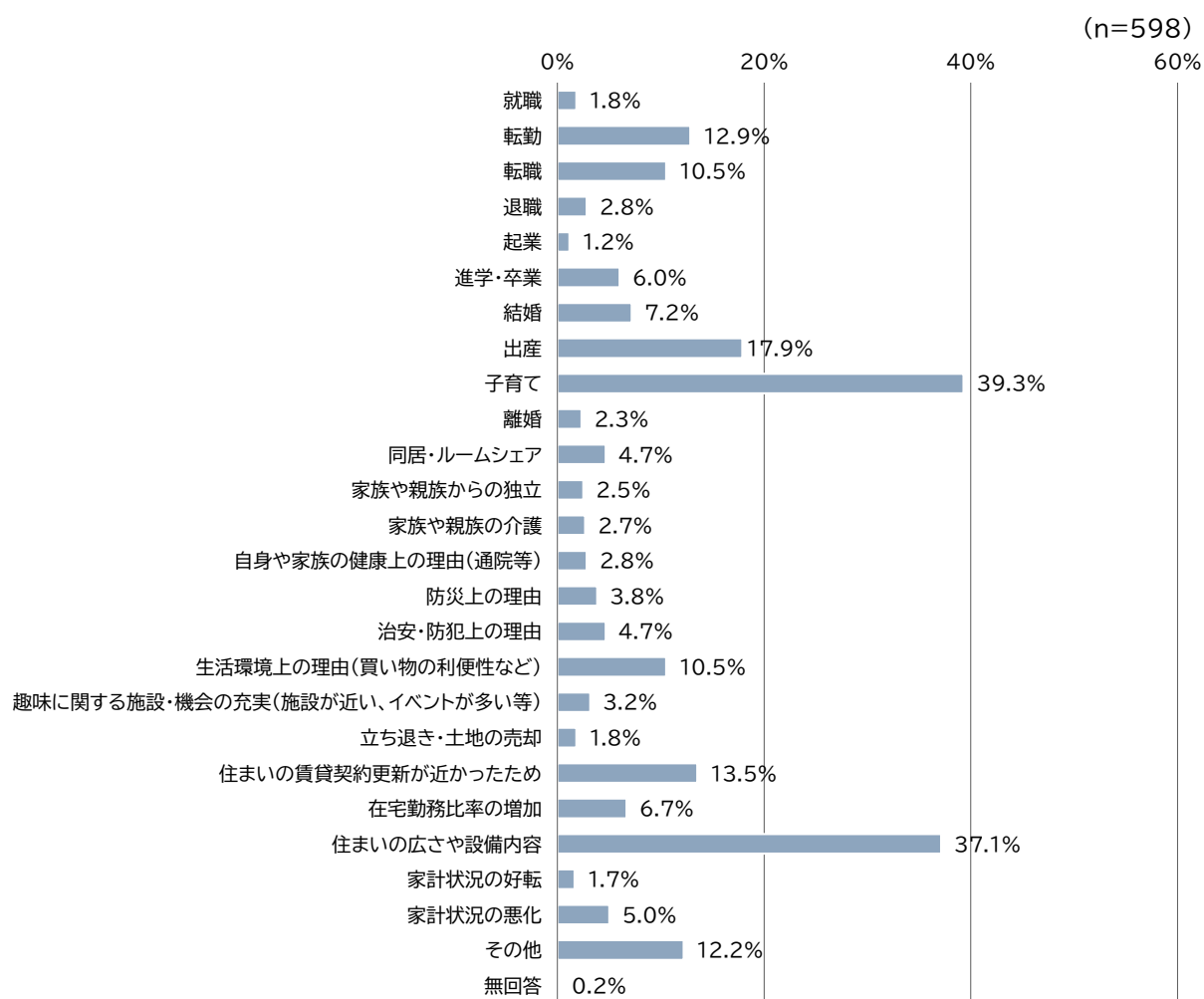
引越しのきっかけとなった理由

1) 全体

引越しのきっかけとなった理由として、選択されている割合は、「子育て (39.3%)」、「住まいの広さや設備内容 (37.1%)」、「出産 (17.9%)」の順に高い。

その他の回答として、「住宅の購入」、「通勤や会社の都合」等が挙げられた。

図表 92 引越しのきっかけとなった理由 (MA)



2) 年齢別

年齢別でみると、「子育て」が「30代」、「40代」で1位、「10代、20代」で2位である。「住まいの広さや設備内容」が「10代」、「20代」、「40代」で1位、「30代」、「50代以上」で2位である。

図表 93 引越しのきっかけとなった理由（年齢別・MA）

合計		
第1位	子育て	39.3%
第2位	住まいの広さや設備内容	37.1%
第3位	出産	17.9%
第4位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	13.5%
第5位	転勤	12.9%

10代、20代			30代		
第1位	住まいの広さや設備内容	30.6%	第1位	子育て	50.8%
第2位	子育て	29.6%	第2位	住まいの広さや設備内容	43.1%
第2位	転職	22.4%	第3位	出産	24.6%
第4位	出産	20.4%	第4位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	13.4%
第5位	結婚	15.3%	第5位	転勤	11.5%

40代			50代以上		
第1位	子育て	35.7%	第1位	その他	23.0%
第1位	住まいの広さや設備内容	35.7%	第2位	住まいの広さや設備内容	19.7%
第3位	転職	19.0%	第3位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	18.0%
第4位	その他	14.3%	第3位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	18.0%
第5位	進学・卒業	13.5%	第5位	転勤	16.4%

※回答者数は、全体=598、10,20代=98、30代=313、40代=126、50代以上=61である。

3) 引越し前の世帯構成別

引越し前の世帯構成別でみると、「子育て」が「夫婦のみ」、「二世帯世帯」で1位、「一人暮らし（単身世帯）」では「結婚」が1位であり、「住まいの広さや設備内容」が「一人暮らし（単身世帯）」、「二世帯世帯」で2位、「夫婦のみ」、「その他」で3位である。

図表 94 引越しのきっかけとなった理由（引越し前の世帯構成別・MA）

合計		
第1位	子育て	39.3%
第2位	住まいの広さや設備内容	37.1%
第3位	出産	17.9%
第4位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	13.5%
第5位	転勤	12.9%

一人暮らし(単身世帯)			夫婦のみ		
第1位	結婚	22.5%	第1位	子育て	50.5%
第2位	住まいの広さや設備内容	18.3%	第2位	出産	47.6%
第3位	転職	17.5%	第3位	住まいの広さや設備内容	40.0%
第4位	同居・ルームシェア	16.7%	第4位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	16.2%
第4位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	16.7%	第5位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	11.4%
			第5位	その他	11.4%

二世帯世帯			その他		
第1位	子育て	49.6%	第1位	その他	30.0%
第2位	住まいの広さや設備内容	43.9%	第2位	転職	25.0%
第3位	転勤	14.0%	第3位	家族や親族からの独立	20.0%
第4位	出産	13.4%	第3位	住まいの広さや設備内容	20.0%
第5位	その他	12.5%	第5位	結婚	15.0%
			第5位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	15.0%

※回答者数は、全体=598、一人暮らし（単身世帯）=120、夫婦のみ=105、二世帯世帯=351、その他=20である。

4) 家族形態別

家族形態別でみると、「子育て」が「就学前の乳幼児がいる世帯」で1位、「65歳以上の方がいる世帯」で2位、「小・中学生がいる世帯」で3位であり、「住まいの広さや設備内容」が「小・中学生がいる世帯」で1位、「就学前の乳幼児がいる世帯」で2位、「65歳以上の方がいる世帯」で3位である。また、「出産」は「就学前の乳幼児がいる世帯」と「65歳以上の方がいる世帯」で4位以内に選択されている。「65歳以上の方がいる世帯」で1位であった「その他」の意見としては、「ご自身の家族や配偶者の親との同居」、「マンション売却」、「会社からの家賃補助の期限」などが挙げられた。

図表 95 引越しのきっかけとなった理由（家族形態別・MA）

(参考)全体		
第1位	子育て	39.3%
第2位	住まいの広さや設備内容	37.1%
第3位	出産	17.9%
第4位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	13.5%
第5位	転勤	12.9%

就学前の乳幼児がいる世帯		
第1位	子育て	63.7%
第2位	住まいの広さや設備内容	49.2%
第3位	出産	30.9%
第4位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	12.9%
第4位	転勤	12.6%

小・中学生がいる世帯		
第1位	住まいの広さや設備内容	36.0%
第2位	進学・卒業	33.7%
第3位	子育て	32.6%
第4位	その他	19.1%
第5位	転勤	14.6%

65歳以上の方がいる世帯		
第1位	その他	29.8%
第2位	子育て	27.7%
第3位	住まいの広さや設備内容	25.5%
第4位	出産	14.9%
第4位	家族や親族の介護	14.9%

※回答者数は、(参考)全体=578、就学前の乳幼児がいる世帯=333、小・中学生がいる世帯=89、65歳以上の方がいる世帯=47である。

5) 引越し前の居住地域別

引越し前の居住地域別でみると、「子育て」が「業平・錦糸・江東橋地域」、「緑・立川・菊川地域」を除いて1位、「業平・錦糸・江東橋地域」、「緑・立川・菊川地域」では2位であり、「住まいの広さや設備内容」が「業平・錦糸・江東橋地域」、「緑・立川・菊川地域」で1位、「業平・錦糸・江東橋地域」、「緑・立川・菊川地域」を除いた地域では2位である。また、「出産」はすべての居住地域で4位以内に選択されている。

図表 96 引越しのきっかけとなった理由（引越し前の居住地域別・MA）

合計		
第1位	子育て	39.3%
第2位	住まいの広さや設備内容	37.1%
第3位	出産	17.9%
第4位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	13.5%
第5位	転勤	12.9%

堤通・墨田・八広地域		
第1位	子育て	35.9%
第2位	住まいの広さや設備内容	26.1%
第3位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	19.6%
第4位	出産	16.3%
第4位	その他	16.3%

東墨田・立花・文花地域		
第1位	子育て	37.8%
第2位	住まいの広さや設備内容	35.6%
第3位	出産	22.2%
第4位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	20.0%
第5位	転勤	13.3%

業平・錦糸・江東橋地域		
第1位	住まいの広さや設備内容	43.4%
第2位	子育て	39.4%
第3位	出産	19.2%
第4位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	15.2%
第5位	その他	14.1%

向島・京島・押上地域		
第1位	子育て	39.0%
第2位	住まいの広さや設備内容	26.7%
第3位	転勤	17.1%
第4位	出産	15.2%
第4位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	15.2%

吾妻橋・本所・両国地域		
第1位	子育て	40.0%
第2位	住まいの広さや設備内容	37.7%
第3位	出産	16.9%
第4位	転勤	15.4%
第5位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	11.5%

緑・立川・菊川地域		
第1位	住まいの広さや設備内容	48.8%
第2位	子育て	41.7%
第3位	出産	19.7%
第4位	住まいの賃貸契約更新が近かったため	16.5%
第5位	転勤	11.8%

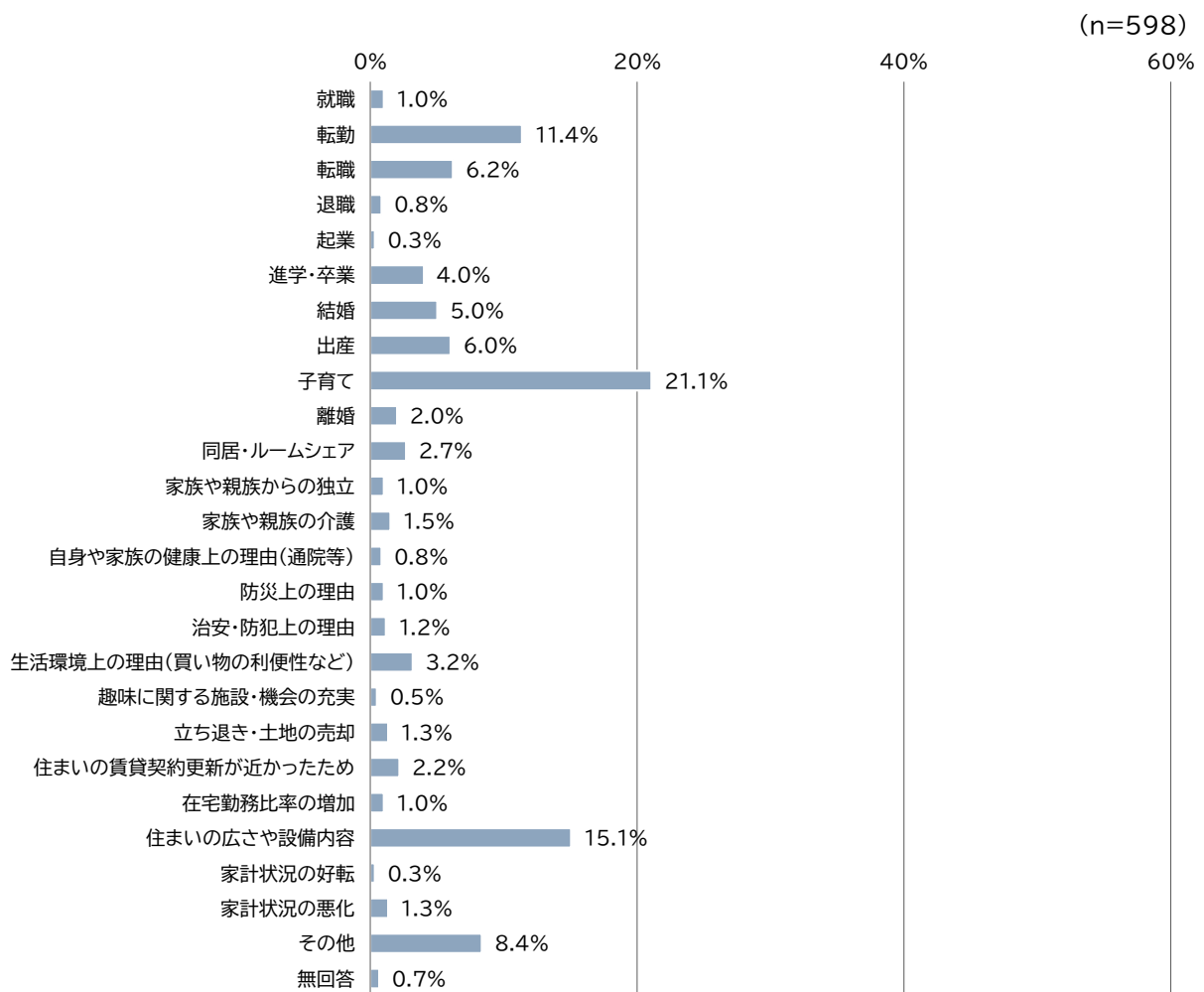
※回答者数は、全体=598、堤通・墨田・八広地域=92、向島・京島・押上地域=105、東墨田・立花・文花地域=45、吾妻橋・本所・両国地域=130、業平・錦糸・江東橋地域=99、緑・立川・菊川地域=127である。

② 最も重要と考える引越しのきっかけ

1) 全体

「子育て」の割合が最も高く 21.1%である。次いで、「住まいの広さや設備内容 (15.1%)」、「転勤 (11.4%)」である。

図表 97 最も重要と考える引越しのきっかけ (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、「子育て」が「50代以上」を除いて1位であり、「転勤」が「40代」で1位、「50代以上」で2位、「30代」で3位である。また、「住まいの広さや設備内容」はすべての年齢において4位以内に選択されている。

図表 98 最も重要と考える引越しのきっかけ（年齢別・SA）

合計		
第1位	子育て	21.1%
第2位	住まいの広さや設備内容	15.1%
第3位	転勤	11.4%
第4位	その他	8.4%
第5位	転職	6.2%

10代、20代			30代		
第1位	子育て	21.4%	第1位	子育て	26.2%
第2位	転職	14.3%	第2位	住まいの広さや設備内容	18.5%
第2位	結婚	11.2%	第3位	転勤	9.6%
第4位	同居・ルームシェア	9.2%	第4位	出産	9.3%
第4位	住まいの広さや設備内容	9.2%	第5位	その他	7.0%

40代			50代以上		
第1位	転勤	17.5%	第1位	その他	18.0%
第1位	子育て	17.5%	第2位	転勤	16.4%
第3位	住まいの広さや設備内容	15.1%	第3位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	8.2%
第4位	進学・卒業	10.3%	第4位	自身や家族の健康上の理由(通院等)	6.6%
第4位	その他	10.3%	第4位	住まいの広さや設備内容	6.6%

※回答者数は、全体=598、10,20代=98、30代=313、40代=126、50代以上=61である。

3) 引越し前の世帯構成別

引越し前の世帯構成別でみると、「子育て」が「夫婦のみ」、「二世帯世帯」で1位、「住まいの広さや設備内容」が「二世帯世帯」で2位、「夫婦のみ」で3位である。また、「転勤」はすべての世帯構成において5位以内に選択されている。

図表 99 最も重要と考える引越しのきっかけ（引越し前の世帯構成別・SA）

合計		
第1位	子育て	21.1%
第2位	住まいの広さや設備内容	15.1%
第3位	転勤	11.4%
第4位	その他	8.4%
第5位	転職	6.2%

一人暮らし(単身世帯)			夫婦のみ		
第1位	結婚	16.7%	第1位	子育て	30.5%
第2位	転勤	13.3%	第2位	出産	20.0%
第3位	同居・ルームシェア	11.7%	第3位	住まいの広さや設備内容	11.4%
第4位	転職	10.8%	第4位	転勤	7.6%
第5位	住まいの広さや設備内容	7.5%	第4位	その他	7.6%
第5位	その他	7.5%			

二世帯世帯			その他		
第1位	子育て	25.6%	第1位	その他	25.0%
第2位	住まいの広さや設備内容	19.4%	第2位	転職	15.0%
第3位	転勤	12.3%	第3位	結婚	10.0%
第4位	その他	8.0%	第3位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	10.0%
第5位	進学・卒業	6.8%	第5位	転勤	5.0%
			第5位	退職	5.0%
			第5位	子育て	5.0%
			第5位	離婚	5.0%
			第5位	家族や親族からの独立	5.0%
			第5位	在宅勤務比率の増加	5.0%
			第5位	住まいの広さや設備内容	5.0%

※回答者数は、全体=598、一人暮らし(単身世帯)=120、夫婦のみ=105、二世帯世帯=351、その他=20である。

4) 家族形態別

家族形態別でみると、「子育て」が「就学前の乳幼児がいる世帯」で1位、「小・中学生がいる世帯」、「65歳以上の方がいる世帯」で2位であり、「住まいの広さや設備内容」が「就学前の乳幼児がいる世帯」、「小・中学生がいる世帯」で2位である。また、「転勤」は「就学前の乳幼児がいる世帯」と「小・中学生がいる世帯」で4位以内に選択されている。「その他」の意見としては、「実家に帰る」、「マンション売却」、「配偶者の家業継承」などが挙げられた。

図表 100 最も重要と考える引越しのきっかけ（家族形態別・SA）

(参考)全体

第1位	子育て	21.1%
第2位	住まいの広さや設備内容	15.1%
第3位	転勤	11.4%
第4位	その他	8.4%
第5位	転職	6.2%

就学前の乳幼児がいる世帯

第1位	子育て	34.2%
第2位	住まいの広さや設備内容	19.5%
第3位	転勤	11.1%
第4位	出産	9.9%
第5位	その他	6.6%

小・中学生がいる世帯

第1位	進学・卒業	21.3%
第2位	子育て	13.5%
第2位	住まいの広さや設備内容	13.5%
第4位	転勤	12.4%
第4位	その他	12.4%

65歳以上の方がいる世帯

第1位	その他	29.8%
第2位	子育て	12.8%
第3位	家族や親族の介護	10.6%
第4位	住まいの広さや設備内容	8.5%
第5位	出産	6.4%

※回答者数は、(参考)全体=578、就学前の乳幼児がいる世帯=333、小・中学生がいる世帯=89、65歳以上の方がいる世帯=47である。

5) 引越し前の居住地域別

引越し前の居住地域別でみると、「子育て」が「業平・錦糸・江東橋地域」、「緑・立川・菊川地域」を除いて1位、「業平・錦糸・江東橋地域」、「緑・立川・菊川地域」で2位であり、「住まいの広さや設備内容」が「業平・錦糸・江東橋地域」、「緑・立川・菊川地域」で1位、その他の居住地域においても4位以内に選択されている。

図表 101 最も重要と考える引越しのきっかけ（引越し前の居住地域別・SA）

合計		
第1位	子育て	21.1%
第2位	住まいの広さや設備内容	15.1%
第3位	転勤	11.4%
第4位	その他	8.4%
第5位	転職	6.2%

堤通・墨田・八広地域		
第1位	子育て	19.6%
第2位	住まいの広さや設備内容	9.8%
第2位	その他	9.8%
第4位	転勤	7.6%
第4位	生活環境上の理由(買い物の利便性など)	7.6%

東墨田・立花・文花地域		
第1位	子育て	22.2%
第2位	その他	11.1%
第3位	転勤	8.9%
第4位	結婚	6.7%
第4位	住まいの広さや設備内容	6.7%

業平・錦糸・江東橋地域		
第1位	住まいの広さや設備内容	20.2%
第2位	子育て	17.2%
第3位	その他	12.1%
第4位	転勤	8.1%
第4位	転職	8.1%

向島・京島・押上地域		
第1位	子育て	27.6%
第2位	転勤	14.3%
第3位	その他	9.5%
第4位	転職	6.7%
第4位	住まいの広さや設備内容	6.7%

吾妻橋・本所・両国地域		
第1位	子育て	20.0%
第2位	転勤	14.6%
第3位	住まいの広さや設備内容	13.1%
第4位	結婚	6.9%
第5位	出産	6.2%

緑・立川・菊川地域		
第1位	住まいの広さや設備内容	26.8%
第2位	子育て	20.5%
第3位	転勤	11.8%
第4位	出産	10.2%
第5位	転職	7.9%

※回答者数は、全体=598、堤通・墨田・八広地域=92、向島・京島・押上地域=105、東墨田・立花・文花地域=45、吾妻橋・本所・両国地域=130、業平・錦糸・江東橋地域=99、緑・立川・菊川地域=127である。

③ 引越し先を選んだ理由（回答の選択割合）

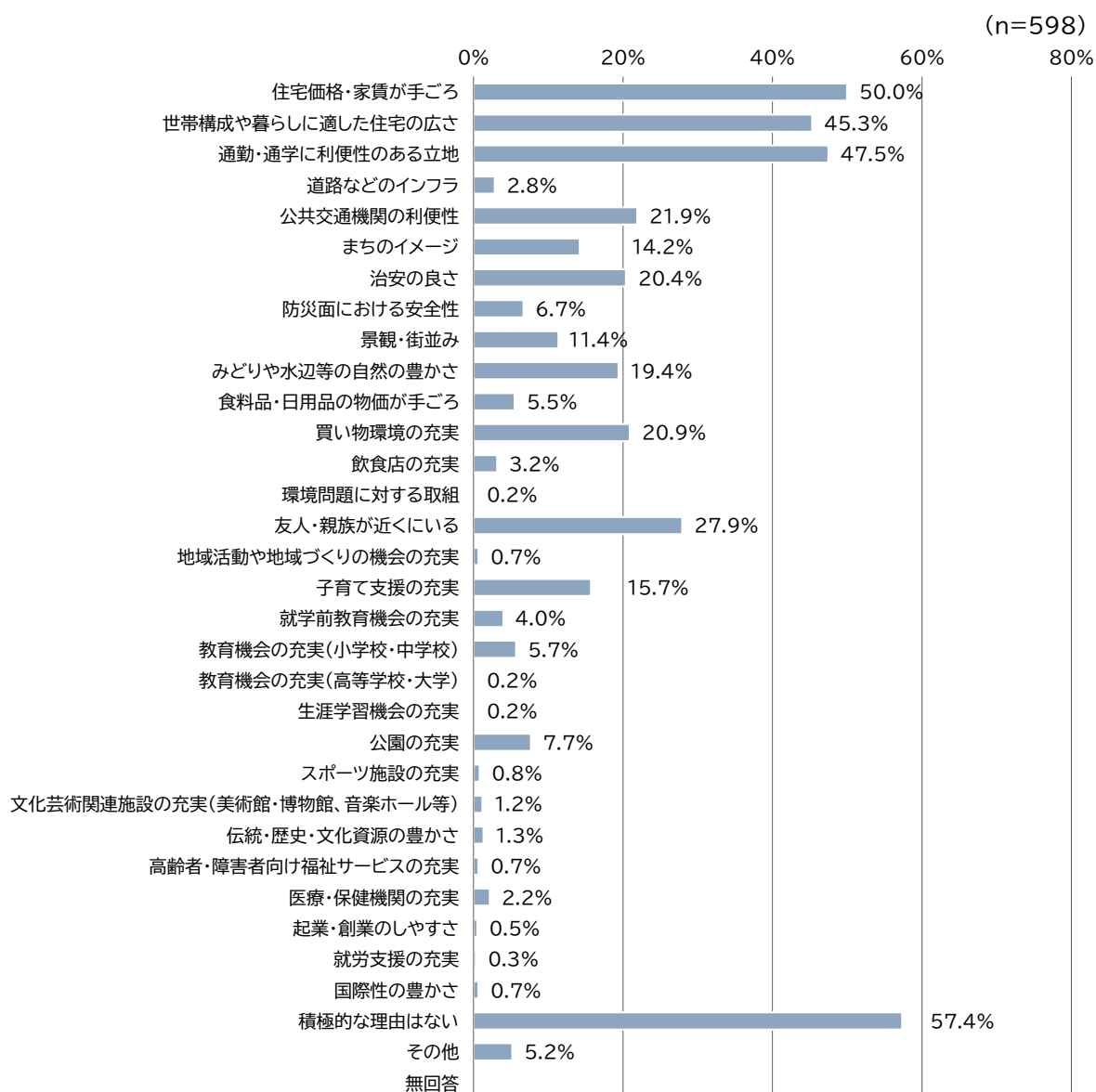
引越し先を選んだ理由について、1～5位に挙げられているものすべてを合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

「積極的な理由はない」を除いて、「住宅価格・家賃が手ごろ」の割合が最も高く50.0%である。次いで、「通勤・通学に利便性のある立地（47.5%）」、「世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ（45.3%）」である。

「その他」の回答として、「実家に戻るため」、「転勤や社宅・会社の寮に入る等の会社都合」等が挙げられた。

図表 102 引越し先を選んだ理由（回答の選択割合・MA）



2) 年齢別

年齢別でみると、「積極的な理由はない」を除いて、「住宅価格・家賃が手ごろ」が「10代、20代」、「50代以上」で1位、「30代」で2位であり、「通勤・通学に利便性のある立地」が「40代」で1位、「10代、20代」と「50代以上」で2位である。また、「世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ」は「30代」で1位、「40代」で2位、「10代、20代」で3位に選択されている。

図表 103 引越し先を選んだ理由（年齢別・MA）

合計		
第1位	積極的な理由はない	57.4%
第2位	住宅価格・家賃が手ごろ	50.0%
第3位	通勤・通学に利便性のある立地	47.5%
第4位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	45.3%
第5位	友人・親族が近くにいる	27.9%

10代、20代			30代		
第1位	住宅価格・家賃が手ごろ	60.2%	第1位	積極的な理由はない	56.9%
第1位	積極的な理由はない	60.2%	第2位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	50.5%
第3位	通勤・通学に利便性のある立地	50.0%	第3位	住宅価格・家賃が手ごろ	48.9%
第4位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	38.8%	第4位	通勤・通学に利便性のある立地	47.3%
第5位	買い物環境の充実	24.5%	第5位	友人・親族が近くにいる	31.6%

40代			50代以上		
第1位	積極的な理由はない	58.7%	第1位	積極的な理由はない	52.5%
第2位	通勤・通学に利便性のある立地	50.0%	第2位	住宅価格・家賃が手ごろ	49.2%
第3位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	46.0%	第3位	通勤・通学に利便性のある立地	39.3%
第4位	住宅価格・家賃が手ごろ	45.2%	第4位	公共交通機関の利便性	29.5%
第5位	みどりや水辺等の自然の豊かさ	24.6%	第4位	買い物環境の充実	29.5%

※回答者数は、全体=598、10,20代=98、30代=313、40代=126、50代以上=61である。

3) 引越し後の世帯構成別

引越し後の世帯構成別でみると、「積極的な理由はない」を除いて、「世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ」が「二世帯世帯」で1位、「その他」で2位、「夫婦のみ」で3位であり、「住宅価格・家賃が手ごろ」が「夫婦のみ」で1位、「一人暮らし（単身世帯）」、「二世帯世帯」で2位、「その他」で3位である。また、「通勤・通学に利便性のある立地」は「一人暮らし（単身世帯）」、「夫婦のみ」で1位、「二世帯世帯」で3位である。

図表 104 引越し先を選んだ理由（引越し後の世帯構成別・MA）

合計		
第1位	積極的な理由はない	57.4%
第2位	住宅価格・家賃が手ごろ	50.0%
第3位	通勤・通学に利便性のある立地	47.5%
第4位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	45.3%
第5位	友人・親族が近くにいる	27.9%

一人暮らし(単身世帯)			夫婦のみ		
第1位	積極的な理由はない	67.4%	第1位	積極的な理由はない	60.6%
第2位	通勤・通学に利便性のある立地	60.5%	第2位	住宅価格・家賃が手ごろ	56.3%
第3位	住宅価格・家賃が手ごろ	55.8%	第3位	通勤・通学に利便性のある立地	56.3%
第4位	公共交通機関の利便性	31.4%	第4位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	35.2%
第5位	買い物環境の充実	25.6%	第5位	公共交通機関の利便性	32.4%

二世帯世帯			その他		
第1位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	54.0%	第1位	積極的な理由はない	78.4%
第2位	積極的な理由はない	51.4%	第2位	友人・親族が近くにいる	47.1%
第3位	住宅価格・家賃が手ごろ	49.9%	第3位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	45.1%
第4位	通勤・通学に利便性のある立地	46.3%	第4位	住宅価格・家賃が手ごろ	33.3%
第5位	友人・親族が近くにいる	28.7%	第5位	通勤・通学に利便性のある立地	23.5%
			第5位	みどりや水辺等の自然の豊かさ	23.5%

※回答者数は、全体=598、一人暮らし（単身世帯）=86、夫婦のみ=71、二世帯世帯=387、その他=51である。

4) 家族形態別

家族形態別でみると、「積極的な理由はない」を除いて、「世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ」が「就学前の乳幼児がいる世帯」、「小・中学生がいる世帯」で1位、「65歳以上の方がいる世帯」で2位であり、「通勤・通学に利便性のある立地」が「小・中学生がいる世帯」で2位、「就学前の乳幼児がいる世帯」で3位である。また、「住宅価格・家賃が手ごろ」がすべての家族形態において4位以内に選択されている。

図表 105 引越し先を選んだ理由（家族形態別・MA）

(参考)全体

第1位	積極的な理由はない	57.4%
第2位	住宅価格・家賃が手ごろ	50.0%
第3位	通勤・通学に利便性のある立地	47.5%
第4位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	45.3%
第5位	友人・親族が近くにいる	27.9%

就学前の乳幼児がいる世帯

第1位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	57.4%
第2位	積極的な理由はない	52.3%
第3位	住宅価格・家賃が手ごろ	48.9%
第4位	通勤・通学に利便性のある立地	45.6%
第5位	友人・親族が近くにいる	31.5%

小・中学生がいる世帯

第1位	積極的な理由はない	50.6%
第2位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	44.9%
第3位	通勤・通学に利便性のある立地	41.6%
第4位	住宅価格・家賃が手ごろ	38.2%
第5位	友人・親族が近くにいる	30.3%

65歳以上の方がいる世帯

第1位	積極的な理由はない	87.2%
第2位	友人・親族が近くにいる	53.2%
第3位	世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ	44.7%
第4位	みどりや水辺等の自然の豊かさ	27.7%
第5位	住宅価格・家賃が手ごろ	21.3%

※回答者数は、(参考)全体=578、就学前の乳幼児がいる世帯=333、小・中学生がいる世帯=89、65歳以上の方がいる世帯=47である。

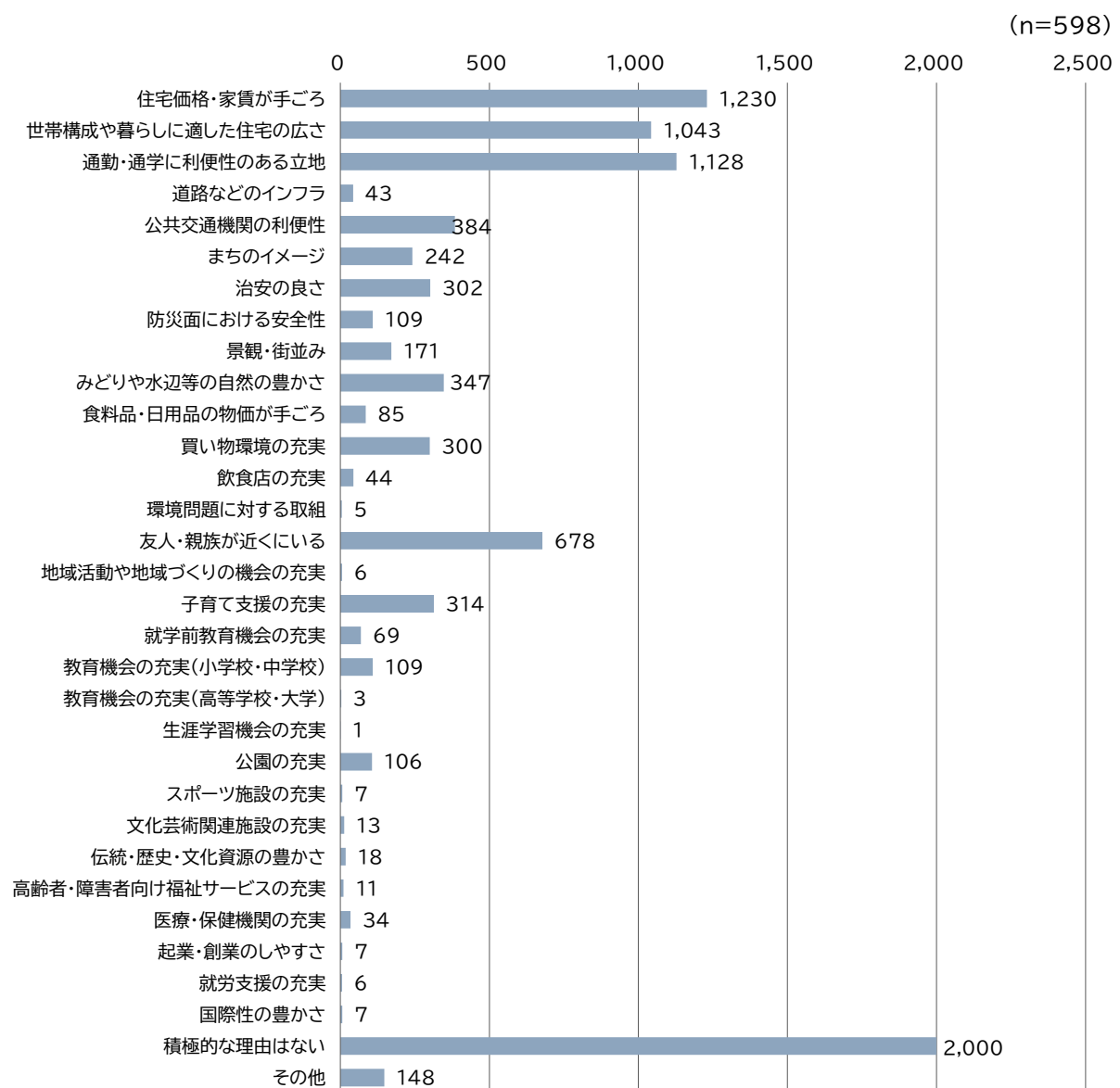
④ 引越し先を選んだ理由（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

引越し先を選んだ理由を点数化した結果は、「積極的な理由はない」を除いて、「住宅価格・家賃が手ごろ(1,230)」、「通勤・通学に利便性のある立地(1,128)」、「世帯構成や暮らしに適した住宅の広さ(1,043)」の順に高い。

図表 106 引越し先を選んだ理由（回答の点数化）



<墨田区の満足点・不満足点と引越し後の自治体の満足点・不満足点 小まとめ>

- ◆ 墨田区の満足点は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（66.6%）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（51.3%）」、「商業・商店街（42.8%）」、「観光（31.4%）」、「まちなみ（28.8%）」の選択率が高い。（p.104 図表 107）
- ◆ 一方で、引越し後の自治体の満足点は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）（49.3%）」、「交通（30.9%）」、「水とみどり（30.1%）」、「商業・商店街（23.2%）」、「妊娠・出産・子育て（22.7%）」の選択率が高い。（p.117 図表 121）
- ◆ 墨田区の不満足点は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）（18.9%）」、「防犯（17.4%）」、「防災（16.9%）」、「妊娠・出産・子育て（13.2%）」の選択率が高く、防災は東墨田・立花・文花地域で、防犯は業平・錦糸・江東橋地域で特に高い。（p.110 図表 114、p.114 図表 118）
- ◆ 一方で、引越し後の自治体の不満足点は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通（28.4%）」、「商業・商店街（21.6%）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（17.1%）」、「まちなみ（10.7%）」、「妊娠・出産・子育て（10.7%）」の選択率が高い。（p.119 図表 123）

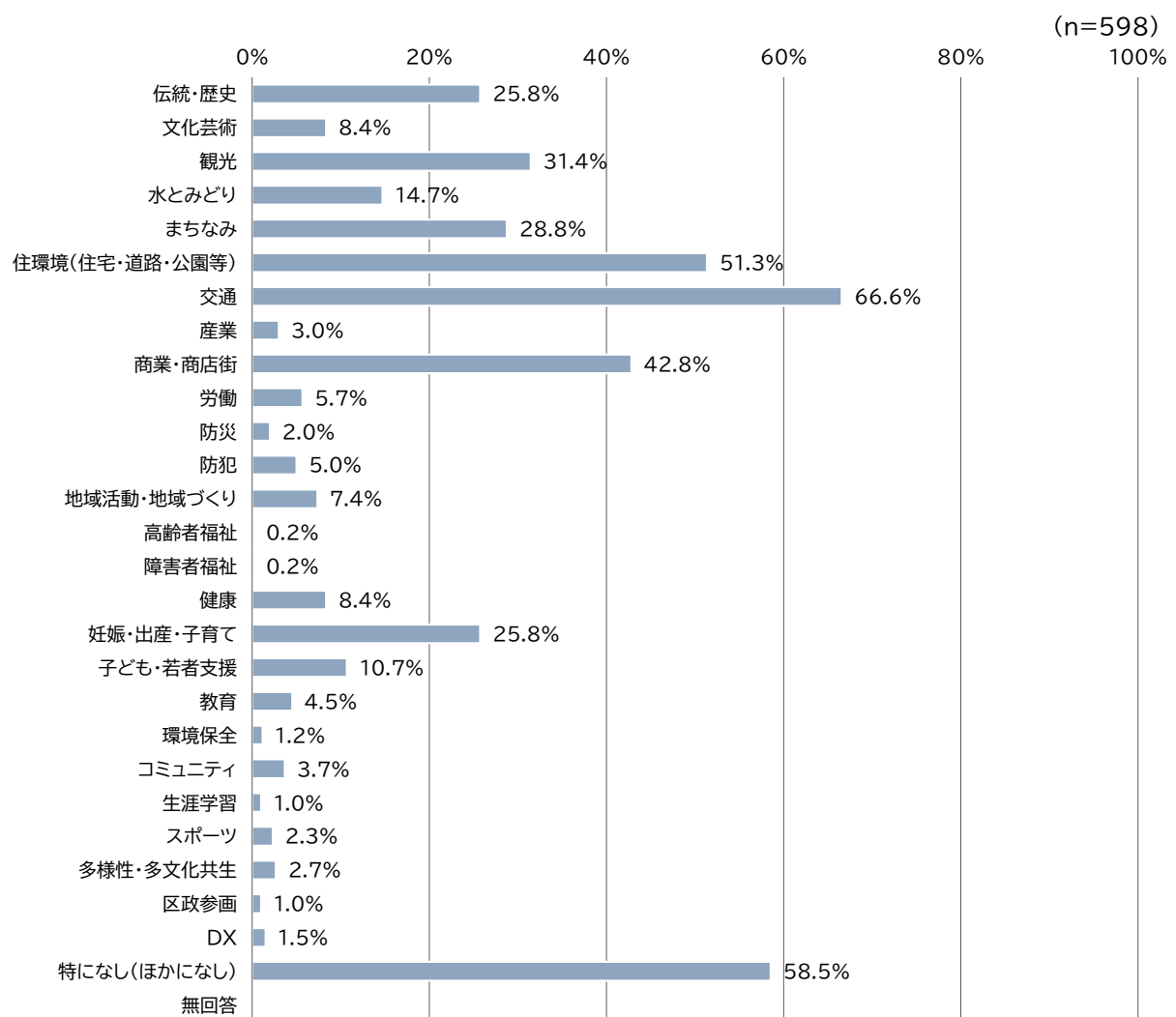
⑤ 引越し前の自治体（墨田区）の満足点（回答の選択割合）

引越し先を選んだ理由について、1～5位に挙げられているものすべてを合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

墨田区の満足点は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通」の割合が最も高く 66.6%である。次いで、「住環境(住宅・道路・公園等) (51.3%)」、「商業・商店街(42.8%)」、「観光(31.4%)」、「まちなみ(28.8%)」である。

図表 107 引越し前の自治体(墨田区)の満足点（回答の選択割合・MA）



2) 年齢別

年齢別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通」がすべての年齢で1位であり、「住環境（住宅・道路・公園等）」がすべての年齢で2位である。また、「商業・商店街」は「10代、20代」を除くすべての年齢で3位である。

図表 108 引越し前の自治体(墨田区)の満足点（年齢別・MA）

合計		
第1位	交通	66.6%
第2位	特になし(ほかになし)	58.5%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	51.3%
第4位	商業・商店街	42.8%
第5位	観光	31.4%

10代、20代			30代		
第1位	特になし(ほかになし)	68.4%	第1位	交通	67.1%
第2位	交通	67.3%	第2位	特になし(ほかになし)	59.7%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	48.0%	第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	53.4%
第4位	観光	40.8%	第4位	商業・商店街	43.5%
第5位	商業・商店街	37.8%	第5位	観光	32.3%

40代			50代以上		
第1位	交通	63.5%	第1位	交通	68.9%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	52.4%	第2位	特になし(ほかになし)	60.7%
第3位	商業・商店街	48.4%	第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	44.3%
第4位	特になし(ほかになし)	46.8%	第4位	商業・商店街	36.1%
第5位	伝統・歴史	33.3%	第5位	伝統・歴史	29.5%
第5位	まちなみ	33.3%			

※回答者数は、全体=598、10,20代=98、30代=313、40代=126、50代以上=61である。

3) 引越し前の世帯構成別

引越し前の世帯構成別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通」が「その他」を除いた世帯構成で1位であり、「住環境（住宅・道路・公園等）」が「その他」で1位、「一人暮らし（単身世帯）」、「夫婦のみ」、「二世帯世帯」で2位である。また、「商業・商店街」が「その他」を除いた世帯構成で3位に選択されている。

図表 109 引越し前の自治体(墨田区)の満足点（引越し前の世帯構成別・MA）

合計		
第1位	交通	66.6%
第2位	特になし(ほかになし)	58.5%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	51.3%
第4位	商業・商店街	42.8%
第5位	観光	31.4%

一人暮らし(単身世帯)			夫婦のみ		
第1位	特になし(ほかになし)	70.8%	第1位	交通	73.3%
第2位	交通	63.3%	第2位	特になし(ほかになし)	55.2%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	50.8%	第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	48.6%
第4位	商業・商店街	40.0%	第4位	商業・商店街	43.8%
第5位	まちなみ	33.3%	第5位	観光	35.2%

二世帯世帯			その他		
第1位	交通	67.2%	第1位	特になし(ほかになし)	50.0%
第2位	特になし(ほかになし)	55.6%	第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	45.0%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	52.7%	第3位	伝統・歴史	40.0%
第4位	商業・商店街	44.2%	第3位	観光	40.0%
第5位	妊娠・出産・子育て	35.3%	第3位	交通	40.0%

※回答者数は、全体=598、一人暮らし（単身世帯）=120、夫婦のみ=105、二世帯世帯=351、その他=20である。

4) 家族形態別

家族形態別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「交通」がすべての家族形態において1位であり、「住環境(住宅・道路・公園等)」がすべての家族形態において2位である。また、「商業・商店街」はすべての家族形態において3位である。

図表 110 引越し前の自治体(墨田区)の満足点(家族形態別・MA)

(参考)全体

第1位	交通	66.6%
第2位	特になし(ほかになし)	58.5%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	51.3%
第4位	商業・商店街	42.8%
第5位	観光	31.4%

就学前の乳幼児がいる世帯

第1位	交通	69.4%
第2位	特になし(ほかになし)	54.7%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	54.1%
第4位	商業・商店街	45.3%
第5位	妊娠・出産・子育て	41.1%

小・中学生がいる世帯

第1位	交通	62.9%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	52.8%
第2位	特になし(ほかになし)	52.8%
第4位	商業・商店街	43.8%
第5位	観光	32.6%

65歳以上の方がいる世帯

第1位	交通	72.3%
第2位	特になし(ほかになし)	63.8%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	51.1%
第4位	商業・商店街	46.8%
第5位	観光	29.8%

※回答者数は、(参考)全体=578、就学前の乳幼児がいる世帯=333、小・中学生がいる世帯=89、65歳以上の方がいる世帯=47である。

5) 引越し前の居住地域別

引越し前の居住地域別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通」がすべての居住地域で1位であり、「商業・商店街」が「向島・京島・押上地域」、「東墨田・立花・文花地域」、「業平・錦糸・江東橋地域」で2位、「緑・立川・菊川地域」で3位である。また、「住環境（住宅・道路・公園等）」が、「吾妻橋・本所・両国地域」、「緑・立川・菊川地域」で2位、「堤通・墨田・八広地域」、「向島・京島・押上地域」、「東墨田・立花・文花地域」、「業平・錦糸・江東橋地域」で3位である。

図表 111 引越し前の自治体(墨田区)の満足点（引越し前の居住地域別・MA）

合計		
第1位	交通	66.6%
第2位	特になし(ほかになし)	58.5%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	51.3%
第4位	商業・商店街	42.8%
第5位	観光	31.4%

堤通・墨田・八広地域		
第1位	特になし(ほかになし)	65.2%
第2位	交通	55.4%
第3位	観光	37.0%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	37.0%
第5位	商業・商店街	30.4%

東墨田・立花・文花地域		
第1位	特になし(ほかになし)	80.0%
第2位	交通	55.6%
第2位	商業・商店街	40.0%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	37.8%
第5位	観光	28.9%

業平・錦糸・江東橋地域		
第1位	交通	80.8%
第2位	商業・商店街	62.6%
第3位	特になし(ほかになし)	58.6%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	50.5%
第5位	まちなみ	28.3%

向島・京島・押上地域		
第1位	特になし(ほかになし)	61.9%
第2位	交通	58.1%
第3位	商業・商店街	51.4%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	47.6%
第5位	観光	39.0%

吾妻橋・本所・両国地域		
第1位	交通	67.7%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	60.0%
第3位	特になし(ほかになし)	48.5%
第4位	観光	38.5%
第5位	伝統・歴史	36.2%

緑・立川・菊川地域		
第1位	交通	73.2%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	61.4%
第3位	特になし(ほかになし)	53.5%
第4位	商業・商店街	37.8%
第5位	まちなみ	32.3%

※回答者数は、全体=598、堤通・墨田・八広地域=92、向島・京島・押上地域=105、東墨田・立花・文花地域=45、吾妻橋・本所・両国地域=130、業平・錦糸・江東橋地域=99、緑・立川・菊川地域=127である。

6) 引越し前の居住年数別

引越し前の居住年数別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通」がすべての居住年数で1位であり、「住環境（住宅・道路・公園等）」がすべての居住年数において2位である。また、「商業・商店街」は「20年以上」を除いて3位に選択されている。

図表 112 引越し前の自治体(墨田区)の満足点（引越し前の居住年数別・MA）

合計		
第1位	交通	66.6%
第2位	特になし(ほかになし)	58.5%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	51.3%
第4位	商業・商店街	42.8%
第5位	観光	31.4%

2年未満		
第1位	交通	65.2%
第2位	特になし(ほかになし)	60.7%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	49.1%
第4位	商業・商店街	46.4%
第5位	まちなみ	41.1%

6～9年		
第1位	交通	73.9%
第2位	特になし(ほかになし)	57.6%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	52.2%
第4位	商業・商店街	44.6%
第5位	妊娠・出産・子育て	29.3%

20年以上		
第1位	交通	69.0%
第2位	特になし(ほかになし)	62.1%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	51.7%
第4位	観光	31.0%
第5位	伝統・歴史	27.6%
第5位	商業・商店街	27.6%

2～5年		
第1位	交通	66.5%
第2位	特になし(ほかになし)	56.9%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	52.1%
第4位	商業・商店街	43.5%
第5位	観光	33.2%

10～19年		
第1位	特になし(ほかになし)	64.0%
第2位	交通	56.0%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	48.0%
第4位	商業・商店街	38.0%
第5位	伝統・歴史	24.0%
第5位	観光	24.0%

※回答者数は、全体=598、2年未満=112、2～5年=313、6～9年=92、10～19年=50、20年以上=29である。

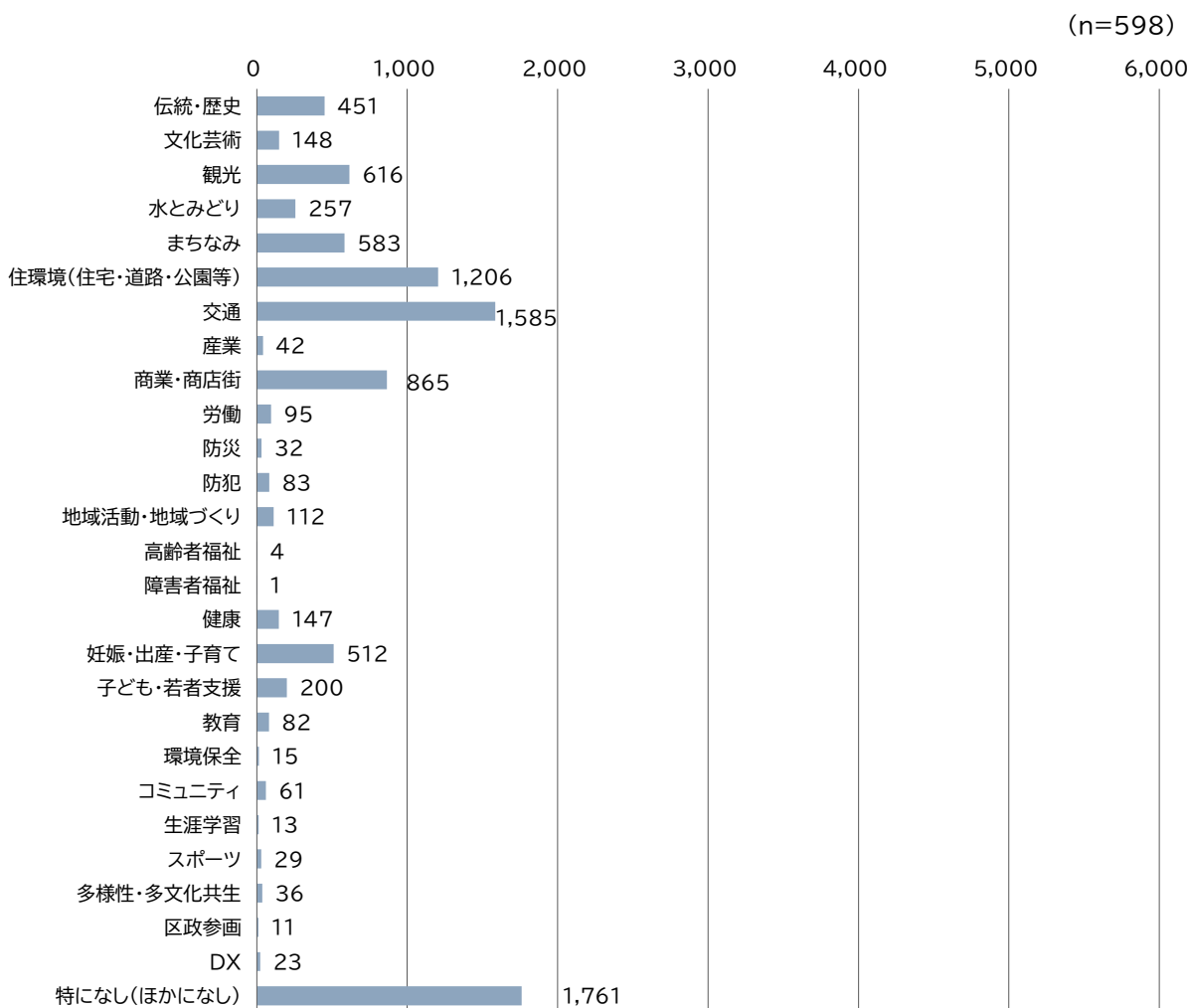
⑥ 引越し前の自治体（墨田区）の満足点（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

墨田区の満足点を点数化した結果は、「特になし(ほかになし)」を除いて、「交通(1,585)」、「住環境(住宅・道路・公園等)(1,206)」、「商業・商店街(865)」、「観光(616)」、「まちなみ(583)」の順に高い。

図表 113 引越し前の自治体(墨田区)の満足点（回答の点数化）



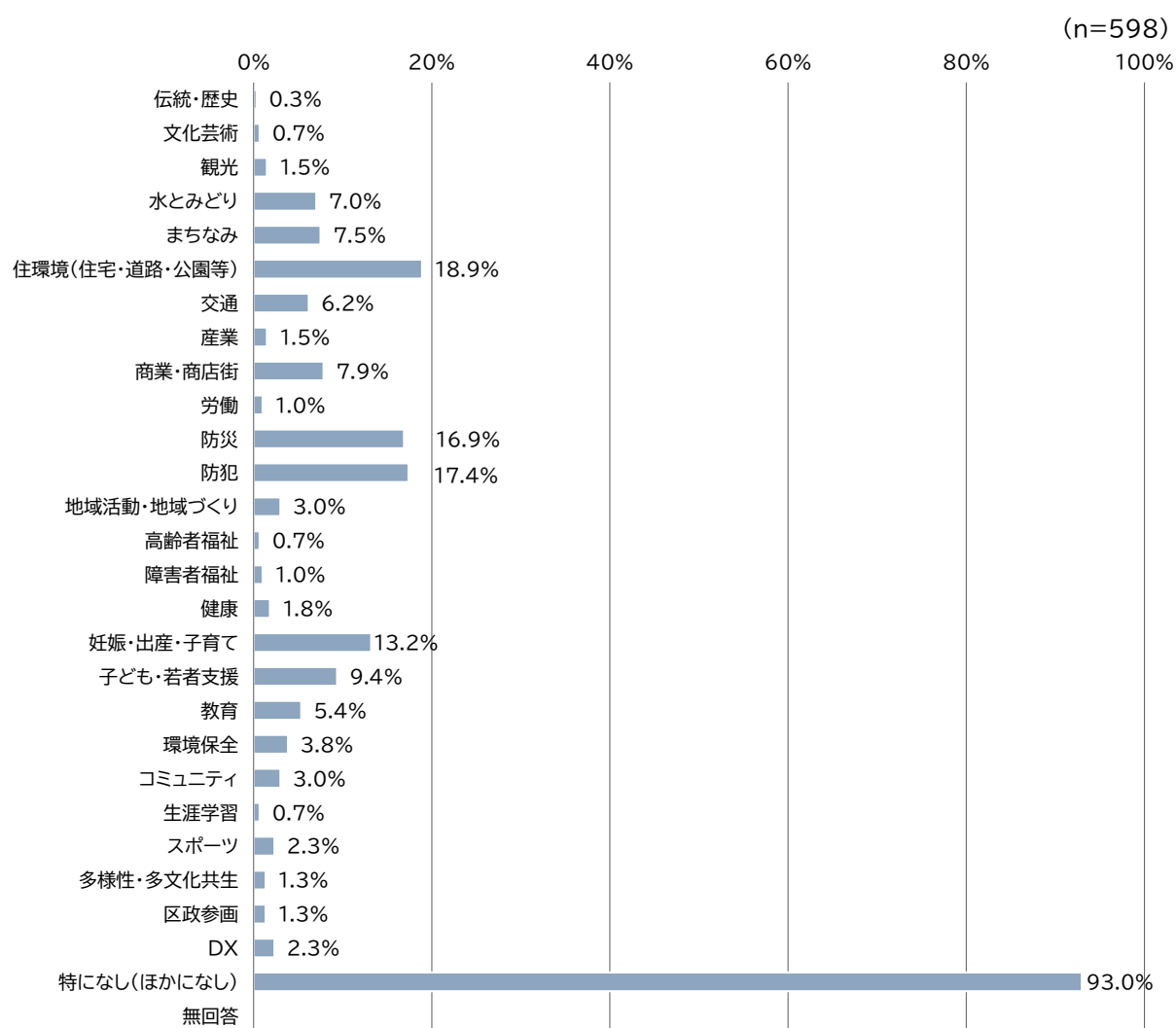
⑦ 引越し前の自治体（墨田区）の不満足点（回答の選択割合）

引越し先を選んだ理由について、1～5位に挙げられているものすべてを合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

墨田区の不満足点は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）」の割合が最も高く18.9%である。次いで、「防犯（17.4%）」、「防災（16.9%）」、「妊娠・出産・子育て（13.2%）」、「子ども・若者支援（9.4%）」である。

図表 114 引越し前の自治体(墨田区)の不満足点（回答の選択割合・MA）



2) 年齢別

年齢別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「住環境(住宅・道路・公園等)」が「50代以上」を除いて1位、「50代以上」で2位であり、「防犯」が「50代以上」で1位、「10代、20代」、「40代」で2位、「30代」で3位である。また、「防災」は「30代」、「50代以上」で2位、「10代、20代」、「40代」で3位である。

図表 115 引越し前の自治体の不満足点(年齢別・MA)

合計		
第1位	特になし(ほかになし)	93.0%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	18.9%
第3位	防犯	17.4%
第4位	防災	16.9%
第5位	妊娠・出産・子育て	13.2%

10代、20代			30代		
第1位	特になし(ほかになし)	93.9%	第1位	特になし(ほかになし)	94.9%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	15.3%	第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	20.1%
第2位	防犯	15.3%	第3位	防災	18.5%
第4位	防災	13.3%	第4位	防犯	17.3%
第4位	妊娠・出産・子育て	13.3%	第5位	妊娠・出産・子育て	16.9%

40代			50代以上		
第1位	特になし(ほかになし)	89.7%	第1位	特になし(ほかになし)	88.5%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	19.8%	第2位	防犯	19.7%
第3位	防犯	18.3%	第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	16.4%
第4位	防災	15.9%	第3位	防災	16.4%
第5位	子ども・若者支援	9.5%	第5位	まちなみ	13.1%
第5位	教育	9.5%			

※回答者数は、全体=598、10,20代=98、30代=313、40代=126、50代以上=61である。

3) 引越し前の世帯構成別

引越し前の世帯構成別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「防災」が「夫婦のみ」で1位、「一人暮らし（単身世帯）」、「二世帯世帯」で2位であり、「防犯」は「一人暮らし（単身世帯）」で1位、「夫婦のみ」、「二世帯世帯」で2位である。また、「住環境（住宅・道路・公園等）」は「二世帯世帯」、「その他」で1位、「夫婦のみ」で2位である。

図表 116 引越し前の自治体(墨田区)の不満足点（引越し前の世帯構成別・MA）

合計		
第1位	特になし(ほかになし)	93.0%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	18.9%
第3位	防犯	17.4%
第4位	防災	16.9%
第5位	妊娠・出産・子育て	13.2%

一人暮らし(単身世帯)			夫婦のみ		
第1位	特になし(ほかになし)	95.0%	第1位	特になし(ほかになし)	89.5%
第2位	防犯	15.8%	第2位	防災	21.0%
第3位	防災	13.3%	第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	20.0%
第4位	商業・商店街	11.7%	第3位	防犯	20.0%
第5位	住環境(住宅・道路・公園等)	9.2%	第5位	妊娠・出産・子育て	17.1%

二世帯世帯			その他		
第1位	特になし(ほかになし)	94.3%	第1位	特になし(ほかになし)	75.0%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	21.7%	第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	25.0%
第3位	防災	17.7%	第3位	交通	15.0%
第3位	防犯	17.7%	第3位	子ども・若者支援	15.0%
第5位	妊娠・出産・子育て	15.7%	第5位	水とみどり	10.0%
			第5位	商業・商店街	10.0%
			第5位	労働	10.0%
			第5位	防犯	10.0%
			第5位	障害者福祉	10.0%
			第5位	妊娠・出産・子育て	10.0%
			第5位	多様性・多文化共生	10.0%

※回答者数は、全体=598、一人暮らし（単身世帯）=120、夫婦のみ=105、二世帯世帯=351、その他=20である。

4) 家族形態別

家族形態別でみると、「特になし(ほかになし)」を除いて、「住環境(住宅・道路・公園等)」が「就学前の乳幼児がいる世帯」で1位、「小・中学生がいる世帯」で2位、「65歳以上の方がいる世帯」で3位であり、「防犯」が「小・中学生がいる世帯」、「65歳以上の方がいる世帯」で1位である。また「防災」は「65歳以上の方がいる世帯」で2位、「就学前の乳幼児がいる世帯」、「小・中学生がいる世帯」で3位である。

図表 117 引越し前の自治体(墨田区)の不満足点(家族形態別・MA)

(参考)全体

第1位	特になし(ほかになし)	93.0%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	18.9%
第3位	防犯	17.4%
第4位	防災	16.9%
第5位	妊娠・出産・子育て	13.2%

就学前の乳幼児がいる世帯

第1位	特になし(ほかになし)	94.6%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	22.5%
第3位	妊娠・出産・子育て	19.8%
第4位	防災	18.3%
第5位	防犯	18.0%

小・中学生がいる世帯

第1位	特になし(ほかになし)	88.8%
第2位	防犯	22.5%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	20.2%
第4位	防災	18.0%
第5位	水とみどり	12.4%
第5位	教育	12.4%

65歳以上の方がいる世帯

第1位	特になし(ほかになし)	97.9%
第2位	防犯	21.3%
第3位	防災	12.8%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	10.6%
第5位	水とみどり	8.5%
第5位	妊娠・出産・子育て	8.5%

※回答者数は、(参考)全体=578、就学前の乳幼児がいる世帯=333、小・中学生がいる世帯=89、65歳以上の方がいる世帯=47である。

5) 引越し前の居住地域別

引越し前の居住地域別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）」が「堤通・墨田・八広地域」、「吾妻橋・本所・両国地域」、「緑・立川・菊川地域」で1位、「向島・京島・押上地域」、「東墨田・立花・文花地域」で2位、「業平・錦糸・江東橋地域」で3位であり、「防犯」が「業平・錦糸・江東橋地域」で1位、「堤通・墨田・八広地域」で2位、「東墨田・立花・文花地域」、「吾妻橋・本所・両国地域」で3位である。また、「防災」は「向島・京島・押上地域」、「東墨田・立花・文花地域」、「吾妻橋・本所・両国地域」で1位、「堤通・墨田・八広地域」、「緑・立川・菊川地域」で3位である。

図表 118 引越し前の自治体(墨田区)の不満足点（引越し前の居住地域別・MA）

合計		
第1位	特になし(ほかになし)	93.0%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	18.9%
第3位	防犯	17.4%
第4位	防災	16.9%
第5位	妊娠・出産・子育て	13.2%

堤通・墨田・八広地域		
第1位	特になし(ほかになし)	87.0%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	22.8%
第3位	防犯	18.5%
第4位	防災	16.3%
第5位	交通	14.1%

向島・京島・押上地域		
第1位	特になし(ほかになし)	95.2%
第2位	防災	21.0%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	18.1%
第4位	妊娠・出産・子育て	13.3%
第5位	防犯	12.4%

東墨田・立花・文花地域		
第1位	特になし(ほかになし)	95.6%
第2位	防災	31.1%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	17.8%
第3位	防犯	17.8%
第5位	交通	15.6%

吾妻橋・本所・両国地域		
第1位	特になし(ほかになし)	92.3%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	16.2%
第2位	防災	16.2%
第4位	防犯	14.6%
第4位	妊娠・出産・子育て	14.6%

業平・錦糸・江東橋地域		
第1位	特になし(ほかになし)	90.9%
第2位	防犯	32.3%
第3位	妊娠・出産・子育て	18.2%
第4位	住環境(住宅・道路・公園等)	17.2%
第5位	防災	13.1%

緑・立川・菊川地域		
第1位	特になし(ほかになし)	96.9%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	21.3%
第3位	妊娠・出産・子育て	13.4%
第4位	防災	12.6%
第5位	防犯	11.8%

※回答者数は、全体=598、堤通・墨田・八広地域=92、向島・京島・押上地域=105、東墨田・立花・文花地域=45、吾妻橋・本所・両国地域=130、業平・錦糸・江東橋地域=99、緑・立川・菊川地域=127である。

6) 引越し前の居住年数別

引越し前の居住年数別でみると、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）」が「2年未満」、「2～5年」、「10～19年」で1位、「6～9年」、「20年以上」で2位であり、「防犯」は「6～9年」で1位、「2年未満」、「10～19年」で2位である。また、「防災」は「20年以上」で1位、「2～5年」で2位、「2年未満」、「6～9年」で3位である。

図表 119 引越し前の自治体(墨田区)の不満足点（引越し前の居住年数別・MA）

合計		
第1位	特になし(ほかになし)	93.0%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	18.9%
第3位	防犯	17.4%
第4位	防災	16.9%
第5位	妊娠・出産・子育て	13.2%

2年未満		
第1位	特になし(ほかになし)	92.9%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	23.2%
第3位	防犯	21.4%
第4位	防災	17.0%
第5位	妊娠・出産・子育て	12.5%

6～9年		
第1位	特になし(ほかになし)	94.6%
第2位	防犯	20.7%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	19.6%
第4位	防災	18.5%
第5位	商業・商店街	8.7%
第5位	教育	8.7%

20年以上		
第1位	特になし(ほかになし)	82.8%
第2位	防災	17.2%
第3位	住環境(住宅・道路・公園等)	13.8%
第3位	商業・商店街	13.8%
第3位	防犯	13.8%

2～5年		
第1位	特になし(ほかになし)	94.6%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	16.9%
第2位	防災	16.9%
第2位	妊娠・出産・子育て	16.9%
第5位	防犯	14.7%

10～19年		
第1位	特になし(ほかになし)	86.0%
第2位	住環境(住宅・道路・公園等)	24.0%
第3位	防犯	20.0%
第4位	水とみどり	16.0%
第5位	防災	14.0%

※回答者数は、全体=598、2年未満=112、2～5年=313、6～9年=92、10～19年=50、20年以上=29である。

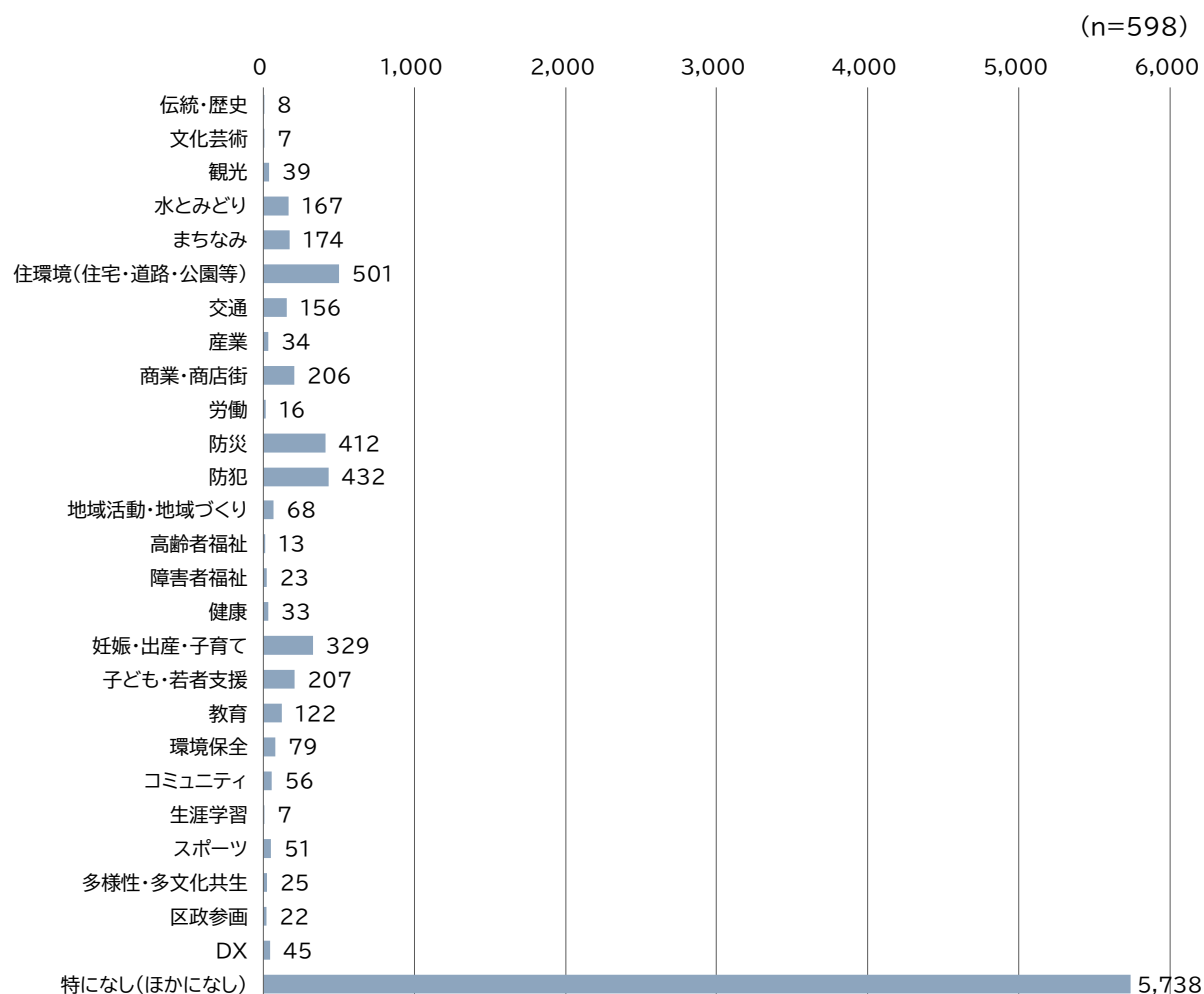
⑧ 引越し前の自治体（墨田区）の不満足点（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを 5 点、2 番目に選択されたものを 4 点、3 番目に選択されたものを 3 点、4 番目に選択されたものを 2 点、5 番目に選択されたものを 1 点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

墨田区の不満点を点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）（501）」、「防犯（432）」、「防災（412）」、「妊娠・出産・子育て（329）」、「子ども・若者支援（207）」の順に高い。

図表 120 引越し前の自治体(墨田区)の不満足点（回答の点数化）



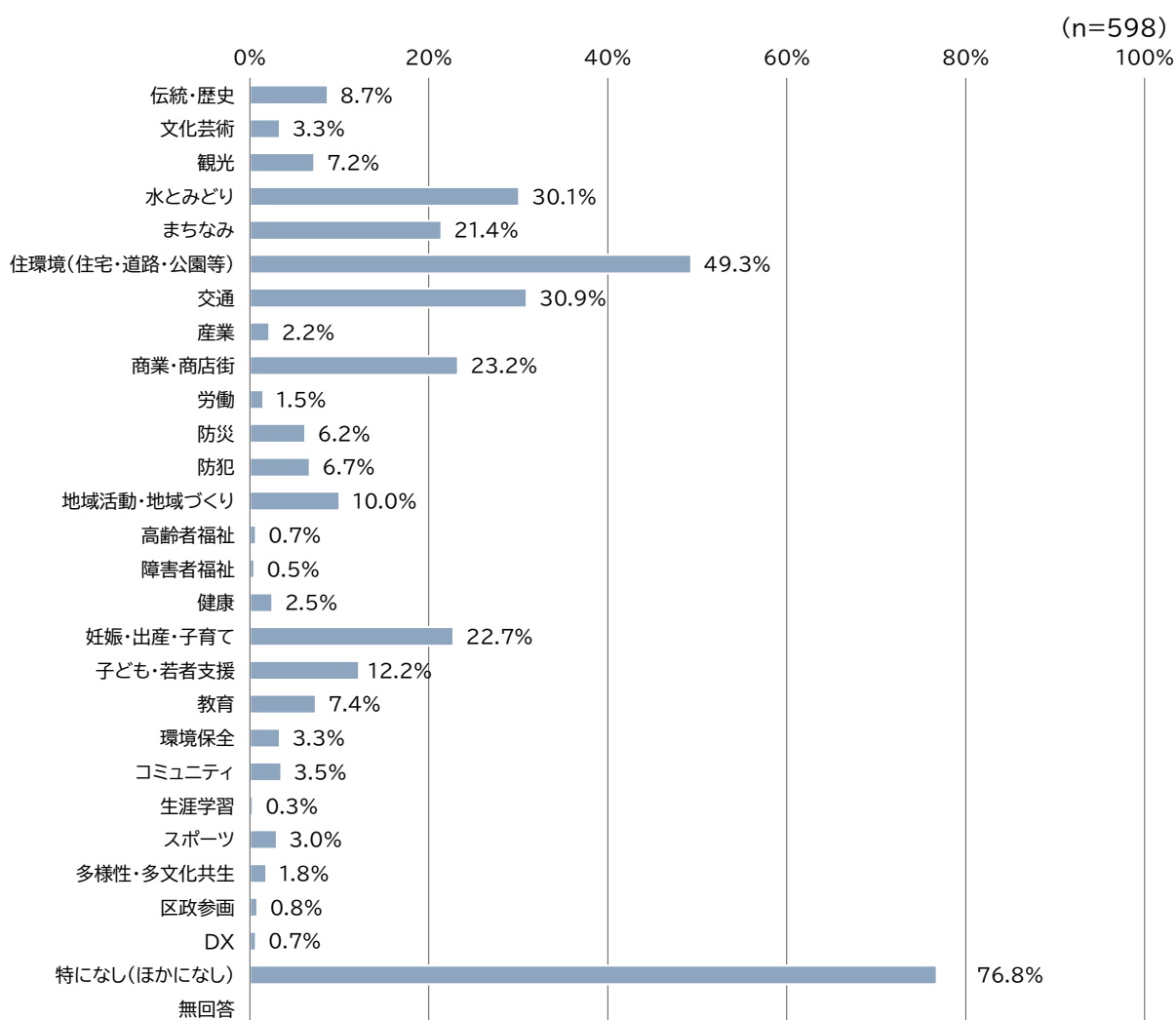
⑨ 引越し後の自治体の満足点（回答の選択割合）

引越し先を選んだ理由について、1～5位に挙げられているものすべてを合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

「特になし（ほかになし）」を除いて、「住環境（住宅・道路・公園等）」の割合が最も高く49.3%である。次いで、「交通（30.9%）」、「水とみどり（30.1%）」、「商業・商店街（23.2%）」、「妊娠・出産・子育て（22.7%）」である。

図表 121 引越し後の自治体の満足点（回答の選択割合・MA）



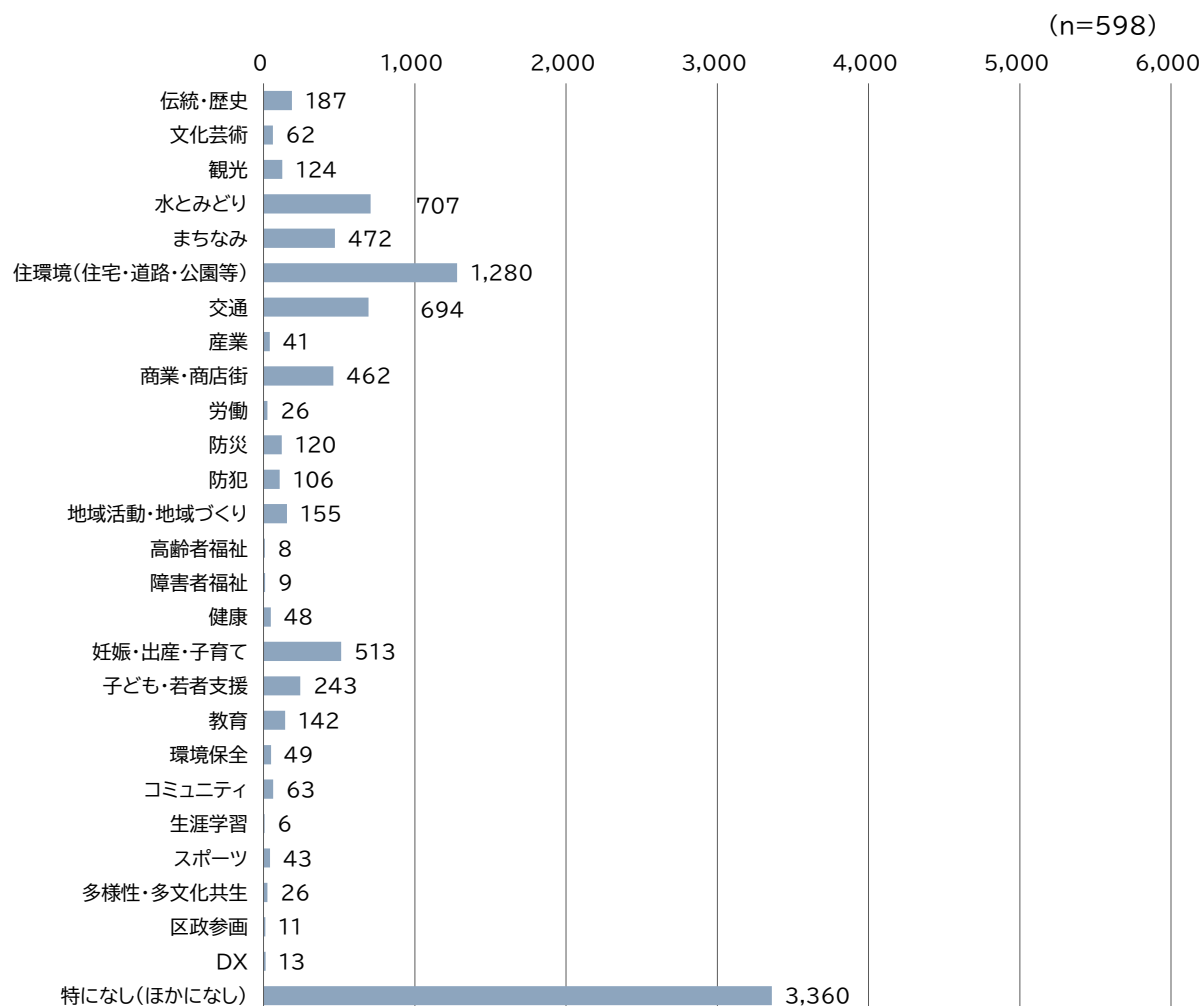
⑩ 引越し後の自治体の満足点（回答の点数化）

1番目に選択されたものを5点、2番目に選択されたものを4点、3番目に選択されたものを3点、4番目に選択されたものを2点、5番目に選択されたものを1点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

引越し後の自治体の満足点を点数化した結果は、「特になし(ほかになし)」を除いて、「住環境(住宅・道路・公園等)(1,280)」、「水とみどり(707)」、「交通(694)」、「妊娠・出産・子育て(513)」、「まちなみ(472)」の順に高い。

図表 122 引越し後の自治体の満足点（回答の点数化）



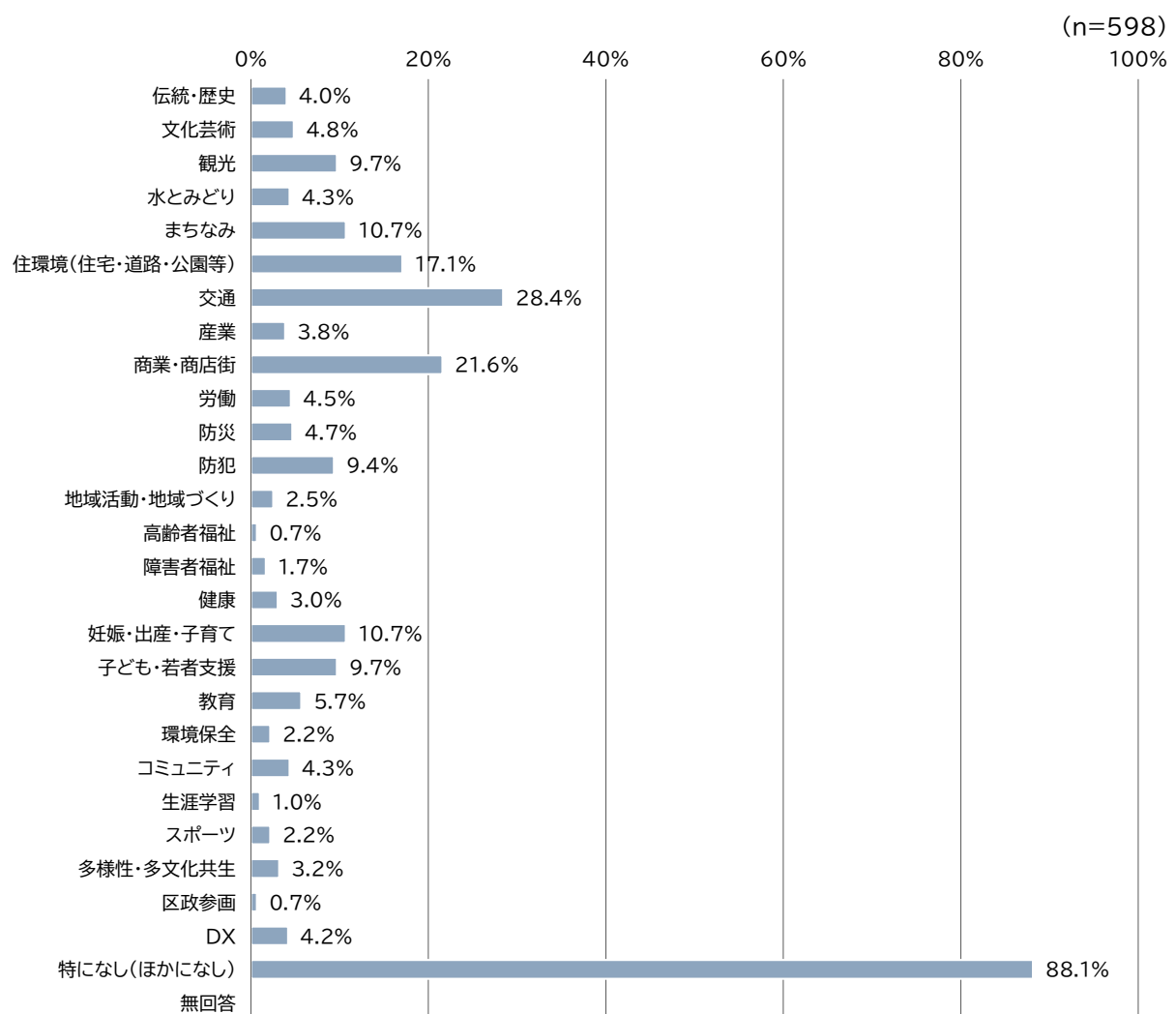
⑪ 引越し後の自治体の不満足点（回答の選択割合）

引越し先を選んだ理由について、1～5位に挙げられているものすべてを合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

「特になし（ほかになし）」を除いて、「交通」の割合が最も高く 28.4%である。次いで、「商業・商店街（21.6%）」、「住環境（住宅・道路・公園等）（17.1%）」、「まちなみ（10.7%）」、「妊娠・出産・子育て（10.7%）」、「観光（9.7%）」、「子ども・若者支援（9.7%）」である。

図表 123 引越し後の自治体の不満足点（回答の選択割合・MA）



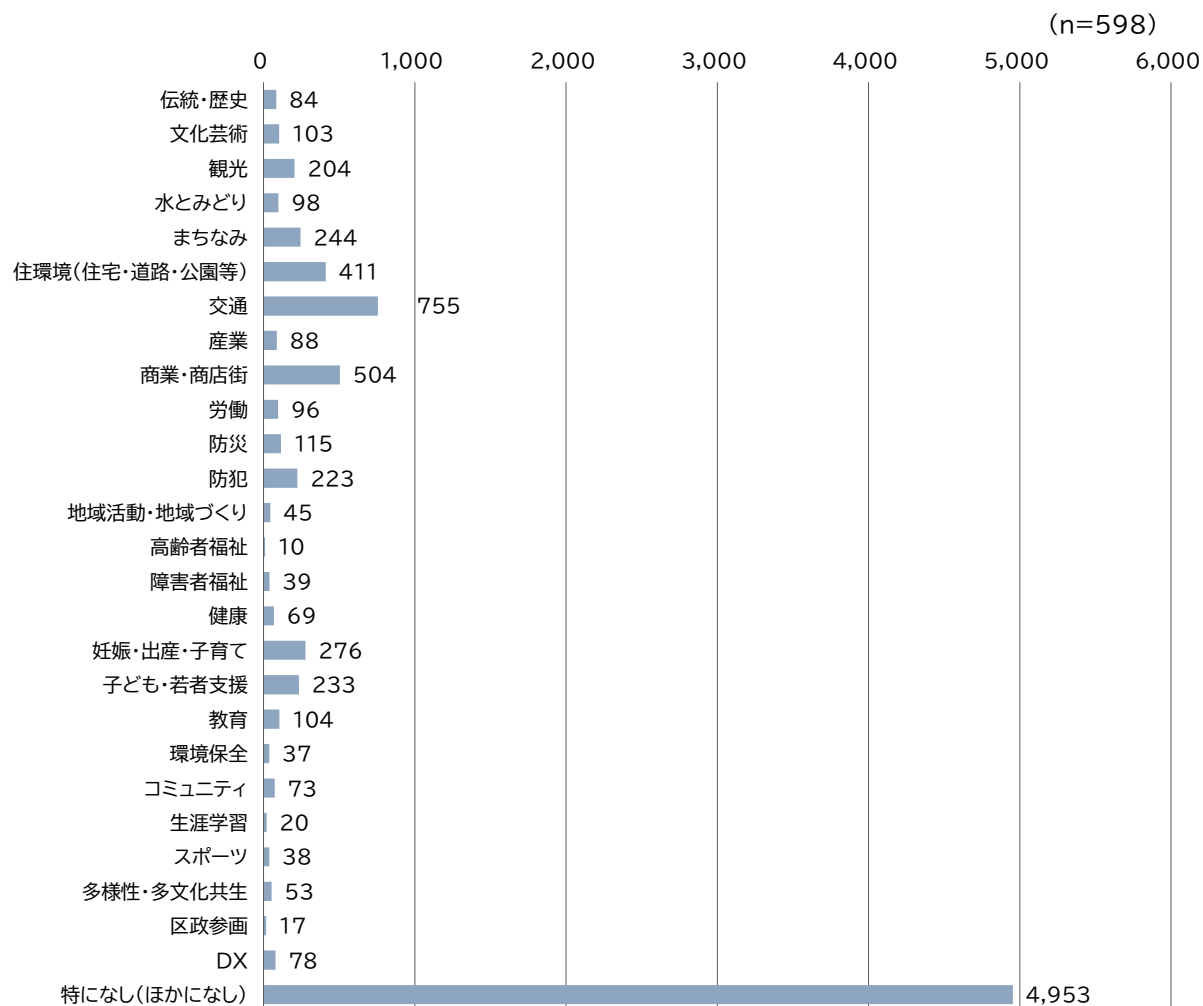
⑫ 引越し後の自治体の不満足点（回答の点数化）

1番目に選択されたものを5点、2番目に選択されたものを4点、3番目に選択されたものを3点、4番目に選択されたものを2点、5番目に選択されたものを1点、として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

引越し後の自治体の不満足点を点数化した結果は、「特になし(ほかになし)」を除いて、「交通(755)」、「商業・商店街(504)」、「住環境(住宅・道路・公園等)(411)」、「妊娠・出産・子育て(276)」、「まちなみ(244)」の順に高い。

図表 124 引越し後の自治体の不満足点（回答の点数化）



3. 住みやすさと定住意向について

(1) 調査結果概要

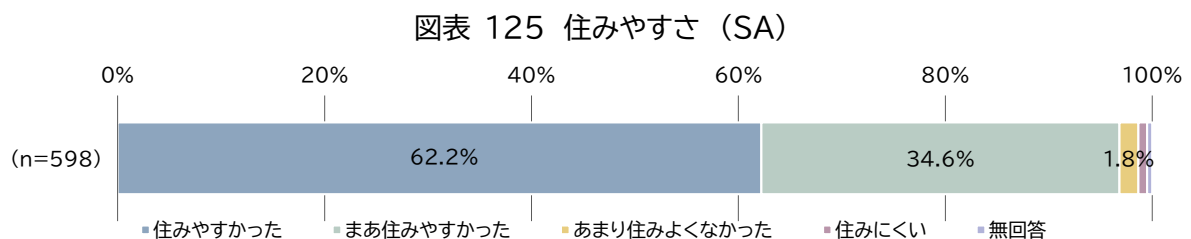
- ◆ 墨田区を住みよとした回答割合（「住みやすかった」、「まあ住みやすかった」の合計割合）は、約 9.5 割であるが、「堤通・墨田・八広地域」、「東墨田・立花・文花地域」で、また 10 年以上住んでいた人で「住みやすかった」の割合が全体よりも低い。（p.121 図表 125、p.123 図表 127、p.124 図表 128）
- ◆ 墨田区への今後の定住意向について選択率が高いものは「また住みたい（39.3%）」、「住む予定なし（34.8%）」、「分からない（18.1%）」であり、50 代以上で「また住みたい」の割合が低い。（p.126 図表 131、132）

(2) 調査結果

① 住みやすさ

1) 全体

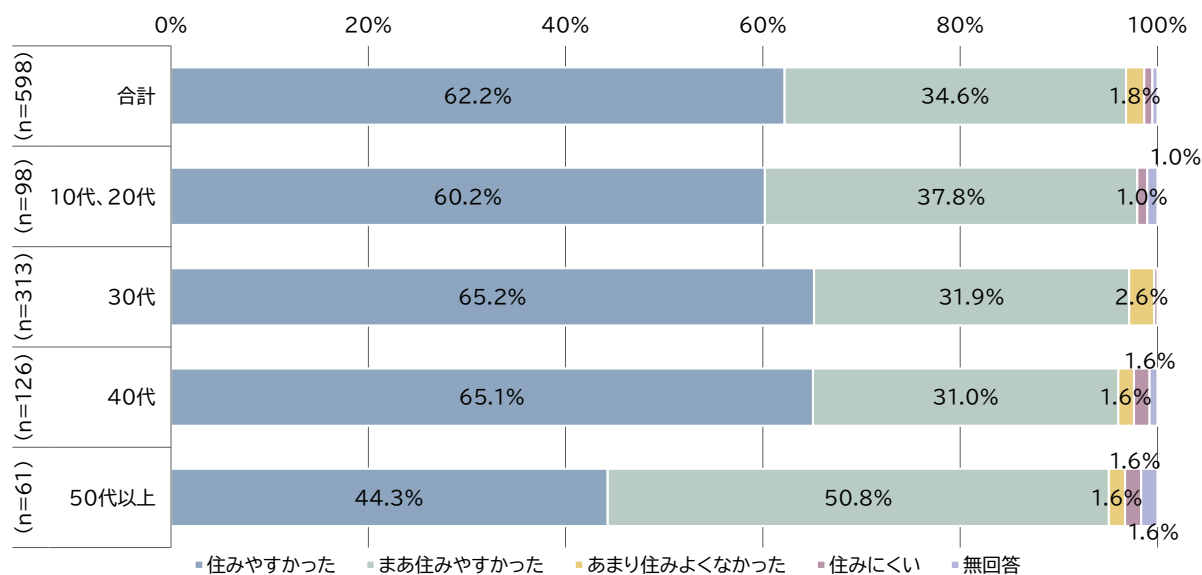
住みよとした回答割合（「住みやすかった」、「まあ住みやすかった」の合計割合）は、96.8% である。



2) 年齢別

年齢別でみると、いずれの年齢でも住みよいとする割合は9.5割以上である。「50代以上」で「住みやすかった」の割合が全体よりも低く、「50代以上」で「まあ住みやすかった」の割合が全体よりも高い。

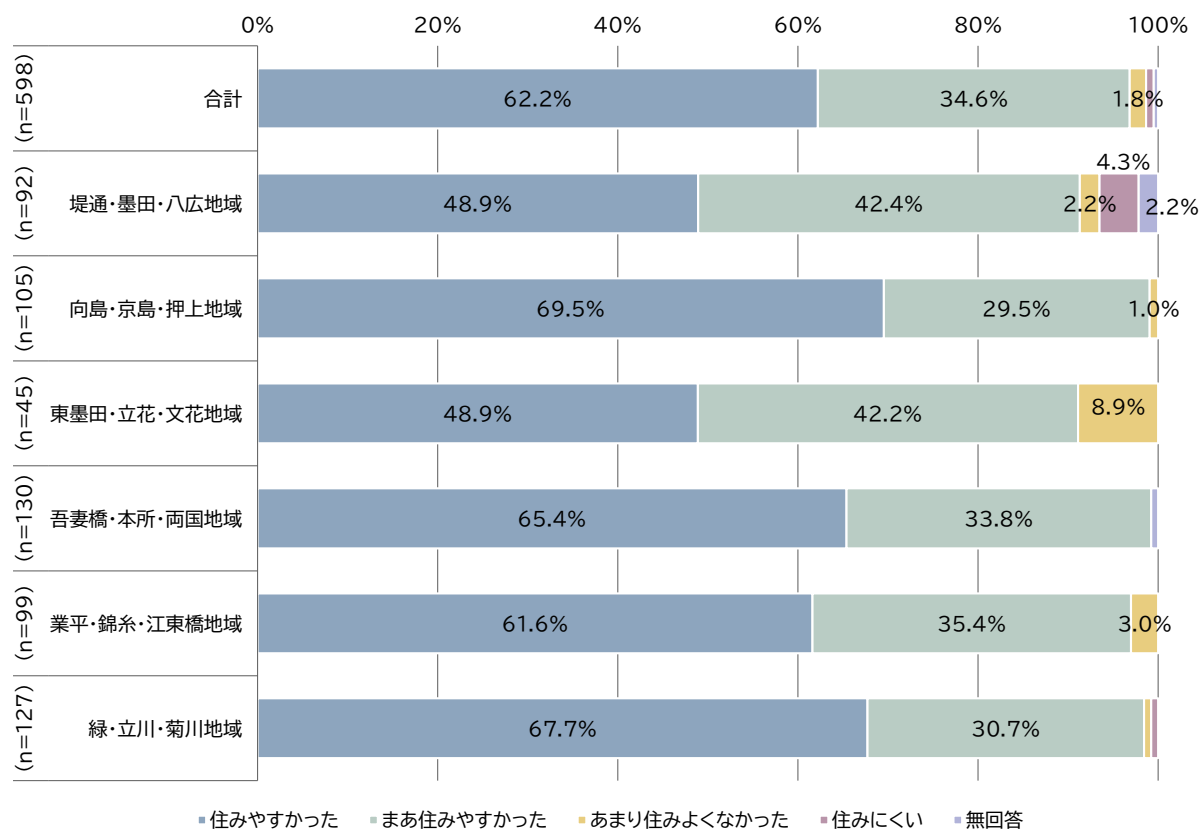
図表 126 住みやすさ (年齢別・SA)



3) 引越し前の居住地域別

引越し前の居住地域別でみると、いずれの地域でも住みよいとする割合は9割以上である。「堤通・墨田・八広地域」、「東墨田・立花・文花地域」で「住みやすかった」の割合が全体よりも低い。

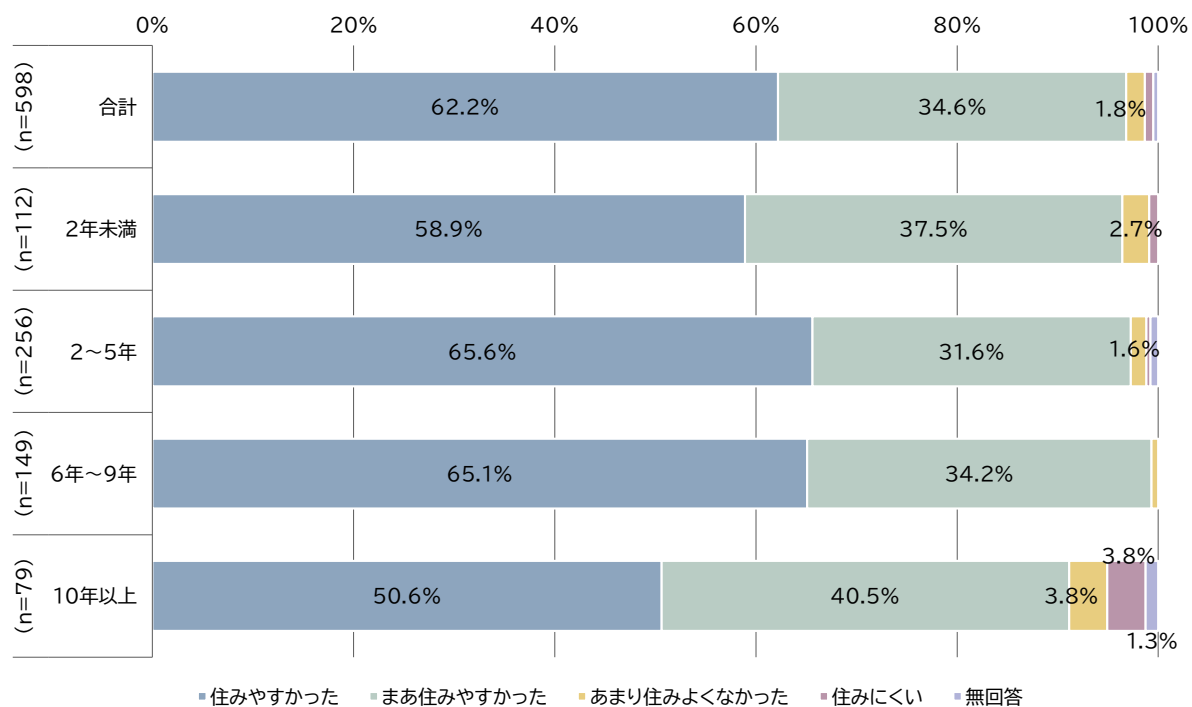
図表 127 住みやすさ (居住地域別・SA)



4) 引越し前の居住年数別

引越し前の居住年数別でみると、いずれの居住年数でも住みよいとする割合は9割以上である。「10年以上」で「住みやすかった」の割合が全体よりも低い。

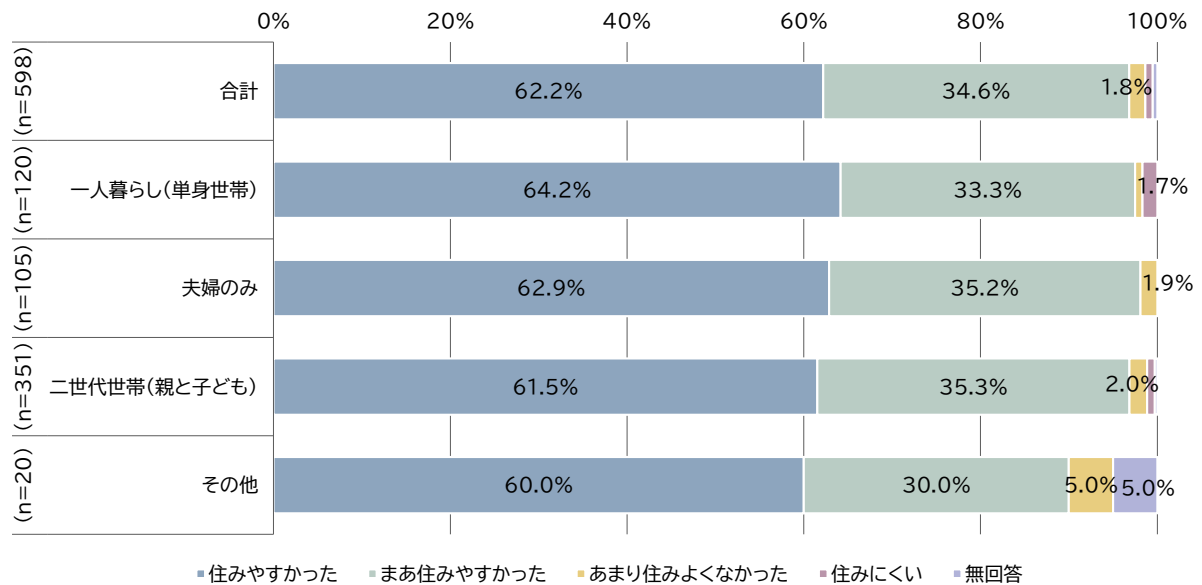
図表 128 住みやすさ（居住年数別・SA）



5) 引越し前の世帯構成別

引越し前の世帯構成別でみると、「その他」を除いて、いずれの世帯でも住みよいとする割合は9.5割以上である。世帯構成別の傾向には明確な差は認められない。

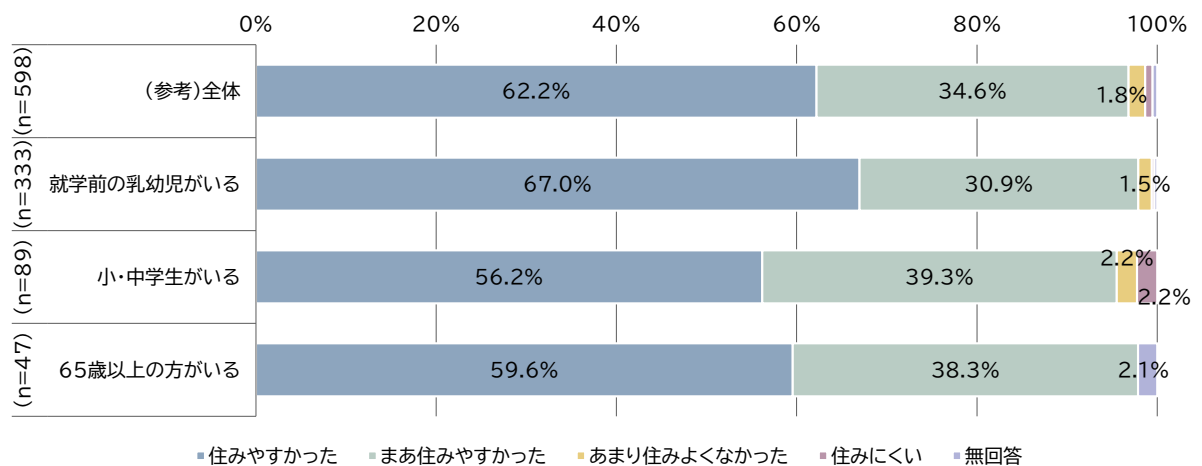
図表 129 住みやすさ (世帯構成別・SA)



6) 家族形態別

家族形態別でみると、いずれの家族形態でも住みよいとする割合は9.5割以上である。家族形態別の傾向には明確な差は認められない。

図表 130 住みやすさ (家族形態別・SA)

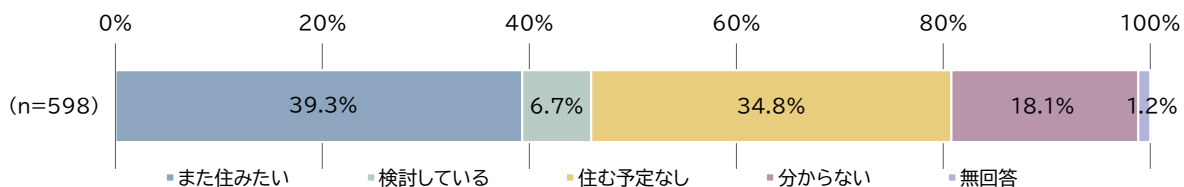


② 今後の定住意向

1) 全体

墨田区への今後の定住意向について、「また住みたい」の割合が最も高く 39.3%である。次いで、「住む予定なし (34.8%)」、「分からない (18.1%)」である。

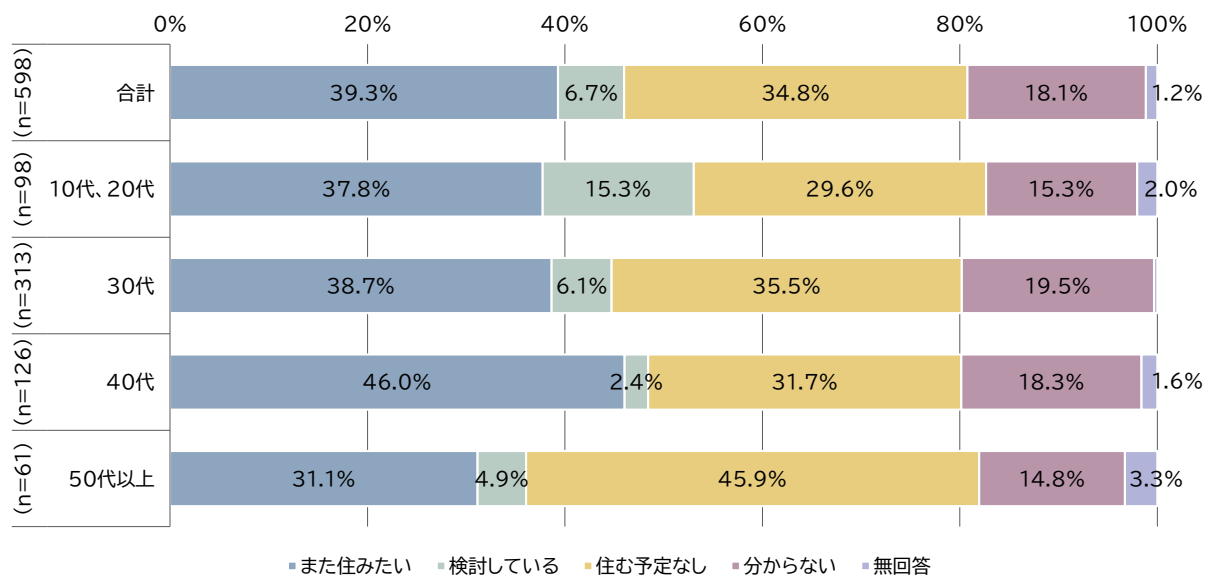
図表 131 今後の定住意向 (SA)



2) 年齢別

年齢別でみると、「50代以上」で「住む予定なし」の割合が全体よりも高い。

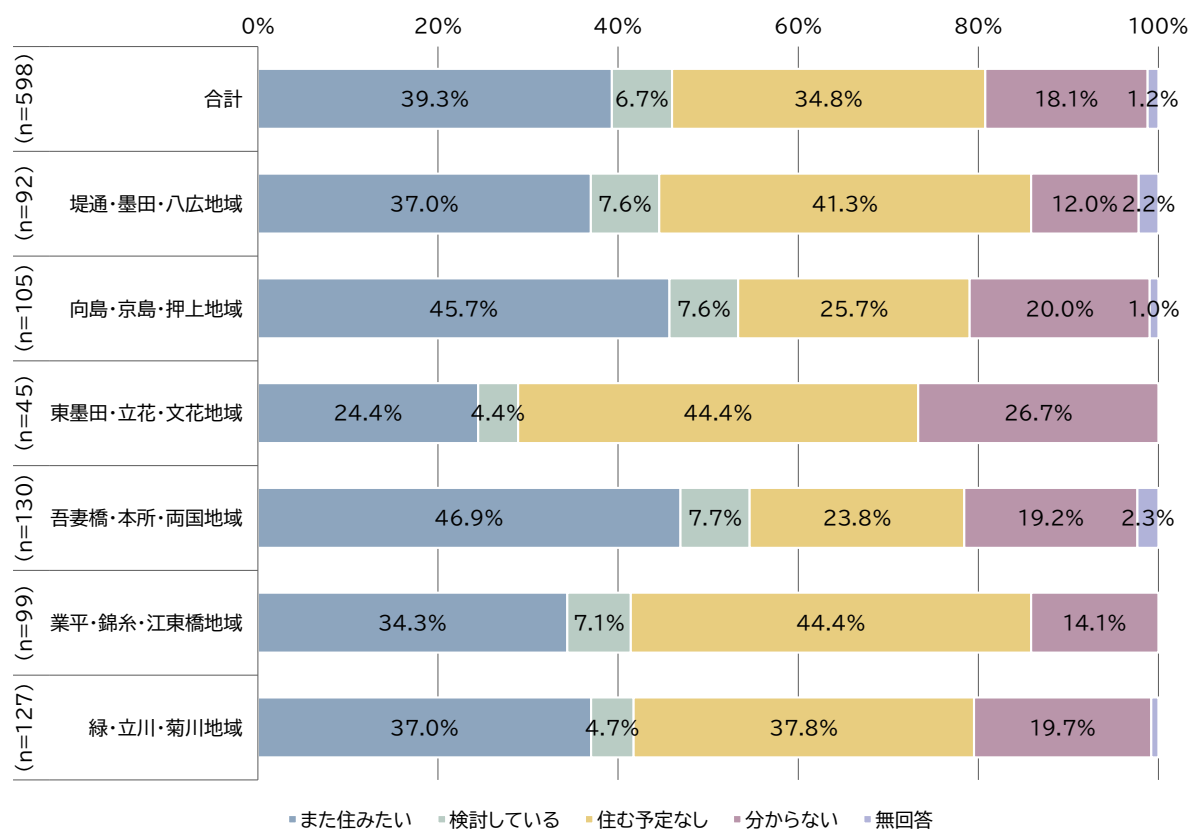
図表 132 定住意向 (年齢別・SA)



3) 引越し前の居住地域別

居住地域別でみると、「東墨田・立花・文花地域」で「また住みたい」の割合が全体よりも低い。また、「東墨田・立花・文花地域」、「業平・錦糸・江東橋地域」で「住む予定なし」の割合が全体よりも高い。

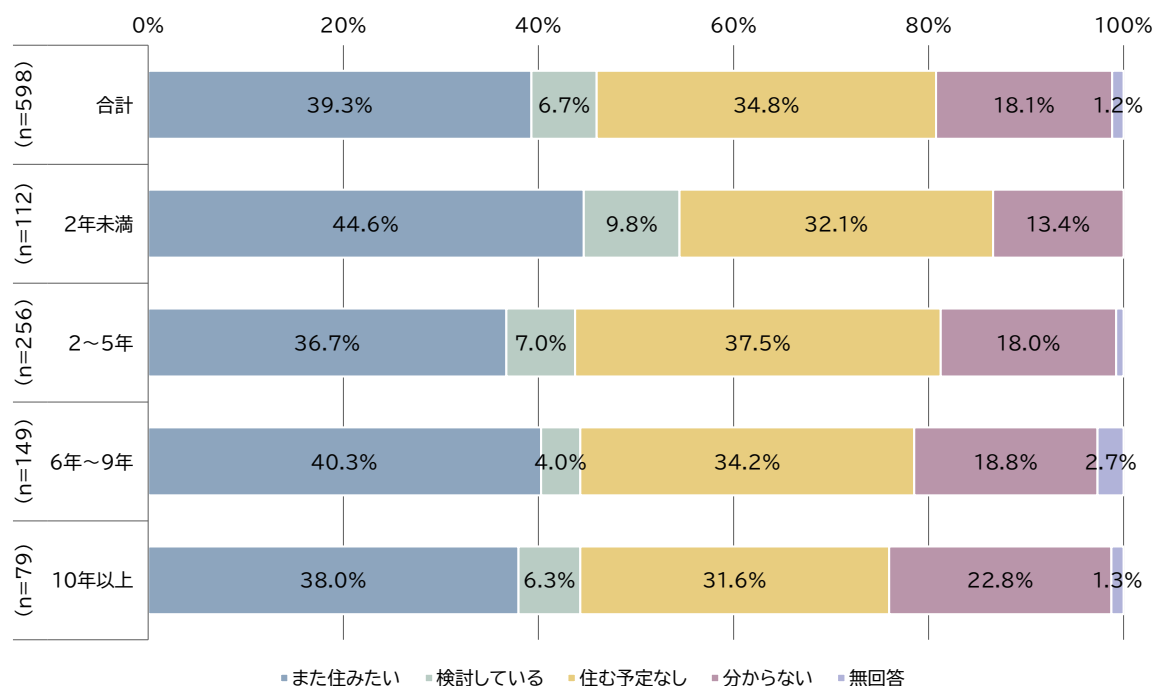
図表 133 定住意向（居住地域別・SA）



4) 引越し前の居住年数別

引越し前の居住年数別でみると、居住年数別の傾向には明確な差は認められない。

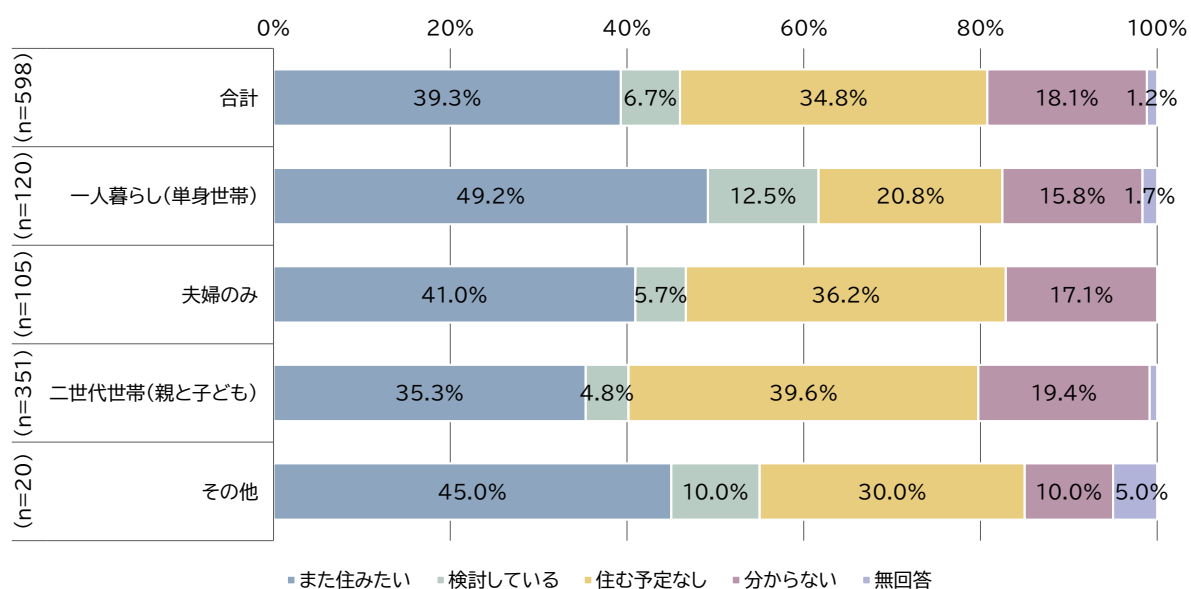
図表 134 定住意向（居住年数別・SA）



5) 引越し前の世帯構成別

引越し前の世帯構成別でみると、「一人暮らし（単身世帯）」の世帯で「また住みたい」の割合が全体よりも高く、「住む予定なし」の割合は全体よりも低い。

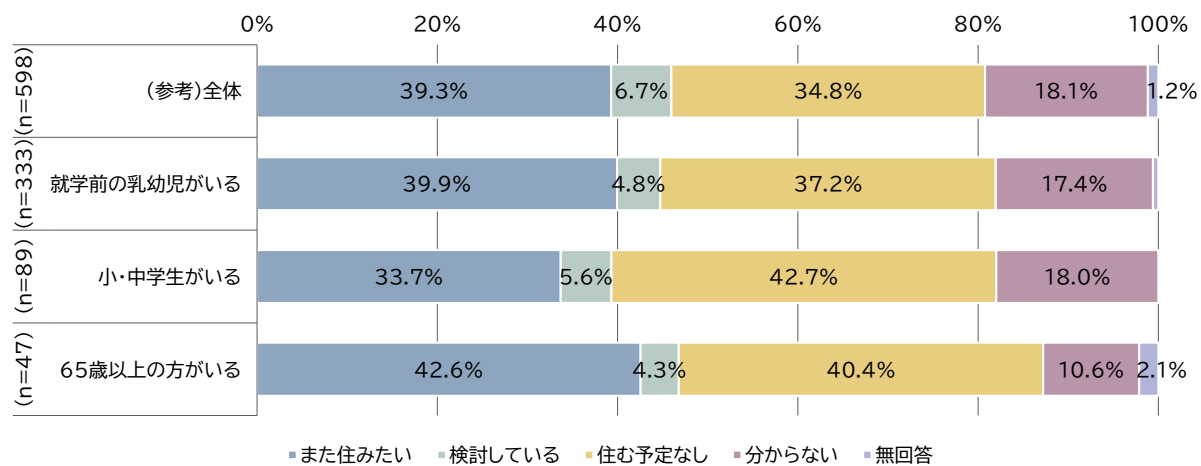
図表 135 定住意向（引越し前の世帯構成別・SA）



6) 家族形態別

家族形態別でみると、回答の傾向に明確な差は認められない。

図表 136 定住意向 (家族形態別・SA)



4. 現在のイメージと今後の区に期待するイメージについて

(1) 調査結果概要

- ◆ 現在の区のイメージについては、「便利で住みやすいまち」、「伝統、文化、芸術が感じられるまち」、「多くの人を訪れるにぎわいのあるまち」の選択率が高い。(p.130 図表 137)
- ◆ 今後の墨田区に期待するイメージについては、「特になし(ほかになし)」を除いて、「出産・子育てがしやすいまち」、「治安が良いまち」、「災害に強いまち」、の選択率が高い。(p.132 図表 139)

(2) 調査結果

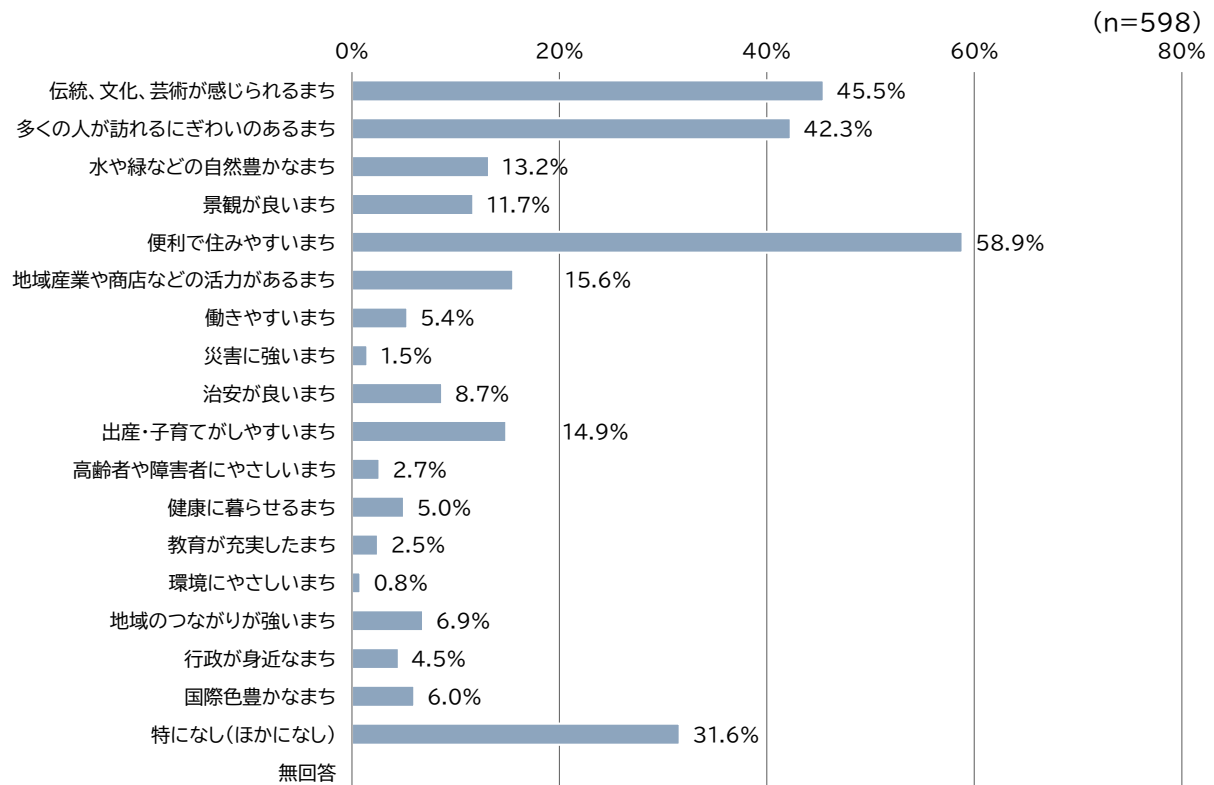
① 現在の墨田区のイメージ (回答の選択割合)

現在の墨田区へのイメージについて、1位～3位に挙げられているものをすべて合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

現在の区のイメージとして、選択されている割合は、「便利で住みやすいまち (58.9%)」、「伝統、文化、芸術が感じられるまち (45.5%)」、「多くの人を訪れるにぎわいのあるまち (42.3%)」の順に高い。

図表 137 現在の墨田区のイメージ (回答の選択割合・MA)



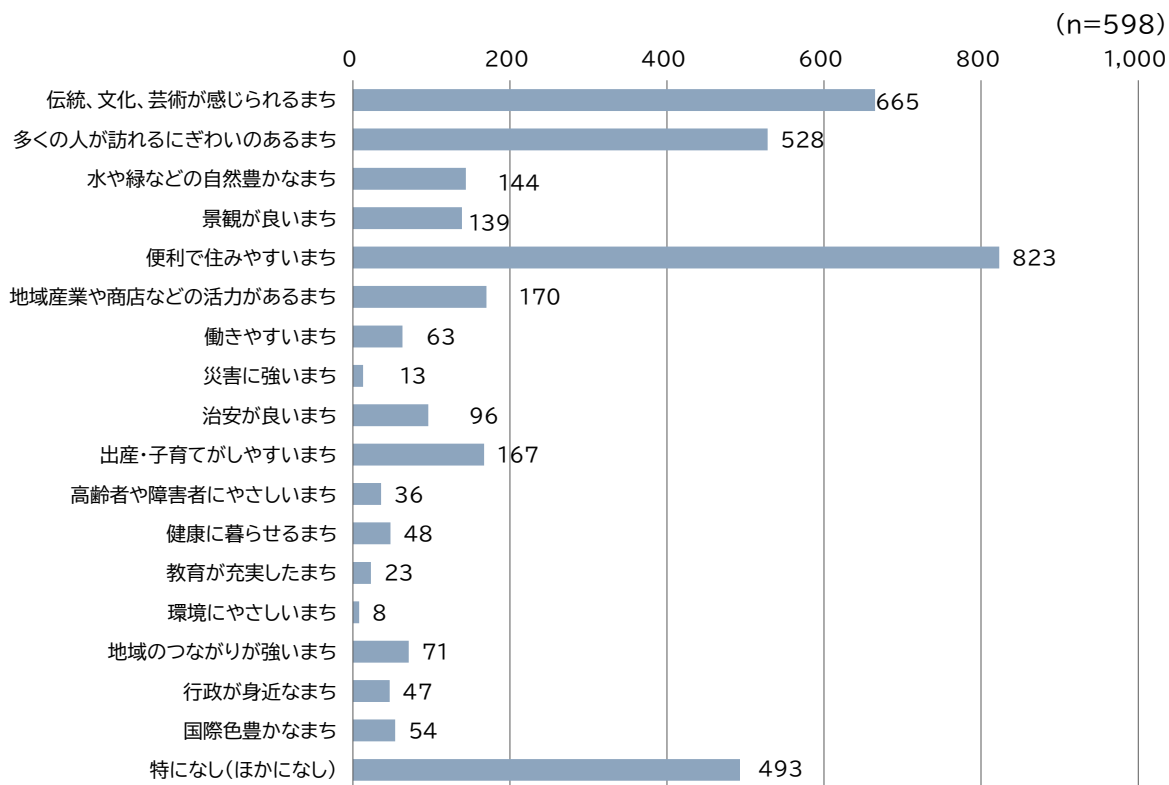
② 現在の墨田区のイメージ（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを3点、2 番目に選択されたものを2点、3 番目に選択されたものを1点として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

現在の区のイメージを点数化した結果は、「便利で住みやすいまち（823）」、「伝統、文化、芸術が感じられるまち（665）」、「多くの人が訪れるにぎわいのあるまち（528）」の順に高い。

図表 138 現在の墨田区のイメージ（回答の点数化）



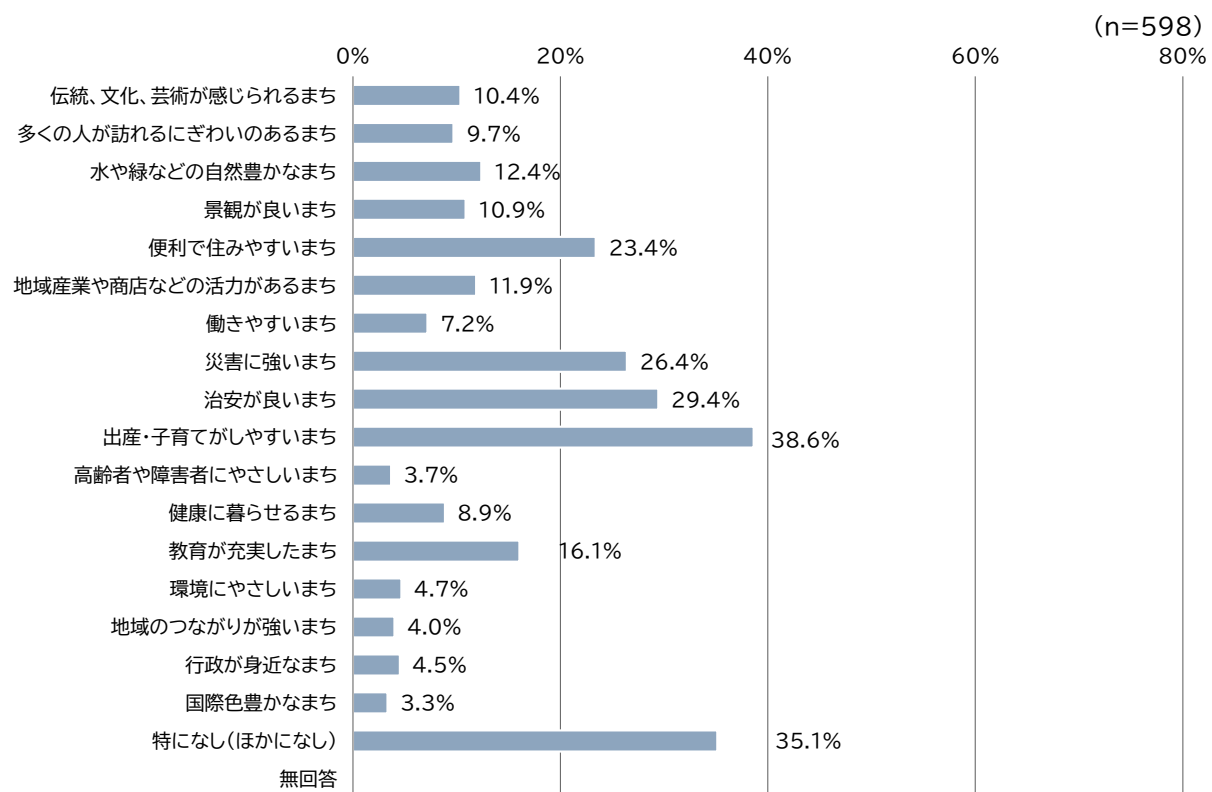
③ 墨田区に今後期待するイメージ（回答の選択割合）

現在の墨田区へのイメージについて、1位～3位に挙げられているものをすべて合算して、回答の選択有無について集計した。

1) 全体

区に今後期待するイメージとして、選択されている割合は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「出産・子育てがしやすいまち（38.6%）」、「治安が良いまち（29.4%）」、「災害に強いまち（26.4%）」の順に高い。

図表 139 墨田区に今後期待するイメージ（回答の選択割合・MA）



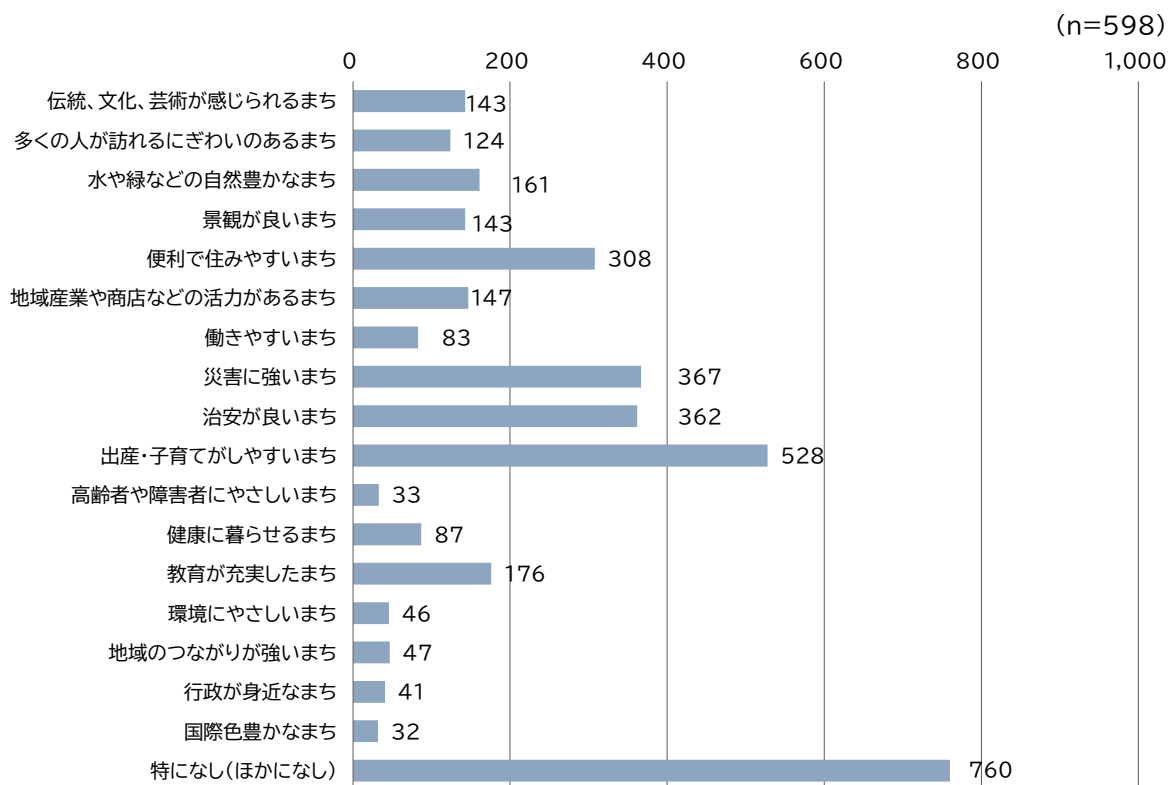
④ 墨田区に今後期待するイメージ（回答の点数化）

1 番目に選択されたものを3点、2番目に選択されたものを2点、3番目に選択されたものを1点として、回答内容を点数化して集計を実施した。

1) 全体

区に今後期待するイメージを点数化した結果は、「特になし（ほかになし）」を除いて、「出産・子育てがしやすいまち（528）」、「災害に強いまち（367）」、「治安が良いまち（362）」の順に高い。

図表 140 墨田区に今後期待するイメージ（回答の点数化）



5. 自由意見

(1) 調査結果

墨田区が「暮らし続けたいまち」づくりを進めていく上での意見や要望について、回答者に自由に記述していただいたところ、260名（回答者全体の43.5%）から意見が寄せられた。

本項目では、明らかな誤字・脱字は修正した上で、原文のまま自由記述の意見を掲載した。

ただし、外国語で記載されたものは邦訳して掲載したほか、回答者個人に関わる内容や文章量が著しく多い意見、本自由記述の趣旨と異なる意見はその内容を一部削除した。複数の回答者から同様の意見が寄せられたものは、意見の趣旨をまとめた上で合わせて掲載している。

なお、1人の回答者が2つ以上のテーマについて記載している場合は、読みやすさの観点から可能な範囲で意見を分割した上で、テーマごとに掲載した。

1) 区政について（45件）

ア 区政全般（39件）

- ・ 墨田区は、とても住みやすいまちでした！【8件】
- ・ 墨田区に住みつづけたかったのですが転居することになりました。引越する際は、また住むことを検討したいです。またいつか住めるときによりよい墨田区になるように期待しています。【4件】
- ・ 住民の声に耳を傾ける素晴らしい取組だと思います。今後も是非よりよいまちづくりを進めていただきたいと期待します。
- ・ 墨田区で3度コロナ接種を受け、どこの区よりも的確な対応わかりやすい接種票と説明だと実感しました。この様なアンケートがあることも、素晴らしいと思います。少しでも、お役に立つこと、更に墨田区の発展を願います。
- ・ 人口が多く便利で活気のある歴史ある街であることを活かし、区画整備され、公園や商業施設も管理され、向上している印象があります。その分、新規参入するには敷居が高いとも思い、離れる判断をしました。住みやすい工夫がなされ改善していこうという向上心も感じられている中で特色は活きていると思います。歴史ある地域産業や商店と駅近の商業施設がより相乗効果を発揮できれば、他の都市にはない活気や魅力となり個性となりまた、雇用をつくり地域の連携コミュニティ形成や、多様性を豊かにできると思います。
- ・ 都内色々な場所にアクセスしやすく、人ごみもそこまででもなく、スカイツリーなど有名なものがあったりレジャーや生活する上でとてもバランスがとれたステキな町だった。地元で帰省したい希望があったため離れることになりました。また金銭的に都内一戸建てを建てるのが難しく断念しました。公園などもキレイで、保育園もたくさんありとても住みやすかったです。しいていえば、子育て世代が住みやすくするため助成金、補助金などがあれば永住の検討をしたかったです。
- ・ 習志野市と比較して墨田区は都心に近いという圧倒的なメリットがあるので、何もしなくても人は来るとは思いますが、住んでいる方（高齢者ではなく、若者、子育て世代）の生活をサポートする施策を兵庫の明石市の様に実施できるとより良い自治体になるとは思います。

- ・ アンケート調査に協力したのだから、墨田区からの返礼品などはないのか？
- ・ 区役所の対応が他の区と比べるととても早くて（コロナの予防接種のときに特にそう思いました）財成豊かなのかな？と思うことが何度かありました。すばらしい区だと今も思っています。お世話になりました
- ・ 地方へ引越したことで墨田区がとても住み良い町だったと改めて感じた。子ども医療費助成など、地方によって全く違ったり、転入時の手続き等でマイナンバーカードがあっても上手利用できていないように感じた…各自治体によって形体が違うにしろマイナンバーカードがあるのなら、もう少しすんなり手続き等ができるのでは…？と思う。やはり行政がもっとしっかりと整えるべきではないかと強く感じた。
- ・ 10年間お世話になりました。子供が2人できてから、東京都から出たいと強く思うようになり、転出することになりましたが、墨田区は住みやすい、ほどよく下町でほどよく都会でとても思い入れのあるところでした。
- ・ 墨田区はキレイだったけれど、区も頑張ってくれているけれど、人がやさしくなかったのが、はなれました。練馬区は、区の対応はいまいちですが、人は優しいし地域でみまろうなど努力があります。墨田区はきれいじゃないけれど、住んでいる人はきれいです。
- ・ 23区内で何回か引っ越しをしていますが、行政が一番しっかりしていると感じたのが墨田区です
- ・ 学校教育もしっかりしていたし健診などが充実していて住みやすかったが、もう少し税金が安いと良かった。
- ・ それぞれのライフスタイルや年齢に合った行政のサポートが充実しているといいなと思います。
- ・ 周遊バスなど行政サービスの充実やワクチン接種の迅速さは他の自治体よりも素晴らしいなと感じました。
- ・ 在宅勤務が増え日当たりの悪い部屋で精神を病みかけてしまったので引っ越しました。また墨田区に戻りたいです！ コロナ初期に墨田区に住んでいてとても安心しました。早い段階でワクチン接種させて頂き有難うございました。千葉大学と一緒に作られた虹色のファイルは一生記憶に残ると思います。
- ・ アンケート問7にあった、区のイメージの選択肢のバランスが良いことが暮らし続けたいまちと思います。今回の転出は2回目で仕事の異動によるものですが、墨田区で暮らしにくいと感じたことはありません。
- ・ 転勤で転出した。墨田区は長年住んでいたのに住みやすく、観光も盛んで魅力的な区だと思います。区役所も親切で、とにかく良い街です。
- ・ 転勤に伴い、両国に7年間住まわせていただきましたが、退職後また必ず戻りたい愛着のあるまちです。理由は人が優しく、交通の便が良く、落ち着いていて暮らしやすく、相撲という分かりやすいアイコンがあり、外国人にもオススメできる点です。隅田川花火大会や隅田川の桜、相撲の優勝パレードやガラス市、賑わい祭りや24時間テレビ、余すところなく楽しみ尽くしました。隅田川テラスを犬と散歩した一時はかけがえのない思い出です。懐かしいです。これからも時々遊びに行きます。

- ・ コロナ給付金対応やワクチン受診表など 通知や知らせも早く助かりました。現在は埼玉県で子育て育児をしておりますが いつか墨田区でも出産し、育児をしたいです。墨田区にはたくさんの思い出をいただきました。第2の故郷です。次は子どもを連れて遊びに行きます。ありがとうございました。
 - ・ 残念ながら仕事の関係で転出しましたが、墨田区南方はとても住みやすい町でした。川に挟まれた場所でしたが災害に強く安心して暮らしました。出産の際は産後ケアなどの制度を活用させていただき、子育てに必要な買い物が一通り揃いやすく、公園の遊具も豊富で整備が行き届いており、ソラマチやミズマチでの買い物も楽しく、行政・商業の面で安心して暮らしました。あとは、町中の小さな川が綺麗だともっと気持ちよく過ごせるかと思いました。しかし、総合的にとても満足度高く生活できました。ありがとうございました。
 - ・ 墨田区に住んでいて、本当に行政の仕事が早いと感じていました。(コロナ対応など) また結婚を機に引っ越ししましたが、児童館がたくさんあり行きやすく、職員の方々もとても丁寧でした。出産するまで全く児童館に接点がありませんでしたが、さまざまな場所の児童館に行くことができとてもよかったです。ですので、引っ越し時などそういった施設の分かるように区役所等に案内があると便利かと思います。墨田区で生まれ育ったので、愛着があります。スカイツリーができ、墨田区のイメージも大きく変わってきていると思いますが、伝統産業の盛んな、歴史ある下町の顔を残しつつ、便利で暮らしやすい街になってもらいたいと思います。期待しています！
 - ・ 墨田区は、東京都 23 区の中なかでも、歴史と自然のバランスが調和した、とても住みやすい区だと思います。横網に約 10 年、両国に約 6 年住みましたが、買い物に便利な東京駅付近や銀座にも近く、かつ、浅草やスカイツリーなどの観光地にも近いという、お得なエリアだと感じます。また、昔ながらのお祭りなど文化もきちんと継承されていて、東京の良さが凝縮されている街です。
 - ・ 大相撲が好きなので住んでいるだけで幸せでした。また東京勤務になったら絶対にまた住みたいです。ソラマチの懐の広さも最高です。出会う方達もいい方ばかりでした。
 - ・ 安いスーパーもあって、下町感もあって、大変住みやすかったです。長く住みたかったですが、転出することになり残念です。隅田川、リバーサイドなど、ほっとできる場も近くにあって良かったです。
 - ・ やむを得ない都合で転居しましたが、墨田区は住みやすく、商業施設や公園が豊富で楽しいまちでした。
 - ・ やはり定住を検討するためには商店、教育、医療といったサービスへのアクセスを向上してほしい。
 - ・ 都内であること、スカイツリーの影響などから物価が高いため永住はできませんでした。
- イ 区役所について (6件)
- ・ たびたび、区役所へ伺う機会がありましたがどこの課の方も感じが良く親切でした。【2件】
 - ・ 一部では、優秀な墨田区の職員がいる一方、病欠やその他休暇制度等を利用したり、日中何も成果を上げず、他の職員に迷惑をかけている無能な職員が多くいるのが窓口を見てわかったので、墨田区は、墨田区民が満足のいくサービスが提供できていないのを感じる。そ

のため、無能な職員を懲戒処分にしてほしい。

- ・ 改善して欲しい点、区役所職員の接遇、日曜保育の申請書を毎月 20 日までに区役所に直接提出しに行かなければならないこと。(例えば、毎月利用しているような場合は利用している日曜保育の保育園で申請書を提出可能にする等)
- ・ 行政職員の方も大変だと思われるが、休みの日に手続き出来る機会が少なくない為か、日曜日の手続きが混み合ってしまう待ち時間が長いように思われる。渋谷区では土曜日は毎週ヒカリエで手続きが出来るようになっており大変助かった。墨田区でも同じように毎週休みの日に手続き出来るようになったら良いと思っている。
- ・ 以前墨田区に転入した際に、区役所の担当者が住民票情報を誤入力し、パスポートの発行に影響をきたしたことがある。その際に仕事の代休を取らざるを得なくなり、私のお客様にも迷惑をかけ会社に損害が発生したにも関わらず、担当者一切謝らず。墨田区には最低な人、多いという印象です。まずは人から変えていったほうがいいのでは？DX とか文化とか言っている場合じゃないですよ。もう二度と墨田区民にはなりません。

2) 歴史・伝統について (2件)

- ・ すみだトリフォニーホールを芸術だけのものではなく伝統、文化を感じられるものに。
- ・ 伝統・文化を生かしたまちづくり。

3) 文化芸術について (5件)

- ・ 芸術面、都市緑化含め、他区市町村にないオリジナリティーな特長があっても良いかと思えます。何か特化しているイメージがあると魅力も増してくるのではないかと考えます。
- ・ スカイツリー、北斎を墨田区だと主張して！隅田川テラス、良いね！文化は、光も闇も含めて素晴らしい。23 区で一番好きなのは、墨田区。とうろう流しをして。
- ・ 押上、曳舟、八広地域合わせて、墨田区に 15 年程住んでおりました。大好きな街でした。特に今の場所に引っ越してから、強くそう思うようになりました。また住みたいです。場所柄インバウンドのお客様も充分取り込めているとは思いますがもっと北斎のアートを取り込んだデザイナーズマンションなど創って若者も沢山移住して来られると、話題性が広がったりするのかな？と勝手に思いました。
- ・ すみだ北斎美術館や相撲など町中に文化が溢れているのが素敵でした。
- ・ 墨田区民に特別枠で隅田川花火大会の指定座席を販売してほしいです。

4) 観光について (2件)

- ・ 墨田区は、これからは人口減少に伴い観光に力を入れていく必要があると思います。海外からの観光客や移住者がより便利に過ごせるような環境を整備し、古き良き文化と新たなエネルギーギッシュなパワーが融合した、そんな素敵な街になっていけたら、とても嬉しく感じます。
- ・ 押上近辺にソラマチしかないなので、海外の方が満足していない、近辺で他に行く場所がないと聞きます。コンビニなどに行くくらいしかないみたいです。せっかくスカイツリーがあり、

国外の方が集まるので、もっと他の商業施設やイベントを増やすと賑わうと思います。何かのミュージアムとか作れませんか？

5) 水とみどりについて (4件)

- ・ 緑豊かな公園がほとんど無く、子育てには不向きだと感じていました。もっと木陰のある大きな木のある公園があったら良いと思います。
- ・ 街中に緑がたくさんほしい。
- ・ 緑、自然、もっと公園以外でも木々を増やしてほしい。錦糸公園は遊具中心で緑が少なめなので、親水公園、隅田公園のような緑の多い公園ももっとほしい。遊具と緑のバランスの良い公園が区内(近場)に少ないため、近隣の区の木場公園、猿江公園、江戸川の小松川のあたりの公園などに出かけることも多かった。
- ・ 墨田区だけではないですが、東京都の水道水と比べて、習志野市の水道水は普通においしい。都の水道局はもう少し努力した方が良いと思う。

6) まちなみについて (8件)

- ・ 錦糸町駅周辺にあるたばこを吸う場所をどうにかして欲しい。J Tがある以上、なくすことはできないだろうから、せめて、けむりが外にでない造りにするなどの改善をして欲しい。
- ・ 大きい駅の前に喫煙所があって使いづらかった。
- ・ 繁華街(錦糸町など)の美化。
- ・ 京島地区の計画。
- ・ 私の住んでいた東墨田の地域は、歴史的な背景も含めいろいろな見方のある場所ですが、住んでみるととても住みやすかったです。開発による発展も必要かとは重々承知ですが、この古き良き墨田区も共に未来へつながっていくことを望みます。
- ・ 利便性(都心に近い)に比して地価が安くマンションが乱立しているため、人がどんどん飽和している。それに見合うインフラが大切。
- ・ 高層マンションが多くなっていますが、下町らしさを大切にしてほしい。
- ・ 東京・日本をリードする国際まちづくり。特に日本づくりの要は東京である。東京づくりの要は墨田区である。大規模、土地を買収して、区全体で、開発していく。多くの外資を取り入れ、既存住民に多くの恩恵を与え、各建業界各世界レベルの資本と連携して、区民にきちんと説明してスピードのある開発を行う。

7) 住環境(住宅・道路・公園等)について (78件)

ア 住宅について (50件)

- ・ 新しい住まいをさがす中でワンルームのマンションが多くファミリーで住める広さの分譲住宅(新しい設備含む)が無かった。部屋の広さや築年数等で妥協しなければならない。【9件】
- ・ 家族で住むには家賃が高く、そもそもファミリー向けの広い賃貸マンションが少ないため越しせざるを得なかった。【7件】
- ・ 住み続けたかったのですが、住宅価格の問題で引っ越し事を選びました。【6件】

- ・ 家賃が自分の収入と比較してやむなく転出したが、可能ならそのまま住み続けたかったです。
【6件】
- ・ 子育てに適した住環境がなく引っ越しせざるを得なかった。新しいマンションは建っているが1Kが中心で、子育て世帯の流入は難しいと思われる。まちの魅力は強いので、広めのマンションや戸建てを増やしてほしい。【2件】
- ・ 子供が生まれて広い家考えた時、墨田区でないと感じた。
- ・ 1人暮らしやディンクス向けの住宅は多いが、家族が4人くらいになると住宅の選択岐の少なさを痛感する。(私は南エリアに居住) 家族向け住宅であっても、少々手狭感がいなめず、ゆとりのある住宅は手に入れにくい。もっと家族が住むための広い間取りのマンションや、戸建の区画を拡充してほしい。
- ・ 転居を検討したのは、子供が生まれ大きい家が必要となったときに今の自分達の給料では払えない位土地、家が高かった為である。また、大型分譲等がなく、子供に歳の近い友達を作ってあげたかったので、墨田区からの転出を決めた。少し駅から離れると古そうな家や誰も住んでいなさそうな家を散見することができた。どこまでできるかは分からないが、新しい家の開発が進めば、マンションでは少し物足りない大きな家をのぞむ家族を定住できるのではと思う。
- ・ 不動産価格が高騰して、新しい家族向けの住まいを探すのが難しかったです。太平、業平、錦糸あたりに、新しいマンション等ができ易く区画を再整備されると、より質の良い住みたい人が集まると思います！
- ・ 住宅価格が高騰する中、住宅に関する補助の有無が近隣自治体との差別化において有効だと思います。交通、子育て支援、商店街の充実具合などは近隣区が優勢だと思います。
- ・ 子育てのためにマンション購入したため墨田区を出ていくしかありませんでした。2年以上墨田区に住んでいる子育て世帯がマンション購入する際の補助等あったらまた住めたのにな、と思いました。
- ・ 墨田区に限った話ではないが、都内の不動産の高騰が著しく、購入にせよ賃貸にせよ、家計に相当の負担がかかってしまい、普通の会社員ではとても家庭を持って定住するには切り詰めて生活しなければならない。行政からの何らかの支援、公営住宅の整備等も進めて欲しいと思う。
- ・ 転出しましたが、出来れば墨田区にまた住みたいと考えています。今回のアンケートも行政の素晴らしい取り組みだと感じました。居住区にもよりますが、私が住んでいた本所吾妻橋は少しだけ街の活気が控えめなのが残念でしたが、家賃相場からいけば相応なのかもしれません。本音を言うともう少し家賃が安くて地域に根ざした商店があると一切の不満はありませんでした。とはいえ、墨田区は東京都の中でも行政の取り組みが市民から見ても素晴らしいと感じています。いつもありがとうございます。
- ・ 道路が狭い、狭いところに阿保みたいに新築住宅が建っていくので窮屈に見えるのと、古い家とも密集しているので火事になったらすぐ燃え移りそう。
- ・ 非常に住みやすく、個人的にも好きで機会があればぜひまた住みたいまちでした。人気の街のため仕方ないのは理解していますが、賃料が値上がりしていること、単身者、二人暮らし

物件が少し少ないように感じる点が気になる点ではあります。

- ・ 2LDK 以上の手頃な賃貸住宅を増やしてほしいです。
- ・ 場所柄難しいと思うのですが、子育てをするには家賃の割に部屋が狭く…そこだけが不満となり転出せざるを得ませんでした。元々イメージは良くなかったものの、住んでみたら凄く魅力的な街だったので、戻りたい気持ちは強いです。今後マンション購入を考えているのですが、その際に子育て世代に住宅購入割引や、地域割引だったり、何かしら特典があると嬉しいです。再転入特典とかもいいですね。
- ・ 近隣住民から子供の足音がうるさいと何度も警察を呼ばれ、子育て世帯には住みにくい街と感じました。
- ・ 家族4人（幼児2人）世帯で業平に住んでいました。住んでいたマンションが手狭になり引っ越しを考えましたが、業平（押上周辺）近くには家族向け（3LDK等）の賃貸マンションが少なく、また、治安の悪さも感じていたため、子供が小学生になる前に区外に転出しました。業平（押上周辺）から離れば区内でも家族向けマンションはありますが、どこも魅力的な街とは言えず、あえて区内で引っ越しをして墨田区に住み続けたいと思う理由がありませんでした。
- ・ 分譲マンションや住宅の価格は、行政ではコントロールできないので難しいところもあるが、元々住んでいる人（家がある人）以外の、区外からの転入を促進、あるいは住宅を理由とした区外への転出を抑制できるような施策ができれば良いのではないかな。
- ・ 家賃の高さと住みやすさが見合っていないと感じた。
- ・ 公営住宅や既存賃貸のリノベーションなど、賃貸転入する家のクオリティが街全体でアップすると素敵。
- ・ 再居住（再度転入）者向けの支援策があれば嬉しいです。
- ・ 今回、マンション購入にあたり、不動産価値の高いエリアを選び転居しました。墨田区は地域が暖かくとても住みやすかったので、老後に不動産を手放した後はまた暮らしたいと思っています。墨田区の不動産価値が上がってくるととても嬉しいです。
- ・ 転居前は子供が1人だったため居住広さは問題ありませんでしたが、今は子供2人のため、墨田区南方では十分な広さの居住面積が望めないのではと思っています。

イ 道路について（9件）

- ・ 都内は仕方ないのかもしれませんが、就学前の子供が安心して1人で歩けるような歩道がほぼない（狭い）。車とすれちがうのが怖い。安心して歩ける、自転車に乗れる道路を作ってほしい。【3件】
- ・ 墨田区は住宅密集地の為、以前から防災面で不安を感じていました。老朽化した木造住宅や消防車がなかなか入れない狭い道路が多いので、その問題点が解消されればより住みやすく安心・安全な場所になると思います。道路の拡幅整備を実施している場所もいくつかあり、これからますます住みやすい場所になっていくことを期待しています。
- ・ 道幅が狭いのが改善されたら嬉しい。

- ・ 墨田2丁目に長く住みましたが、車の量が増えたのに、街の造りは変わらず、大変不便な思いもしました。
- ・ 広い道路沿いの歩道をもっと広く歩きやすくして欲しい。車との距離が近く、子どもや老人には少し不安に感じるのでは。
- ・ スカイツリー周辺は道も広くて子連れで散歩しやすかったが、一歩離れるとまだまだ狭い道（ベビーカーが通りづらい、車とすれ違うときに怖い）がたくさんあると感じた。街全体がさまざまな世代の方が散歩しやすいような広い道になるともっと良いと思った。
- ・ 歩道での自転車の通行量が多く、小学生の子供を歩かせると思うと怖いと感じていました。引っ越してきた先では、大通りでは歩道は自転車と歩行者が分かれていて、電柱も地下に埋まっていて景観がよく、景観の良さは治安の良さにも繋がっていると感じています。（一方で墨田区のような碁盤の目のように美しく整理され、一方通行で車の往来が制限されてはいないので、その点は素晴らしかったです）。

ウ 公園等について（13件）

- ・ 墨田区は公園が充実しており本当に子育て環境に力を入れて下さっていることを毎日実感していました。【4件】
- ・ 錦糸町駅近隣のことしか分からないが、錦糸町の顔といえる錦糸公園を、もっと地域コミュニティが支える皆の公共空間として、ハード・ソフト共に高質化させていくことを主導、仕掛けていただきたいです。周りの人は公園から恵みを得ており、うまい場があれば、それなりの参画が得られると思います。
- ・ 公園の充実度・子どもにやさしい街みどりが多い街はいいなと思います。砂場等がたくさんある公園、ひとつひとつの公園がもう少し広く遊ぶ遊具もあると楽しそうと感じます。
- ・ 横川親水公園の美化。（メンテナンス）
- ・ 地域の公園全てに水道がついており、遊んだあとも清潔にして家に帰れるのが、今の大阪市西区の公園にはないことなので、ありがたかったと感じています。
- ・ 公園にキャッチボールが出来る様な場所などが多くあると、子供の遊びのレパートリーが増えて良いと思います。
- ・ 子どもに対してとても厳しい街だと思います。墨田区の小さな公園はほとんどお年寄りのベンチの為にあるような物で、子どもが自由に遊び回る事が出来ません。もっと公園を作り、子供が活発にボール遊びや体を動かせる場を作らないと、墨田区の子どもの体力は落ちていきます。子どもより犬が優先されている様な公園も在ります。区長には必要とされていない美術館よりも公園作りを頑張っていたらと切に願います。子どもが未来です。美術館にかけるお金があるのなら是非子どもに使ってください。
- ・ ペットを連れて行ける施設がなかった点が残念でした。川沿いなど空き地がたくさんあるのに、ドッグランのひとつくらいはあってもよかったと思います。
- ・ 思い入れのある墨田公園（スカイツリーに近い側）も、芝生が養生中で入れないときが多くて残念だった。
- ・ マンションばかりで空が狭く、広い公園がほとんどない。荒川の土手などにドッグランとか、

野球やサッカー以外にも人が集まれる物を作って欲しかった。

エ その他（6件）

- ・ とにかく子育てをする上で、喫煙率の高さ、喫煙者のマナーの悪さが最大の欠点だった。街中を歩くと、必ず、歩きタバコ、会社の前でのタバコ、立ち止まったタバコ、自転車に乗りながらのタバコ、車に乗りながらのタバコに遭遇した。少しの距離でも必ず一度は遭遇するほど、環境が悪かった。規制がなく、区が取り締まるわけでもないのに容認されている感じがしていた。喫煙率の高い高齢者が多い街であることは分かるが、罰則や取り締まりを強化してほしい。街としての基準の低さを感じた。区役所に具体的なメールを出したこともあったが、（路上に灰皿を置く飲食店への改善依頼）、具体的なアクションはとられなかった。これがなくなるだけで、とても住みやすくなると思った。【2件】
- ・ 住・職のバランスがとれたまちづくり。
- ・ 墨田区は少しの間しか住むことができませんでしたが、自転車の駐輪スペースが少なかったです。
- ・ タバコのポイ捨てをする人間が多すぎる。区外から来た人がしているケースも多々あると思いますが、どうかした方がよい。
- ・ 子育て観点で東京は人が多すぎて嫌になり転出しましたが、夫婦二人で住んでるときは生活の殆どの面で気に入っていました。東京では難しいですが、人の密度が少なくなって十分な広さの家で公園などを快適に利用していけるようになって欲しいとは思っています。

8) 交通について（14件）

- ・ 南北の交通の便はあまり良くないので、改善点かと思う。【2件】
- ・ 今の職場の神田へ約40分かかることがネックでした。30分以内で職場に行くため台東区へ越しました。都心への20～30分内のアクセス、緑が多い、ペット飼いやすさが私の基準です。墨田区は緑が多くて犬に良いですが、水害が怖いのと、亀戸以外はやや都心へ遠いイメージです。都心（東京・神田）へ直通的な地下鉄があれば墨田区へ戻りたいです。
- ・ 昼間の時間帯のすみまらくんを増便してほしいです。特に錦糸町駅発のバスはいつも混雑していてお年寄の方がたくさん乗っています。
- ・ スカイツリーができて以来、一層外国人をはじめとした観光客が増えたように思います。まちとしてもどんどんとぎわっています。反面、土日ともなるとスカイツリー／ソラマチの駐車場に入るための行列渋滞が常に発生し、特に都バス、すみまらくんが相当に遅延が生活する上でかなり困りました。押上駅のロータリーに入って、はじめて駐車場利用とロータリー側とで分かれるため、通りにも待機列がはみ出ている状態です。何か対策は難しいでしょうか。又、ここ最近ロータリー内に大型バン等が停車したままで度々都バスが通れずにクラクションを鳴らす場面を目撃しています。マナーの問題なのでしょうか。
- ・ 路上注輪の取り締まりがきびしすぎる。外食出来ない。
- ・ 墨田区のバスが大変便利で沢山のりました。本数も沢山あり満足しています。八広地区の駐車場が1、2ヵ所増えたらより便利になりそうです。

- ・ 自家用車がなく移動は公共交通機関に頼っている単身者としては、メトロが通っていない地域は一気に利便性が落ちると思う。通勤に東武線を使っていたが、通勤ラッシュの時間帯に、電車の間隔が10分以上空くことがあり、かなり不便だった。引越しを考えたきっかけは交通の不便さが大きかった。それ以外は、治安も良く、スーパーも安くて下町らしく生活はしやすかったように思う。
- ・ 車がなくても地域バスが頻繁に通っていて、不便さは感じませんでした。
- ・ 区の循環バスの各ルートで、上り・下りの双方向に運行して欲しい(行きは便利でも帰りは電車や他のバスを利用しなければならないことが多く不便ことが多い)
- ・ 両国、石原地区に居住しており墨田区(両国駅付近)でお世話になりました。早朝深夜の仕事をしておりましたが交通の便がとてよく現在住んでいる埼玉県に比べるととてもよい環境で暮らせていたんだと実感しております。
- ・ 足が悪く、リハビリを兼ねて自転車を利用していますが、錦糸町駅の駐輪場が階段を使わないと停められないので大変不自由しています。路面の駐輪場を増やしてほしいです。
- ・ 錦糸町駅の、南側と北側の行き来がしづらい。丸井からアルカキットに向かう時、PARCO横の大通りかもしくはアルカキット裏の通りかのどちらかから回るが、とても遠回りな印象。テルミナか駅の横など通り抜けられたら便利なのにとよく思う。錦糸町駅南側にある歩道橋はエスカレーターしかなく、ベビーカーだと横断歩道でしか渡らないため大回りが必要で不便。エレベーターを付けてほしい。
- ・ いくつも大きな幹線道路が走っているのに自転車のマナーが悪すぎて、歩道を歩くのが怖かったり、歩道なのにこちら(歩行者)が自転車に気をつかうことが何度もあった。もっと歩行者が安心して歩けるように自転車へのマナーをきびしくやってほしい。

9) 商業・商店街について (15件)

- ・ 墨田区を離れてもうすぐ1年になろうとしています。約20年、住まわせてもらいスカイツリーが建設され、商店街が増えて便利な街になりとても気に入っております。
- ・ キラキラ橋商店街等小売店の生き残り対策。
- ・ 福島から、就職で東京に来た際に、不安で一杯だったのですが、墨田区の治安の良さ、人がらに救われた事が何度かあります。駅前には様々なお店もあり、沢山利用していたのですが、本当に個人的すぎる、不満を一つ言うとラーメン屋が少ない事くらいです。他はすばらしい町です。
- ・ 小さなスーパーはあるが大型のスーパーが少なく日常の買い物が不便だった。
- ・ それぞれの場所に“商店街”文化を残し、にぎやかな商店街になると良いですね！自立したい方にもっと協力して欲しいです。
- ・ 近くに商業施設や大きなスーパーが駅前にあってとても利便性が良く生活しやすかったので、大人が住む分にはすごくすてきな街だったなと思っています。
- ・ 東向島に住んでいた頃、駐車場が広くて(平面)入りやすいスーパーが少なかったので地元埼玉までよく行ってまとめ買いしていました。都内では厳しいと思いますが、広々としたスー

パーがあると良かったと思います。

- ・ 大規模店舗が多くて便利な反面、商店が減ってきているように思います。共生の難しさはありますが、シャッターを降ろさずに済む取組をしていただきたいと思います。
- ・ 緑周辺は親切な物件価格で転入しやすいですが、子育て環境としては充実していない印象です。また、小規模なスーパーしかなく品揃えに困ることがありました。
- ・ 八広らへんは、飲食店などがあまりないので、買い物や食事が気軽にできるところがほしかった。
- ・ 住宅地に気軽にお買い物ができるお店がちかくないので、少し大きなお店を増やしたら、生活も便利になるのでは無いかと思う。
- ・ 駅付近に大型スーパーや商業施設があるととても便利だなとずっと思っていました。買い物は休日に錦糸町まで行ったりするのが大変でした。駅からの帰り道にスーパーがあると仕事帰りに買い物できてより住みやすい環境になるのではと思います。
- ・ 押上駅のスカイツリーやライフと反対側の線路を越えたエリアにも大きなスーパーが欲しいです。
- ・ 商店街や個人商店がかなり無くなっていて、だんだん住みづらさを感じていました。個人店舗の出しやすい街づくりを希望します。
- ・ 生活支援として paypay 使用による還元などの施作で日用品を安く購入できたり、飲食店で少し贅沢をしたりと、庶民に寄り添った対応が積極的になされていた印象です。

10) 防災について (22件)

- ・ 川があふれ、浸水する可能性を恐れていました。【3件】
- ・ 川に囲まれ水の災害に弱い印象があるため、墨田区で持ち家を購入する決断には至りませんでした。【3件】
- ・ 住んでいた地域での水害被害が一番心配でした。ハザードマップでは近くの避難所が全滅であり、災害時はどこに避難すればよいのかと気になりました。【2件】
- ・ 元々の地域性でもありますが、定住するとなると、ウォーターハザードの心配がどうしても頭をよぎります。今時コンクリートに税金を投資するのも時代錯誤なのかもしれませんが、私のような考え方の層を定住させたい、という行政としての方針があるのなら、防災に力を入れるのも一つかと思いました。
- ・ 水害リスクが高いことへの不安がある。今回、転入を機に災害に関する資料をもらい目にする機会があったが、もともと生まれが墨田区であるが、大人になってからは災害についての資料を手にする機会が少なかったように思われる。せっかくしっかりと資料を作って下さっているのに、もう少し手に入る機会を作ってもらえると良いと思った。
- ・ 川の氾濫に対する防災計画。
- ・ また墨田に住めたら防災の備えはしっかりしなくては…と思っています。水害・地震はやはり不安ですね…。でも大好きです。墨田の平和と発展を願っています！！！！地価が上がっていませんように…。
- ・ 異常気象により近年大きな災害が懸念されているので、災害に強いまちづくりを希望します。

- ・ 災害に弱いと感じていたので群馬に引っ越して安心感があります。安心して暮らせる町づくり頑張ってください。
- ・ 防災対策の強化。安全性のアピール。
- ・ 単身であれば住みよい街だと感じました。子育て世代等は、防災面などが居住地選択の際に少し気になるかもしれません。ハザードマップなどは配布されますが、それを踏まえて様々な対策されていると思いつつ、居住者ないし転入を検討している方がどれだけその対策のところまで把握できているかは気になりました。
- ・ 古い街並みの家々は、道路も狭く密集しているので、防災の観点から不安があった。
- ・ 関東大震災で多くの命が失われた街で、一生懸命に防災意識を高め、ハード面においても防災を意識した施策が施行されています。しかし、民間の自由取引が前提ではあるものの、小区画の建物が乱立し、昔の長屋住宅が連想されます。各住宅メーカーの企業努力により耐火性、耐震性が向上はしていますが、いざ大震災等の大災害が起きた時、このような乱立状況ではまた多くの命が失われる可能性が高くなるのではないのでしょうか。これらの点を踏まえた今後の行政指導を期待いたします。
- ・ どうしても災害、特に水害に弱い点が気になっており、2019年10月の台風（江東五区の沈没）を契機に引越しを検討、子どもが未就学の間に引越すことといたしました。現在は文京区に住んでおりますが、買い物や子育て環境的（広さ的問題）にいまいちな点がありつつも、水害の影響は全く考慮しなくて良くなった点は本当に安心して住める街として評価が高いです。墨田区が災害や水害に強くなればまた絶対に戻りたいくらいには愛着はあります。
- ・ 防災面も気になります。特に東向島は、古い住宅が密集していたり道路がくねくねして狭かったり、川が氾濫しても危ないし、地震が来ても危ない地域だろうなと思います。
- ・ 浸水や火災が心配ですが、その他は都内で1番だと思えます。
- ・ 古い住宅が密集している地域もまだまだあり、災害が起こったときは危険だなと感じていました。区画整理がされると良いです。

11) 防犯について (19件)

- ・ 錦糸町駅周辺の治安改善。【4件】
- ・ 治安を良くして頂きたいです。
- ・ 他区へ移り、比較し、墨田区は良いまちです。交通の便も良く、長年住み、楽しいと思えるところでした。ただ、反社の人が多いのと、大手宗教が多いです。違法薬物を使用している人もいて警察に情報提供しましたが動きが今のところないようです。残念ながら治安はいいと言えないです。個人的には、自分さえしっかりしていれば、安心して、住めて大好きなところだったので、いつかはまた墨田区に移り住みたいと思っています。
- ・ 江東橋に住んでいましたが、子供を学校に通わせるには治安に不安がありました。ホテルや飲み屋などがもっとクリーンな所になるといいです。
- ・ 商業施設、観光地周辺の治安向上。
- ・ 公園も立派な公園があって気に入っていたのですが、子供が小学校にあがると考えた時に、近くにラブホ街があったり酔っ払いおじさんが昼間からいたり治安が心配になり引っ越し

ました。未就学児のときは親が常に一緒に行動するが、子供だけで外出するようになると色々心配なことが増えてきました。

- ・ 防犯にも力を入れてほしいと思います。
- ・ 歓楽街の治安を良くして、ゴミや路上喫煙等を徹底的に排除し、外国人や地域の人が不安なく通行できる街づくりをする必要がある。路上での客引きや犯罪行為や客待ちはとても不快で誰も住みたい街とはとても思えない。
- ・ 以前墨田区に住んでいたときは近所の人で行動に不審な方がいて住む怖さがあったので、たまたまな部分もありますが心穏やかに暮らせることが1番だなと感じました。
- ・ あえて、要望があるとすれば深夜に酔っ払いの奇声、外国人や若者の喧嘩、たまに銃声が聞こえて通報したことが数回ありましたので深夜の治安がよくなる事を望みます。と、言っても深夜1-2時に一人歩きしても怖い思いはしませんでした。これからも貴重な文化と環境を守りながら新たな魅力を発信し続ける墨田区であり続けてください。
- ・ 押上以北は治安の悪さ、交通網の不便さがあり墨田区としての魅力を感じない。明石市のように子育てに注力することで、地域活性化し、全年代に還元される行政になってほしい。
- ・ 墨田区はとにかく治安が悪い…。住んでたマンションは13階だったけど週末になると騒音がすごく、道には吐いた後ばかり、ゴミの収集日問わず道端にゴミ袋が山積みされていたり、ゴキブリも道端にいて、終始居心地が悪かった。主人の都合で1年という約束で住んだがあまりにも環境が悪過ぎた…。ただ交通の便はよく近くに大型ショッピングモールや、そらまちなどあったのは良い気分転換になった。
- ・ 錦糸町は公園も子供関連のお店もたくさんあり、子育てしやすい印象がありました。同時に、多くの飲食店（水商売も含めて）や競馬のウィンズなど、個性的に感じておりました。錦糸町ならではの、どちらも大切にしてほしいなとも思いました。ただ一点、ラブホテルが多くて、それは子育て的にはネガティブに感じました。
- ・ 菊川に住んでいたがマナーの悪い高齢者が多くて嫌だった。・老人が多く老いた町と感じた。町として未来を感じず子育ては難しいと判断して他区へ引っ越した
- ・ 娯楽要素満点で楽しい街だと感じました。また交通の便も良くショッピングモールも充実していて生活しやすいと感じました。楽しいところは残しながらも、行き過ぎが故に起こる犯罪や詐欺行為（主に夜の店での）を減らすことが出来るとさらに良いかと思いました。
- ・ 交通は便利だし、買い物環境も充実していて住みやすかった。特に危ない目に遭ったことはないが、治安の悪いイメージがあるのが残念。歩道(北口周辺、四つ目)が狭いので広くなると混雑やごちゃごちゃしたイメージが緩和されるのではないかと。南口の丸井裏や墨東病院へ向かう途中の繁華街の客引きのような人達がいるイメージが世間の墨田区のイメージになっているので、その辺の治安を改善してほしい。

1 2) 障害者福祉について (2件)

- ・ バリアフリー。
- ・ 子供(幼児)に発達障害があり、その療育施設の利用について、現在住んでいる習志野市では、毎日バスの送迎で子供のみ登園に対して、墨田区では週1回、親子登園、親も療育に

参加する必要がある。墨田区の療育施設（みつばち園）も同じ体制にできたら親はかなり助かると思います。

13) 健康について (23件)

- ・ コロナ禍で墨田区に住んでいたのですが、コロナへの対応が迅速でとても安心感がありました。保健福祉に関してはこのまま安心できる墨田区であってほしいなと思います。【10件】
- ・ 住んでいる時より、離れてからの方が墨田区の良さを感じています。離婚での転居でしたか、生活福祉課の職員の方には寄り添って相談にのって頂き、大変感謝しております。福祉が充実していたことを知りました。転居を決める前に福祉のこと等しっていたら、墨田区に住み続けていたかもしれません。ひとり親でも暮らせる墨田区をもっとアピールしても良いように思います。
- ・ 大きな総合病院がたくさんあり、病院には困りませんでした。
- ・ 賛育会移転後の大平地域住人の通院等。
- ・ 保健事業が頼もしく、コロナ禍でも心強かったです。保健センターでの「母と子のリラックスタイム」にも何度もお世話になりました。最高でした。
- ・ コロナ時代に墨田区に住んでいて、本当に良かったです。対応も早く、何よりかかりつけ医の信用が強かったです。ありがとうございました。
- ・ 墨東病院に、変な思想がはびこっています。何とかしてください！
- ・ 産婦人科が遠く、電車に乗ると通りすぎるため、徒歩で通っていた。
- ・ コロナ間では墨田区の保健所の積極性はかなり有名になり、心強い面を感じました。居住する面からはあらゆる年齢層に対して健康・保健面の配慮・仕組みがあることは非常に高いポイントになりますので、ぜひ伸ばして行ってほしいと感じました。
- ・ コロナワクチン接種券の送付や妊娠出産に関わる諸手続きを通じて墨田区の迅速な対応に感銘を受けました。
- ・ 保健所のアクセスが悪く、古かったのが、子供の検診時に気になっていた。
- ・ 総合病院が多いのが本当に素晴らしく、子どもが何度か救急車にのったとき、全て墨田区内の病院で受け入れてもらえたのが助かりました。コロナ対応の良さで注目されていましたが、医療の街だと密かに思っています。
- ・ 住んでいた時はまだ保健センターが東向島にありとても便利でしたが、統合してしまうのは親子共々負担が増してしまうので少し残念です。
- ・ ちょうどコロナウイルスが感染拡大し始めた時に墨田区に転入したので、コロナワクチンなどの迅速な対応は素晴らしいと思いました。单身なのでいざとなった時に行政が頼れる存在なのは心強かったです。今後も健康促進するまちとして、同様の事案があった際には対応してほしいと思います。

14) 妊娠・出産・子育て (83件)

ア 妊娠・出産・子育て全般について (16件)

- ・ 出産、子育てに関する支援制度が他の充実している区と比べると少ない、もっと充実してほ

しい。【3件】

- ・ コロナ禍での妊娠出産も手厚くサポートしてもらえたので、とても住みやすい街だと改めて実感しました。【2件】
- ・ 出産・子育ての面では、葛飾区の方が墨田区よりも手厚いサービスが充実しています。(超音波検査の補助券が一枚多く貰えた・5000円チャージのPASMOが貰えた)特に保育園の入りやすさは葛飾区の方が良好とっております。墨田区も出産・子育てに注力していると思いますが、より一層の手厚いサービスを期待しております。【2件】
- ・ 出産や子育てがしやすい町または保育園に入りやすくなるとまた引越したいと思う。
- ・ 周りに頼れる人が居なくても、上の子を心配しないで、安心して、第2子、第3子を出産できる環境が整っていれば、転出しなかった。上の子も安心して、過ごせて、出産も安心してできるサポートがもっとほしかった。人々、環境は満足していました。また住みたいです。が、学童の環境などをもっと充実して安心して育児と仕事の両立ができる環境がほしい。
- ・ 結婚→妊娠→出産→保育園(1年間)までお世話になりました。コロナ禍の出産でしたが、支援が充実しており不安なく過ごすことが出来ました。マイホーム購入の為に都外へ転出しましたが、墨田区の保育園のレベルの高さにはおどろきました。支援センターも充実しており、安心して子育てが出来る町だなど、転出して改めて実感しております。住居費用の折合いさえつければ、ずっと住みたい町でした。YouTubeチャンネル登録していましたが、支援センターの中の様子や事前予約の有無、何歳ぐらいの利用者が多いかなど分かると嬉しいと思いました。
- ・ 地元を離れての東京生活に不安がいっぱいでしたが、振り返ると、住居に墨田区を選んで良かったな！！と思います。知り合いもいない中でしたが、妊娠、出産を通して、友人も出来、思い出がいっぱいになりました。子育てをするようになり、管理する関係で仕方がないことはわかりますが、保健センターが遠く、我が家は向島が近いのに、本所の管轄ということで、3、4ヵ月健診へ行かなくてはいけないのがとても大変でした。又、～学級等も管轄の方でないと受けられないとのことで、気になりましたが、子どもを連れて…となると、と思いやめてしまいました。子どもが小さいと外出は大変なので、受診しやすい方で行えると嬉しいと感じました。
- ・ 現在、住んでいる所よりも墨田区は、子育て支援センターが充実していたなと感じています。さすが東京！！徒歩圏内にたくさんあり、コロナ禍ではありましたが、知り合いを作ることが出来、親のストレスの発散にもなりました。出産後、支援センターのことをなかなか調べる機会がとれなかったので、家庭訪問の時や、健診の時に支援センターの一覧(場所、行ける年齢(月齢))、等を教えて頂けると助かるなど思いました。子育てのことばかりになってしまいましたが、墨田区が今後も住みやすい街になっていくことを願っています。
- ・ 墨田区を出て、色々と区民の為にやってくださった事、墨田区の行政が当たり前じゃ無い事に転出して気がつきました。墨田区の子育て支援のおかげで祖父母の援助が無くても4人も出産できました。困った時に沢山の支援があったおかげです。
- ・ 出産後は区役所の方々初めて、担当の保健師さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

- ・ 墨田区に住んでいた頃、家の前に私設の喫煙所があり、妻も妊娠中のため困っていました。区役所に相談した時は条例での規制範囲外だったため、撤去は難しいもののお話をしてくださるとお答え頂きました。その後、喫煙所はなくなったため、担当の方が対応して頂いたのかもしれませんが、とても感謝しております。その後、無事に出産し横川、立花、両国の子育て広場など何度も活用させて頂きました。子育てのサポートを得るため、区外に引越しましたが、ずっと住み続けたい街だと思っています。いつかまた墨田区に住める機会があれば、住みたいと思います。
- ・ 長年墨田区に住まわせていただきました。その中で、妊娠、出産、保育園までの子育てを経験しました。他の区がどうなっているのかわかりませんが、とても子育てはしやすく、できればもう少し住んでいたかったです。児童館や公園が充実しており、とても助かりました。保育園も区立でしたが、とても対応がよく、安心して子どもを預けられました。家庭の事情で引越しましたが、これからも大好きな地域です。

イ 特に子育てについて (67件)

- ・ 保育園を増やしてほしい、保育園に入りやすくなっていると嬉しいです。【8件】
- ・ 保育料が他区より高い印象です。保育料が安くなるとより住みやすい区になると思います。【6件】
- ・ 子育て支援等がもっと充実していれば、ずっと住みたい街でした。【5件】
- ・ 長期居住者への優遇、保育園への入園基準（優先順）が居住年数である点などから、新参者＝よそ者とあつかわれているように感じた。他区と比べてもその傾向は強いと感じる。これが二度と住まない理由です。【4件】
- ・ 墨田区は保育園も入園しやすく、児童館や公園など小さい子どもも遊べる施設が多くとても良いまちでした。墨田区に住むまでこんなに子育て世帯に良いまちだと知らずに住んでみて本当に良かったと思いました。その様な世帯や年齢層の方にこんなに子育てしやすいまちだと言うことをアピールした方が良いと思います！【2件】
- ・ 子供が生活しやすい、子どもにやさしい街になって欲しいと思います。【2件】
- ・ 保育園の代金が高額であったり、ベビーシッター補助制度が使えなかったりと、他の区に比べて子育てへの支援が整っていないことを踏まえて転出を決めました。【2件】
- ・ 老人には優しいが子供には優しくないと感じた。【2件】
- ・ 保育料が他23区と比べると高い印象でした。保育料自体は、一時的なものなので「暮らし続けたい」かどうかは直接関連するものではないですが、子育て関連に予算がさかれていると安心して住み続けられるなどと思いました。児童館は充実していて大変お世話になりました。
- ・ 子どもが、球技をおもいきり出来る場所があったらよいと思います。場がない為いつも江東区のプラザまで行っていました。
- ・ 日曜、祝日の保育園開設（休日保育）をやって頂いて、大変助かりました。よく利用させて頂きました。ありがとうございます
- ・ 墨田区で長年子育てをしてコミュニティもすばらしかったです。伝統的な行事もあり、子どもも多くにぎやかでイベントもありワイワイ楽しい町でした。どうしても住環境が4人家族

には相応しくなく転居となりましたが、職人さんの体験やモノづくりなど、子育てをする上で色々体験できる良さがあります。

- ・ 墨田公園の広いスペースで、子供のイベントを開くなど、増々子供が多く活発な街となりますように！！
- ・ 0～2歳児クラスの保育料も無償化してほしいです。
- ・ 地域のつながりや、コミュニティのつながりは良いと思っていますが、小学生の保護者は大変でした。町会にもよると思いますが、学校の負担はコロナで少なくなりましたが、働きながら、学校、習いごと、子供会、旗当番とどうしても仕事を休まないとまわらない状況が負担が多く感じてしまいました。仕事をされている方も多いので、子供のことは大切ですが、暮らしやすさからすると負担が少ないとちょっと暮らしやすいのかと思いました。
- ・ 保育園の充実はマストかと思います。保育料は年収に応じて高いのに、私達が期待するような保育園には入れず、子供への対応もいまいちな所に入れるしかありませんでした。区の財政への貢献度合いなどは納税額等で一定程度決まるとは思いますが、そういった世代、家庭へのコミットが足りないと思います。若い世代が住みたいと思える街にしてください。
- ・ フレンドリープラザ墨田児童会館によく行っていたのですが、地震などが起こるとくずれてしまいそうだったので、建てかえてほしいです。
- ・ 保育園に途中入園が難しいところが改善されれば共働き家族にとっては嬉しいと思います。
- ・ 5年間住みましたが、とても暮らしやすく、私も子どもたちも引越するのが悲しいくらいでした。地域の子育て支援も充実していて、様々な児童館やコミュニティ会館や、図書館も活用させていただいていました。未就園前のクラスの活動が特にたのしく参加させてもらっていました。すみだトリフォニーホールでも子どもも鑑賞できるイベントもありが良かったです。
- ・ 少子化なのに、なかなか保育園に入れなくてママとしてとても辛かったと思います。宜しければ、保育士の給与を上げて頂いて、保育園の枠を増やして欲しいと思います。
- ・ 子育てのため、再び墨田区に引っ越したかったが、保育園に入りにくいため、引っ越しを断念した。また、学童の待機児童も多いと聞く。保育園の数を増やし、学童保育の充実など、子育てしやすいまちづくりをお願いしたい。それ以外の環境は、住みやすく、気に入っていたので、残念だ。
- ・ 子どもが外で安全遊べる遊び場が欲しい。
- ・ 土地柄難しいとは思いますが、園庭・校庭が広く、敷地面積の広い保育園や学校が増えたら住み続ける選択肢を取ったかもしれません。
- ・ 子どもを持つものなので、地域で大きな子ども関係のイベントの複数開催や公園の整備、充実を希望します。
- ・ 子育て支援関係が充実していたことが非常に好印象です。特に児童館の充実には非常に感謝していました。江東橋児童館は本当に良い施設で感謝の念に尽きません。
- ・ 2歳児以降の保育園の入園がもう少し入りやすいと、もう少し住みやすかったかなと思います。

- ・ 引越し先では、子育てに関する情報発信がとても盛んで驚きました。具体的には、オープンチャットのLINEで子育て支援センターのイベントのお知らせが来たりして、とても情報にタッチしやすく参加しようと思うことが多いです。もしかすると墨田区でもそのような取り組みがあるのかもしれませんが、やはり大きな街なのでどうしても地域感を感じる事が少なかったです。
- ・ 保育園、幼稚園が少なく選択肢が少ないのが不便でした。共働きの時代のなか、幼稚園も他区に比べて預かり等が柔軟でなく働けない状況でした。ですが、スーパーや子供の習い事の選択肢は多く子育て世代としては住みやすかったです。
- ・ 子育ても大変しやすいと思います。アカチャンホンポ、西松屋、ベビザラス、ユニクロが全て徒歩圏内にある太平、横川、業平周辺は全国的にも大変恵まれた環境だと思いますよ！笑あと、保育園がもう少し入りやすくなるといいかなと思います。10年近く住んでいても、公立の保育園には殆ど入園できるチャンスがないですし、出産子育てを期に転入してくる方には大変厳しいかと思います。小規模保育園でも空きのあるところは限られているので、もう少し入園のハードルが下がると新たな若い世代の転入も期待できるのではないかと思います。
- ・ 当時子供が生まれたばかりだったので、乳幼児施設の八広はなみずき児童館、曳舟のきらむこが大好きでした。取り組みそのものにとっても愛があり、子育ての寂しさ等がうめられました。
- ・ 子育て世帯が増えているので子供の教育や補助が充実していると良い。
- ・ 母子家庭になったけれど都営住宅や区営住宅にすぐ引っ越せたらきっとまだ墨田区に住んでいたと思います。その点で今以上にもっと子育てや母子家庭に親切な町になってほしいです。子どもが就学時に墨田区に戻ろうかと検討しています。なので、後数年でより良くなることを期待しています。
- ・ 子育て世代への住宅補助のようなものがあればと思いました。
- ・ 幼稚園では延長保育がないため、保育園以外の選択肢がなかった。こども園が増えたら良いと選択肢が広がって、子育てしやすくなりそう。公園の駐輪スペースが整備されると助かる。子育て応援とうきょうパスポートは全然使えなかった。児童館が古いので、もっと体を動かせるような屋内施設が増えるといい。
- ・ 墨田区へ転入した際、窓口でマル乳医療証等の即時発行があり、とても良い仕組みだなと感じました。また、療育でみつばち園やにじの子を利用した際は、個別療育に対応していてとても助かりました。(他区には個別療育がなかったりするのでとてもよかった点だと感じました)
- ・ 押上、錦糸町が近く、買い物や交通は便利でしたが、墨田区に住み続けて子育てをしたいとは思えませんでした。
- ・ 子育て世帯への自転車購入補助があれば更に魅力的だと思いました。全体的にみてとても住みやすい街だったと家族と話しています。
- ・ 私の同僚もたくさん墨田区に住んでいますが出産後の社会復帰に際して困難に面しています。墨田区居住年数によって、保育園の入園が叶わないという話を何人かから聞きましたし、育児期間中に復職しなくてはいけないので隣の江東区の方が保育園への入園がまだ安易である

などを理由に引っ越しを検討している話を聞きました。子供を育てたくても育てられない環境が墨田区にあるのかと、聞いていて非常に残念に思いました。新規で転入した世帯にも公平にチャンスが与えられる育児施策をぜひご検討いただきたいと思います。

- ・ 所得で子供への手当等を差別区別しないでほしい。子育てでお金がかかるのはみんな一緒だし、一生懸命税金を納めているのにおかしいと思った。この点が改善されないと戻りたくない。
- ・ 菊川に住んでいたが、墨田区と江東区の狭間で、最寄りの児童館は江東区の児童館しかなく、不便だった。ある程度区同士でシェアできると、住みやすいと感じた。
- ・ 夫婦で横網に3年住みました。家賃の高さは仕方ないと思いますが、保育料が高かったことも転出の理由の1つです。また、これも土地柄仕方ないと思いますが、小学校の校庭の狭さも気になりました。夫婦で住むには最高、子育てする街としてはもう一つかなあ、というのが個人的な感想です。
- ・ 墨田1丁目に居住しておりました。縁もゆかりもない土地でしたが、子供が遊べる公園が多く、児童館や学童のプログラムも充実しており、買い物にも困らず、非常に子育てがしやすい町でした。要望を残すのであれば、児童公園にもかかわらずタバコの吸い殻がたくさん落ちていたり、遊具が鉄製で火傷の危険があったりした点です。子どもの貴重な遊び場ですので、順次改善していただければいいなと思いました。
- ・ 住環境とコスト面から、複数の子がいるような子育て世帯が、継続的に住むことに、年々ハードルが高くなっているのが、子育て支援や長期で住見たいと思うような施策を希望。
- ・ 暮らし続けると考えると、保育園(駅近にあるとなお良い)、教育に関する取り組みなどは、あまり充実している印象がなかったため、どうなのかな?と思いました。錦糸公園含め、駅近にベビー用品店舗が複数あり、乳児期は過ごしやすかったのですが、その後保育園や小学校以降がどうなのかという部分も妊娠時に情報として知れると、さらに墨田区に住み続けたいという方が増えるのではないかと思います。

15) 子ども・若者支援(1件)

- ・ 全体的に高齢者が多くあらゆる配慮がある面はいいことと思いますが、反面で一部の街を除いては若い人が少なく、若い活気を感じにくい街かと思いました。

16) 教育(8件)

- ・ 子どもが大きくなるにつれ、小・中・高を選べるくらい学校数を増やしてほしい。とても住みやすい街でした。また戻りたいです。
- ・ 学区の公立小学校に、選挙の投票で行ったが、建物、施設の古さに驚いた。当時、子供は2歳。この子がもう少し大きくなったときに、この小学校に通うのか…と考えると、ないなあ。私学の小中学校も、近隣にはあまりなく。都立の両国中高は魅力あったがそれまでの小学校には残念ながら魅力なく、転出しました。
- ・ 子育て世代が多い町なので、これから教育環境が整備されると、良い町になると思います。
- ・ 私立小学校が都内西部に集中しており、今回転出した。墨田区の街、住環境には満足してお

り、いずれまた住みたいと思う。

- ・ 子供の教育の幅を広くもたせられる学校や施設、機関があると更に魅力が増すと思います。
- ・ 現在目黒区在住ですが、立地的に私立小学校も視野に入れることができ、公立に行ったとしても校舎の設備が立派で民間学童の選択肢も多い。墨田区はここが改善できれば最強だと思います。
- ・ 民度低すぎ。中1の担任が1年目で、担任の失敗を生徒のせいにするという最低さ。そして生徒の点数を下げるといふ、もう意味不明の行動。それを校長が「担任の先生は1年目で頑張っています！」は？校長馬鹿ですか？自分の部下の行動や問題点、把握してないんですか？担任を教育しないんですか？こんな学校、子供を行かせないほうがマシ。みんなさっさと墨田区から転出するべき。
- ・ 学童は、小学校の中に第7学童まであり、1年生は受け入れ完全補償されていたのがありがたいです。（そのかわり民間学童は少ないのでサービスの充実度を考えれば一長一短ですが、家計は助かります）

17) 環境保全 (5件)

- ・ 八広地区では東墨田の皮の加工のにおいがきつい日もあり、(産業なのでむずかしいのかもしれませんが)においがもうすこし気にならないとなると八広地区土地を買う方も増えると感じました。きれいで便利(どこへ行くにも)な墨田区大好きでした。安全だし墨田区最高です!!これからも暮らし続けたいまちづくり応援しています。頑張れ墨田区!!
- ・ 民度が低いのかゴミ集積所が劣悪。
- ・ 錦糸町駅の丸井の近隣の道路について、朝に出勤する時に道路上にカラスがちらかした生ゴミでよく汚れた状況にあります。ゴミ袋は必ず網をかけるように指導してほしいです。
- ・ 公園のすぐ側が交通量の多い道路で、排気ガスが気になりました。
- ・ 八広周辺の悪臭問題は解決した方がよいと思います。生活に支障をきたすほど悪臭が酷く、買い物に行くのも一苦勞でした。

18) コミュニティ (4件)

- ・ 人間関係がぎすぎすしている。町の環境が悪すぎる。
- ・ 地域のつながりが強かった分、人との関わりはできたとも思っています。人はとてもいい人ばかりでした。
- ・ 地域コミュニティも活性しており、繋がりがあがる点は良かったです。
- ・ 個人の努力に対し、行政がどれだけ干渉加担するか、という活になってしまうかもしれないですが、居住している人の相談する場、意見や助けを求めるような人の声を拾い上げながら、適切な場へ繋ぐなど、駅近にあるハローワークの近くのエリアにおしゃべりできる場所があってもいいのかなと思います。役所などの退職された行政等ベテランの駐在雇用など、良さそうです。

19) スポーツ (1件)

- ・ 区のスポーツジム使ってみたかったけれど、ホームページの案内がわかりにくかったなど思いました。一回目のオリエンテーションの申し込みまで進められなかったです。

20) 多様性・多文化性 (4件)

- ・ 宗教間でのいざこぎをなくして欲しい。(嫌がらせ、つきまとい、いたずらでんわ等)
- ・ 外国人と共生しやすいまちづくり。
- ・ インバウンドで外国人が多く来られていますし、墨田区のよさをいかしたおもてなし、国際交流の場があれば、地域の子供らにとって良い機会となると思います。ものづくり現場へのドイツ人(英・中国語)などで良さをどんどん知ってほしいです!
- ・ 東京の中でも伝統文化が豊かで文化的であるが、生活する上で女性、独身が暮らしやすい環境やサポートがなく、働きながらパートナーと家庭を築くイメージが抱けないと思った。お年寄りや観光客向け、古くから住んでいる人には暮らしやすそうだった。

21) 区政参画 (2件)

- ・ 現区長の選挙カーがうるさくて大変迷惑だった。高齢者による公明党の地盤が強すぎて、区議選挙の投票に参加しても無意味に感じた。このまま何も変わらないのだろうか、と。
- ・ 子ども～高齢者など様々な世代が住みやすい街になるよう、また区民が区政に参加しやすいような環境づくりが必要だと考えます。

22) DX (デジタルトランスフォーメーション) (5件)

- ・ 認可保育園へのWeb連絡帳(コドモ二等)の導入を推進していただきたいです。
- ・ 公立小学校で出欠を電話連絡からスマホでできるようにしたり、タブレット活用が進んでいたり、積極的な姿勢にととても感心していました。今後も他の自治体がまねして追随するようなモデルケースになり続けてほしい。
- ・ 電子手続きできない申請なども多く、デジタル化が進んでいない。
- ・ 今後出張所や役所に直に赴くことがないようなデジタル申請など採用してくれると助かる。
- ・ ただ転入・転出届に関しては区役所での手続きが必要になる点と区役所での手続きに時間がかかりすぎていました。他府県などではネットで届け出が出せるところもあるので墨田区でも使えたらもっと便利になるかと思いました。

以上